

松戸市
社会教育に関するアンケート調査
報告書

令和2年3月
松戸市教育委員会

目 次

1. 調査の概要	1
1 調査実施の目的.....	1
2 調査方法と回収状況.....	1
3 調査の内容.....	2
4 報告書の見方.....	2
5 標本誤差について.....	3
2-1. 市民意識調査の結果	4
1 回答者の属性.....	4
（1）令和元年8月23日現在、あなたの年齢は次のうちどれですか。.....	4
（2）あなたの性別は次のうちどれですか。.....	4
（3）あなたの職業は次のうちどれですか。.....	5
（4）あなたの世帯は次のうちどれですか。.....	5
（5）あなたと同居する方（あなた自身を除く）で、次に該当する方はいますか。.....	6
2 「生涯学習活動」に対する考え方.....	7
（1）あなたは、この1年くらいの間に、どのような「生涯学習活動」をしましたか。.....	7
（2）どのような方法で「生涯学習活動」をしていますか。.....	9
（3）あなたは何のために「生涯学習活動」をしていますか。.....	11
（4）今後、どのようなことを学びたいと思いますか。.....	13
（5）あなたは、地域の学習環境を充実させるために何が必要だと思いますか。.....	15
（6）あなたは、市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるために、市としてどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。.....	17
（7）あなたが関心を持っている地域課題は何ですか。.....	19
3 「生涯学習活動」に関する情報、相談について.....	21
（1）あなたは、市が提供する生涯学習の情報をどのように得ていますか。.....	21
（2）あなたは、生涯学習に関してどのような情報を知りたいですか。.....	23
（3）あなたは、生涯学習活動について市に相談したいと思うことはどのようなことですか。.....	25
（4）あなたが、生涯学習を行うにあたって、活動の妨げになっていることはありますか。.....	27
4 「生涯学習活動」の成果の活用について.....	29
（1）あなたは、次の場面で「生涯学習」を通じて身につけた知識や技能、経験を生かしていますか、または生かしたいと思いますか。.....	29
（2）あなたは、「生涯学習活動」と一緒に取り組む仲間がいますか。.....	35
（3）松戸市は、生涯学習の成果を生かして活動が行えるような場が充実していると感じますか。...	36
（4）あなたが生涯学習の成果をより生かせるようになるには、市としてどのような取り組みが必要だ	

といますか。	37
5 地域の子どもたちに対する考えについて	39
(1) あなたは、地域の子どもたちに、休日（長期休みを含む）をどのように過ごしてほしいと 思いますか。	39
(2) 休日に地域の子どもたちが大人と生涯学習活動をするにはどの場所がふさわしいと思 いますか。	41
(3) あなたは、小中学校で児童生徒の学びを支援するボランティア活動に参加したことがあ りますか。また、今後参加したいと思いませんか。	42
(4) あなたが小中学校でボランティア活動をするとしたら、どのような活動に興味があ りますか。	43
(5) あなたは、学校以外の場で地域の子どもたちの学びを支援するボランティア活動に参 加したことがありますか。また、今後参加したいと思いませんか。	45
(6) あなたが学校以外の場で地域の子どもたちの学びを支援するボランティア活動をする としたら、どのような活動に興味がありますか。	46
6 松戸市内の社会教育施設等について	48
(1) 各施設について、利用したことがあるかどうかを教えてください。また、ハード面（施設、設 備等）、ソフト面（イベント等の催し物、情報提供等）それぞれの満足度、施設に期待すること、 施設についてほしい情報を教えてください。	48

2-2. 市民意識調査結果の着目した点 66

1 「生涯学習活動」に対する考え方	66
(1) この1年に実施した「生涯学習活動」	66
(2) 「生涯学習活動」の学習方法	68
(3) 「生涯学習活動」の目的	69
(4) 地域の学習環境を充実させるために必要だと思うこと	70
(5) 市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるために力を入れるべきこと	72
(6) 関心を持っている地域課題	73
2 「生涯学習活動」に関する情報、相談について	74
(1) 市が提供する生涯学習情報の情報源	74
(2) 生涯学習に関して知りたい情報	75
(3) 生涯学習に関して市に相談したいと思うこと	76
3 「生涯学習活動」の成果の活用について	77
(1) 「生涯学習活動」に一緒に取り組む仲間がいるか	77
(2) 生涯学習の成果を生かして活動が行えるような場が充実していると感じるか	78
4 地域の子どもたちに対する考えについて	79
(1) 地域の子どもたちに、休日（長期休みを含む）をどのように過ごしてほしいか	79
(2) 休日に地域の子どもたちが大人と生涯学習活動するのにふさわしいと思う場所	80
(3) 児童生徒の学びを支援するボランティア活動の参加状況と参加意向（学校内・外）	81
(4) 学校以外の場で地域の子どもたちの学びを支援するボランティア活動をするとしたら、どの ような活動に興味があるか	82

3-1. 団体アンケート調査の結果..... 83

1 団体の属性.....	83
(1) 貴団体の主な活動分野を教えてください.....	83
(2) 貴団体の活動年数を教えてください.....	83
(3) 貴団体の活動頻度を教えてください.....	84
(4) 貴団体の主な活動場所を教えてください.....	84
(5) 貴団体の活動で、特に力を入れているものは何ですか.....	85
2 「生涯学習活動」の状況について.....	86
(1) 貴団体が活動情報やイベント告知等の周知をする際、市による広報活動の支援に満足していますか.....	86
(2) 活動する上で困っていることは、何ですか.....	87
(3) 貴団体が、今後学習成果を展開していく上で必要な市の支援はどのようなことですか.....	91
(4) 地域の学習環境を充実させるために何が重要だと思いますか.....	93
(5) 市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるためのサポートとして、貴団体はどのようなことをしたいと思いますか.....	95
3 「生涯学習活動」をする上で収集、発信する情報ニーズ等について.....	97
(1) 貴団体が活動する上で必要としている情報は何ですか.....	97
(2) 貴団体の会員数を増やす活動をしていますか.....	98
(3) 会員募集にあたりどのような情報発信をしていますか.....	99
(4) 松戸市生涯学習情報提供システム「まつどまなびいネット」をどの程度利用したことがありますか.....	101
(5) 「まつどまなびいネット」を利用しない理由は何ですか.....	102
4 「生涯学習活動」の成果の活用について.....	104
(1) 貴団体の学習活動の成果を、貴団体の活動としてどのように生かしていますか.....	104
(2) 松戸市は、学習活動を行いたいと考えたとき、すぐに活動が行えるような場が充実していると感じますか.....	106
(3) 地域の他団体とこの一年間でどのような交流がありましたか.....	107
5 地域の子どもたちとの関わりについて.....	109
(1) 貴団体が中心となって、地域の子どもたちを対象に教えたり、参加体験型の活動を行う機会がありますか.....	109
(2) 子どもたちに関わる事業においてどのような目的を持って活動していますか.....	110
(3) どのような子どもの年代層を対象に活動していますか.....	112
6 松戸市内の社会教育施設等について.....	113
(1) 各施設について、利用したことがあるかどうかを教えてください。また、ハード面（施設、設備等）、ソフト面（イベント等の催し物、情報提供等）それぞれの満足度、施設に期待すること、施設についてほしい情報を教えてください.....	113

3-2. 団体アンケート調査結果の着目した点.....131

1 「生涯学習活動」の状況について.....	131
（1）地域の学習活動を充実させるために必要だと思うこと.....	131
（2）市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるためのサポートとして、貴団体がしたいこと.....	132
2 「生涯学習活動」をする上で収集、発信する情報ニーズ等について.....	133
（1）活動する上で必要としている情報.....	133
（2）松戸市生涯学習情報提供システム「まつどまなびいネット」の利用状況.....	134
3 「生涯学習活動」の成果の活用について.....	135
（1）学習活動の成果を貴団体の活動としてどのように生かしているか.....	135
4 地域の子どもたちとの関わりについて.....	136
（1）地域の子どもたちを対象に教えたり、参加体験型の活動を行う機会はあるか.....	136
（2）子どもたちに関わる事業においてどのような目的を持って活動しているか.....	137

4. 自由意見.....138

1 市民意識調査.....	138
（1）図書館について.....	138
（2）講座・教室について.....	141
（3）施設について.....	145
（4）情報について.....	149
（5）その他.....	152
2 団体アンケート調査.....	155
（1）会員について.....	155
（2）施設について.....	156
（3）予約について.....	160
（4）情報について.....	163
（5）その他.....	164

5. 調査票.....167

1 市民意識調査票.....	167
2 団体アンケート調査票.....	173

1. 調査の概要

1 調査実施の目的

松戸市では、平成27年から令和2年度までを計画期間とした「松戸市社会教育計画」のもと、「自ら学び、学び合う、人と人がつながるまち ～学習成果を生かすことができるまち・松戸を目指して～」を基本理念として各種取組を推進しているところである。現在、令和3年度が計画期間の初年度となる次期計画の策定を進めており、現計画の達成状況や、生涯学習の現状、ニーズ等について、松戸市在住の市民や社会教育関係団体の皆様のご意見を把握し、計画策定に役立てることを目的として本調査を実施した。

2 調査方法と回収状況

調査方法と回収状況は以下の通りである。

【市民意識調査】

項目	内容
調査対象	松戸市に居住する18歳以上の男女3,000人
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	令和元年9月17日から10月4日まで
回収結果	有効回収数1,235票（返戻18件）、有効回収率41.4%

【団体アンケート調査】

項目	内容
調査対象	松戸市内で活動する社会教育関係団体（490団体）
抽出方法	令和元年8月20日時点の登録団体
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	令和元年9月17日から10月4日まで
回収結果	有効回収数410票（返戻4件）、有効回収率84.4%

3 調査の内容

調査は以下の内容で実施した。

【市民意識調査】

1. 「生涯学習活動」に対する考え方について
2. 「生涯学習活動」に関する情報、相談について
3. 「生涯学習活動」の成果の活用について
4. 地域の子どもたちに対する考えについて
5. 松戸市内の社会教育施設等について
6. あなたご自身のことについて

【団体アンケート調査】

1. 貴団体の概況について
2. 貴団体の「生涯学習活動」の状況について
3. 貴団体が「生涯学習活動」をする上で収集、発信する情報ニーズ等について
4. 貴団体の「生涯学習活動」の成果の活用について
5. 地域の子どもたちとの関わりについて
6. 松戸市内の社会教育施設等について

4 報告書の見方

報告書の見方は以下の通りである。

- (1) 調査結果の数値は原則として回答率 (%) で表記している。回答率 (%) の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、N=と表記している。また、複数回答についても回答者の数を母数としている。
- (2) 集計は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。このため、各回答率 (%) を足しあげても 100.0% とならない場合がある。
- (3) 属性別集計の際に用いている属性が記入漏れとなっている場合に関しては、全体の回答数には含むが、属性別集計の回答数には含まない。従って、全体の回答数と属性ごとの回答数の合計が一致しない場合がある。
- (4) 複数回答のグラフについては回答割合が高い項目を上から順に掲載している。属性別集計表における項目は左から順に調査票の選択肢順どおりとしている。
- (5) 属性別集計表における回答割合が濃いグレーで示されている箇所は全体の回答割合より 10 ポイント以上多い項目となっており、薄いグレーで示されている箇所は全体の回答割合より 10 ポイント以上少ない項目となっている。属性別集計表に関するコメントとしては、こうした全体との差が見られるものについて特筆している。

5 標本誤差について

調査結果の比率から母集団（18歳以上の市民全体）の傾向を推測するには、統計上の誤差（標本誤差）を考慮する必要がある。この誤差は回答者数と各設問の回答割合から、以下の式により求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団数

n=比率算出の基数（サンプル数）

p=回答の比率

各回答比率における標本誤差早見表（信頼度 95%）

回答の比率 (p) 基数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,600	±2.1%	±2.8%	±3.2%	±3.5%	±3.5%
1,400	±2.3%	±3.0%	±3.5%	±3.7%	±3.8%
1,235	±2.4%	±3.2%	±3.7%	±3.9%	±4.0%
1,000	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
800	±3.0%	±4.0%	±4.6%	±4.9%	±5.0%

【早見表の見方】

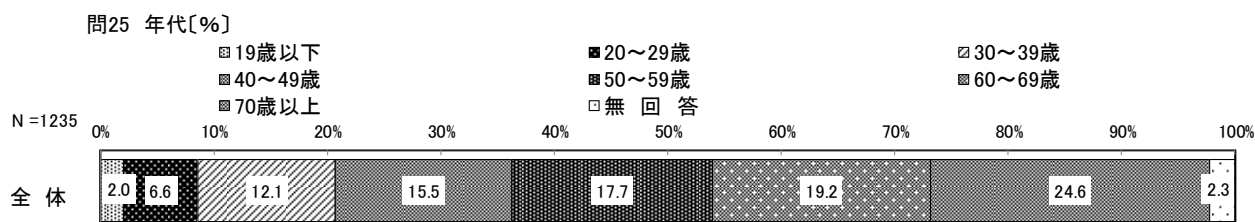
今回の調査の回答者数（1,235人）で、ある設問の回答率が50%であった場合、松戸市（18歳以上の市民全体）のこの設問に対する回答の誤差は±4.0%の範囲内であると考えられる。

2-1. 市民意識調査の結果

1 回答者の属性

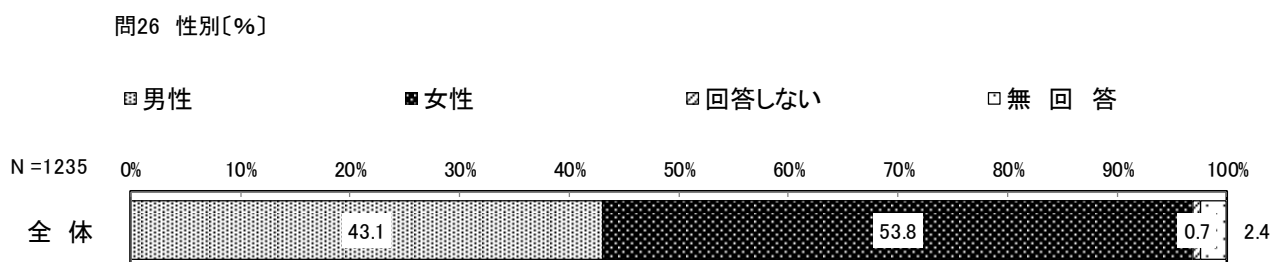
(1) 令和元年8月23日現在、あなたの年齢は次のうちどれですか。

「70歳以上」が24.6%と最も多く、次いで「60～69歳」(19.2%)、「50～59歳」(17.7%)である。



(2) あなたの性別は次のうちどれですか。

「女性」が53.8%と多く、次いで「男性」(43.1%)である。

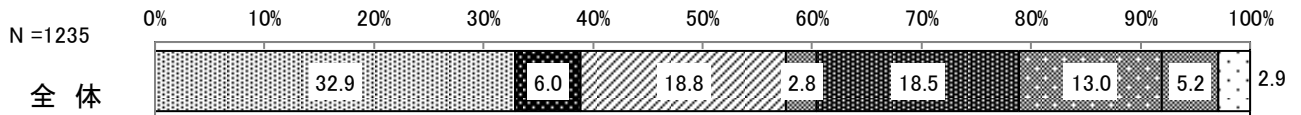


(3) あなたの職業は次のうちどれですか。

「正社員・公務員・団体職員など」が32.9%と最も多く、次いで「アルバイトやパートなど（短期雇用契約社員・派遣社員を含む）」(18.8%)、「専業主婦・主夫」(18.5%)である。

問27 職業[%]

- 正社員・公務員・団体職員など
- アルバイトやパートなど(短期雇用契約社員・派遣社員を含む)
- 専業主婦・主夫
- その他
- 自営業(農業を含む)
- 学生
- 収入のある仕事はしていない
- 無回答

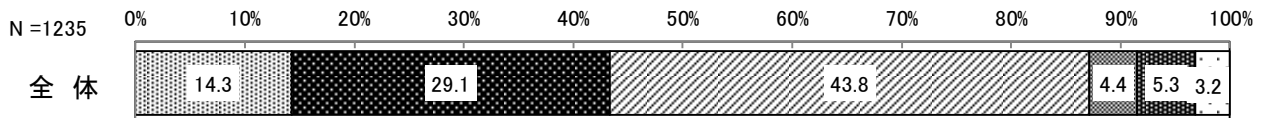


(4) あなたの世帯は次のうちどれですか。

「親と子ども世帯の2世代世帯」が43.8%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯（事実婚を含む）」(29.1%)、「単身世帯」(14.3%)である。

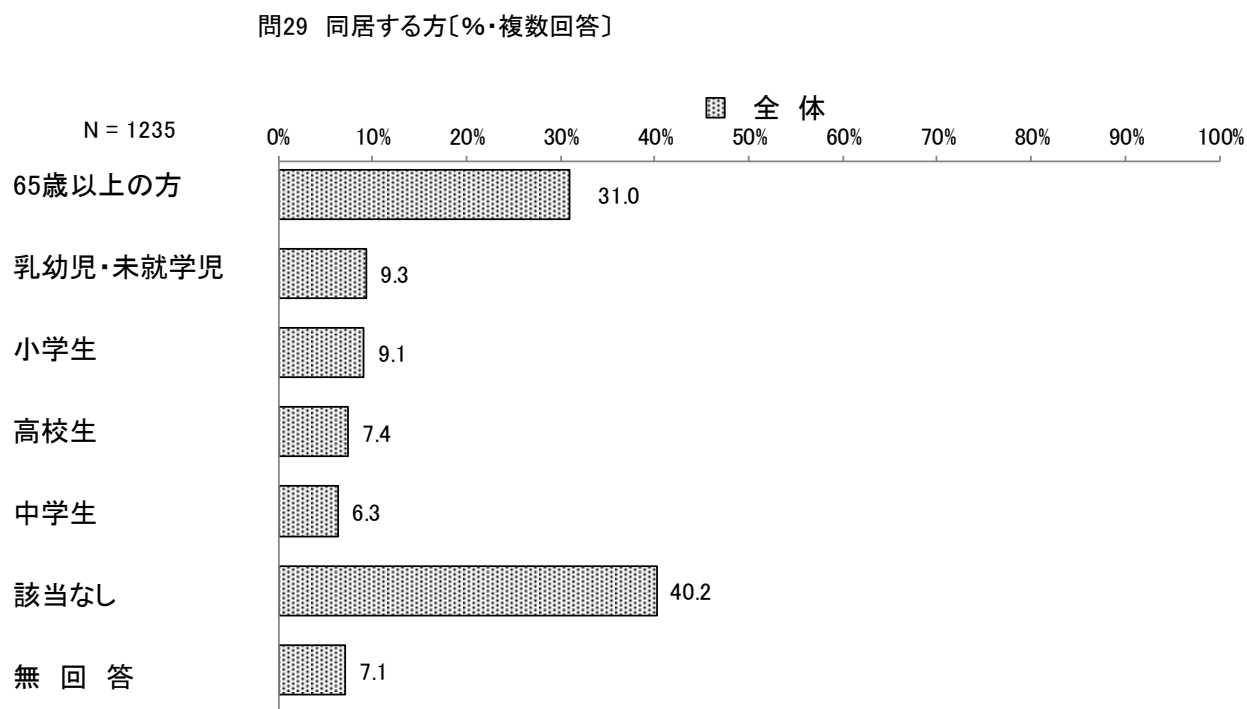
問28 家族構成[%]

- 単身世帯
- 親と子ども世帯の2世代世帯
- その他
- 夫婦のみ世帯(事実婚を含む)
- 親と子どもと孫の3世代以上の世帯
- 無回答



(5) あなたと同居する方(あなた自身を除く)で、次に該当する方はいますか。

「65歳以上の方」が31.0%と最も多く、次いで「乳幼児・未就学児」(9.3%)、「小学生」(9.1%)である。



2 「生涯学習活動」に対する考え方

(1) あなたは、この1年くらいの間に、どのような「生涯学習活動」をしましたか。

全体では、「趣味・教養に関すること」が39.8%と最も多く、次いで「仕事に必要な知識に関すること（専門分野、経営など）」(27.0%)、「健康に関すること（健康法、医療など）」(23.5%)である。

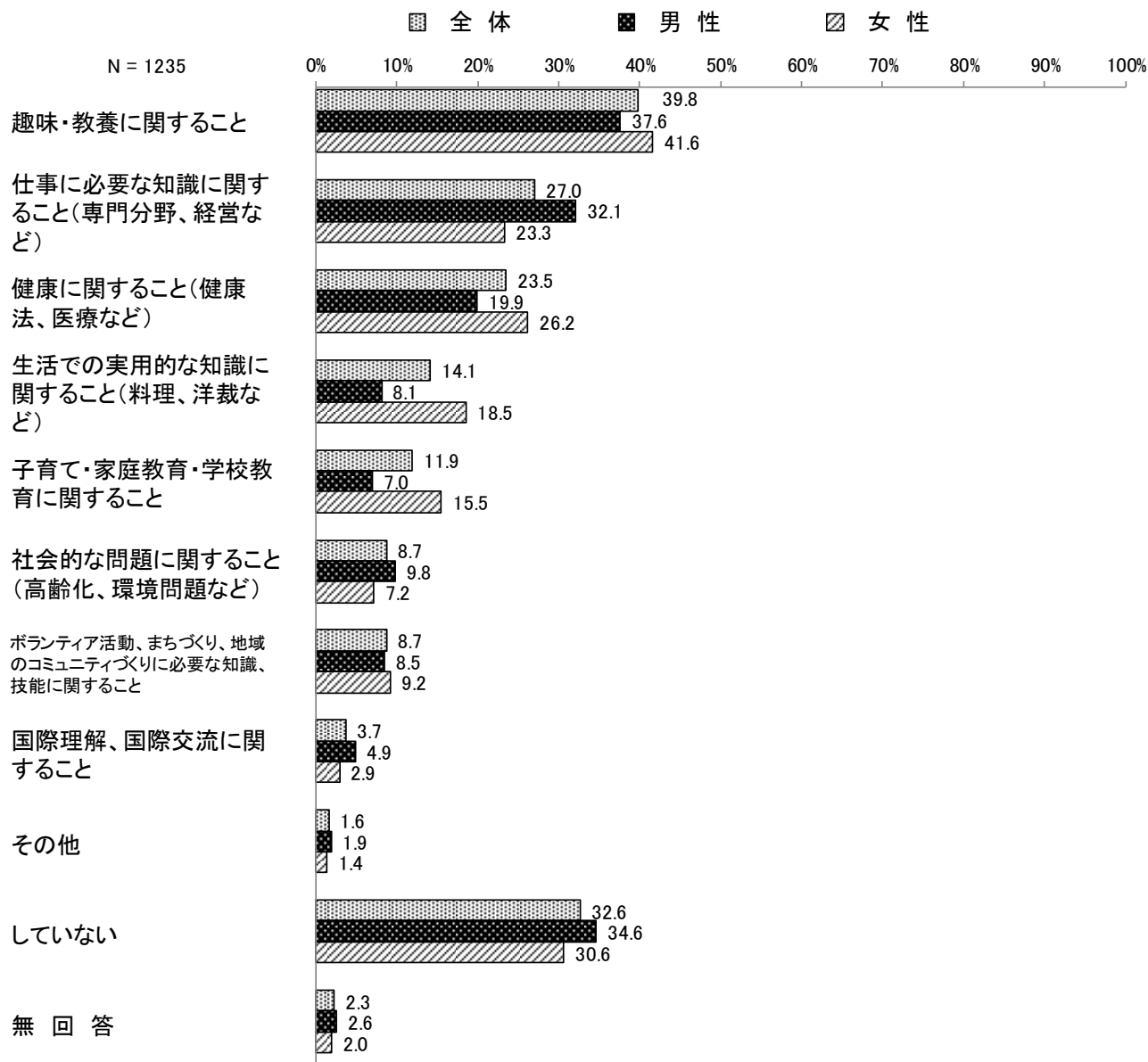
性別では、「生活での実用的な知識に関すること（料理、洋裁など）」で女性が18.5%と、男性の8.1%より10.4ポイント多くなっている。

年齢別では、「仕事に必要な知識に関すること（専門分野、経営など）」で全体の27.0%に対し、18～29歳が54.7%と27.7ポイント多くなっている。

職業別では、「健康に関すること（健康法、医療など）」で全体の23.5%に対し、自営業（農業を含む）が33.8%と10.3ポイント多くなっている。

平成26年調査との比較では、「仕事に必要な知識に関すること（専門分野、経営など）」で平成26年の14.4%に対し、令和元年が27.0%と12.6ポイント多くなっている。

問1 この1年にどんな学習(生涯)をしたか[%・複数回答]



【属性別集計表】

	調査数	問1 この1年にどんな学習(生涯)をしたか							
		趣味・教養に関すること	仕事に必要な知識に関すること(専門分野、経営など)	子育て・家庭教育・学校教育に関すること	生活での実用的な知識に関すること(料理、洋裁など)	健康に関すること(健康法、医療など)	社会的な問題に関すること(高齢化、環境問題など)	ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること	
全体	1235	39.8	27.0	11.9	14.1	23.5	8.7	8.7	
年齢別	18～29歳	106	52.8	54.7	11.3	22.6	12.3	7.5	7.5
	30～49歳	342	33.9	40.9	26.9	16.7	15.2	5.3	6.4
	50～69歳	455	38.0	24.0	6.2	11.4	24.0	6.8	8.8
	70歳以上	304	44.4	6.9	3.6	12.2	36.2	14.8	11.8
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	33.3	48.8	14.3	11.3	14.3	7.1	5.4
	自営業(農業を含む)	74	44.6	40.5	5.4	5.4	33.8	16.2	9.5
	アルバイトやパートなど	232	41.4	23.7	13.4	17.7	23.3	3.9	8.2
	学生	35	60.0	54.3	14.3	20.0	11.4	14.3	17.1
	専業主婦・主夫	228	41.7	4.4	16.7	20.6	32.5	7.9	12.3
	収入のある仕事はしていない	160	46.9	5.0	3.1	12.5	31.9	12.5	8.8
	その他	64	32.8	14.1	3.1	4.7	21.9	10.9	15.6

	調査数	問1 この1年にどんな学習(生涯)をしたか				
		国際理解、国際交流に関すること	していない	その他	無回答	
全体	1235	3.7	32.6	1.6	2.3	
年齢別	18～29歳	106	9.4	18.9	0.9	0.9
	30～49歳	342	3.8	29.2	1.2	0.9
	50～69歳	455	3.7	40.0	0.9	1.3
	70歳以上	304	1.3	29.3	3.0	5.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	5.4	33.5	0.5	1.2
	自営業(農業を含む)	74	6.8	31.1	4.1	2.7
	アルバイトやパートなど	232	2.6	35.3	0.4	2.6
	学生	35	14.3	11.4	2.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	0.9	31.1	1.3	2.2
	収入のある仕事はしていない	160	1.9	29.4	3.8	3.1
	その他	64	3.1	42.2	3.1	6.3

【平成26年調査との比較表】

	調査数	問1 この1年にどんな学習(生涯)をしたか							
		趣味・教養に関すること	仕事に必要な知識に関すること(専門分野、経営など)	健康に関すること(健康法、医療など)	生活での実用的な知識に関すること(料理、洋裁など)	子育て・家庭教育・学校教育に関すること	社会的な問題に関すること(高齢化、環境問題など)	ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること	国際理解、国際交流に関すること
令和元年	1235	39.8	27.0	23.5	14.1	11.9	8.7	8.7	3.7
平成26年	1583	46.7	14.4	33.2	11.6	14.9	9.5	16.3	3.5

	調査数	問1 この1年にどんな学習(生涯)をしたか		
		その他	していない	無回答
令和元年	1235	1.6	32.6	2.3
平成26年	1583	1.2	34.3	0.7

※「趣味・教養に関すること」の選択肢は平成26年における「趣味に関すること」「教養に関すること」を合計した割合、「子育て・家庭教育・学校教育に関すること」の選択肢は平成26年における「子育て・家庭教育に関すること」「学校教育に関すること」を合計した割合、「ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること」の選択肢は平成26年における「ボランティア活動や、その為に必要な知識、技能に関すること」「まちづくり、地域のコミュニティづくりに関すること」を合計した割合となる。また、「健康に関すること(健康法、医療など)」の選択肢は平成26年における「健康・スポーツに関すること」の割合となる。

(2) どのような方法で「生涯学習活動」をしていますか。

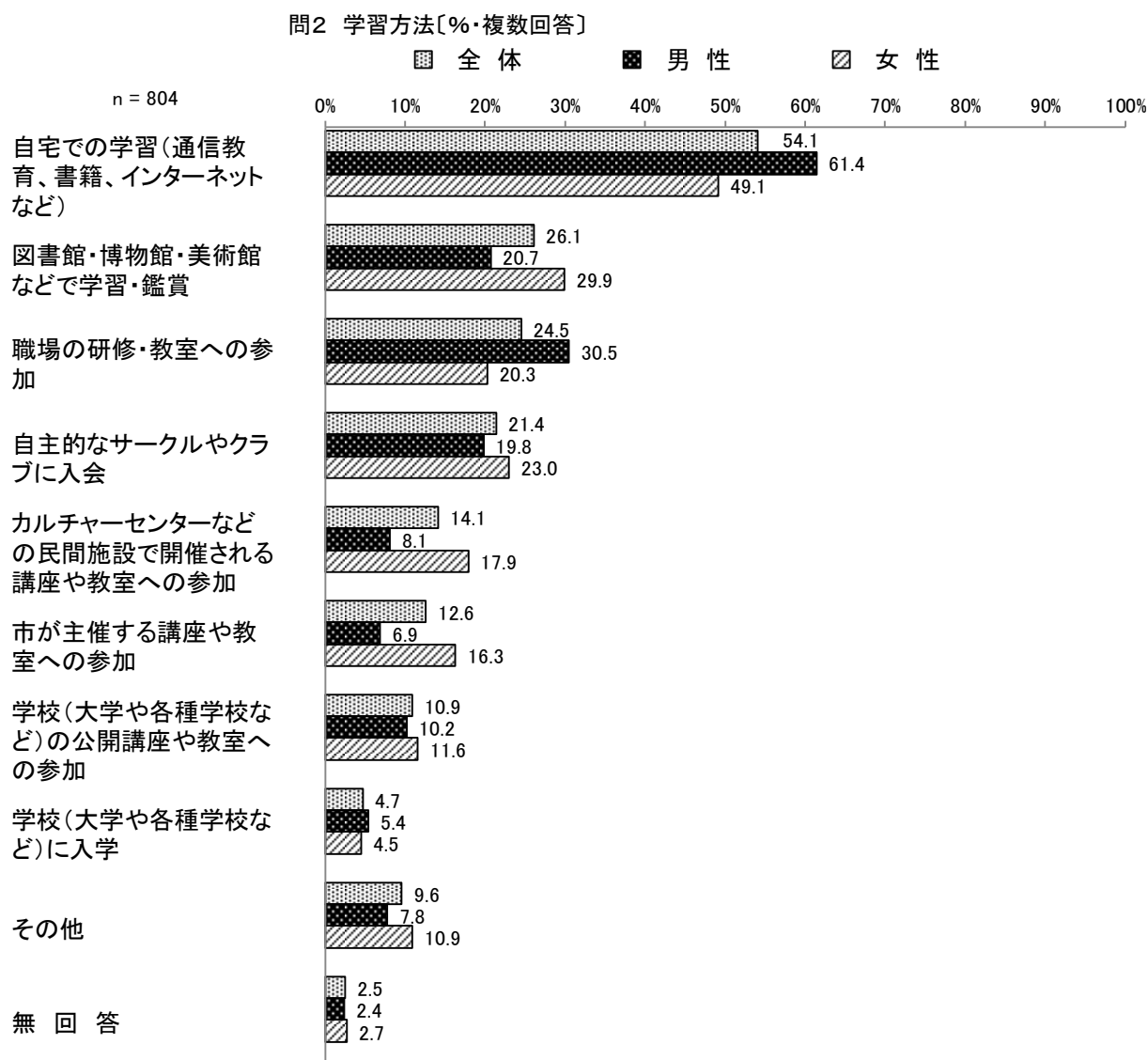
全体では、「自宅での学習（通信教育、書籍、インターネットなど）」が 54.1%と最も多く、次いで「図書館・博物館・美術館などで学習・鑑賞」（26.1%）、「職場の研修・教室への参加」（24.5%）である。

性別では、「自宅での学習（通信教育、書籍、インターネットなど）」で男性が 61.4%と、女性の 49.1%より 12.3 ポイント多くなっている。

年齢別では、「市が主催する講座や教室への参加」で全体の 12.6%に対して、18～29 歳が 0.0%と 12.6 ポイント少なくなっている。

職業別では、「職場の研修・教室への参加」で全体の 24.5%に対して、正社員・公務員・団体職員などが 54.0%と 29.5 ポイント多くなっている。

平成 26 年調査との比較では、「自主的なサークルやクラブに入会」で平成 26 年の 35.9%に対し、令和元年が 21.4%と 14.5 ポイント少なくなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問2 学習方法								
		市が主催する講座や教室への参加	学校(大学や各種学校など)の公開講座や教室への参加	職場の研修・教室への参加	カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室への参加	自宅での学習(通信教育、書籍、インターネットなど)	学校(大学や各種学校など)に入学	自主的なサークルやクラブに入会	図書館・博物館・美術館などで学習・鑑賞	
全体	804	12.6	10.9	24.5	14.1	54.1	4.7	21.4	26.1	
年齢別	18～29歳	85	0.0	29.4	40.0	1.2	65.9	25.9	12.9	16.5
	30～49歳	239	9.6	12.1	37.2	9.2	64.0	1.7	11.3	28.5
	50～69歳	267	10.9	5.6	24.3	17.2	55.4	3.0	18.4	27.3
	70歳以上	197	22.3	8.6	3.6	19.8	36.5	2.0	41.6	25.4
	正社員・公務員・団体職員など	265	5.7	9.4	54.0	7.2	66.8	2.6	9.8	21.9
職業別	自営業(農業を含む)	49	16.3	6.1	20.4	18.4	61.2	6.1	20.4	28.6
	アルバイトやパートなど	144	13.2	10.4	20.1	17.4	53.5	1.4	20.1	31.9
	学生	31	0.0	61.3	12.9	0.0	54.8	64.5	22.6	12.9
	専業主婦・主夫	152	17.1	8.6	2.0	19.7	42.8	2.6	34.2	27.0
	収入のある仕事はしていない	108	14.8	3.7	4.6	15.7	46.3	0.9	30.6	26.9
	その他	33	33.3	18.2	3.0	24.2	33.3	3.0	33.3	33.3

	調査数	問2 学習方法		
		その他	無回答	
全体	804	9.6	2.5	
年齢別	18～29歳	85	5.9	0.0
	30～49歳	239	9.2	0.8
	50～69歳	267	10.1	1.9
	70歳以上	197	10.2	6.6
	正社員・公務員・団体職員など	265	7.5	1.1
職業別	自営業(農業を含む)	49	14.3	2.0
	アルバイトやパートなど	144	7.6	1.4
	学生	31	9.7	0.0
	専業主婦・主夫	152	7.2	3.3
	収入のある仕事はしていない	108	13.9	7.4
	その他	33	18.2	3.0

【平成26年調査との比較表】

	調査数	問2 学習方法							
		市が主催する講座や教室への参加	学校(大学や各種学校など)の公開講座や教室への参加	職場の研修・教室への参加	カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室への参加	自宅での学習(通信教育、書籍、インターネットなど)	学校(大学や各種学校など)に入学	自主的なサークルやクラブに入会	図書館・博物館・美術館などで学習・鑑賞
令和元年	804	12.6	10.9	24.5	14.1	54.1	4.7	21.4	26.1
平成26年	1029	13.0	11.2	14.8	31.5	48.5	4.0	35.9	21.8

	調査数	問2 学習方法	
		その他	無回答
令和元年	804	9.6	2.5
平成26年	1029	7.8	4.1

※「自宅での学習(通信教育、書籍、インターネットなど)」の選択肢は平成26年における「自宅での学習(書籍やインターネットなど)」「通信教育での学習」を合計した割合、「カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室への参加」の選択肢は平成26年における「民間団体などが主催する講座・教室への参加」「民間施設のカルチャーセンターなどに入会」を合計した割合となる。

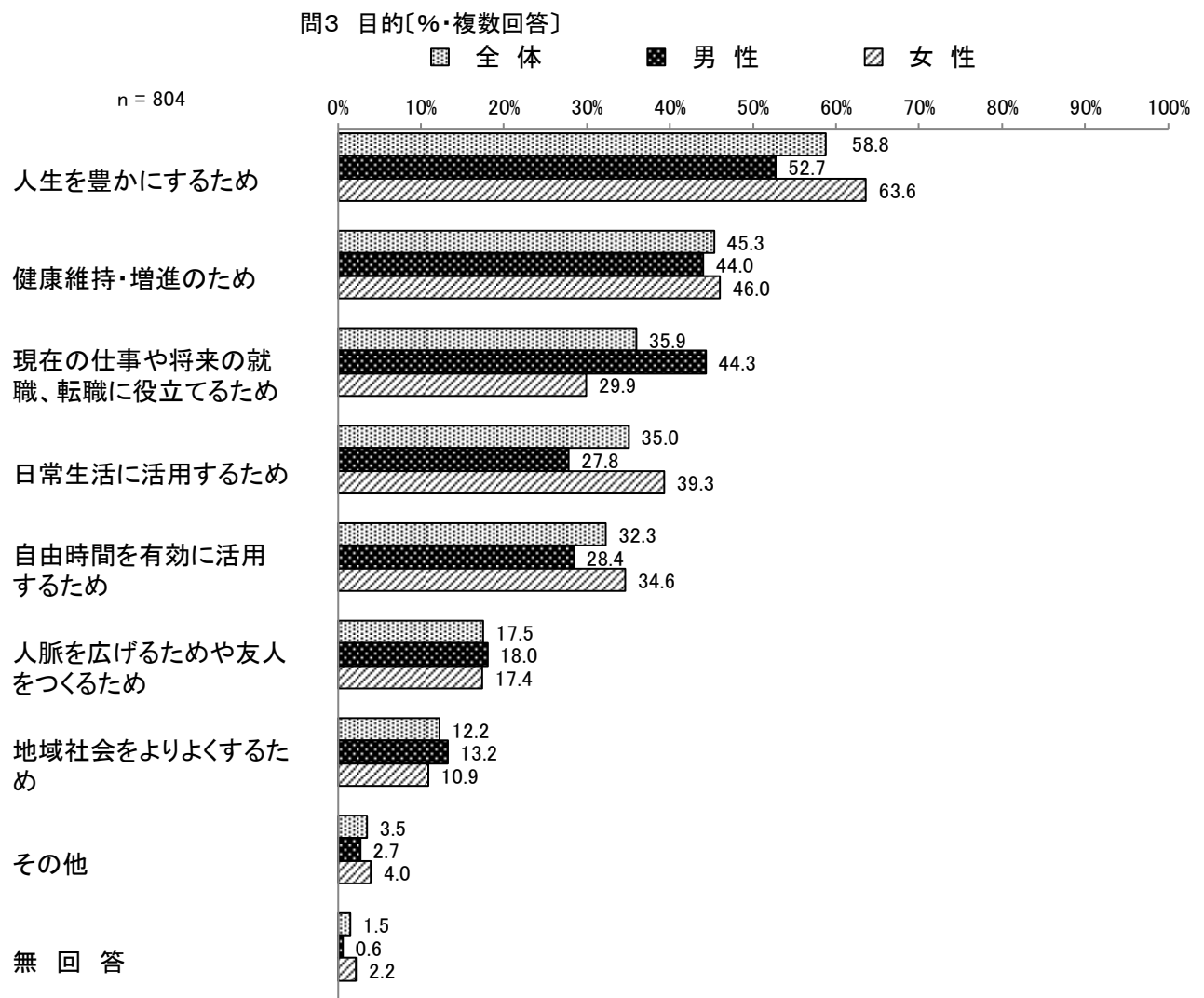
(3) あなたは何のために「生涯学習活動」をしていますか。

全体では、「人生を豊かにするため」が 58.8%と最も多く、次いで「健康維持・増進のため」(45.3%)、「現在の仕事や将来の就職、転職に役立てるため」(35.9%)である。

性別では、「現在の仕事や将来の就職、転職に役立てるため」で男性が 44.3%と、女性の 29.9%より 14.4ポイント多くなっている。

年齢別では、「健康維持・増進のため」で全体の 45.3%に対して、70歳以上が 69.0%と 23.7ポイント多くなっている。

職業別では、「現在の仕事や将来の就職、転職に役立てるため」で全体の 35.9%に対して、学生が 74.2%と 38.3ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問3 目的								
		健康維持・増進のため	人生を豊かにするため	自由時間を有効に活用するため	現在の仕事や将来の就職、転職に役立てるため	日常生活に活用するため	地域社会をよりよくするため	人脈を広げるためや友人をつくるため	その他	
全体	804	45.3	58.8	32.3	35.9	35.0	12.2	17.5	3.5	
年齢別	18～29歳	85	25.9	58.8	27.1	69.4	35.3	4.7	17.6	2.4
	30～49歳	239	27.2	53.1	28.5	53.1	37.2	8.8	10.0	3.3
	50～69歳	267	49.4	64.4	32.2	33.0	33.0	10.1	16.5	3.7
	70歳以上	197	69.0	58.9	38.6	5.1	33.5	21.3	28.4	3.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	265	30.2	53.6	23.8	66.0	29.4	7.5	11.7	1.5
	自営業(農業を含む)	49	57.1	73.5	24.5	42.9	34.7	18.4	24.5	6.1
	アルバイトやパートなど	144	44.4	62.5	37.5	31.9	38.2	6.9	17.4	4.9
	学生	31	16.1	64.5	9.7	74.2	29.0	6.5	19.4	6.5
	専業主婦・主夫	152	57.2	57.9	40.1	5.9	45.4	13.2	21.1	2.0
	収入のある仕事はしていない	108	64.8	58.3	42.6	6.5	30.6	18.5	19.4	3.7
	その他	33	57.6	69.7	42.4	9.1	24.2	36.4	33.3	9.1

	調査数	問3 目的	
		無回答	
全体	804	1.5	
年齢別	18～29歳	85	1.2
	30～49歳	239	0.8
	50～69歳	267	1.5
	70歳以上	197	2.5
職業別	正社員・公務員・団体職員など	265	1.5
	自営業(農業を含む)	49	2.0
	アルバイトやパートなど	144	1.4
	学生	31	0.0
	専業主婦・主夫	152	2.6
	収入のある仕事はしていない	108	0.9
	その他	33	0.0

(4) 今後、どのようなことを学びたいと思いますか。

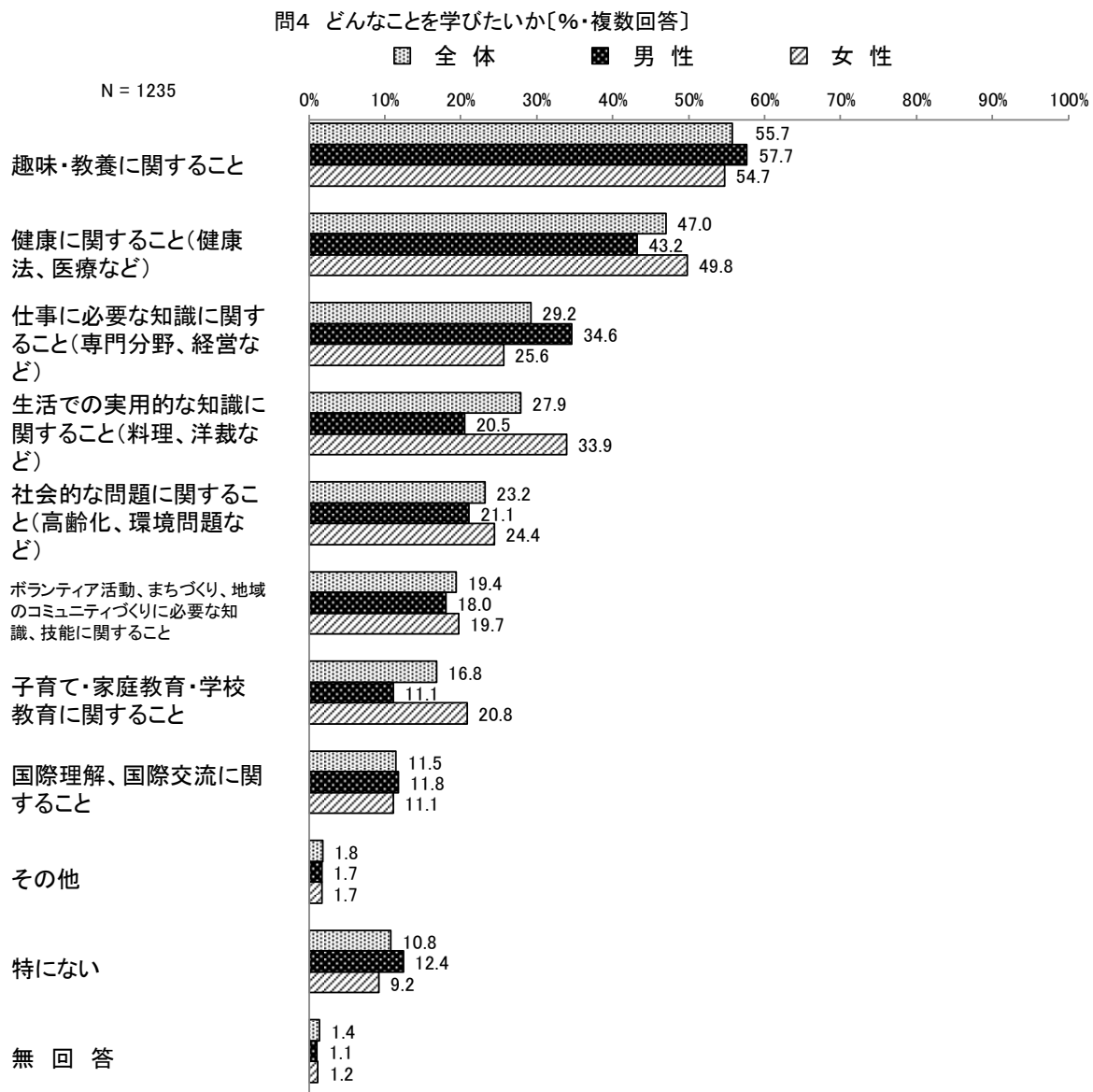
全体では、「趣味・教養に関すること」が 55.7%と最も多く、次いで「健康に関すること（健康法、医療など）」(47.0%)、「仕事に必要な知識に関すること（専門分野、経営など）」(29.2%)である。

性別では、「生活での実用的な知識に関すること（料理、洋裁など）」で女性が 33.9%と、男性の 20.5%より 13.4ポイント多くなっている。

年齢別では、「仕事に必要な知識に関すること（専門分野、経営など）」で全体の 29.2%に対して、18～29歳では 64.2%と 35.0ポイント多くなっている。

職業別では、「仕事に必要な知識に関すること（専門分野、経営など）」で全体の 29.2%に対して、学生では 65.7%と 36.5ポイント多くなっている。

平成 26 年調査との比較では、「趣味・教養に関すること」で平成 26 年の 80.6%に対し、令和元年が 55.7%と 24.9ポイント少なくなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問4 どんなことを学びたいか								
		趣味・教養に関すること	仕事に必要な知識に関すること(専門分野、経営など)	子育て・家庭教育・学校教育に関すること	生活での実用的な知識に関すること(料理、洋裁など)	健康に関すること(健康法、医療など)	社会的な問題に関すること(高齢化、環境問題など)	ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること	国際理解、国際交流に関すること	
全体	1235	55.7	29.2	16.8	27.9	47.0	23.2	19.4	11.5	
年齢別	18～29歳	106	62.3	64.2	29.2	39.6	35.8	12.3	11.3	17.0
	30～49歳	342	56.7	47.4	38.0	35.7	37.4	16.1	15.2	15.5
	50～69歳	455	59.3	23.5	6.6	27.0	52.5	25.5	24.6	11.4
	70歳以上	304	47.7	6.3	3.3	16.4	53.3	30.6	18.1	4.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	57.9	51.7	24.6	32.3	39.4	18.0	19.0	14.5
	自営業(農業を含む)	74	59.5	40.5	6.8	16.2	55.4	32.4	18.9	17.6
	アルバイトやパートなど	232	58.2	27.6	16.8	32.8	56.9	26.7	22.0	11.2
	学生	35	68.6	65.7	17.1	34.3	37.1	22.9	17.1	31.4
	専業主婦・主夫	228	52.2	6.1	18.0	31.1	50.9	25.0	17.5	5.3
	収入のある仕事はしていない	160	52.5	4.4	3.8	16.9	50.0	22.5	18.1	6.3
	その他	64	48.4	12.5	4.7	9.4	35.9	26.6	21.9	10.9

	調査数	問4 どんなことを学びたいか			
		特にない	その他	無回答	
全体	1235	10.8	1.8	1.4	
年齢別	18～29歳	106	4.7	1.9	0.0
	30～49歳	342	8.5	0.9	0.9
	50～69歳	455	9.9	2.4	0.4
	70歳以上	304	15.8	1.3	3.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	8.1	2.0	0.2
	自営業(農業を含む)	74	9.5	1.4	2.7
	アルバイトやパートなど	232	8.2	0.9	0.9
	学生	35	0.0	0.0	0.0
	専業主婦・主夫	228	11.4	1.8	2.6
	収入のある仕事はしていない	160	19.4	0.6	1.9
	その他	64	14.1	6.3	3.1

【平成 26 年調査との比較表】

	調査数	問4 どんなことを学びたいか							
		趣味・教養に関すること	仕事に必要な知識に関すること(専門分野、経営など)	健康に関すること(健康法、医療など)	生活での実用的な知識に関すること(料理、洋裁など)	子育て・家庭教育・学校教育に関すること	社会的な問題に関すること(高齢化、環境問題など)	ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること	国際理解、国際交流に関すること
令和元年	1235	55.7	29.2	47.0	27.9	16.8	23.2	19.4	11.5
平成26年	1583	80.6	21.8	53.1	28.4	22.8	27.2	32.1	10.9

	調査数	問4 どんなことを学びたいか		
		その他	特にない	無回答
令和元年	1235	1.8	10.8	1.4
平成26年	1583	1.2	4.9	1.1

※「趣味・教養に関すること」の選択肢は平成 26 年における「趣味に関すること(絵画、音楽、アウトドアライフなど)」「教養に関すること(歴史、文学、政治など)」を合計した割合、「子育て・家庭教育・学校教育に関すること」の選択肢は平成 26 年における「子育て・家庭教育に関すること」「学校教育に関すること」を合計した割合、「ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること」の選択肢は平成 26 年における「ボランティア活動や、その為に必要な知識、技能に関すること」「まちづくり、地域のコミュニティづくりに関すること」を合計した割合となる。また、「健康に関すること(健康法、医療など)」の選択肢は平成 26 年における「健康・スポーツに関すること」の割合となる。

(5) あなたは、地域の学習環境を充実させるために何が必要だと思いますか。

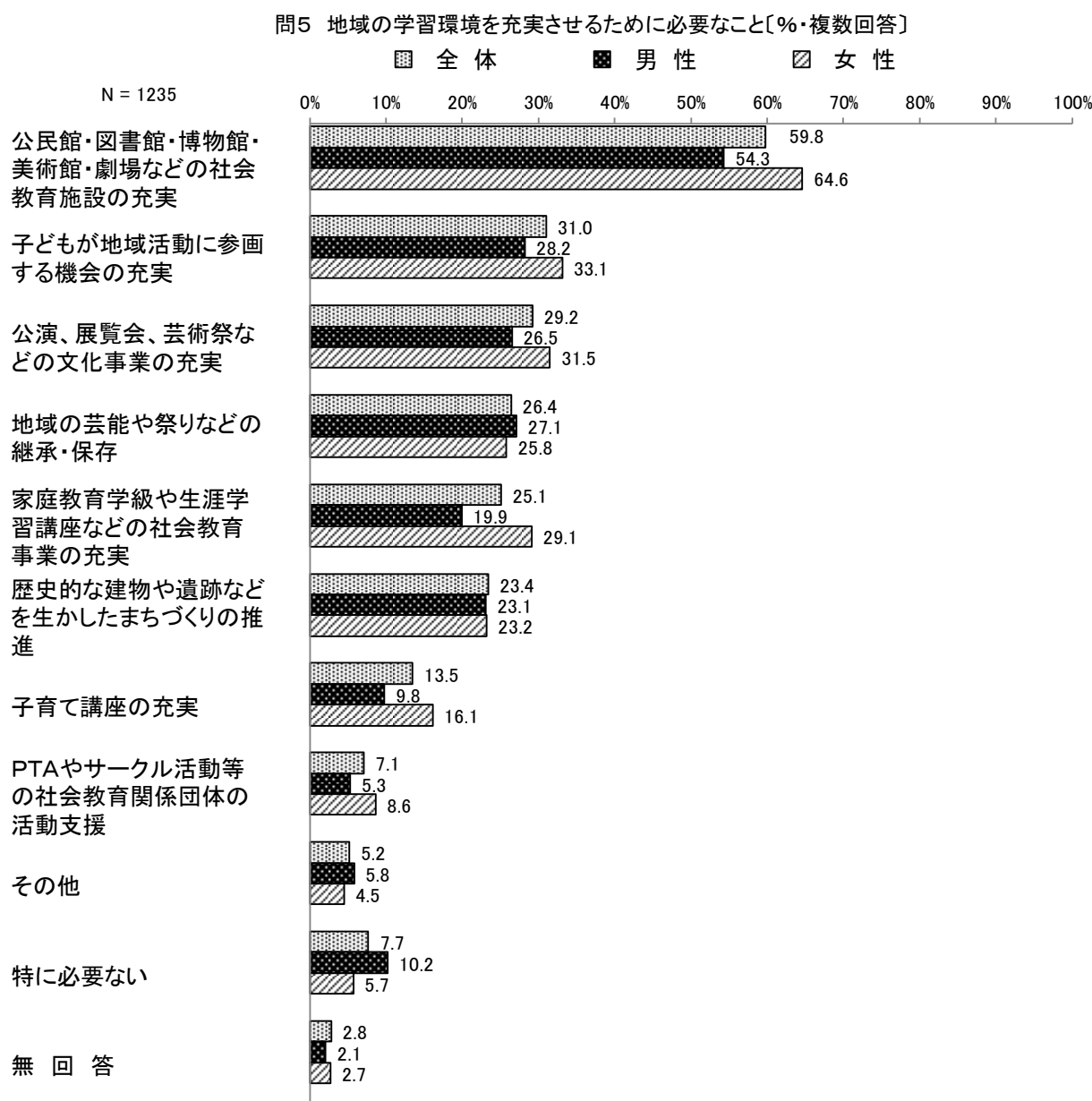
全体では、「公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実」が59.8%と最も多く、次いで「子どもが地域活動に参画する機会の充実」(31.0%)、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」(29.2%)である。

性別では、「公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実」で女性が64.6%と、男性の54.3%より10.3ポイント多くなっている。

年齢別では、「子どもが地域活動に参画する機会の充実」で全体の31.0%に対して、30～49歳では42.1%と11.1ポイント多くなっている。

職業別では、「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」で全体の26.4%に対して、自営業(農業を含む)では36.5%と10.1ポイント多くなっている。

平成26年調査との比較では、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」で平成26年の10.4%に対し、令和元年が29.2%と18.8ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問5 地域の学習環境を充実させるために必要なこと								
		公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実	家庭教育学級や生涯学習講座などの社会教育事業の充実	PTAやサークル活動等の社会教育関係団体の活動支援	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進	子育て講座の充実	子どもが地域活動に参画する機会の充実	
全体	1235	59.8	25.1	7.1	29.2	26.4	23.4	13.5	31.0	
年齢別	18～29歳	106	57.5	19.8	6.6	22.6	25.5	26.4	21.7	38.7
	30～49歳	342	62.3	25.1	7.6	22.5	28.1	21.3	24.3	42.1
	50～69歳	455	62.2	27.9	7.0	36.0	25.3	26.2	7.7	26.2
	70歳以上	304	53.6	23.4	6.6	28.0	26.0	19.7	6.9	23.0
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	58.1	26.4	4.4	29.1	29.8	26.1	16.5	35.0
	自営業(農業を含む)	74	54.1	27.0	9.5	36.5	36.5	25.7	10.8	28.4
	アルバイトやパートなど	232	63.8	31.5	9.1	31.5	27.6	27.6	16.4	33.6
	学生	35	60.0	17.1	8.6	11.4	22.9	28.6	20.0	40.0
	専業主婦・主夫	228	64.5	25.0	7.5	26.8	20.2	14.9	11.0	30.7
	収入のある仕事はしていない	160	51.9	18.8	8.8	31.3	23.1	21.3	5.6	20.6
	その他	64	60.9	18.8	7.8	28.1	20.3	15.6	9.4	23.4

	調査数	問5 地域の学習環境を充実させるために必要なこと			
		特に必要ない	その他	無回答	
全体	1235	7.7	5.2	2.8	
年齢別	18～29歳	106	8.5	4.7	0.9
	30～49歳	342	4.7	6.1	0.6
	50～69歳	455	7.3	4.4	1.5
	70歳以上	304	11.5	4.6	6.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	7.1	5.9	0.5
	自営業(農業を含む)	74	6.8	5.4	6.8
	アルバイトやパートなど	232	6.5	3.9	1.7
	学生	35	5.7	5.7	0.0
	専業主婦・主夫	228	7.0	3.9	3.5
	収入のある仕事はしていない	160	11.3	4.4	5.6
	その他	64	9.4	10.9	3.1

【平成 26 年調査との比較表】

	調査数	問5 地域の学習環境を充実させるために必要なこと								
		公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実	家庭教育学級や生涯学習講座などの社会教育事業の充実	PTAやサークル活動等の社会教育関係団体の活動支援	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進	子育て講座の充実	子どもが地域活動に参画する機会の充実	
令和元年	1235	59.8	25.1	7.1	29.2	26.4	23.4	13.5	31.0	
平成26年	1583	47.6	12.8	6.1	10.4	14.0	8.1	9.4	16.6	

	調査数	問5 地域の学習環境を充実させるために必要なこと		
		その他	特に必要ない	無回答
令和元年	1235	5.2	7.7	2.8
平成26年	1583	3.7	6.2	3.0

※「公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実」の選択肢は、平成 26 年における「公民館・図書館などの社会教育施設の充実」「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」を合計した割合となる。また、「子育て講座の充実」の選択肢は平成 26 年における「子育てサロンなど子育て支援活動の促進」の割合となる。

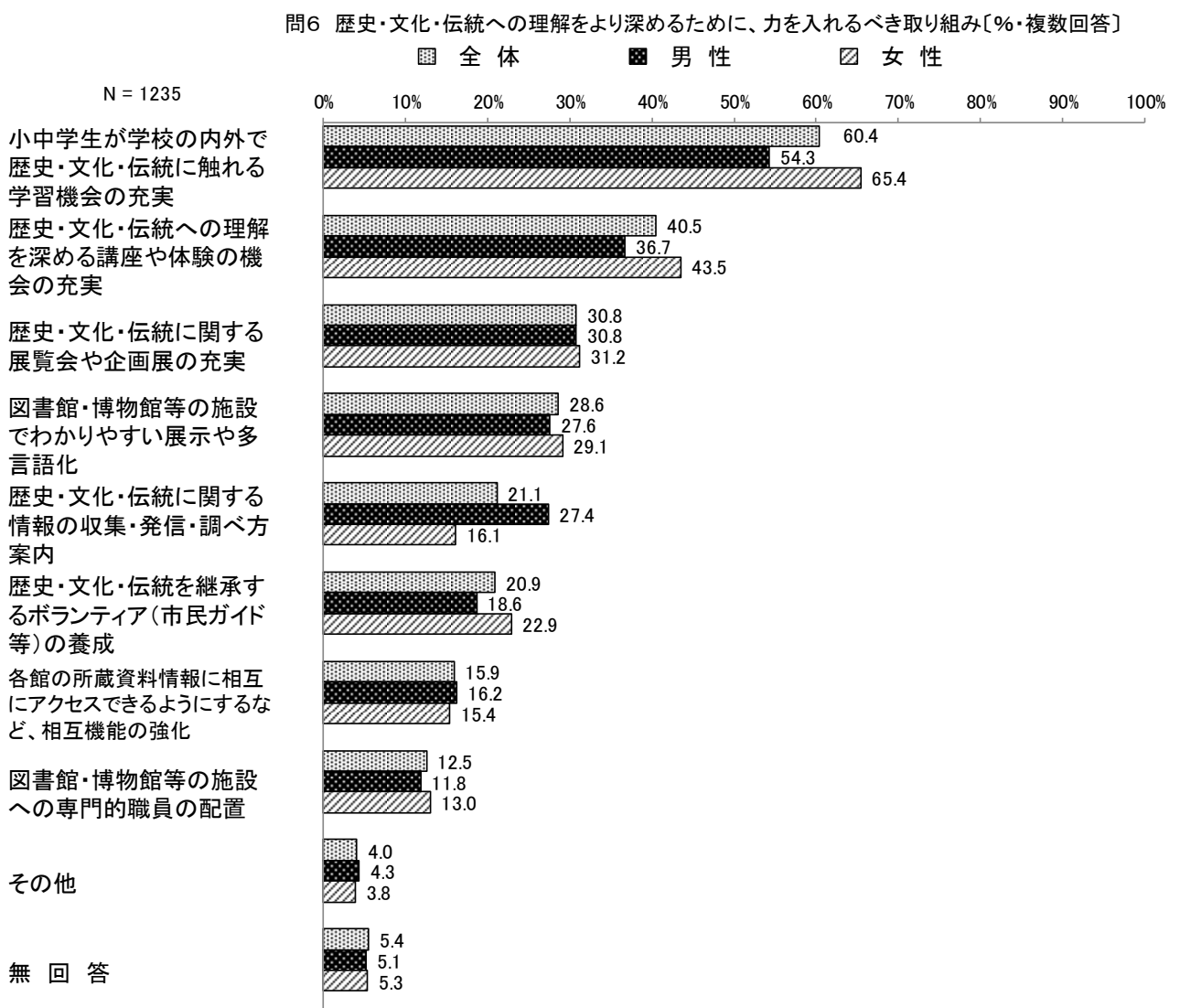
(6) あなたは、市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるために、市としてどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。

全体では、「小中学生が学校の内外で歴史・文化・伝統に触れる学習機会の充実」が60.4%と最も多く、次いで「歴史・文化・伝統への理解を深める講座や体験の機会の充実」(40.5%)、「歴史・文化・伝統に関する展覧会や企画展の充実」(30.8%)である。

性別では、「歴史・文化・伝統に関する情報の収集・発信・調べ方案内」で男性が27.4%と、女性の16.1%より11.3ポイント多くなっている。

年齢別では、「歴史・文化・伝統に関する展覧会や企画展の充実」で全体の30.8%に対して、18～29歳では20.8%と10.0ポイント少なくなっている。

職業別では、「小中学生が学校の内外で歴史・文化・伝統に触れる学習機会の充実」で全体の60.4%に対して、学生では82.9%と22.5ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問6 歴史・文化・伝統への理解をより深めるために、力を入れるべき取り組み								
		小中学生が学校の内外で歴史・文化・伝統に触れる学習機会の充実	歴史・文化・伝統を継承するボランティア(市民ガイド等)の養成	歴史・文化・伝統に関する展示会や企画展の充実	歴史・文化・伝統への理解を深める講座や体験の機会の充実	歴史・文化・伝統に関する情報の収集・発信・調べ方案内	図書館・博物館等の施設でわかりやすい展示や多言語化	図書館・博物館等の施設への専門的職員の配置	各館の所蔵資料情報に相互にアクセスできるようにするなど、相互機能の強化	
全体	1235	60.4	20.9	30.8	40.5	21.1	28.6	12.5	15.9	
年齢別	18～29歳	106	69.8	15.1	20.8	45.3	22.6	25.5	10.4	15.1
	30～49歳	342	69.9	14.6	30.4	39.2	20.2	31.9	11.7	15.8
	50～69歳	455	56.3	23.5	36.0	43.3	23.5	28.8	14.3	17.6
	70歳以上	304	52.3	26.0	27.0	35.9	18.1	24.7	11.2	13.2
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	63.5	17.2	31.5	40.1	25.1	27.6	10.6	16.7
	自営業(農業を含む)	74	59.5	25.7	45.9	45.9	25.7	29.7	20.3	20.3
	アルバイトやパートなど	232	61.2	22.8	35.3	51.7	16.8	34.9	12.9	17.7
	学生	35	82.9	17.1	8.6	37.1	20.0	28.6	8.6	14.3
	専業主婦・主夫	228	65.8	20.6	27.2	35.1	15.4	27.6	12.7	12.3
	収入のある仕事はしていない	160	45.6	26.3	26.3	33.8	24.4	21.9	10.6	13.8
	その他	64	43.8	21.9	28.1	31.3	20.3	26.6	15.6	15.6

	調査数	問6 歴史・文化・伝統への理解をより深めるために、力を入れるべき取り組み	
		その他	無回答
全体	1235	4.0	5.4
年齢別	18～29歳	106	0.9
	30～49歳	342	2.3
	50～69歳	455	3.7
	70歳以上	304	12.2
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	1.5
	自営業(農業を含む)	74	8.1
	アルバイトやパートなど	232	4.7
	学生	35	2.9
	専業主婦・主夫	228	7.5
	収入のある仕事はしていない	160	10.6
	その他	64	6.3

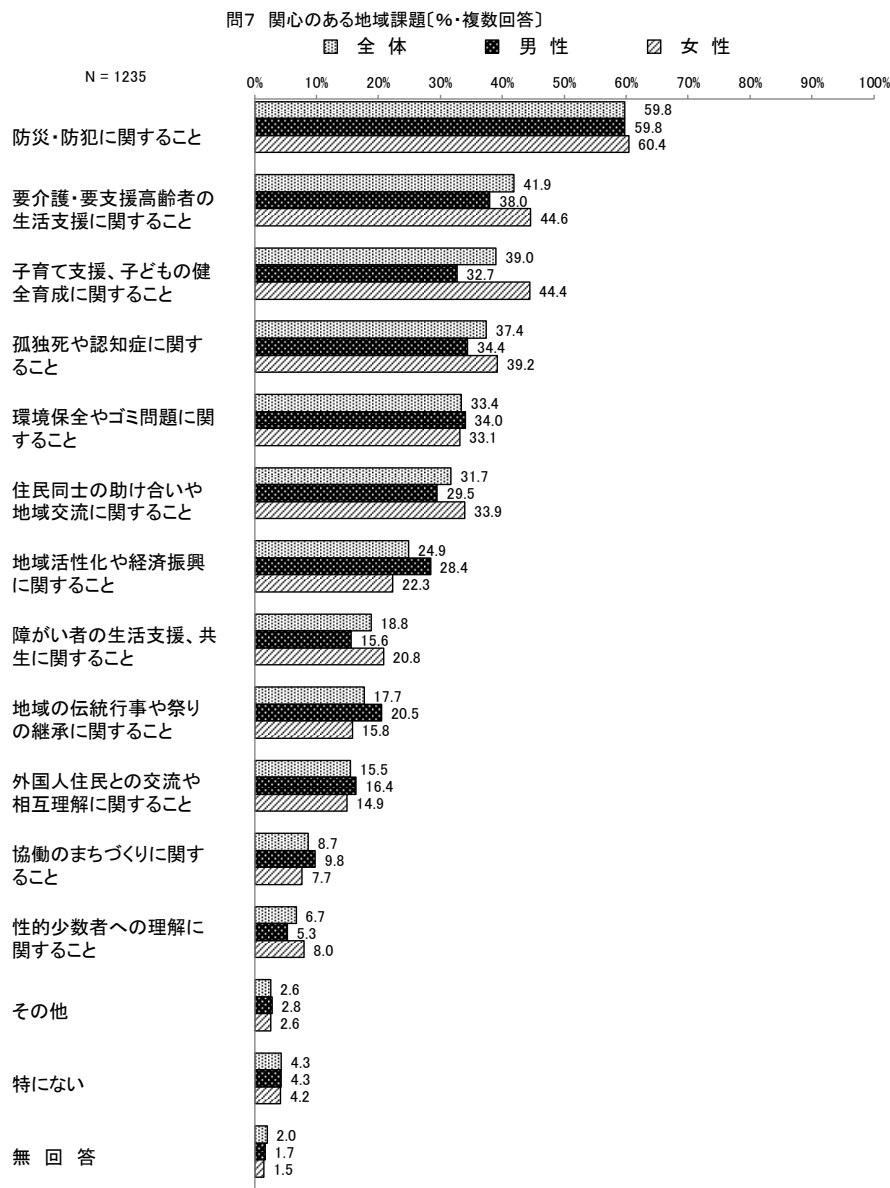
(7) あなたが関心を持っている地域課題は何ですか。

全体では、「防災・防犯に関すること」が59.8%と最も多く、次いで「要介護・要支援高齢者の生活支援に関すること」(41.9%)、「子育て支援、子どもの健康育成に関すること」(39.0%)である。

性別では、「子育て支援、子どもの健全育成に関すること」で女性が44.4%と、男性の32.7%より11.7ポイント多くなっている。

年齢別では、「要介護・要支援高齢者の生活支援に関すること」で全体の41.9%に対して、70歳以上では54.6%と12.7ポイント多くなっている。

職業別では、「外国人住民との交流や相互理解に関すること」で全体の15.5%に対して、学生では25.7%と10.2ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問7 関心のある地域課題								
		子育て支援、子どもの健全育成に関すること	防災・防犯に関すること	孤独死や認知症に関すること	要介護・要支援高齢者の生活支援に関すること	環境保全やゴミ問題に関すること	住民同士の助け合いや地域交流に関すること	地域の伝統行事や祭りの継承に関すること	協働のまちづくりに関すること	
全体	1235	39.0	59.8	37.4	41.9	33.4	31.7	17.7	8.7	
年齢別	18～29歳	106	50.0	54.7	20.8	21.7	22.6	18.9	6.6	
	30～49歳	342	58.2	64.6	28.1	29.5	29.2	26.9	6.4	
	50～69歳	455	29.7	61.3	40.2	46.4	38.2	30.8	10.1	
	70歳以上	304	28.0	54.6	48.4	54.6	34.9	43.8	9.9	
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	43.8	60.3	30.0	32.8	31.8	28.3	9.6	
	自営業(農業を含む)	74	32.4	58.1	39.2	48.6	39.2	37.8	10.8	
	アルバイトやパートなど	232	45.3	62.5	40.9	44.4	35.3	34.9	7.8	
	学生	35	45.7	57.1	20.0	17.1	28.6	17.1	2.9	
	専業主婦・主夫	228	40.4	64.5	39.9	46.9	35.1	35.5	7.5	
	収入のある仕事はしていない	160	23.8	55.6	44.4	53.1	30.6	31.9	6.9	
	その他	64	28.1	46.9	45.3	46.9	34.4	29.7	15.6	

	調査数	問7 関心のある地域課題							
		障がい者の生活支援、共生に関すること	外国人住民との交流や相互理解に関すること	性的少数者への理解に関すること	地域活性化や経済振興に関すること	特になし	その他	無回答	
全体	1235	18.8	15.5	6.7	24.9	4.3	2.6	2.0	
年齢別	18～29歳	106	27.4	25.5	14.2	25.5	6.6	2.8	0.0
	30～49歳	342	17.8	17.5	9.6	29.2	3.5	2.0	0.9
	50～69歳	455	19.3	15.4	5.1	22.9	4.4	2.6	1.1
	70歳以上	304	14.8	9.9	3.3	22.0	4.6	3.0	3.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	16.7	20.0	9.1	31.3	5.2	2.0	0.7
	自営業(農業を含む)	74	24.3	20.3	6.8	37.8	1.4	6.8	1.4
	アルバイトやパートなど	232	21.1	18.5	7.8	21.1	3.9	3.0	1.3
	学生	35	22.9	25.7	11.4	25.7	5.7	2.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	16.7	7.5	4.8	15.4	3.1	1.8	3.1
	収入のある仕事はしていない	160	17.5	8.8	1.9	23.1	6.3	1.9	2.5
	その他	64	20.3	12.5	4.7	21.9	3.1	3.1	3.1

3 「生涯学習活動」に関する情報、相談について

(1) あなたは、市が提供する生涯学習の情報をどのように得ていますか。

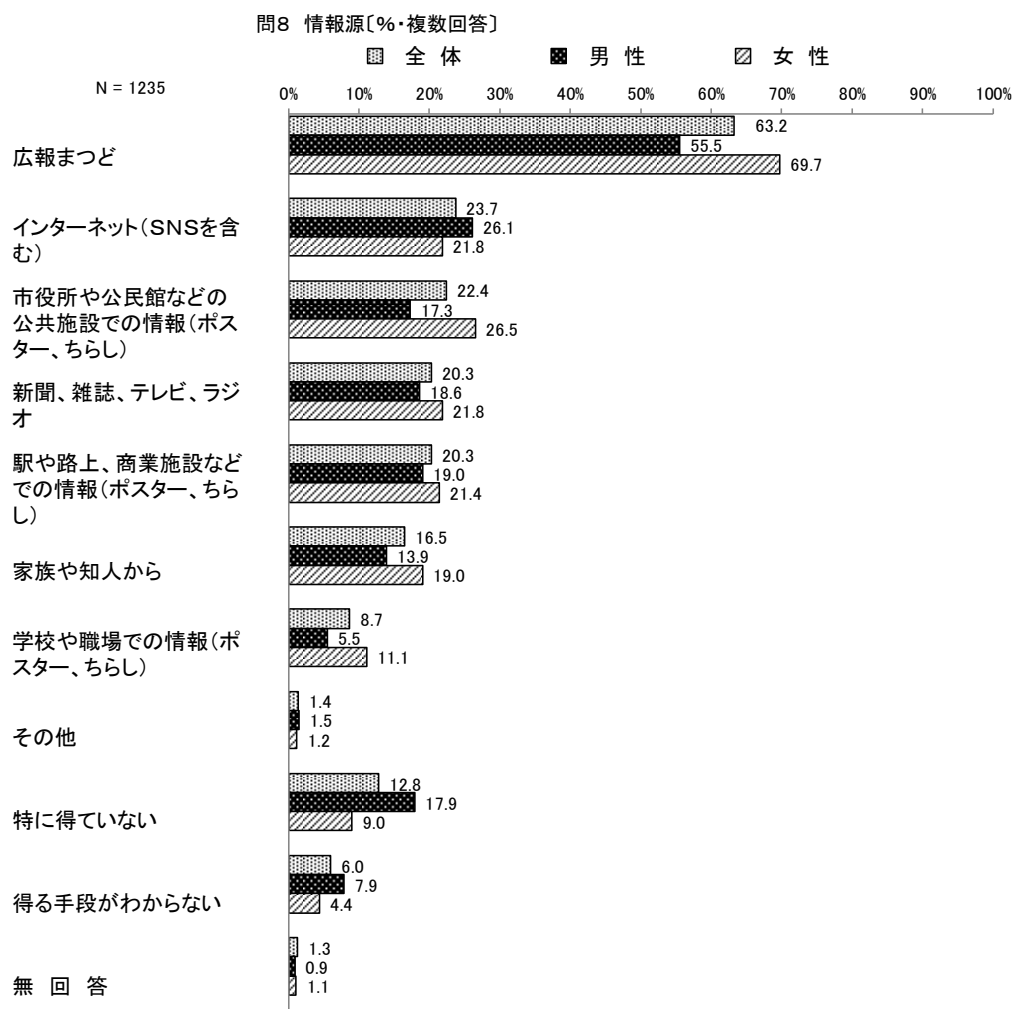
全体では、「広報まつど」が63.2%と最も多く、次いで「インターネット（SNSを含む）」(23.7%)、「市役所や公民館などの公共施設での情報（ポスター、ちらし）」(22.4%)である。

性別では、「広報まつど」で女性が69.7%と、男性の55.5%より14.2ポイント多くなっている。

年齢別では、「広報まつど」で全体の63.2%に対して、70歳以上では78.6%と15.4ポイント多くなっている。

職業別では、「広報まつど」で全体の63.2%に対して、専業主婦・主夫では79.4%と16.2ポイント多くなっている。

平成26年調査との比較では、「広報まつど」で平成26年の45.1%に対し、令和元年が63.2%と18.1ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問8 情報源								
		新聞、雑誌、テレビ、ラジオ	広報まつど	インターネット(SNSを含む)	家族や知人から	市役所や公民館などの公共施設での情報(ポスター、ちらし)	学校や職場での情報(ポスター、ちらし)	駅や路上、商業施設などでの情報(ポスター、ちらし)	特に得ていない	
全体	1235	20.3	63.2	23.7	16.5	22.4	8.7	20.3	12.8	
年齢別	18～29歳	106	12.3	30.2	31.1	24.5	10.4	15.1	26.4	24.5
	30～49歳	342	9.4	51.2	33.6	13.2	17.0	15.2	23.7	16.1
	50～69歳	455	22.9	69.5	25.3	15.6	24.6	5.7	19.1	11.4
	70歳以上	304	31.6	78.6	7.9	19.7	28.9	3.6	16.1	7.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	13.1	50.0	32.0	13.1	14.0	9.9	22.7	19.2
	自営業(農業を含む)	74	27.0	60.8	27.0	17.6	23.0	4.1	21.6	14.9
	アルバイトやパートなど	232	19.0	69.0	28.4	18.5	30.6	13.4	27.2	10.3
	学生	35	14.3	28.6	22.9	25.7	0.0	22.9	20.0	20.0
	専業主婦・主夫	228	25.9	79.4	13.2	20.6	28.1	7.9	13.6	5.7
	収入のある仕事はしていない	160	29.4	72.5	13.1	18.1	26.9	0.6	14.4	8.1
	その他	64	23.4	65.6	15.6	9.4	23.4	4.7	17.2	12.5

	調査数	問8 情報源			
		得る手段がわからない	その他	無回答	
全体	1235	6.0	1.4	1.3	
年齢別	18～29歳	106	12.3	0.9	0.0
	30～49歳	342	8.8	0.9	0.6
	50～69歳	455	4.8	1.5	0.4
	70歳以上	304	2.3	1.6	3.0
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	9.9	0.5	0.2
	自営業(農業を含む)	74	6.8	1.4	2.7
	アルバイトやパートなど	232	2.2	2.2	0.9
	学生	35	14.3	2.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	3.1	0.9	1.3
	収入のある仕事はしていない	160	5.0	1.3	2.5
	その他	64	4.7	4.7	1.6

【平成26年調査との比較表】

	調査数	問8 情報源							
		新聞、雑誌、テレビ、ラジオ	広報まつど	インターネット(SNSを含む)	家族や知人から	市役所や公民館などの公共施設での情報(ポスター、ちらし)	学校や職場での情報(ポスター、ちらし)	駅や路上、商業施設などでの情報(ポスター、ちらし)	特に得ていない
令和元年	1235	20.3	63.2	23.7	16.5	22.4	8.7	20.3	12.8
平成26年	1583	47.8	45.1	51.6	26.6	20.4	11.5	15.1	10.6

	調査数	問8 情報源		
		得る手段がわからない	その他	無回答
令和元年	1235	6.0	1.4	1.3
平成26年	1583	4.0	1.8	0.9

※「インターネット(SNSを含む)」の選択肢は平成26年における「インターネット(パソコン)」「インターネット(携帯・スマホ)」を合計した割合となる。

(2) あなたは、生涯学習に関してどのような情報を知りたいですか。

全体では、「公民館、図書館、市民センターなどの公共施設で開催される講座や教室情報」が52.6%と最も多く、次いで「講演会や展覧会などのイベント情報」(42.5%)、「カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室情報」(23.6%)である。

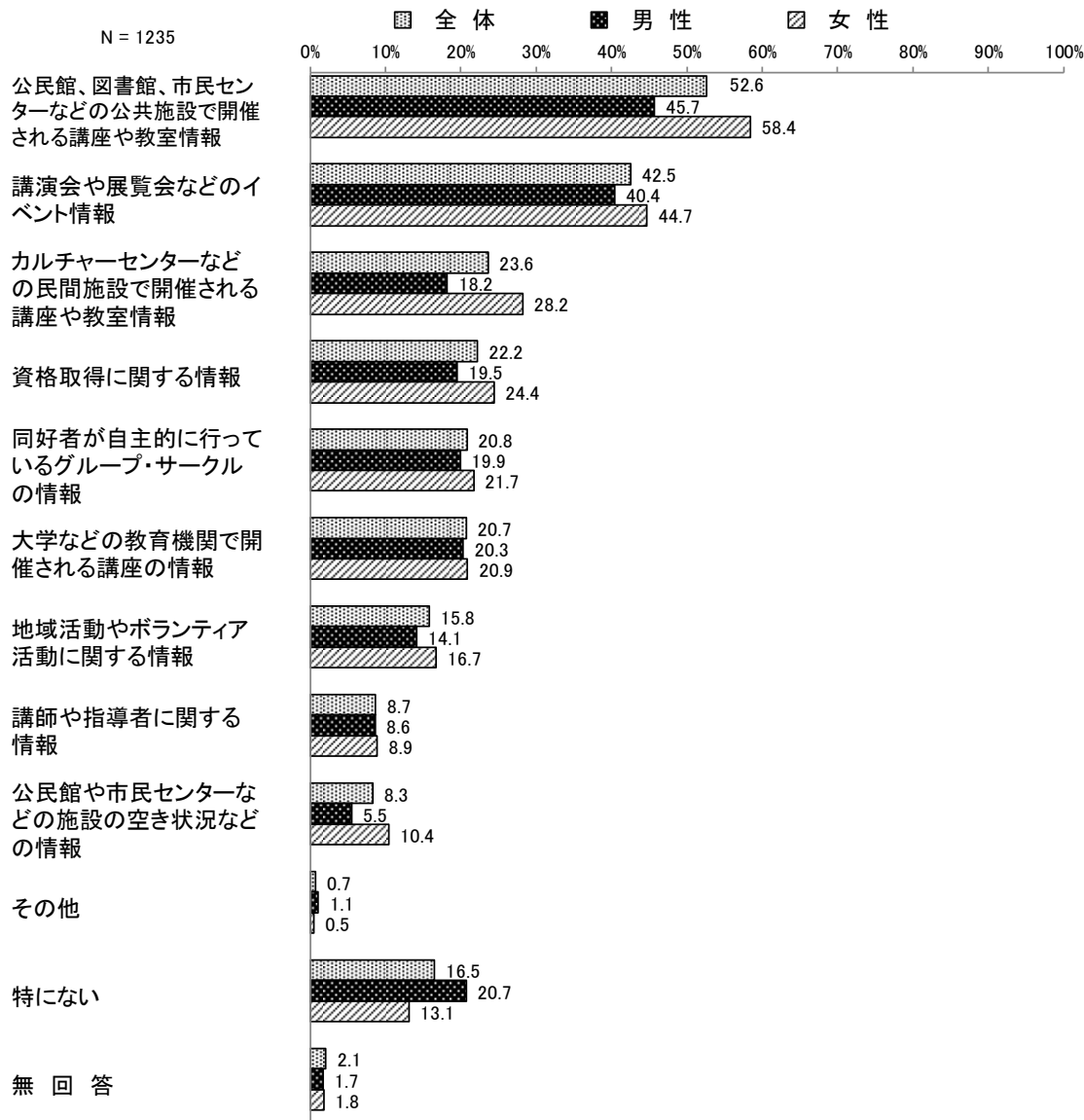
性別では、「公民館、図書館、市民センターなどの公共施設で開催される講座や教室情報」で女性が58.4%と、男性の45.7%より12.7ポイント多くになっている。

年齢別では、「資格取得に関する情報」で全体の22.2%に対して、30～49歳では38.9%と16.7ポイント多くになっている。

職業別では、「公民館、図書館、市民センターなどの公共施設で開催される講座や教室情報」で全体の52.6%に対して、アルバイトやパートなどでは63.8%と11.2ポイント多くになっている。

平成26年調査との比較では、「公民館、図書館、市民センターなどの公共施設で開催される講座や教室情報」で平成26年の46.8%に対し、令和元年が52.6%と5.8ポイント多くになっている。

問9 知りたい情報[%・複数回答]



【属性別集計表】

	調査数	問9 知りたい情報								
		公民館、図書館、市民センターなどの公共施設で開催される講座や教室情報	講演会や展覧会などのイベント情報	資格取得に関する情報	カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室情報	同好者が自主的に行っているグループ・サークルの情報	大学などの教育機関で開催される講座の情報	公民館や市民センターなどの施設の空き状況などの情報	講師や指導者に関する情報	
全体	1235	52.6	42.5	22.2	23.6	20.8	20.7	8.3	8.7	
年齢別	18～29歳	106	24.5	28.3	33.0	11.3	16.0	28.3	9.4	6.6
	30～49歳	342	57.9	40.9	38.9	27.2	18.7	20.8	9.4	7.6
	50～69歳	455	56.5	48.4	19.6	27.9	20.0	22.6	6.8	10.3
	70歳以上	304	50.3	39.8	3.3	17.1	26.0	14.8	8.6	8.2
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	48.8	43.3	30.0	24.4	17.2	23.9	7.4	8.1
	自営業(農業を含む)	74	48.6	44.6	10.8	16.2	27.0	18.9	12.2	17.6
	アルバイトやパートなど	232	63.8	51.7	31.9	29.7	21.6	23.3	10.3	8.2
	学生	35	17.1	20.0	34.3	2.9	14.3	22.9	14.3	8.6
	専業主婦・主夫	228	58.8	36.8	14.0	27.6	25.0	15.4	8.3	6.1
	収入のある仕事はしていない	160	50.0	43.1	9.4	16.3	23.1	13.1	4.4	7.5
	その他	64	43.8	32.8	6.3	21.9	17.2	25.0	4.7	17.2

	調査数	問9 知りたい情報				
		地域活動やボランティア活動に関する情報	特にない	その他	無回答	
全体	1235	15.8	16.5	0.7	2.1	
年齢別	18～29歳	106	19.8	22.6	0.9	0.0
	30～49歳	342	12.6	13.7	0.3	0.9
	50～69歳	455	19.6	15.2	0.9	0.4
	70歳以上	304	11.5	20.4	1.0	5.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	19.0	16.0	0.2	0.5
	自営業(農業を含む)	74	16.2	21.6	2.7	2.7
	アルバイトやパートなど	232	16.8	12.1	0.9	0.9
	学生	35	20.0	20.0	2.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	11.4	14.9	0.4	2.2
	収入のある仕事はしていない	160	11.3	22.5	0.6	5.0
	その他	64	14.1	23.4	1.6	1.6

【平成26年調査との比較表】

	調査数	問9 知りたい情報							
		公民館、図書館、市民センターなどの公共施設で開催される講座や教室情報	講演会や展覧会などのイベント情報	資格取得に関する情報	カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室情報	同好者が自主的に行っているグループ・サークルの情報	大学などの教育機関で開催される講座の情報	公民館や市民センターなどの施設の空き状況などの情報	講師や指導者に関する情報
令和元年	1235	52.6	42.5	22.2	23.6	20.8	20.7	8.3	8.7
平成26年	1583	46.8	36.0	24.8	24.4	25.7	16.9	6.8	9.7

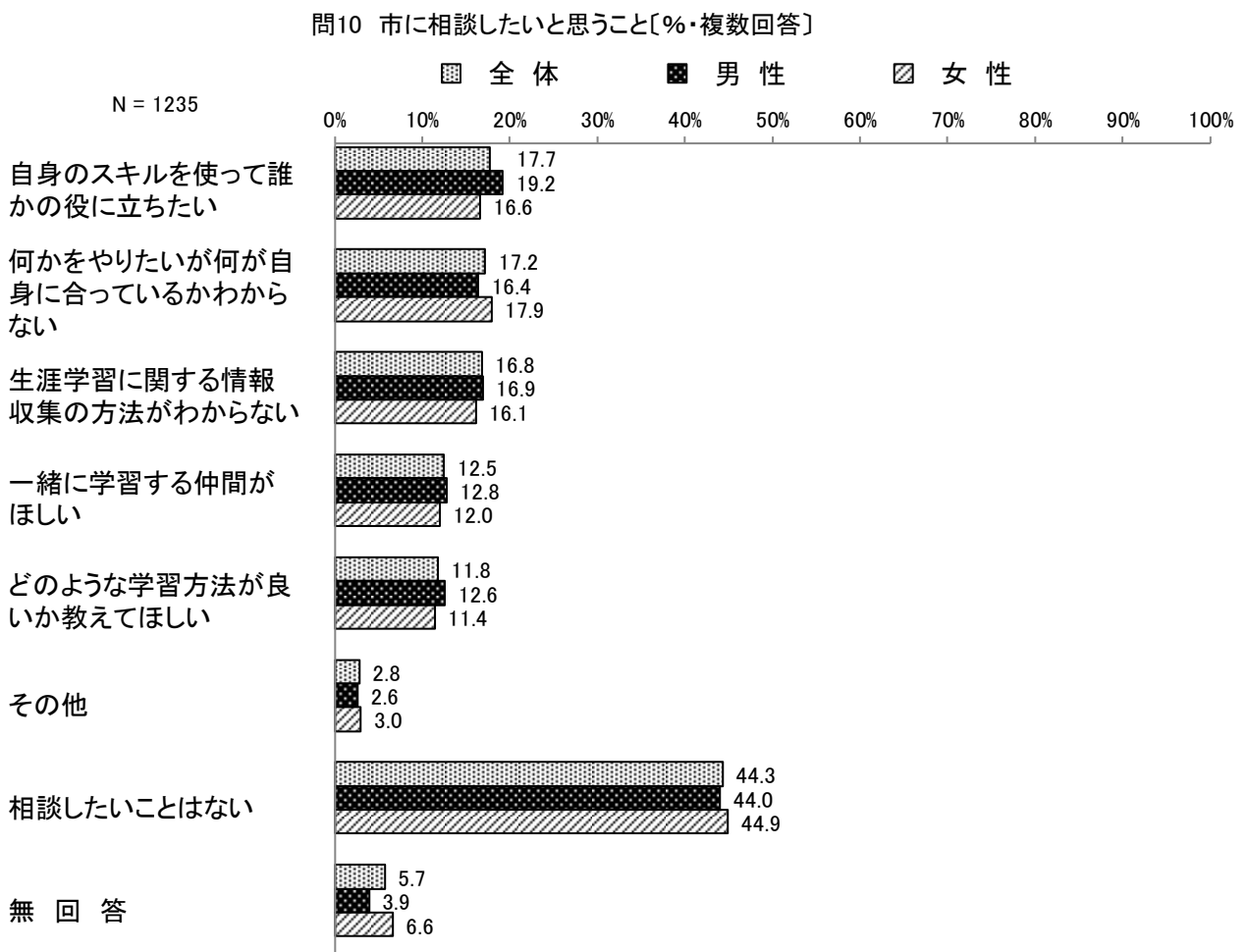
	調査数	問9 知りたい情報			
		地域活動やボランティア活動に関する情報	その他	特にない	無回答
令和元年	1235	15.8	0.7	16.5	2.1
平成26年	1583	19.8	1.1	13.3	2.1

(3) あなたは、生涯学習活動について市に相談したいと思うことはどのようなことですか。

全体では、「自身のスキルを使って誰かの役に立ちたい」が17.7%と最も多く、次いで「何かをやりたいが何が自身に合っているかわからない」(17.2%)、「生涯学習に関する情報収集の方法がわからない」(16.8%)である。

性別では、「自身のスキルを使って誰かの役に立ちたい」で男性が19.2%と、女性の16.6%より2.6ポイント多くなっている。

職業別では、「自身のスキルを使って誰かの役に立ちたい」で全体の17.7%に対して、自営業（農業を含む）では31.1%と13.4ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問10 市に相談したいと思うこと								
		どのような学習方法が良いか教えてほしい	何かをやりたいが何が自身に合っているかわからない	一緒に学習する仲間がほしい	生涯学習に関する情報収集の方法がわからない	自身のスキルを使って誰かの役に立ちたい	相談したいことはない	その他	無回答	
全体	1235	11.8	17.2	12.5	16.8	17.7	44.3	2.8	5.7	
年齢別	18～29歳	106	15.1	17.9	11.3	17.9	18.9	47.2	0.9	0.9
	30～49歳	342	13.7	18.4	11.4	17.8	21.9	47.1	2.6	1.2
	50～69歳	455	11.6	18.0	11.4	18.5	18.2	43.5	3.5	2.6
	70歳以上	304	9.2	14.1	15.1	11.8	11.2	43.1	2.6	16.1
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	13.8	16.7	11.8	19.0	22.9	44.6	2.5	0.7
	自営業(農業を含む)	74	6.8	6.8	12.2	17.6	31.1	40.5	4.1	5.4
	アルバイトやパートなど	232	15.1	24.1	13.4	21.1	14.7	39.7	2.2	3.4
	学生	35	11.4	25.7	5.7	11.4	22.9	51.4	0.0	2.9
	専業主婦・主夫	228	10.1	14.0	10.5	12.7	11.8	52.2	3.1	8.8
	収入のある仕事はしていない	160	11.3	18.8	15.6	13.1	12.5	40.0	2.5	12.5
その他	64	3.1	9.4	12.5	9.4	12.5	50.0	6.3	12.5	

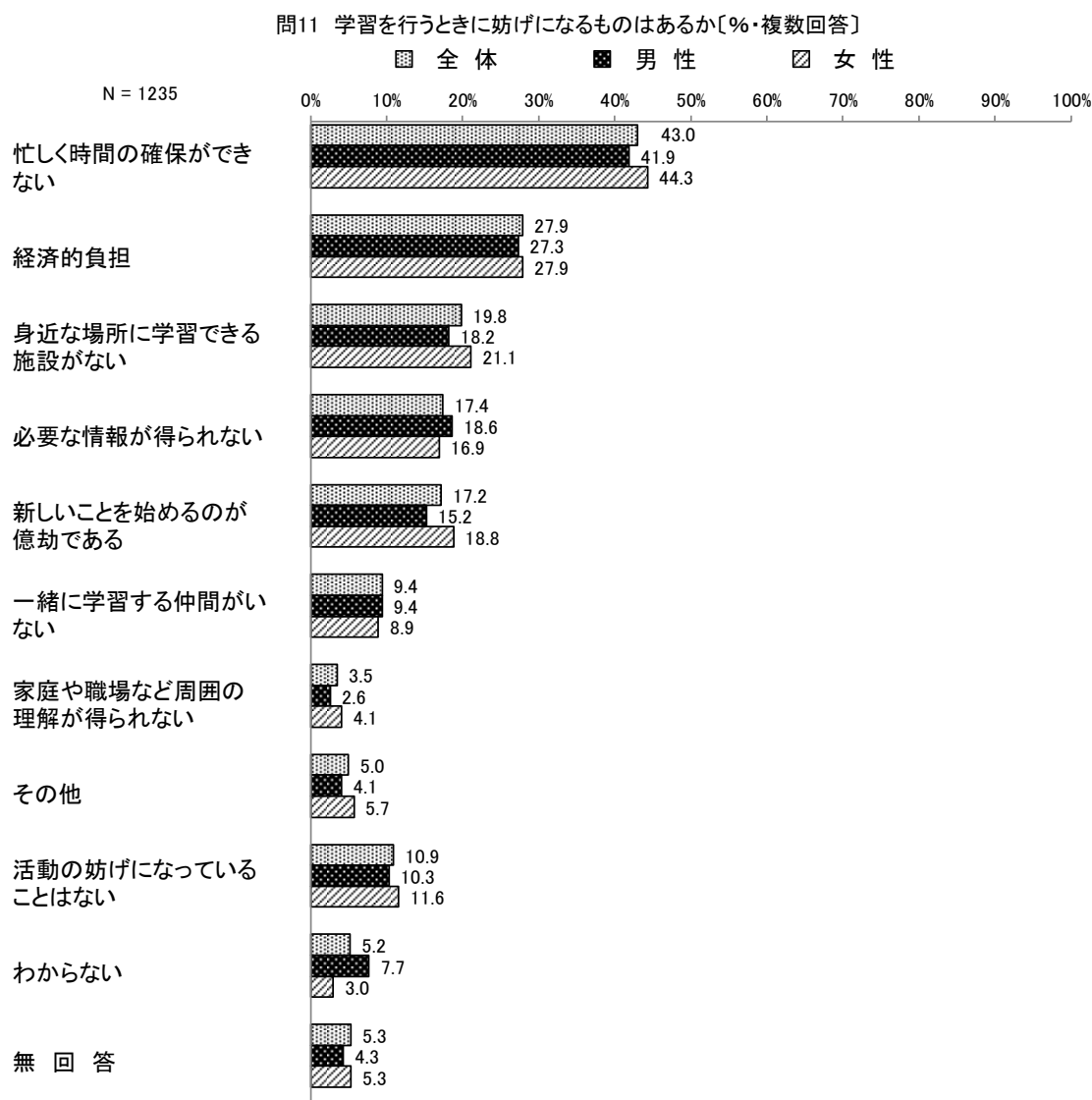
(4) あなたが、生涯学習を行うにあたって、活動の妨げになっていることはありますか。

全体では、「忙しく時間の確保ができない」が43.0%と最も多く、次いで「経済的負担」(27.9%)、「身近な場所に学習できる施設がない」(19.8%)である。

性別では、「新しいことを始めるのが億劫である」で女性が18.8%と、男性の15.2%より3.6ポイント多くなっている。

年齢別では、「忙しく時間の確保ができない」で全体の43.0%に対して、30～49歳では62.9%と19.9ポイント多くなっている。

職業別では、「忙しく時間の確保ができない」で全体の43.0%に対して、正社員・公務員・団体職員などでは66.3%と23.3ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問11 学習を行うときに妨げになるものはあるか								
		忙しく時間の確保ができない	経済的負担	家庭や職場など周囲の理解が得られない	必要な情報が得られない	一緒に学習する仲間がいない	新しいことを始めるのが億劫である	身近な場所に学習できる施設がない	活動の妨げになっていない	活動の妨げになっていない
全体	1235	43.0	27.9	3.5	17.4	9.4	17.2	19.8	10.9	
年齢別	18～29歳	106	56.6	26.4	0.9	18.9	9.4	17.0	27.4	6.6
	30～49歳	342	62.9	42.1	5.3	14.0	9.1	17.0	20.2	7.3
	50～69歳	455	44.6	26.2	4.0	19.8	8.1	17.6	18.7	11.2
	70歳以上	304	14.1	14.5	1.3	17.4	10.5	16.8	18.4	16.1
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	66.3	32.8	5.2	16.3	9.4	17.7	18.5	7.1
	自営業(農業を含む)	74	43.2	21.6	2.7	23.0	8.1	12.2	13.5	8.1
	アルバイトやパートなど	232	52.6	36.6	4.3	19.8	8.2	16.4	20.7	9.1
	学生	35	45.7	20.0	0.0	25.7	8.6	8.6	34.3	11.4
	専業主婦・主夫	228	24.1	21.1	2.6	13.2	7.9	23.7	20.2	16.2
	収入のある仕事はしていない	160	10.6	21.3	0.6	19.4	13.8	13.8	20.0	15.0
	その他	64	14.1	14.1	1.6	20.3	4.7	12.5	23.4	14.1

	調査数	問11 学習を行うときに妨げになるものはあるか			
		わからない	その他	無回答	
全体	1235	5.2	5.0	5.3	
年齢別	18～29歳	106	9.4	0.0	0.9
	30～49歳	342	4.4	4.4	0.9
	50～69歳	455	4.4	4.4	4.2
	70歳以上	304	6.3	7.9	11.8
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	4.4	3.2	1.0
	自営業(農業を含む)	74	5.4	5.4	9.5
	アルバイトやパートなど	232	4.7	3.4	3.0
	学生	35	5.7	0.0	0.0
	専業主婦・主夫	228	4.4	7.0	7.9
	収入のある仕事はしていない	160	8.1	8.8	8.8
	その他	64	9.4	7.8	10.9

4 「生涯学習活動」の成果の活用について

(1) あなたは、次の場面で「生涯学習」を通じて身につけた知識や技能、経験を生かしていますか、または生かしたいと思いますか。

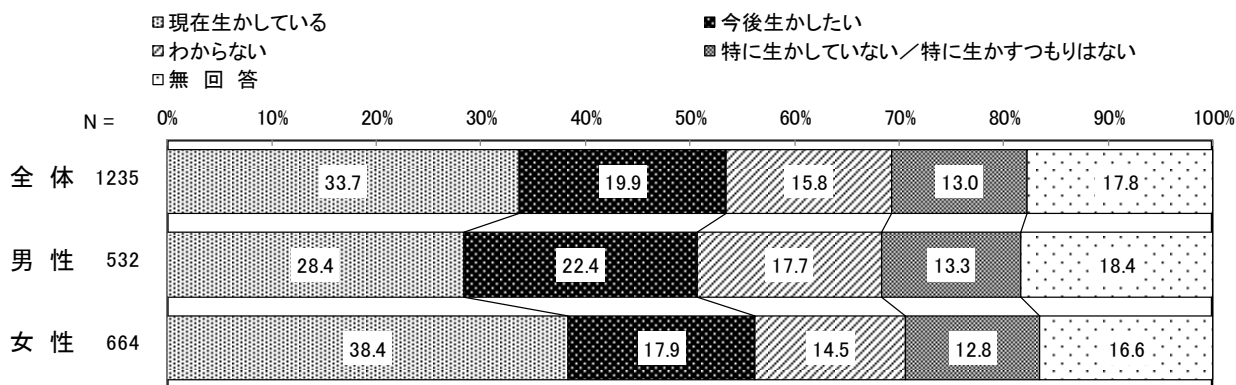
①仕事や家庭など、日常生活

全体では、「現在生かしている」が33.7%と最も多く、次いで「今後生かしたい」(19.9%)である。性別では、「現在生かしている」で女性が38.4%と、男性の28.4%より10.0ポイント多くなっている。

年齢別では、「今後生かしたい」で全体の19.9%に対して、18～29歳では37.7%と17.8ポイント多くなっている。

職業別では、「今後生かしたい」で全体の19.9%に対して、学生では57.1%と37.2ポイント多くなっている。

問12 ①仕事や家庭など、日常生活 [%]



【属性別集計表】

	調査数	① 仕事や家庭など、日常生活					
		現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特に生かしていない／特に生かすつもりはない	無回答	
全体	1235	33.7	19.9	15.8	13.0	17.8	
年齢別	18～29歳	106	43.4	37.7	11.3	6.6	0.9
	30～49歳	342	43.3	23.1	18.7	11.4	3.8
	50～69歳	455	30.8	21.5	18.5	14.5	14.9
	70歳以上	304	24.3	7.9	10.2	14.8	42.8
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	40.1	27.1	17.0	11.6	4.4
	自営業(農業を含む)	74	36.5	10.8	13.5	9.5	29.7
	アルバイトやパートなど	232	37.1	19.0	17.7	12.9	13.4
	学生	35	31.4	57.1	2.9	5.7	2.9
	専業主婦・主夫	228	29.8	12.7	17.5	15.4	25.0
	収入のある仕事はしていない	160	23.8	15.0	12.5	15.0	33.8
	その他	64	20.3	7.8	15.6	18.8	37.5

②資格の取得・就職

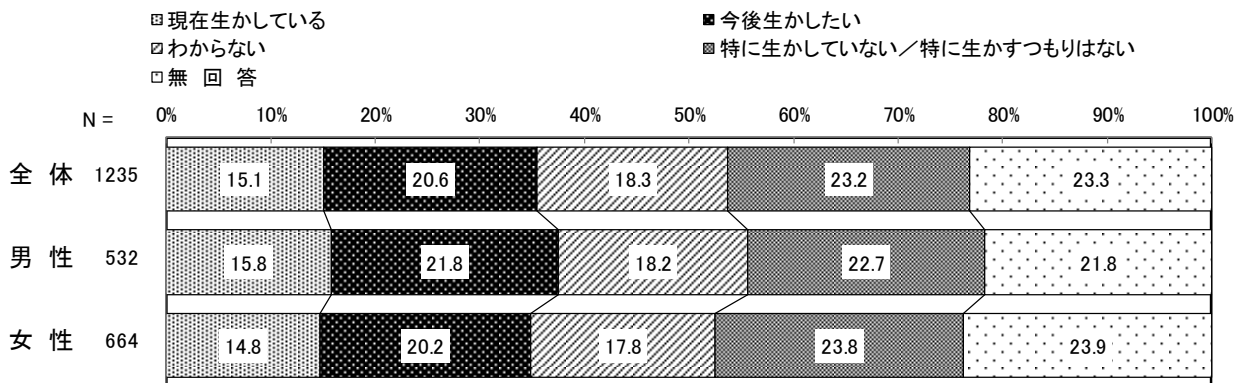
全体では、「特に生かしていない／特に生かすつもりはない」が23.2%と最も多く、次いで「今後生かしたい」(20.6%)である。

性別では、「今後生かしたい」で男性が21.8%と、女性の20.2%より1.6ポイント多くなっている。

年齢別では、「今後生かしたい」で全体の20.6%に対して、18～29歳では46.2%と25.6ポイント多くなっている。

職業別では、「今後生かしたい」で全体の20.6%に対して、学生では77.1%と56.5ポイント多くなっている。

問12 ②資格の取得・就職[%]



【属性別集計表】

	調査数	② 資格の取得・就職					
		現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特に生かしていない／特に生かすつもりはない	無回答	
全体	1235	15.1	20.6	18.3	23.2	23.3	
年齢別	18～29歳	106	25.5	46.2	14.2	13.2	1.9
	30～49歳	342	22.5	32.5	18.4	20.8	6.4
	50～69歳	455	15.4	18.9	24.2	24.0	18.0
	70歳以上	304	3.3	1.6	9.5	28.9	56.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	27.3	30.0	19.7	17.0	6.7
	自営業(農業を含む)	74	23.0	12.2	13.5	16.2	35.1
	アルバイトやパートなど	232	15.5	20.7	20.3	25.4	19.0
	学生	35	8.6	77.1	2.9	8.6	2.9
	専業主婦・主夫	228	3.1	10.5	21.5	28.5	36.4
	収入のある仕事はしていない	160	1.3	8.1	13.8	35.0	41.9
その他	64	10.9	12.5	10.9	25.0	40.6	

③ボランティア活動

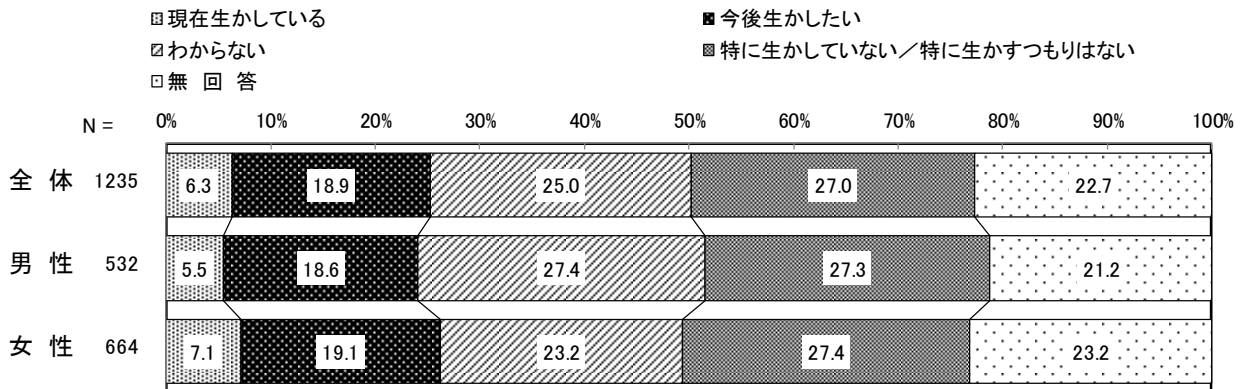
全体では、「特に生かしていない／特に生かすつもりはない」が27.0%と最も多く、次いで「今後生かしたい」(18.9%)である。

性別では、「現在生かしている」で女性が7.1%と、男性の5.5%より1.6ポイント多くなっている。

年齢別では、「今後生かしたい」で全体の18.9%に対して、18～29歳では31.1%と12.2ポイント多くなっている。

職業別では、「今後生かしたい」で全体の18.9%に対して、学生では37.1%と18.2ポイント多くなっている。

問12 ③ボランティア活動[%]



【属性別集計表】

	調査数	③ ボランティア活動					
		現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特に生かしていない／特に生かすつもりはない	無回答	
全体	1235	6.3	18.9	25.0	27.0	22.7	
年齢別	18～29歳	106	1.9	31.1	25.5	35.8	5.7
	30～49歳	342	5.0	17.0	34.8	34.2	9.1
	50～69歳	455	6.2	24.6	26.4	24.2	18.7
	70歳以上	304	9.2	8.2	12.2	21.4	49.0
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	3.7	23.6	32.0	31.5	9.1
	自営業(農業を含む)	74	9.5	23.0	14.9	18.9	33.8
	アルバイトやパートなど	232	5.6	22.4	25.0	30.2	16.8
	学生	35	5.7	37.1	31.4	20.0	5.7
	専業主婦・主夫	228	9.6	10.1	24.1	22.4	33.8
	収入のある仕事はしていない	160	5.0	12.5	15.6	26.9	40.0
その他	64	12.5	12.5	15.6	25.0	34.4	

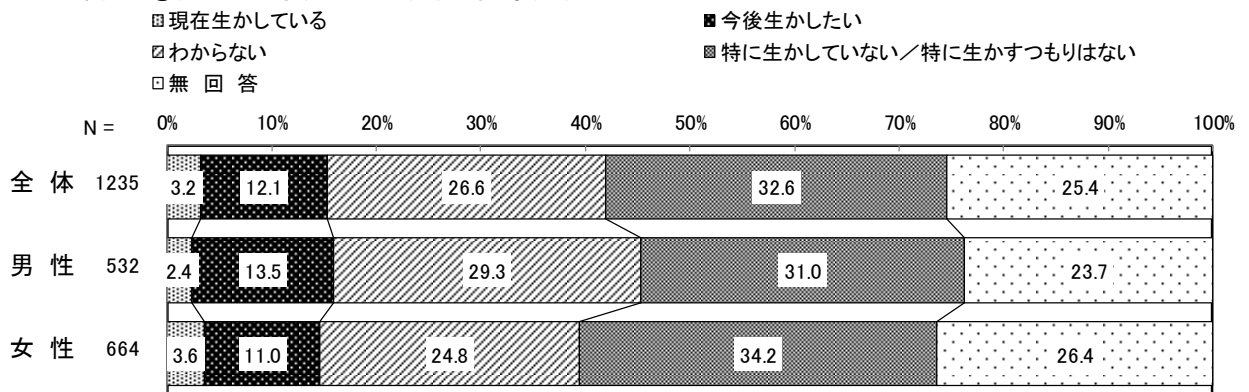
④他の人の学習や文化活動の指導

全体では、「特に生かしていない／特に生かすつもりはない」が32.6%と最も多く、次いで「今後生かしたい」(12.1%)である。

性別では、「特に生かしていない／特に生かすつもりはない」で女性が34.2%と、男性の31.0%より3.2ポイント多くなっている。

職業別では、「今後生かしたい」で全体の12.1%に対して、学生では28.6%と16.5ポイント多くなっている。

問12 ④他の人の学習や文化活動の指導[%]



【属性別集計表】

	調査数	④ 他の人の学習や文化活動の指導					
		現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特に生かしていない／特に生かすつもりはない	無回答	
全体	1235	3.2	12.1	26.6	32.6	25.4	
年齢別	18～29歳	106	4.7	19.8	35.8	34.0	5.7
	30～49歳	342	3.2	15.8	33.6	38.0	9.4
	50～69歳	455	2.4	11.6	29.5	34.7	21.8
	70歳以上	304	3.3	5.9	11.8	24.0	54.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	3.2	16.3	33.5	36.7	10.3
	自営業(農業を含む)	74	12.2	6.8	16.2	24.3	40.5
	アルバイトやパートなど	232	0.4	12.9	27.6	39.7	19.4
	学生	35	2.9	28.6	48.6	14.3	5.7
	専業主婦・主夫	228	3.1	6.1	21.5	31.6	37.7
	収入のある仕事はしていない	160	1.9	8.8	20.6	27.5	41.3
その他	64	4.7	9.4	17.2	25.0	43.8	

⑤町会などの地域活動

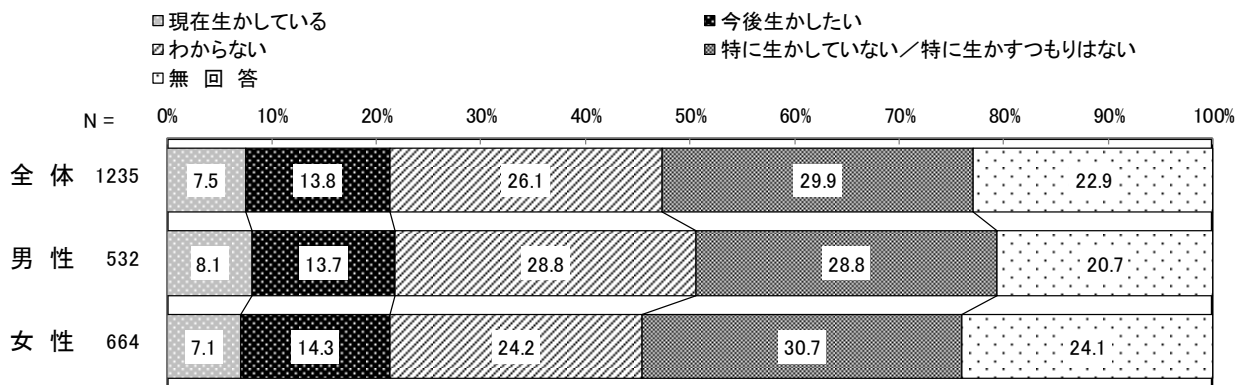
全体では、「特に生かしていない／特に生かすつもりはない」が29.9%と最も多く、次いで「今後生かしたい」(13.8%)である。

性別では、「特に生かしていない／特に生かすつもりはない」で女性が30.7%と、男性の28.8%より1.9ポイント多くなっている。

年齢別では、「特に生かしていない／特に生かすつもりはない」で全体の29.9%に対して、30～49歳では40.1%と10.2ポイント多くなっている。

職業別では、「特に生かしていない／特に生かすつもりはない」で全体の29.9%に対して、学生では17.1%と12.8ポイント少なくなっている。

問12 ⑤町会などの地域活動[%]



【属性別集計表】

	調査数	⑤ 町会などの地域活動					
		現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特に生かしていない／特に生かすつもりはない	無回答	
全体	1235	7.5	13.8	26.1	29.9	22.9	
年齢別	18～29歳	106	1.9	17.0	37.7	37.7	5.7
	30～49歳	342	4.4	12.9	33.3	40.1	9.4
	50～69歳	455	6.6	14.9	29.9	27.9	20.7
	70歳以上	304	14.5	12.5	8.9	18.8	46.4
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	4.2	15.8	32.8	37.2	10.1
	自営業(農業を含む)	74	14.9	13.5	17.6	23.0	31.1
	アルバイトやパートなど	232	6.0	14.2	29.7	31.0	19.0
	学生	35	2.9	20.0	54.3	17.1	5.7
	専業主婦・主夫	228	9.2	11.8	21.9	23.7	34.2
	収入のある仕事はしていない	160	9.4	10.0	15.6	27.5	38.1
その他	64	15.6	17.2	10.9	25.0	31.3	

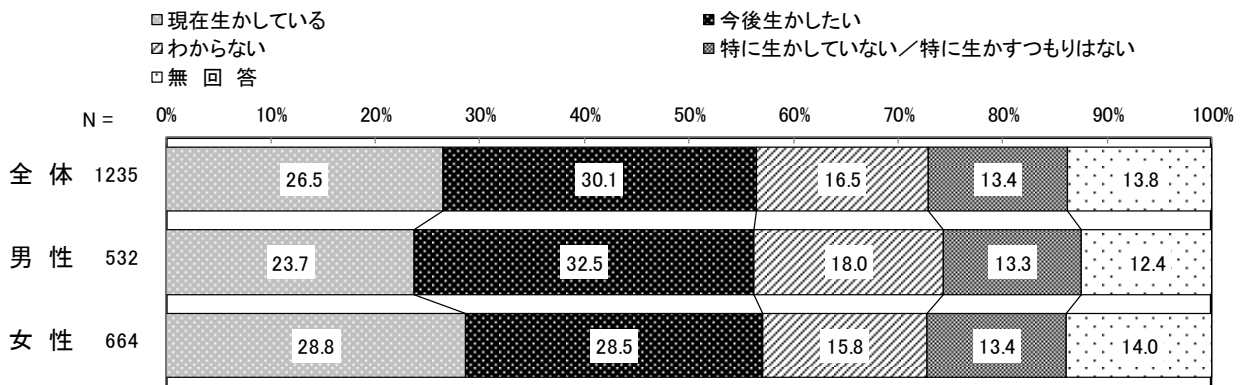
⑥自身の健康維持、健康増進

全体では、「今後生かしたい」が30.1%と最も多く、次いで「現在生かしている」(26.5%)である。性別では、「現在生かしている」で女性が28.8%と、男性の23.7%より5.1ポイント多くなっている。

年齢別では、「現在生かしている」で全体の26.5%に対して、70歳以上では45.1%と18.6ポイント多くなっている。

職業別では、「今後生かしたい」で全体の30.1%に対して、学生では45.7%と15.6ポイント多くなっている。

問12 ⑥自身の健康維持、健康増進 [%]



【属性別集計表】

	調査数	⑥ 自身の健康維持、健康増進					
		現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特に生かしていない/特に生かすつもりはない	無回答	
全体	1235	26.5	30.1	16.5	13.4	13.8	
年齢別	18～29歳	106	23.6	41.5	15.1	17.0	2.8
	30～49歳	342	17.5	35.7	24.3	15.8	6.7
	50～69歳	455	21.3	33.8	18.2	12.7	13.8
	70歳以上	304	45.1	14.5	6.9	10.2	24.3
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	16.0	41.1	20.2	16.7	5.9
	自営業(農業を含む)	74	31.1	25.7	10.8	8.1	24.3
	アルバイトやパートなど	232	22.8	28.4	21.1	14.2	13.4
	学生	35	25.7	45.7	17.1	5.7	5.7
	専業主婦・主夫	228	39.0	19.3	14.9	11.0	16.2
	収入のある仕事はしていない	160	36.3	21.3	12.5	10.0	21.3
	その他	64	29.7	28.1	4.7	17.2	20.3

(2) あなたは、「生涯学習活動」に一緒に取り組む仲間がいますか。

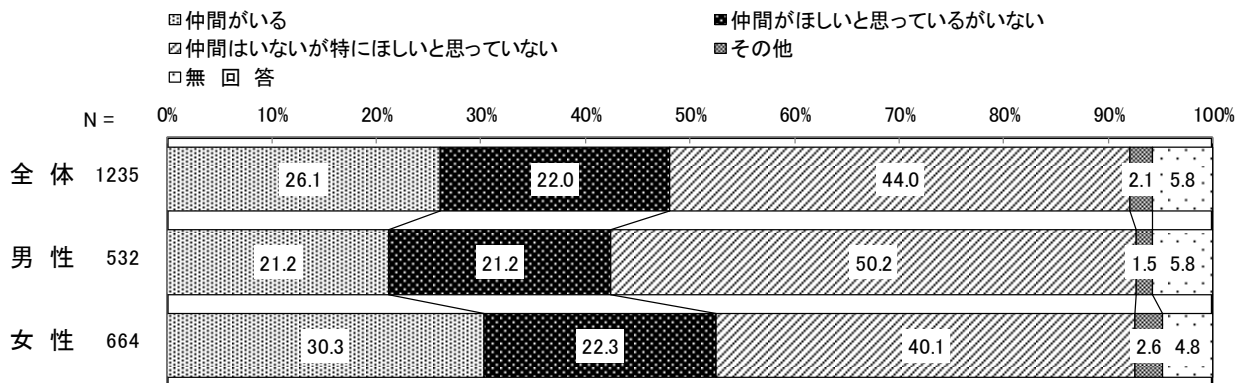
全体では、「仲間はいないが特にほしいと思っていない」が44.0%と最も多く、次いで「仲間がいる」(26.1%)、「仲間がほしいと思っているがいない」(22.0%)である。

性別では、「仲間はいないが特にほしいと思っていない」で男性が50.2%と、女性の40.1%より10.1ポイント多くなっている。

年齢別では、「仲間がいる」で全体の26.1%に対して、18～29歳では38.7%と12.6ポイント多くなっている。

職業別では、「仲間がいる」で全体の26.1%に対して、専業主婦・主夫では36.4%と10.3ポイント多くなっている。

問13 一緒に生涯学習活動をする仲間がいるか [%]

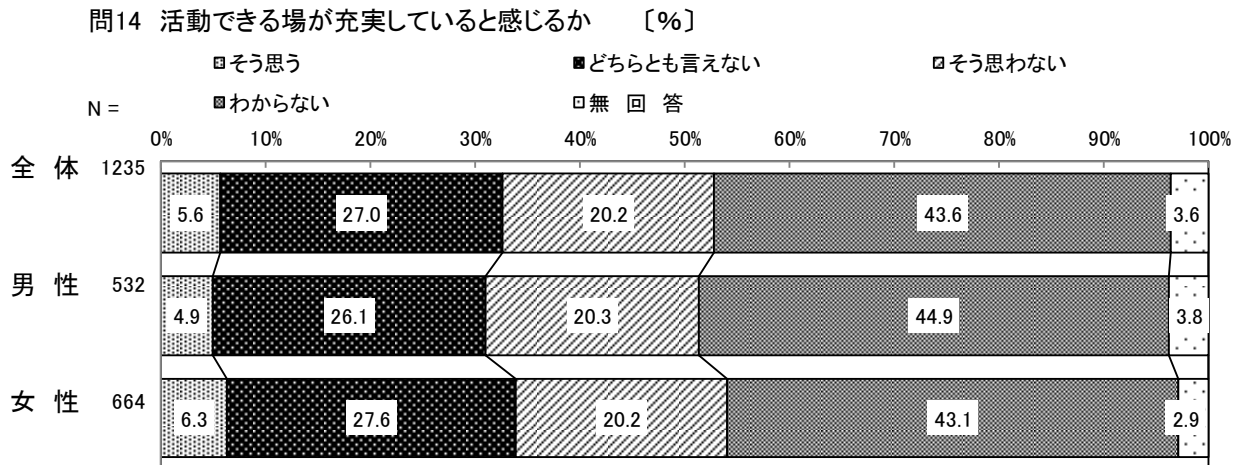


【属性別集計表】

	調査数	問13 一緒に生涯学習活動をする仲間がいるか					
		仲間がいる	仲間がほしいと思っているがいない	仲間はいないが特にほしいと思っていない	その他	無回答	
全体	1235	26.1	22.0	44.0	2.1	5.8	
年齢別	18～29歳	106	38.7	24.5	34.9	1.9	0.0
	30～49歳	342	21.9	24.3	49.7	1.8	2.3
	50～69歳	455	20.9	23.1	48.1	2.4	5.5
	70歳以上	304	34.5	16.4	36.2	2.0	10.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	20.9	25.4	50.0	1.5	2.2
	自営業(農業を含む)	74	31.1	16.2	41.9	2.7	8.1
	アルバイトやパートなど	232	24.6	22.0	45.3	3.0	5.2
	学生	35	54.3	14.3	28.6	2.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	36.4	18.9	36.8	2.2	5.7
	収入のある仕事はしていない	160	19.4	23.1	45.0	1.3	11.3
その他	64	26.6	14.1	45.3	4.7	9.4	

(3) 松戸市は、生涯学習の成果を生かして活動が行えるような場が充実していると感じますか。

全体では、「どちらとも言えない」が27.0%と最も多く、次いで「そう思わない」(20.2%)である。性別では、「どちらとも言えない」で女性が27.6%と、男性の26.1%より1.5ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問14 活動できる場が充実していると感じるか					
		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	わからない	無回答	
全体	1235	5.6	27.0	20.2	43.6	3.6	
年齢別	18～29歳	106	4.7	34.0	16.0	44.3	0.9
	30～49歳	342	5.3	24.0	24.3	45.6	0.9
	50～69歳	455	4.6	27.5	20.4	44.0	3.5
	70歳以上	304	8.2	26.3	16.1	42.4	6.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	3.9	24.4	24.4	46.6	0.7
	自営業(農業を含む)	74	4.1	29.7	21.6	39.2	5.4
	アルバイトやパートなど	232	4.3	31.5	19.8	40.5	3.9
	学生	35	11.4	31.4	17.1	40.0	0.0
	専業主婦・主夫	228	7.0	28.5	15.8	43.9	4.8
	収入のある仕事はしていない	160	6.9	25.6	15.6	46.3	5.6
その他	64	10.9	17.2	21.9	45.3	4.7	

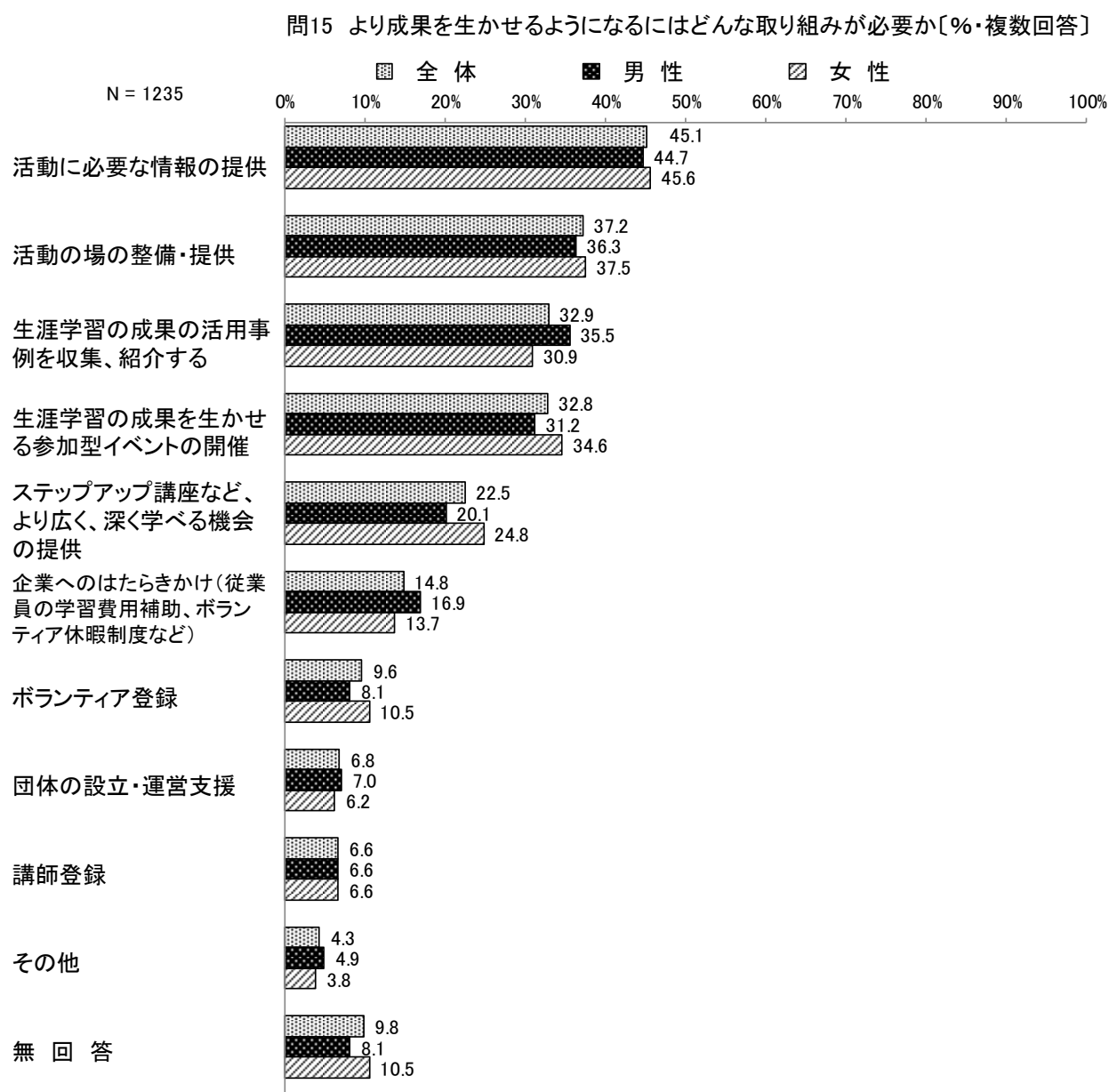
(4) あなたが生涯学習の成果をより生かせるようになるには、市としてどのような取り組みが必要だと思いますか。

全体では、「活動に必要な情報の提供」が45.1%と最も多く、次いで「活動の場の整備・提供」(37.2%)、「生涯学習の成果の活用事例を収集、紹介する」(32.9%)である。

性別では、「ステップアップ講座など、より広く、深く学べる機会の提供」で女性が24.8%と、男性の20.1%より4.7ポイント多くなっている。

年齢別では、「活動の場の整備・提供」で全体の37.2%に対して、18～29歳では48.1%と10.9ポイント多くなっている。

職業別では、「活動の場の整備・提供」で全体の37.2%に対して、学生では60.0%と22.8ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問15 より成果を生かせるようになるにはどんな取り組みが必要か								
		生涯学習の成果の活用事例を収集、紹介する	生涯学習の成果を生かせる参加型イベントの開催	活動の場の整備・提供	活動に必要な情報の提供	ステップアップ講座など、より広く、深く学べる機会の提供	団体の設立・運営支援	講師登録	ボランティア登録	
全体	1235	32.9	32.8	37.2	45.1	22.5	6.8	6.6	9.6	
年齢別	18～29歳	106	30.2	42.5	48.1	41.5	26.4	7.5	8.5	9.4
	30～49歳	342	32.5	39.5	45.3	41.2	28.7	7.0	9.1	10.2
	50～69歳	455	36.0	30.1	34.9	51.2	23.5	5.7	6.4	10.5
	70歳以上	304	29.6	26.0	26.0	41.4	13.2	6.9	3.3	7.2
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	32.8	36.7	45.8	46.1	27.1	6.7	8.4	9.4
	自営業(農業を含む)	74	29.7	29.7	31.1	54.1	16.2	18.9	10.8	9.5
	アルバイトやパートなど	232	38.8	36.6	38.4	47.8	30.6	6.0	6.9	12.9
	学生	35	34.3	48.6	60.0	48.6	17.1	5.7	8.6	11.4
	専業主婦・主夫	228	28.1	26.8	27.6	42.1	18.0	3.5	3.9	7.5
	収入のある仕事はしていない	160	35.0	26.9	28.1	46.9	13.1	3.8	2.5	5.6
	その他	64	31.3	32.8	23.4	28.1	17.2	12.5	9.4	15.6

	調査数	問15 より成果を生かせるようになるにはどんな取り組みが必要か			
		企業へのはたらかし(従業員の学習費用補助、ボランティア休暇制度など)	その他	無回答	
全体	1235	14.8	4.3	9.8	
年齢別	18～29歳	106	25.5	1.9	1.9
	30～49歳	342	21.6	3.8	3.8
	50～69歳	455	14.1	4.2	8.6
	70歳以上	304	5.6	5.9	20.4
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	21.2	2.7	4.2
	自営業(農業を含む)	74	5.4	6.8	17.6
	アルバイトやパートなど	232	17.7	5.2	5.6
	学生	35	40.0	0.0	0.0
	専業主婦・主夫	228	6.6	3.5	16.2
	収入のある仕事はしていない	160	8.8	6.3	14.4
	その他	64	12.5	7.8	14.1

5 地域の子どもたちに対する考えについて

(1) あなたは、地域の子どもたちに、休日（長期休みを含む）をどのように過ごしてほしいと思いますか。

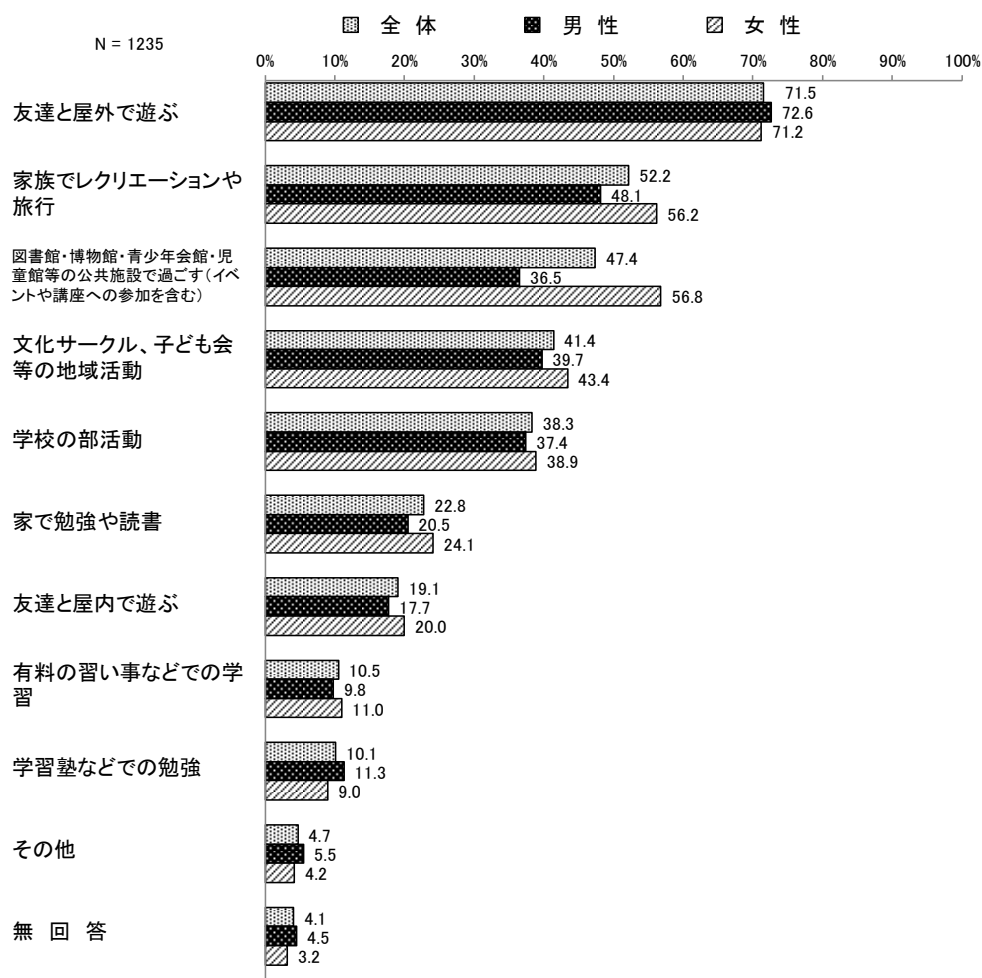
全体では、「友達と屋外で遊ぶ」が 71.5%と最も多く、次いで「家族でレクリエーションや旅行」(52.2%)、「図書館・博物館・青少年会館・児童館等の公共施設で過ごす（イベントや講座への参加を含む）」(47.4%)である。

性別では、「図書館・博物館・青少年会館・児童館等の公共施設で過ごす（イベントや講座への参加を含む）」で女性が 56.8%と、男性の 36.5%より 20.3 ポイント多くなっている。

年齢別では、「家族でレクリエーションや旅行」で全体の 52.2%に対して、18～29 歳では 71.7%と 19.5 ポイント多くなっている。

職業別では、「図書館・博物館・青少年会館・児童館等の公共施設で過ごす（イベントや講座への参加を含む）」で全体の 47.4%に対して、専業主婦・主夫では 58.3%と 10.9 ポイント多くなっている。

問16 地域の子どもたちにしてほしい休日の過ごし方[%・複数回答]



【属性別集計表】

	調査数	問16 地域の子どもたちにしてほしい休日の過ごし方								
		学習塾などでの勉強	有料の習い事などでの学習	文化サークル、子ども会等の地域活動	図書館・博物館・青少年会館・児童館等の公共施設で過ごす(イベントや講座への参加を含む)	学校の部活動	友達と屋外で遊ぶ	友達と屋内で遊ぶ	家族でレクリエーションや旅行	
全体	1235	10.1	10.5	41.4	47.4	38.3	71.5	19.1	52.2	
年齢別	18～29歳	106	17.0	17.0	34.0	40.6	52.8	85.8	45.3	71.7
	30～49歳	342	14.6	18.7	38.3	50.3	42.7	77.8	30.1	66.7
	50～69歳	455	6.4	6.6	42.6	50.5	38.9	70.5	13.2	51.0
	70歳以上	304	7.9	4.6	46.7	42.1	27.6	61.5	6.3	32.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	12.6	13.8	41.1	44.1	46.3	78.1	22.9	59.1
	自営業(農業を含む)	74	9.5	10.8	44.6	43.2	41.9	62.2	13.5	44.6
	アルバイトやパートなど	232	8.2	9.1	38.4	53.4	39.2	73.7	19.8	59.1
	学生	35	22.9	22.9	28.6	37.1	65.7	88.6	51.4	74.3
	専業主婦・主夫	228	7.0	9.6	44.3	58.3	31.1	66.7	18.4	48.2
	収入のある仕事はしていない	160	8.1	4.4	43.8	38.8	25.0	65.6	10.0	40.6
その他	64	7.8	3.1	46.9	42.2	25.0	64.1	6.3	35.9	

	調査数	問16 地域の子どもたちにしてほしい休日の過ごし方			
		家で勉強や読書	その他	無回答	
全体	1235	22.8	4.7	4.1	
年齢別	18～29歳	106	27.4	2.8	0.0
	30～49歳	342	32.7	5.0	0.9
	50～69歳	455	19.8	5.3	2.6
	70歳以上	304	13.8	4.6	10.5
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	23.2	4.9	1.0
	自営業(農業を含む)	74	20.3	8.1	10.8
	アルバイトやパートなど	232	25.4	6.0	2.6
	学生	35	42.9	5.7	0.0
	専業主婦・主夫	228	19.3	3.5	3.5
	収入のある仕事はしていない	160	20.0	1.9	7.5
その他	64	20.3	7.8	9.4	

(2) 休日に地域の子どもたちが大人と生涯学習活動をするにはどの場所がふさわしいと思いますか。

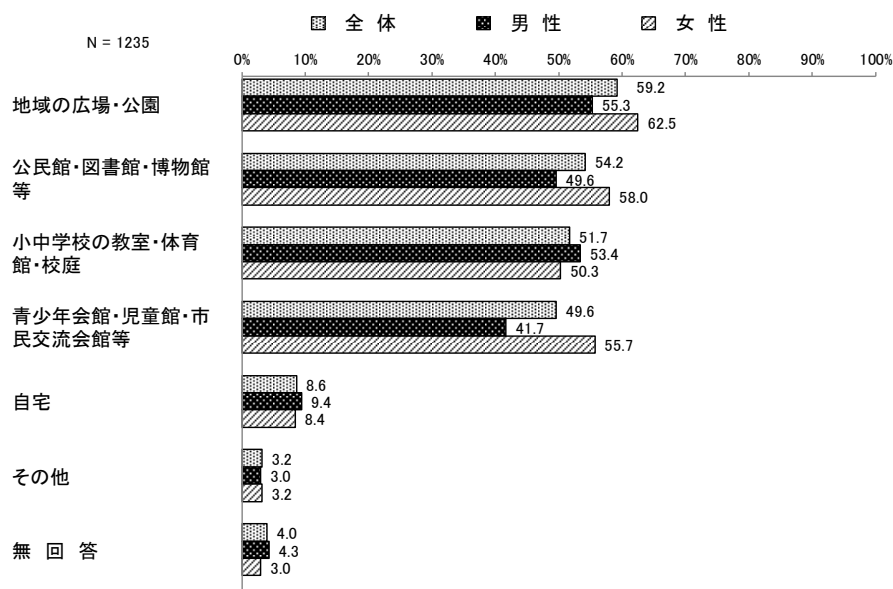
全体では、「地域の広場・公園」が 59.2%と最も多く、次いで「公民館・図書館・博物館等」(54.2%)、「小中学校の教室・体育館・校庭」(51.7%)である。

性別では、「青少年会館・児童館・市民交流会館等」で女性が 55.7%と、男性の 41.7%より 14.0 ポイント多くなっている。

年齢別では、「公民館・図書館・博物館等」で全体の 54.2%に対して、30～49 歳では 66.1%と 11.9 ポイント多くなっている。

職業別では、「小中学校の教室・体育館・校庭」で全体の 51.7%に対して、学生では 65.7%と 14.0 ポイント多くなっている。

問17 休日に地域の子どもたちが大人と生涯学習活動するのにふさわしい場所[%・複数回答]



【属性別集計表】

	調査数	問17 休日に地域の子どもたちが大人と生涯学習活動するのにふさわしい場所							
		地域の広場・公園	小中学校の教室・体育館・校庭	公民館・図書館・博物館等	青少年会館・児童館・市民交流会館等	自宅	その他	無回答	
全体	1235	59.2	51.7	54.2	49.6	8.6	3.2	4.0	
年齢別	18～29歳	106	56.6	50.0	55.7	50.9	24.5	0.9	0.9
	30～49歳	342	62.9	59.9	66.1	52.6	10.5	3.5	0.9
	50～69歳	455	58.0	51.0	55.2	51.0	6.6	2.6	3.3
	70歳以上	304	57.9	43.4	38.8	42.4	4.6	3.9	8.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	61.3	55.4	61.3	49.5	10.8	3.7	1.0
	自営業(農業を含む)	74	63.5	54.1	51.4	54.1	8.1	5.4	9.5
	アルバイトやパートなど	232	60.3	56.5	59.5	57.8	7.8	1.7	3.0
	学生	35	48.6	65.7	48.6	48.6	31.4	2.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	61.8	45.2	50.0	46.5	7.0	3.5	3.5
	収入のある仕事はしていない	160	51.9	43.1	41.9	43.1	4.4	3.1	6.9
	その他	64	53.1	43.8	43.8	40.6	3.1	1.6	7.8

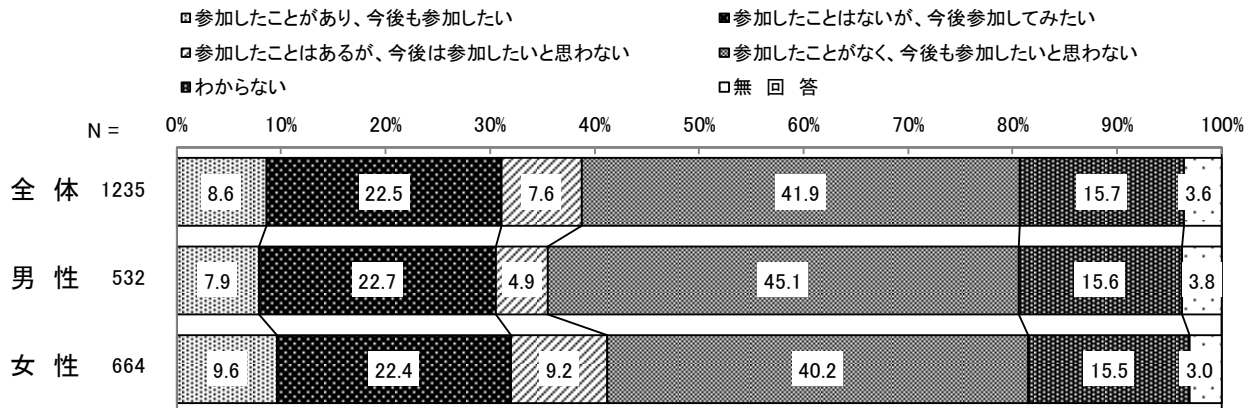
(3) あなたは、小中学校で児童生徒の学びを支援するボランティア活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。

全体では、「参加したことがなく、今後も参加したいと思わない」が41.9%と最も多く、次いで「参加したことはないが、今後参加してみたい」(22.5%)である。

性別では、「参加したことがなく、今後も参加したいと思わない」で男性が45.1%と、女性の40.2%より4.9ポイント多くなっている。

職業別では、「参加したことがなく、今後も参加したいと思わない」で全体の41.9%に対して、収入のある仕事はしていないでは54.4%と12.5ポイント多くなっている。

問18 小中学校でボランティア活動に参加したいか [%]



【属性別集計表】

	調査数	問18 小中学校でボランティア活動に参加したいか						
		参加したことがあり、今後も参加したい	参加したことはないが、今後参加してみたい	参加したことはあるが、今後は参加したいと思わない	参加したことがなく、今後も参加したいと思わない	わからない	無回答	
全体	1235	8.6	22.5	7.6	41.9	15.7	3.6	
年齢別	18~29歳	106	7.5	27.4	7.5	39.6	17.0	0.9
	30~49歳	342	14.3	26.0	5.3	39.8	14.6	0.0
	50~69歳	455	7.5	23.7	8.6	41.5	16.7	2.0
	70歳以上	304	4.9	15.1	7.9	46.7	14.8	10.5
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	9.1	28.1	5.4	40.4	15.8	1.2
	自営業(農業を含む)	74	12.2	23.0	8.1	37.8	13.5	5.4
	アルバイトやパートなど	232	12.1	22.0	9.9	37.9	16.4	1.7
	学生	35	11.4	25.7	8.6	31.4	22.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	7.9	18.0	11.8	43.0	15.8	3.5
	収入のある仕事はしていない	160	4.4	18.1	3.8	54.4	12.5	6.9
その他	64	4.7	17.2	3.1	45.3	17.2	12.5	

(4) あなたが小中学校でボランティア活動をするとしたなら、どのような活動に興味がありますか。

全体では、「学校行事の支援」が40.4%と最も多く、次いで「授業における教員の補助（丸付けなどの手伝いや、支援を必要とする子どもへの対応）」（36.2%）、「部活動・クラブ活動の支援」（31.8%）である。

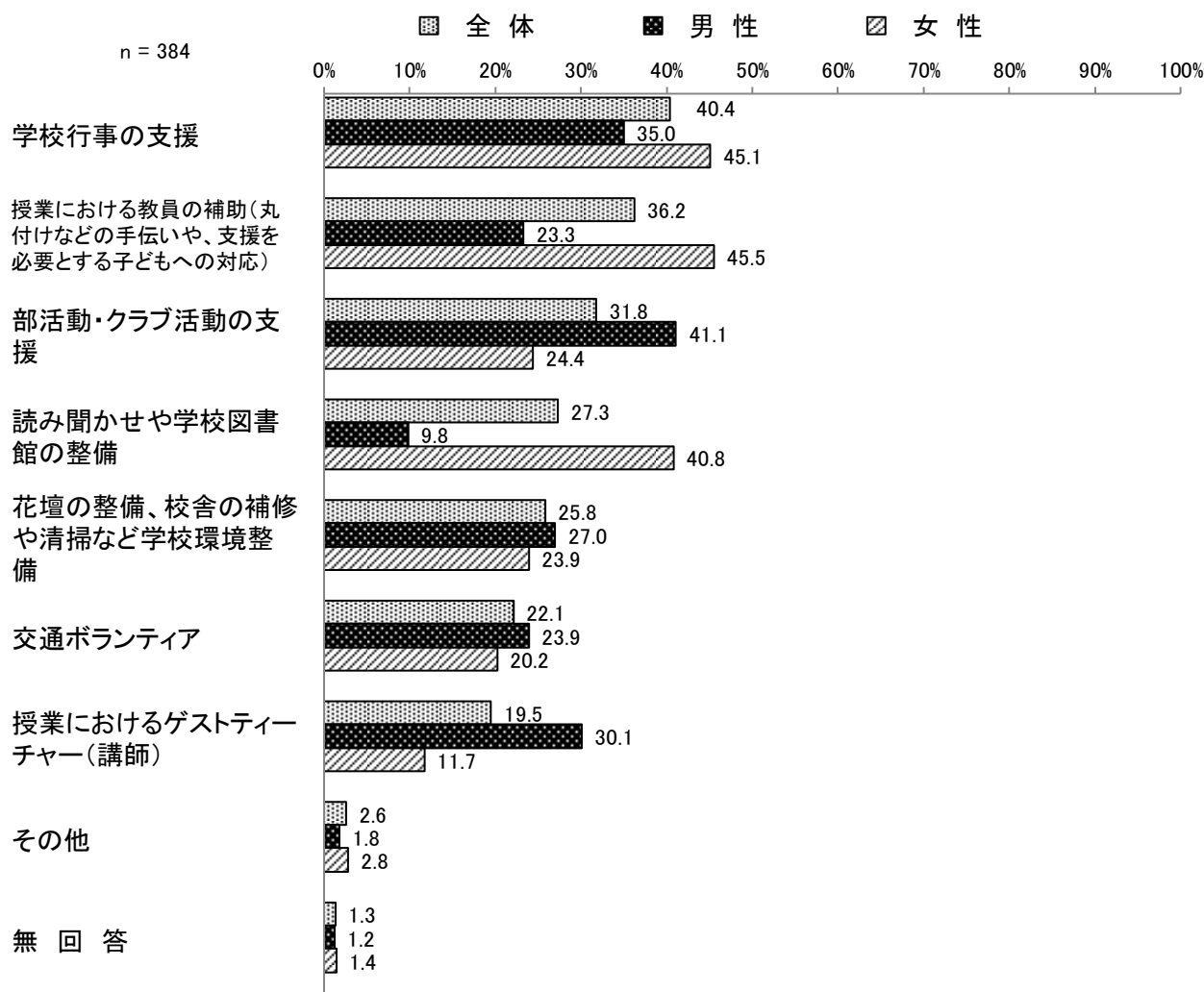
性別では、「読み聞かせや学校図書館の整備」で女性が40.8%と、男性の9.8%より31.0ポイント多くなっている。

年齢別では、「花壇の整備、校舎の補修や清掃など学校環境整備」で全体の25.8%に対して、70歳以上では39.3%と13.5ポイント多くなっている。

職業別では、「読み聞かせや学校図書館の整備」で全体の27.3%に対して、専業主婦・主夫では44.1%と16.8ポイント多くなっている。

平成26年調査との比較では、「授業における教員の補助（丸付けなどの手伝いや、支援を必要とする子どもへの対応）」で平成26年の15.2%に対し、令和元年が36.2%と21.0ポイント多くなっている。

問19 興味がある小中学校でのボランティア活動[%・複数回答]



【属性別集計表】

	調査数	問19 興味がある小中学校でのボランティア活動								
		授業におけるゲストティーチャー(講師)	授業における教員の補助(丸付けなどの手伝いや、支援を必要とする子どもへの対応)	部活動・クラブ活動の支援	学校行事の支援	読み聞かせや学校図書館の整備	花壇の整備、校舎の補修や清掃など学校環境整備	交通ボランティア	その他	
全体	384	19.5	36.2	31.8	40.4	27.3	25.8	22.1	2.6	
年齢別	18～29歳	37	40.5	45.9	48.6	56.8	13.5	5.4	8.1	0.0
	30～49歳	138	18.1	40.6	31.2	47.1	32.6	21.7	13.8	2.9
	50～69歳	142	17.6	34.5	28.9	32.4	28.9	28.9	29.6	2.8
	70歳以上	61	14.8	21.3	29.5	34.4	19.7	39.3	31.1	1.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	151	27.8	29.8	37.7	45.7	17.9	17.2	15.2	4.0
	自営業(農業を含む)	26	38.5	26.9	38.5	30.8	26.9	23.1	34.6	3.8
	アルバイトやパートなど	79	7.6	48.1	27.8	41.8	41.8	36.7	26.6	1.3
	学生	13	30.8	61.5	46.2	46.2	7.7	7.7	7.7	0.0
	専業主婦・主夫	59	6.8	40.7	11.9	40.7	44.1	37.3	23.7	0.0
	収入のある仕事はしていない	36	11.1	30.6	36.1	33.3	22.2	25.0	27.8	2.8
	その他	14	28.6	14.3	28.6	7.1	7.1	21.4	35.7	7.1

	調査数	問19 興味がある小中学校でのボランティア活動	
		無回答	
全体	384	1.3	
年齢別	18～29歳	37	2.7
	30～49歳	138	0.0
	50～69歳	142	1.4
	70歳以上	61	3.3
職業別	正社員・公務員・団体職員など	151	0.7
	自営業(農業を含む)	26	0.0
	アルバイトやパートなど	79	0.0
	学生	13	0.0
	専業主婦・主夫	59	1.7
	収入のある仕事はしていない	36	5.6
	その他	14	7.1

【平成 26 年調査との比較表】

	調査数	問19 興味がある小中学校でのボランティア活動								
		授業におけるゲストティーチャー(講師)	授業における教員の補助(丸付けなどの手伝いや、支援を必要とする子どもへの対応)	部活動・クラブ活動の支援	学校行事の支援	読み聞かせや学校図書館の整備	花壇の整備、校舎の補修や清掃など学校環境整備	交通ボランティア	その他	
令和元年	384	19.5	36.2	31.8	40.4	27.3	25.8	22.1	2.6	
平成26年	1583	11.3	15.2	25.3	33.2	16.9	27.5	-	3.7	

	調査数	問19 興味がある小中学校でのボランティア活動	
		学校でのボランティア活動に興味はない	無回答
令和元年	384	-	1.3
平成26年	1583	14.6	11.2

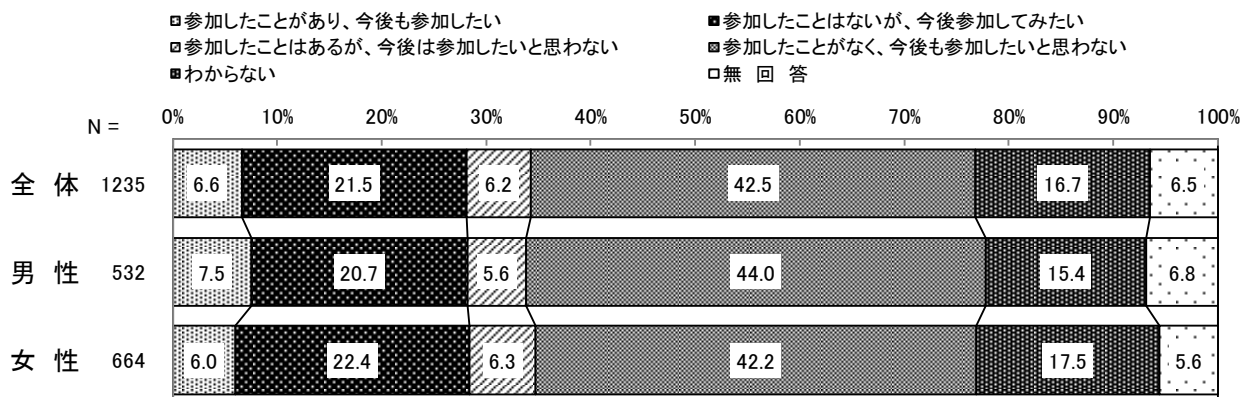
※問 19 は令和元年調査では問 18 の付問であるが、平成 26 年調査では独立した設問であるため、調査数に大きな差が生じている。「授業における教員の補助(丸付けなどの手伝いや、支援を必要とする子どもへの対応)」の選択肢は平成 26 年における「授業における教員の補助(丸付けなどの手伝いや)」の割合となる。

(5) あなたは、学校以外の場で地域の子どもの学びを支援するボランティア活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。

全体では、「参加したことがなく、今後も参加したいと思わない」が42.5%と最も多く、次いで「参加したことはないが、今後参加してみたい」(21.5%)である。

性別では、「参加したことがなく、今後も参加したいと思わない」で男性が44.0%と、女性の42.2%より1.8ポイント多くなっている。

問20 学校以外の子どもの学び支援ボランティアしたいか [%]



【属性別集計表】

	調査数	問20 学校以外の子どもの学び支援ボランティアしたいか						
		参加したことがあり、今後も参加したい	参加したことはないが、今後参加してみたい	参加したことはあるが、今後は参加したいと思わない	参加したことがなく、今後参加したいと思わない	わからない	無回答	
全体	1235	6.6	21.5	6.2	42.5	16.7	6.5	
年齢別	18～29歳	106	9.4	26.4	2.8	40.6	17.9	2.8
	30～49歳	342	8.5	26.3	2.9	43.9	16.7	1.8
	50～69歳	455	5.9	21.8	6.2	42.0	19.1	5.1
	70歳以上	304	4.6	13.8	10.9	43.8	12.8	14.1
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	8.6	25.9	4.7	40.6	15.5	4.7
	自営業(農業を含む)	74	12.2	18.9	8.1	39.2	12.2	9.5
	アルバイトやパートなど	232	5.6	23.3	4.3	42.2	20.3	4.3
	学生	35	8.6	28.6	2.9	34.3	22.9	2.9
	専業主婦・主夫	228	3.9	18.0	10.1	46.9	16.7	4.4
	収入のある仕事はしていない	160	5.6	16.3	6.9	46.9	15.0	9.4
	その他	64	3.1	14.1	4.7	43.8	17.2	17.2

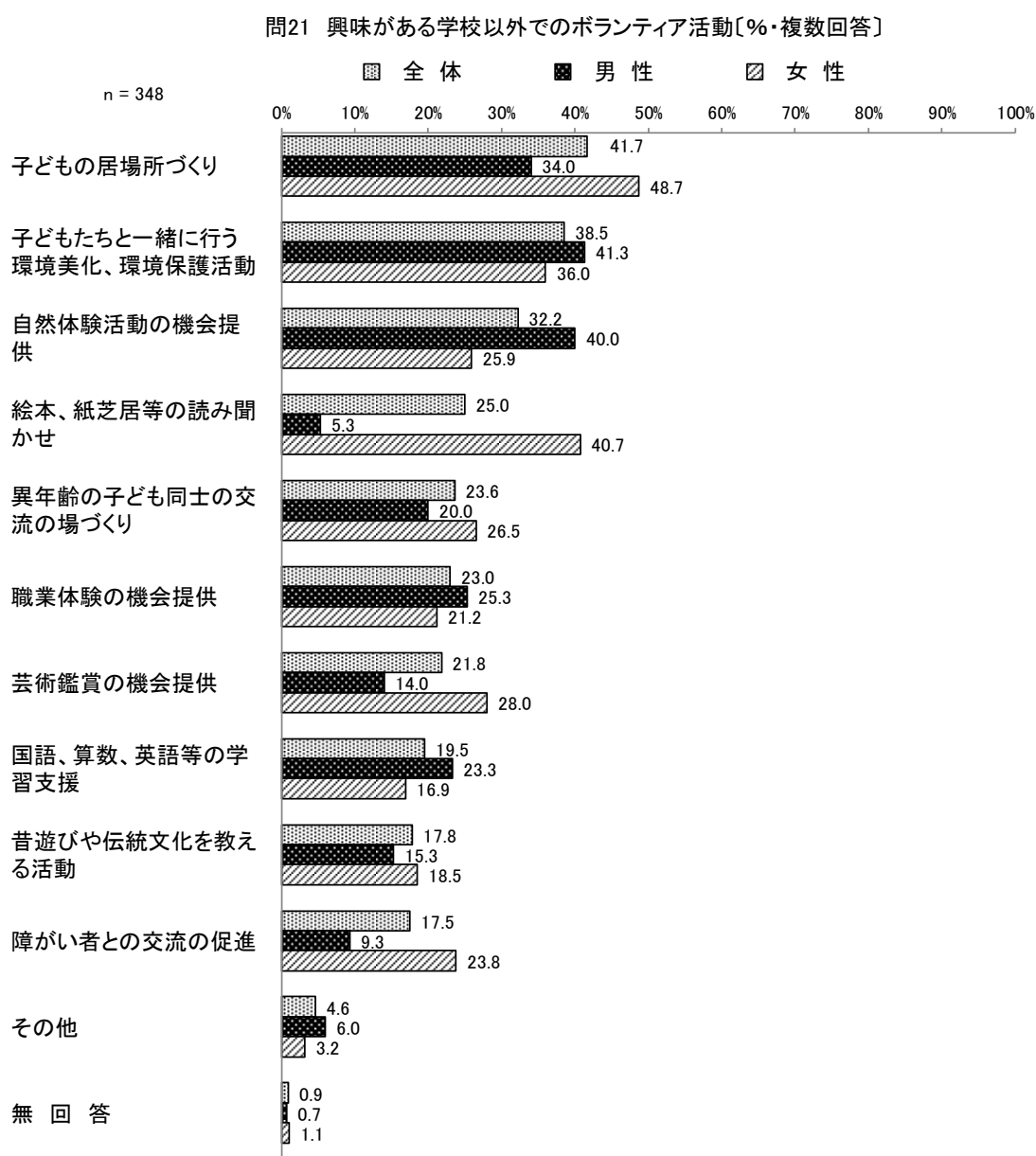
(6) あなたが学校以外の場で地域の子どもたちの学びを支援するボランティア活動をするとしたなら、どのような活動に興味がありますか。

全体では、「子どもの居場所づくり」が41.7%と最も多く、次いで「子どもたちと一緒にいる環境美化、環境保護活動」(38.5%)、「自然体験活動の機会提供」(32.2%)である。

性別では、「絵本、紙芝居等の読み聞かせ」で女性が40.7%と、男性の5.3%より35.4ポイント多くなっている。

年齢別では、「異年齢の子ども同士の交流の場づくり」で全体の23.6%に対して、18～29歳では36.8%と13.2ポイント多くなっている。

職業別では、「子どもの居場所づくり」で全体の41.7%に対して、学生では53.8%と12.1ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問21 興味がある学校以外でのボランティア活動								
		自然体験活動の機会提供	芸術鑑賞の機会提供	異年齢の子ども同士の交流の場づくり	子どもの居場所づくり	障がい者との交流の促進	国語、算数、英語等の学習支援	絵本、紙芝居等の読み聞かせ	昔遊びや伝統文化を教える活動	
全体	348	32.2	21.8	23.6	41.7	17.5	19.5	25.0	17.8	
年齢別	18～29歳	38	39.5	21.1	36.8	50.0	23.7	13.2	21.1	23.7
	30～49歳	119	33.6	26.9	20.2	44.5	17.6	22.7	29.4	15.1
	50～69歳	126	28.6	19.0	26.2	40.5	17.5	19.8	22.2	16.7
	70歳以上	56	32.1	17.9	16.1	35.7	12.5	17.9	25.0	17.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	140	45.7	24.3	24.3	42.9	15.0	20.0	18.6	17.1
	自営業(農業を含む)	23	39.1	26.1	17.4	34.8	8.7	21.7	26.1	13.0
	アルバイトやパートなど	67	20.9	23.9	31.3	49.3	28.4	19.4	34.3	22.4
	学生	13	7.7	23.1	38.5	53.8	7.7	30.8	15.4	7.7
	専業主婦・主夫	50	20.0	14.0	22.0	36.0	18.0	10.0	44.0	14.0
	収入のある仕事はしていない	35	22.9	20.0	14.3	40.0	20.0	25.7	14.3	20.0
	その他	11	27.3	9.1	0.0	27.3	0.0	27.3	9.1	9.1

	調査数	問21 興味がある学校以外でのボランティア活動				
		職業体験の機会提供	子どもたちと一緒に 行う環境美化、環境保護活動	その他	無回答	
全体	348	23.0	38.5	4.6	0.9	
年齢別	18～29歳	38	39.5	31.6	2.6	2.6
	30～49歳	119	37.0	32.8	4.2	0.8
	50～69歳	126	15.1	43.7	2.4	0.0
	70歳以上	56	0.0	42.9	10.7	1.8
職業別	正社員・公務員・団体職員など	140	34.3	37.1	4.3	0.7
	自営業(農業を含む)	23	13.0	43.5	4.3	0.0
	アルバイトやパートなど	67	20.9	46.3	1.5	1.5
	学生	13	38.5	23.1	7.7	0.0
	専業主婦・主夫	50	10.0	26.0	4.0	0.0
	収入のある仕事はしていない	35	8.6	48.6	5.7	2.9
	その他	11	0.0	36.4	18.2	0.0

6 松戸市内の社会教育施設等について

(1) 各施設について、利用したことがあるかどうかを教えてください。また、ハード面（施設、設備等）、ソフト面（イベント等の催し物、情報提供等）それぞれの満足度、施設に期待すること、施設についてほしい情報を教えてください。

ア. 矢切公民館

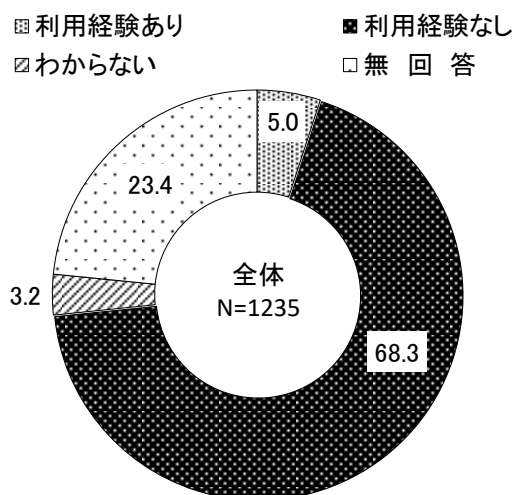
利用状況は、「利用経験あり」が5.0%、「利用経験なし」が68.3%である。

満足度は、ハード面において「満足である」が8.1%、「不満である」が12.9%である。ソフト面において「満足である」が9.7%、「不満である」が6.5%である。

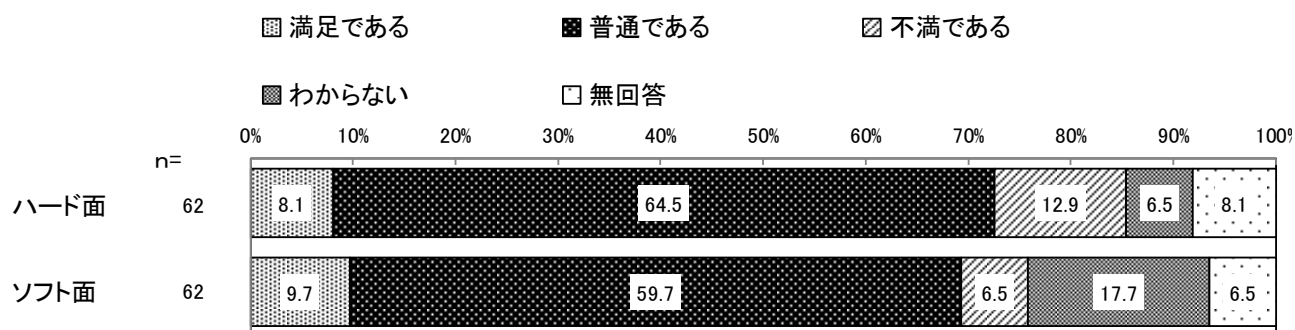
施設に期待することとしては、「施設の老朽化への対応」が4.0%と最も多く、次いで「駐車場の整備」(2.0%)である。

施設についてほしい情報として、「催し物の情報」が10.4%と最も多く、次いで「施設利用案内」(6.5%)である。

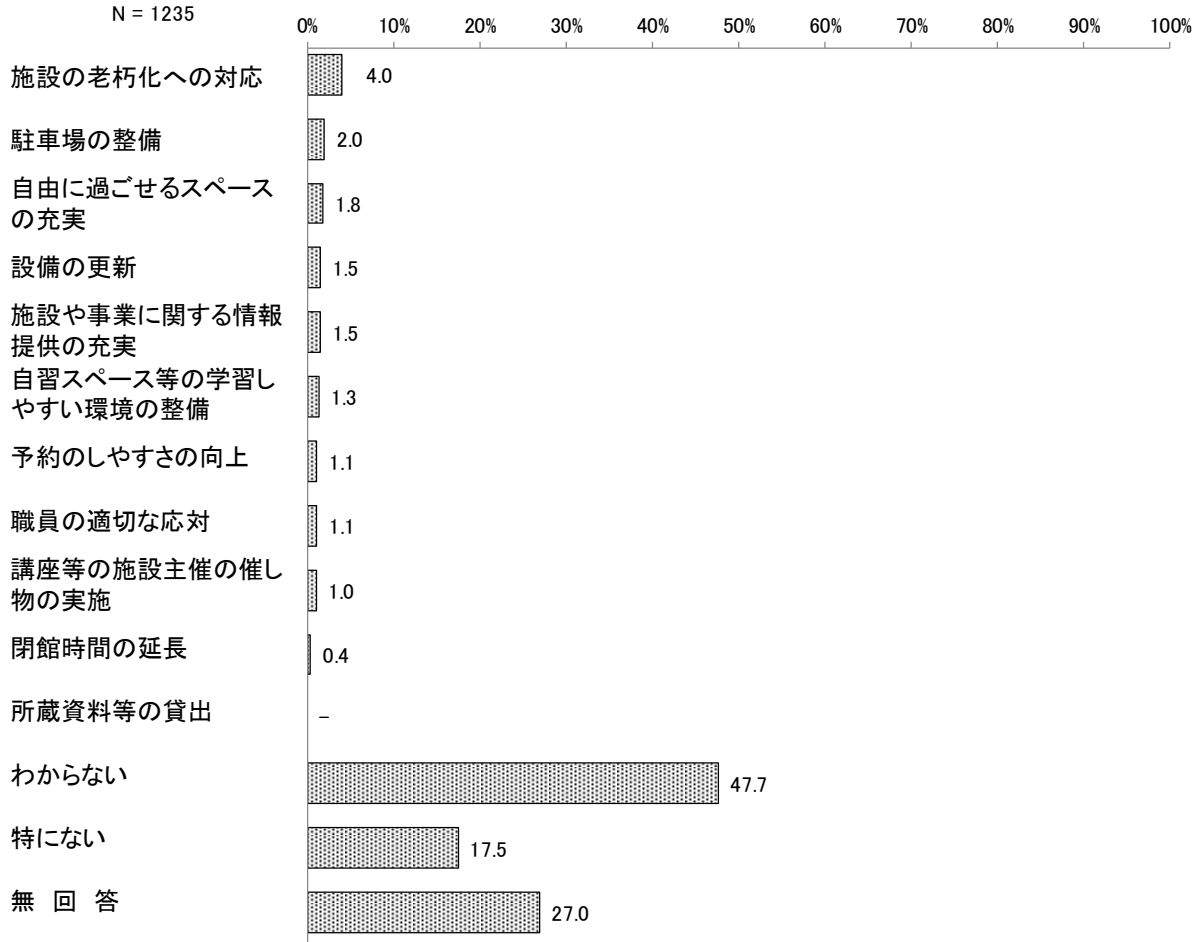
問22 ①利用の有無[%]



問22 ②各施設の満足度[%]

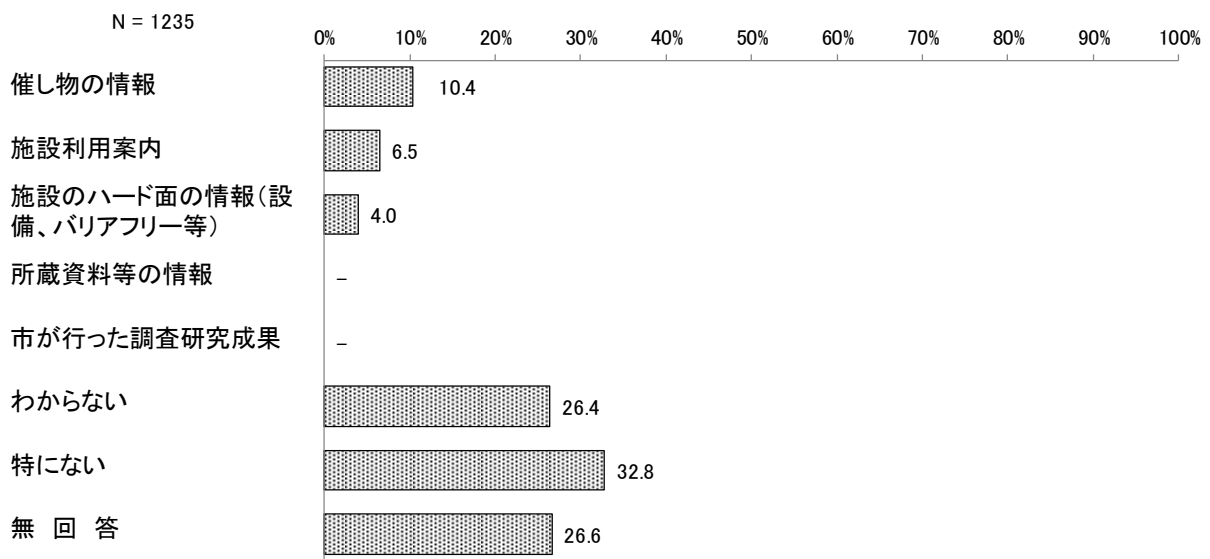


問23 施設に期待すること[%・複数回答]



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]



※「所蔵資料等の情報」「市が行った調査研究成果」は本施設の選択肢からは除外している。

イ. 文化ホール

利用状況は、「利用経験あり」が17.1%、「利用経験なし」が54.8%である。

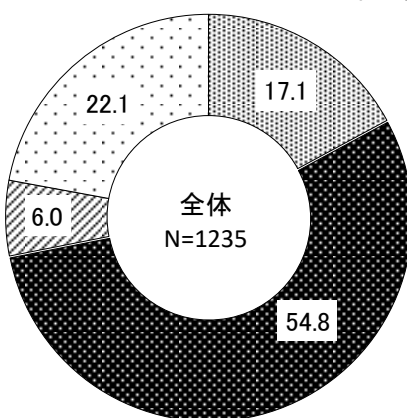
満足度は、ハード面において「満足である」が14.7%、「不満である」が8.1%である。ソフト面において「満足である」が14.7%、「不満である」が6.6%である。

施設に期待することとしては、「施設の老朽化への対応」が3.7%と最も多く、次いで「駐車場の整備」(3.4%)である。

施設についてほしい情報として、「催し物の情報」が15.5%と最も多く、次いで「施設利用案内」(7.7%)である。

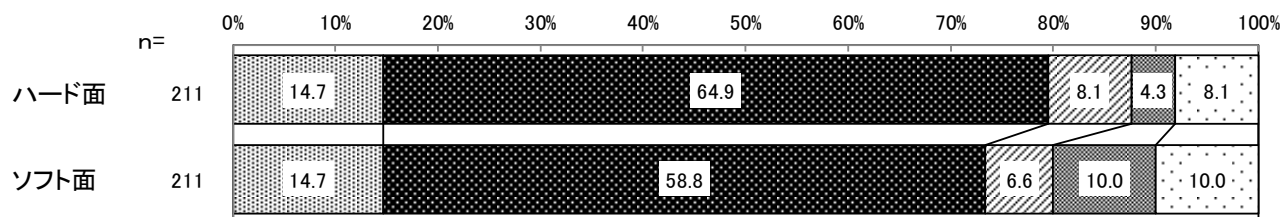
問22 ①利用の有無[%]

■ 利用経験あり ■ 利用経験なし
 ■ わからない □ 無回答

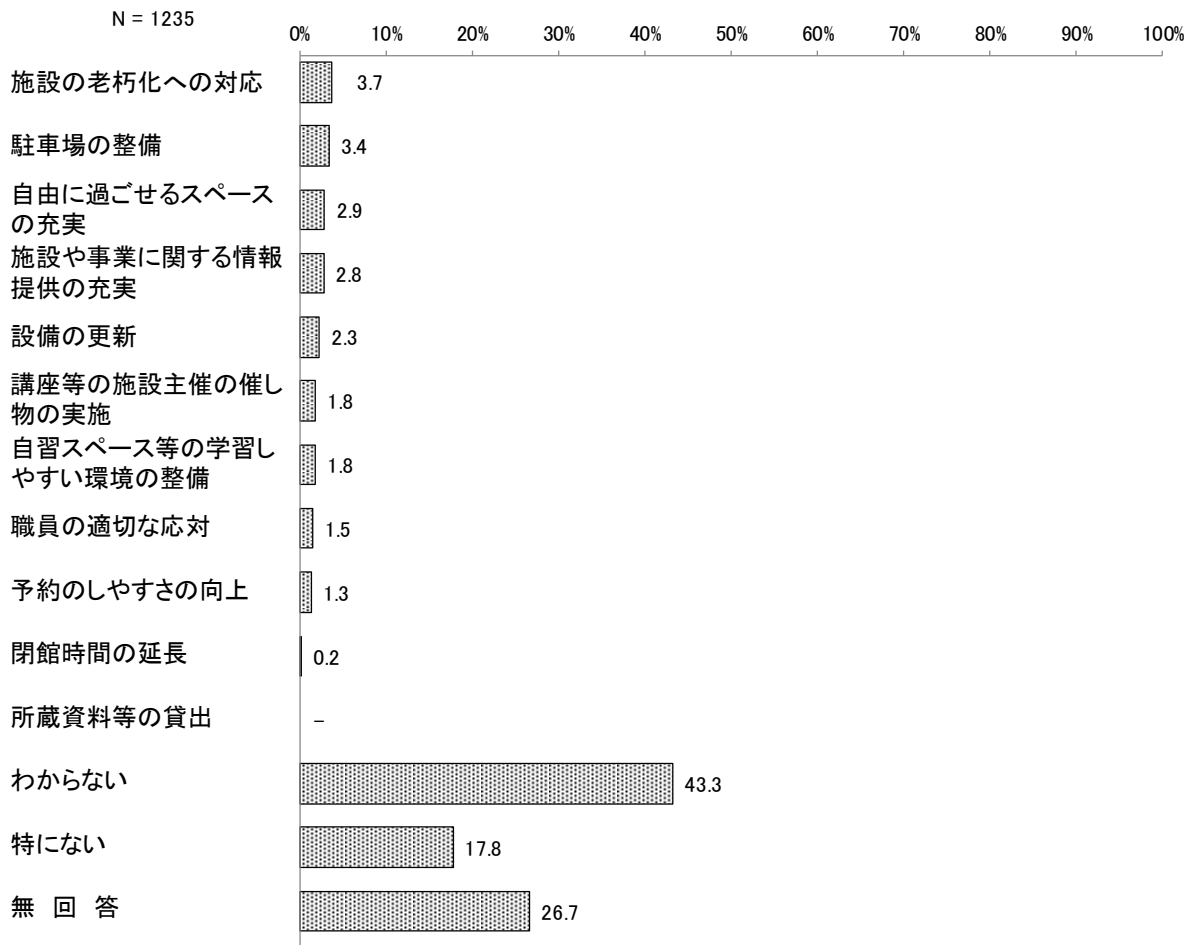


問22 ②各施設の満足度[%]

■ 満足である ■ 普通である ■ 不満である
 ■ わからない □ 無回答

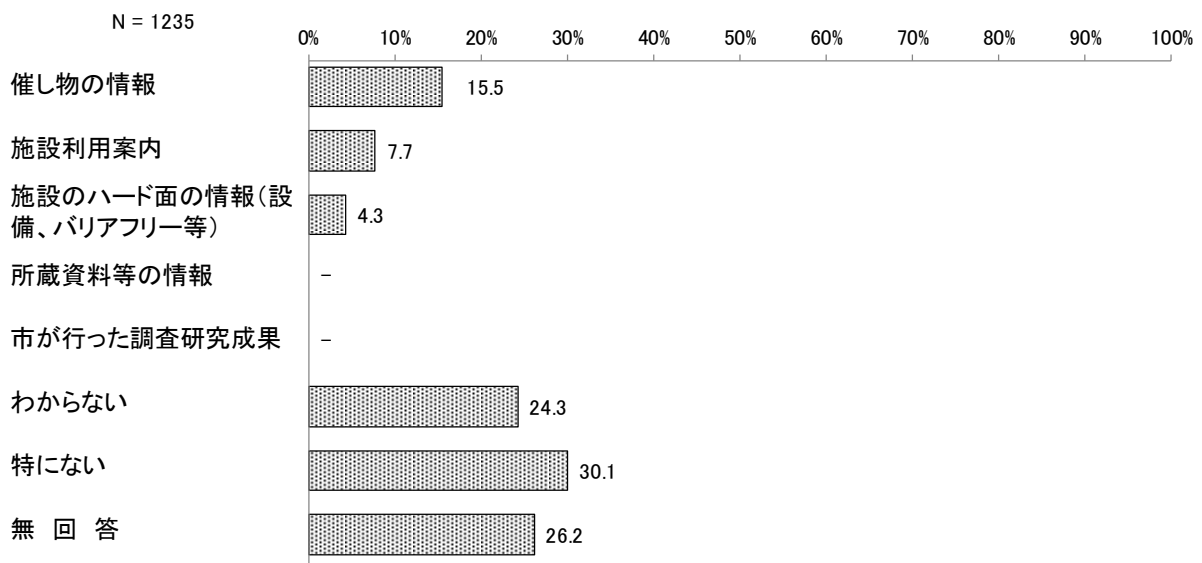


問23 施設に期待すること[%・複数回答]



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]



※「所蔵資料等の情報」「市が行った調査研究成果」は本施設の選択肢からは除外している。

ウ. 青少年会館

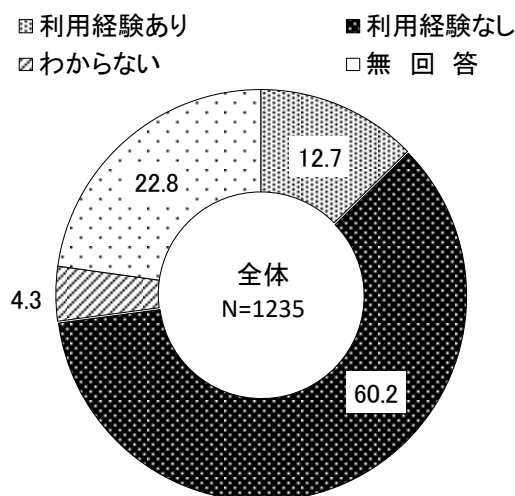
利用状況は、「利用経験あり」が12.7%、「利用経験なし」が60.2%である。

満足度は、ハード面において「満足である」が10.2%、「不満である」が19.7%である。ソフト面において「満足である」が13.4%、「不満である」が10.8%である。

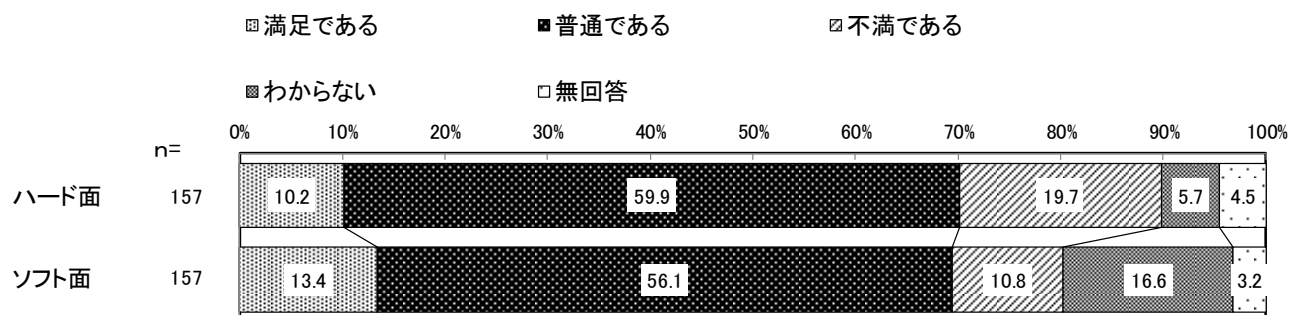
施設に期待することとしては、「施設の老朽化への対応」が5.8%と最も多く、次いで「自由に過ごせるスペースの充実」(3.0%)である。

施設についてほしい情報として、「催し物の情報」が11.5%と最も多く、次いで「施設利用案内」(7.2%)である。

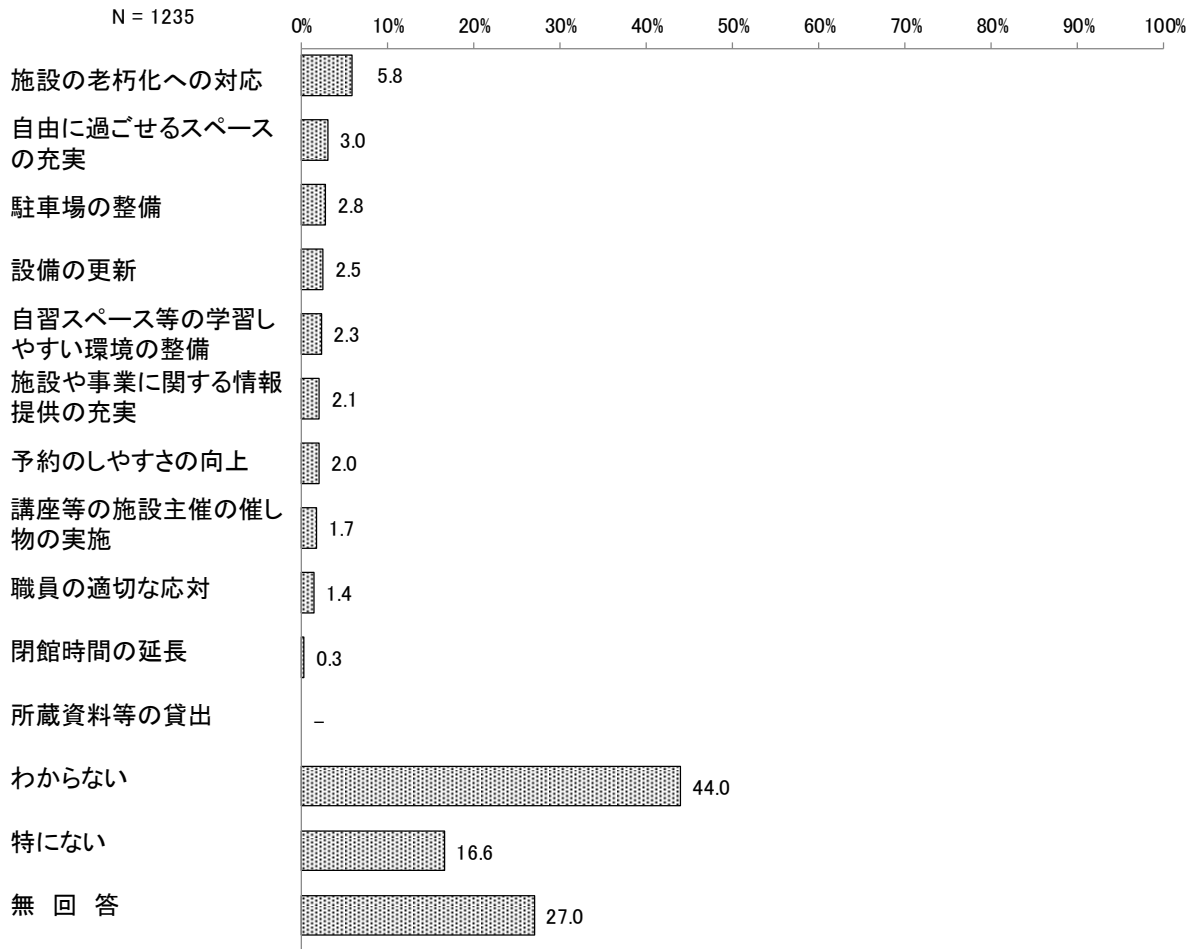
問22 ①利用の有無[%]



問22 ②各施設の満足度[%]

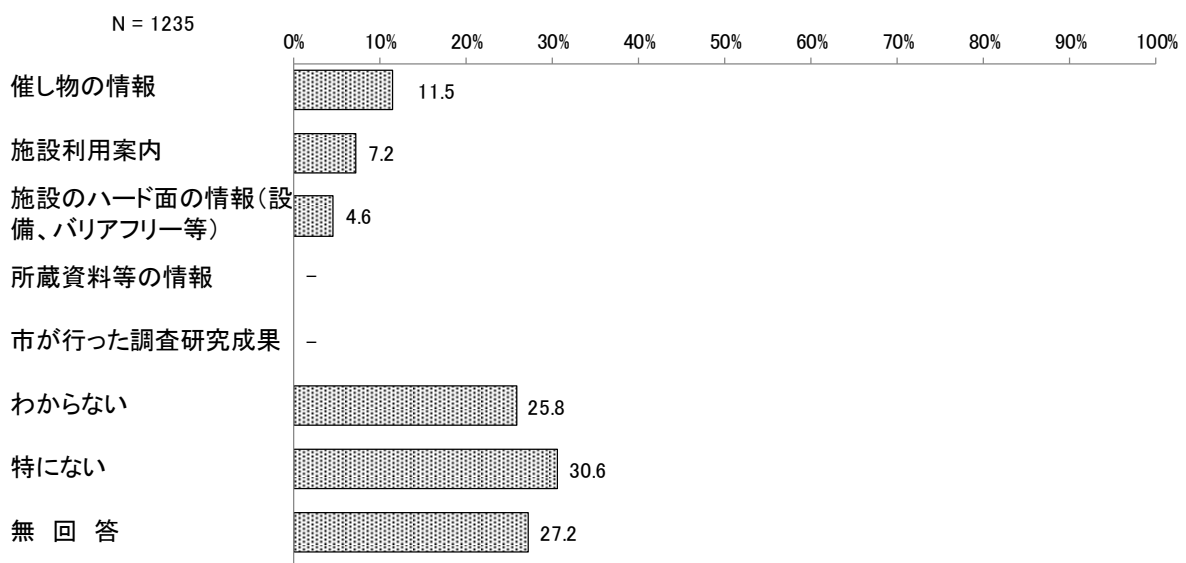


問23 施設に期待すること[%・複数回答]



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]



※「所蔵資料等の情報」「市が行った調査研究成果」は本施設の選択肢からは除外している。

エ. 松戸市民会館

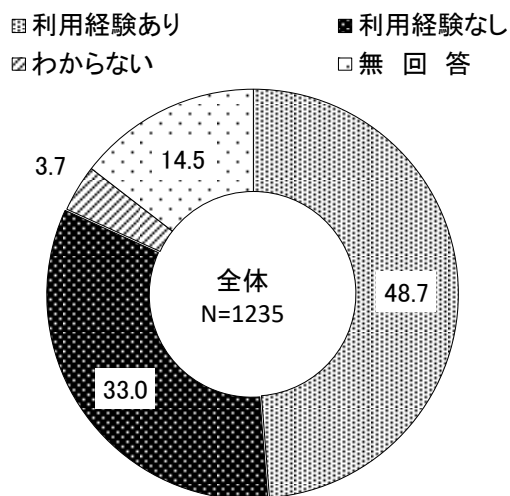
利用状況は、「利用経験あり」が48.7%、「利用経験なし」が33.0%である。

満足度は、ハード面において「満足である」が9.6%、「不満である」が26.1%である。ソフト面において「満足である」が9.8%、「不満である」が13.0%である。

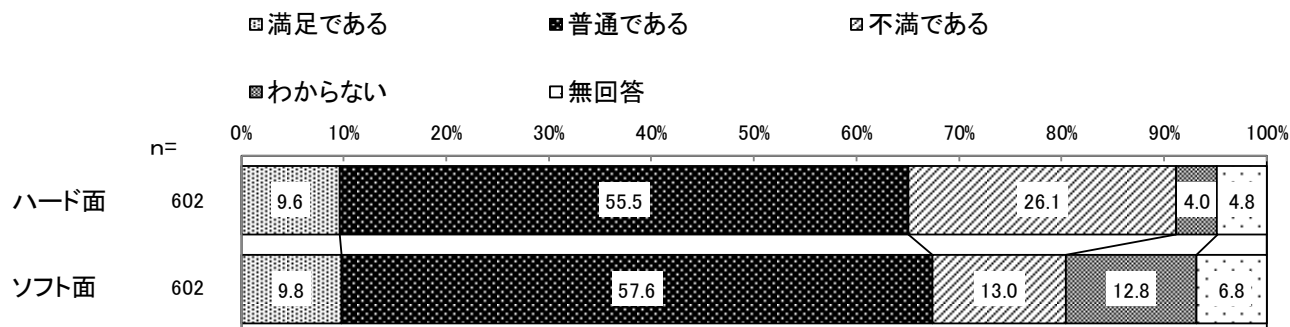
施設に期待することとしては、「施設の老朽化への対応」が27.0%と最も多く、次いで「駐車場の整備」(12.2%)である。

施設についてほしい情報として、「催し物の情報」が26.4%と最も多く、次いで「施設利用案内」(10.0%)である。

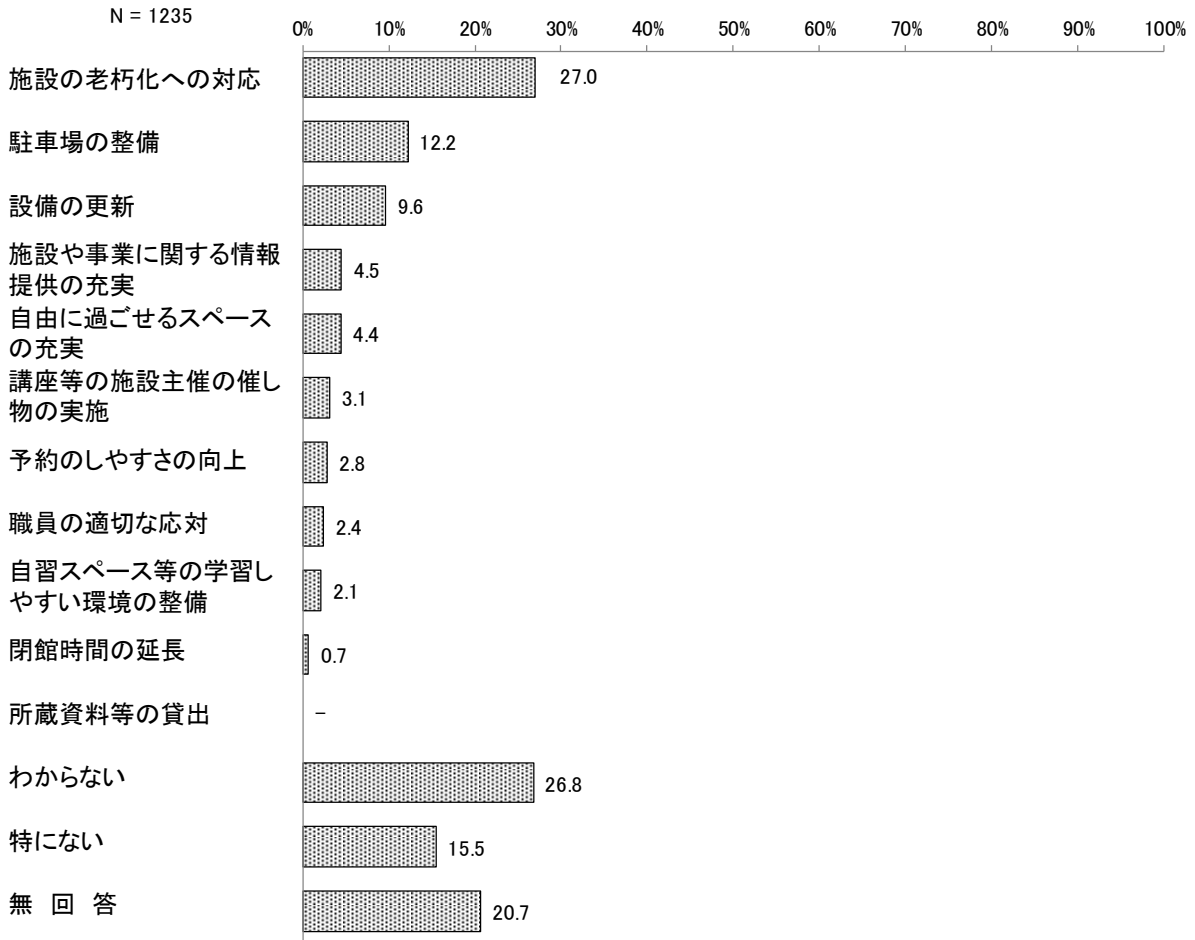
問22 ①利用の有無 [%]



問22 ②各施設の満足度 [%]

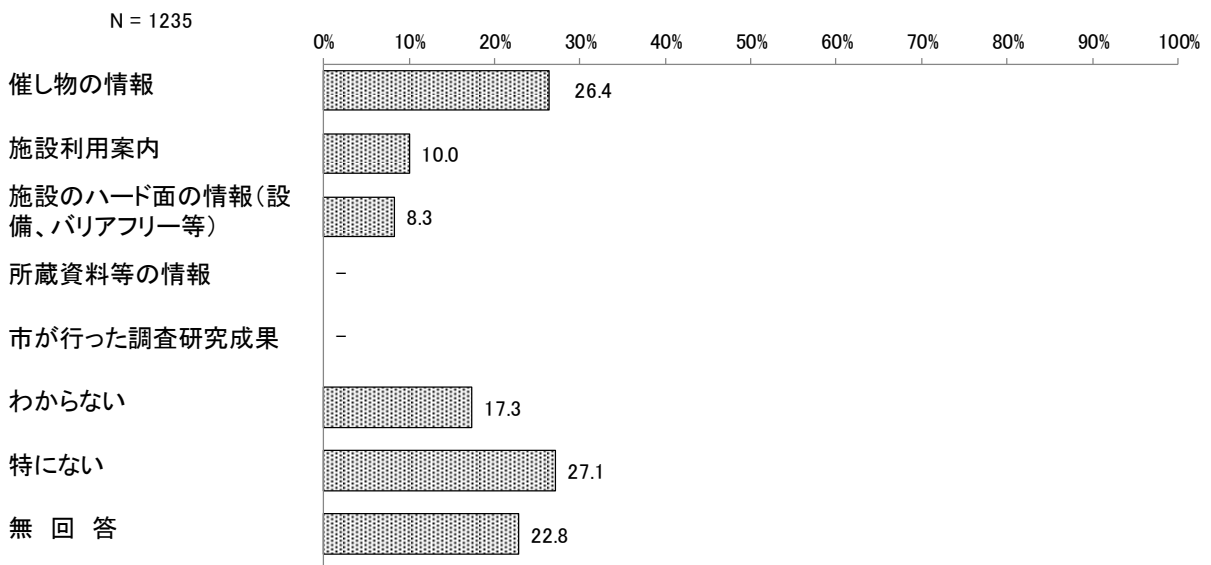


問23 施設に期待すること[%・複数回答]



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]



※「所蔵資料等の情報」「市が行った調査研究成果」は本施設の選択肢からは除外している。

オ. 松戸市民劇場

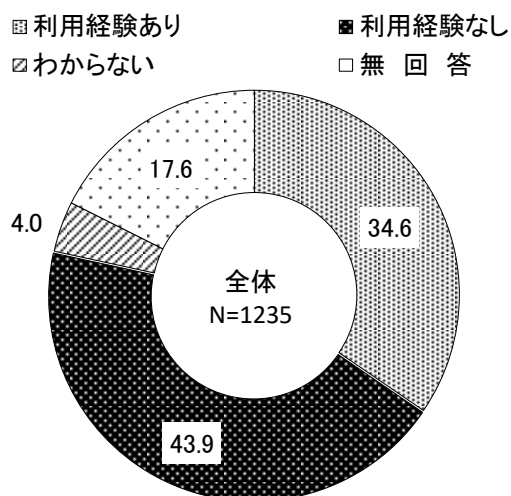
利用状況は、「利用経験あり」が34.6%、「利用経験なし」が43.9%である。

満足度は、ハード面において「満足である」が16.2%、「不満である」が11.2%である。ソフト面において「満足である」が13.3%、「不満である」が8.2%である。

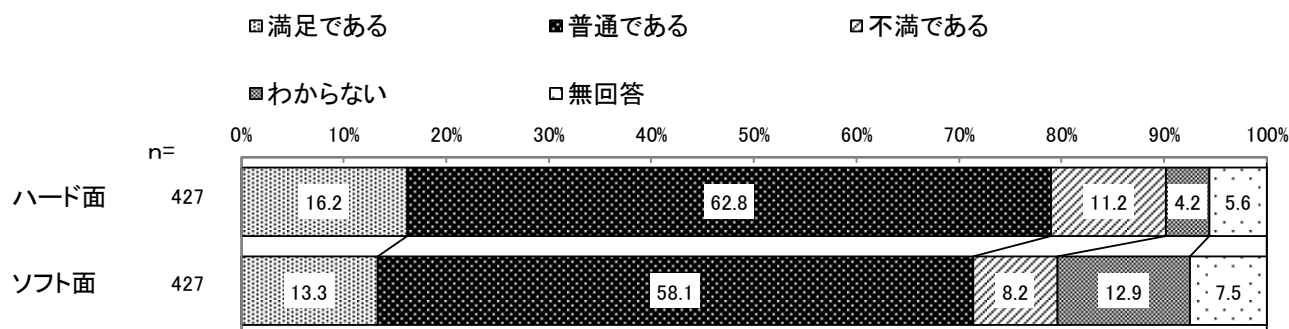
施設に期待することとしては、「施設の老朽化への対応」が10.4%と最も多く、次いで「駐車場の整備」(8.7%)である。

施設についてほしい情報として、「催し物の情報」が25.3%と最も多く、次いで「施設利用案内」(7.7%)である。

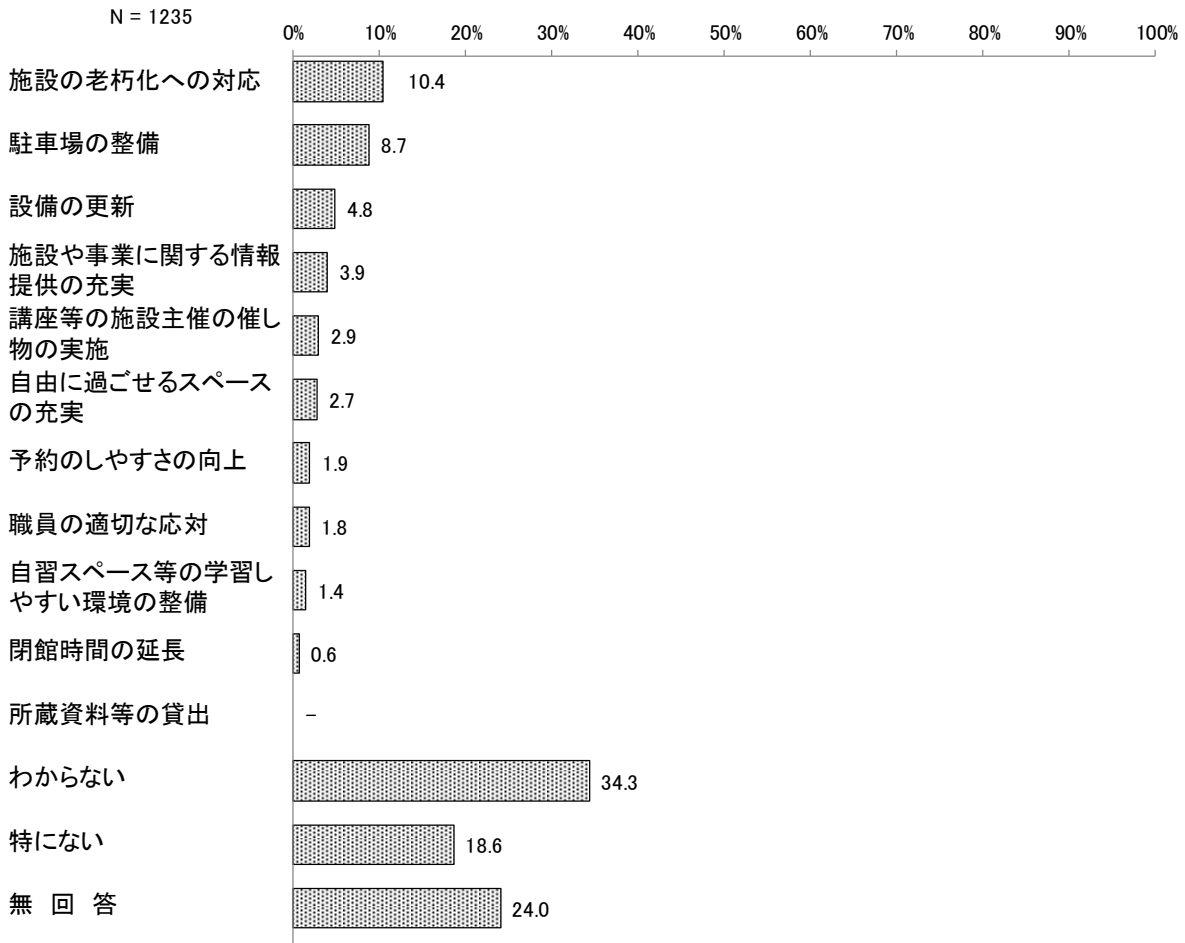
問22 ①利用の有無 [%]



問22 ②各施設の満足度 [%]

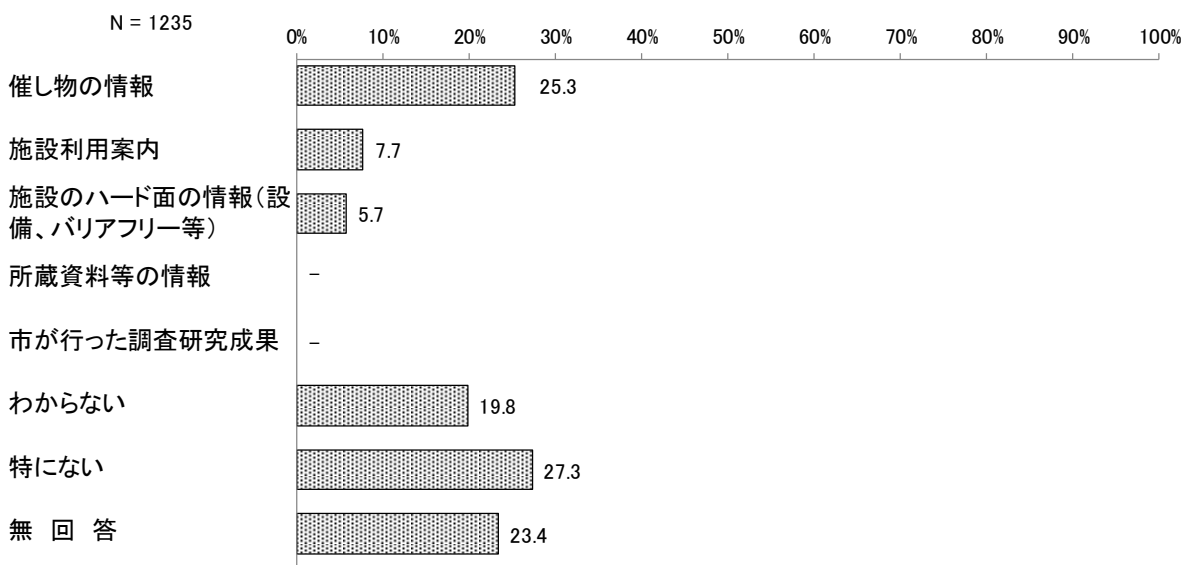


問23 施設に期待すること[%・複数回答]



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]



※「所蔵資料等の情報」「市が行った調査研究成果」は本施設の選択肢からは除外している。

カ. 松戸市立図書館

利用状況は、「利用経験あり」が48.6%、「利用経験なし」が30.4%である。

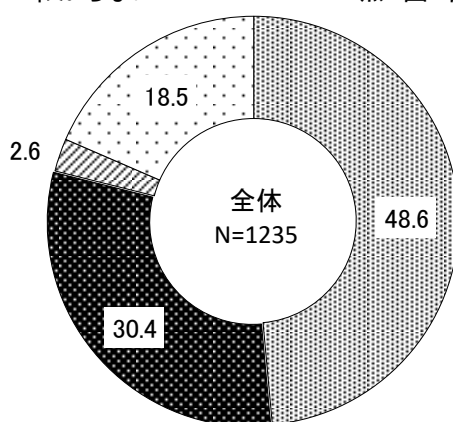
満足度は、ハード面において「満足である」が13.7%、「不満である」が29.5%である。ソフト面において「満足である」が11.2%、「不満である」が21.0%である。

施設に期待することとしては、「施設の老朽化への対応」が15.3%と最も多く、次いで「自習スペース等の学習しやすい環境の整備」(14.3%)である。

施設についてほしい情報として、「催し物の情報」が16.3%と最も多く、次いで「施設利用案内」(12.5%)である。

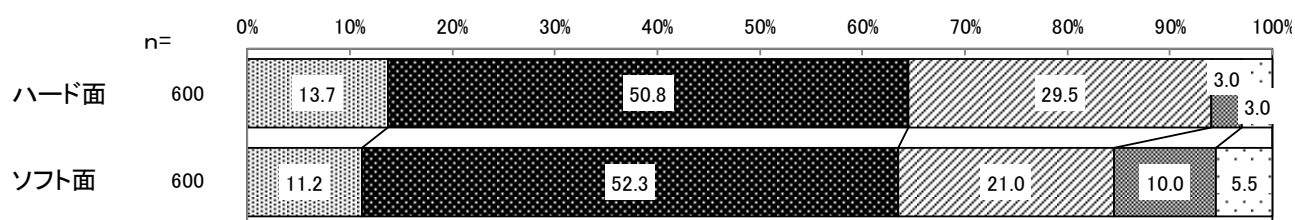
問22 ①利用の有無 [%]

■ 利用経験あり
■ 利用経験なし
▨ わからない
□ 無回答

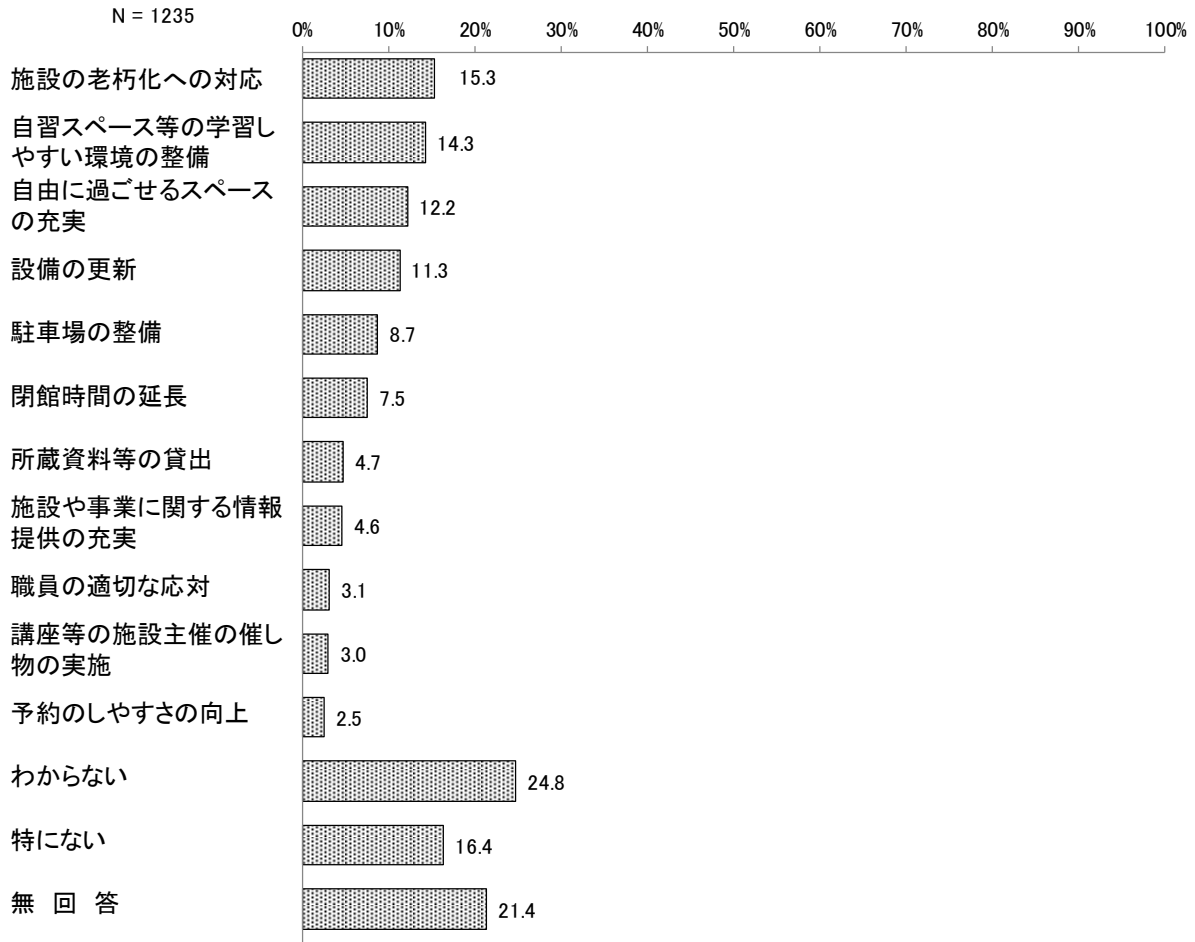


問22 ②各施設の満足度 [%]

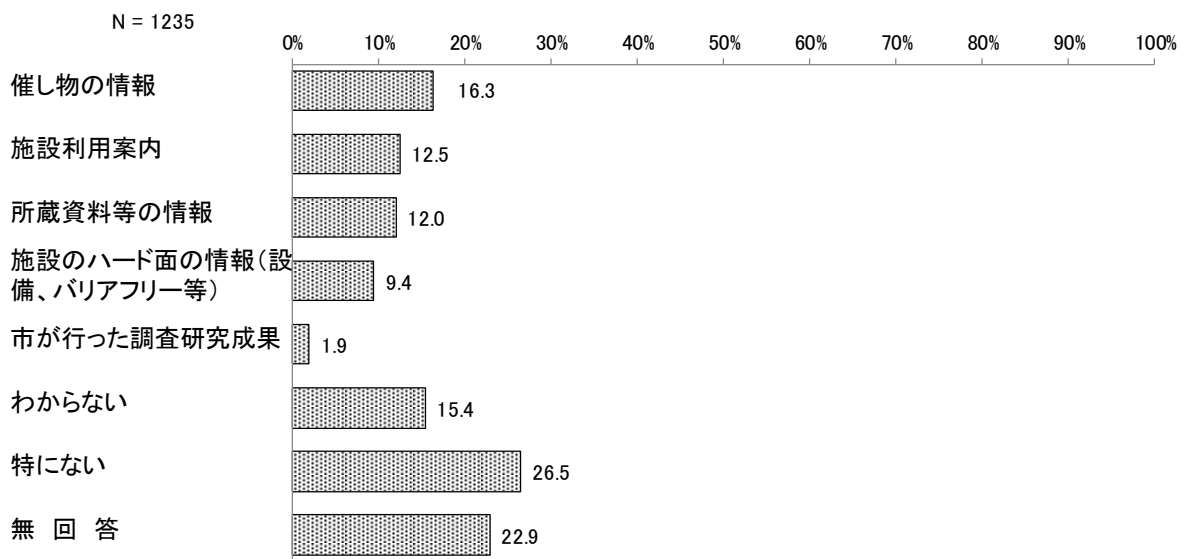
■ 満足である
■ 普通である
▨ 不満である
■ わからない
□ 無回答



問23 施設に期待すること[%・複数回答]



問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]



キ. 戸定邸・戸定歴史館

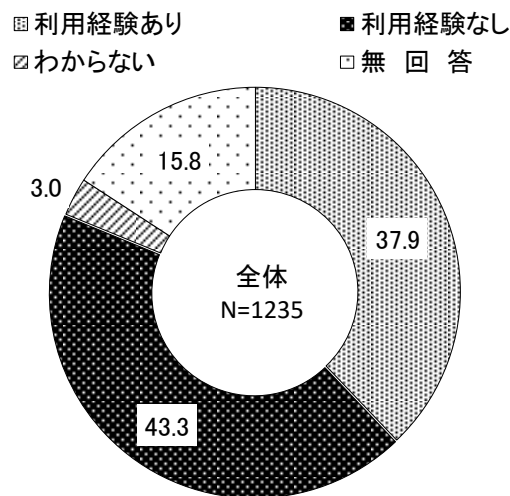
利用状況は、「利用経験あり」が 37.9%、「利用経験なし」が 43.3%である。

満足度は、ハード面において「満足である」が 46.8%、「不満である」が 2.1%である。ソフト面において「満足である」が 30.3%、「不満である」が 3.6%である。

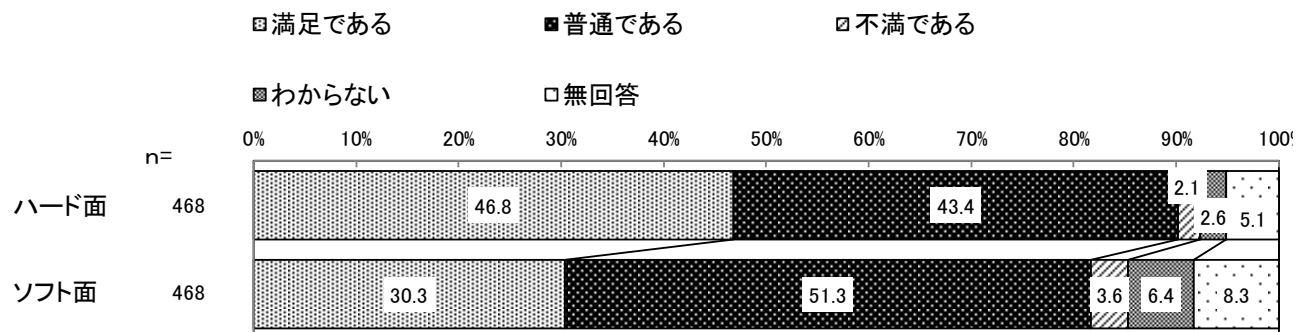
施設に期待することとしては、「施設や事業に関する情報提供の充実」が 5.1%と最も多く、次いで「駐車場の整備」(4.6%)である。

施設についてほしい情報として、「催し物の情報」が 21.6%と最も多く、次いで「施設利用案内」(10.3%)である。

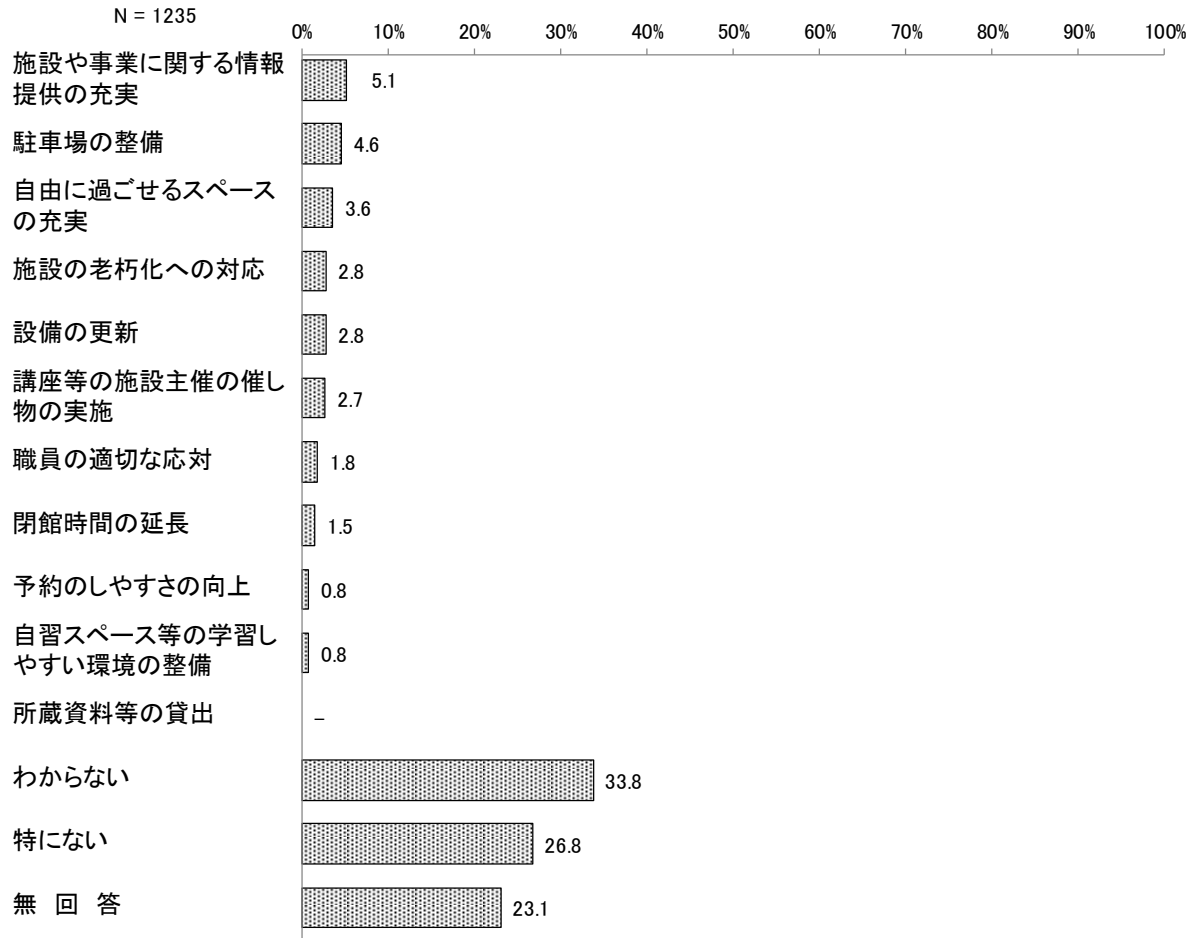
問22 ①利用の有無 [%]



問22 ②各施設の満足度 [%]

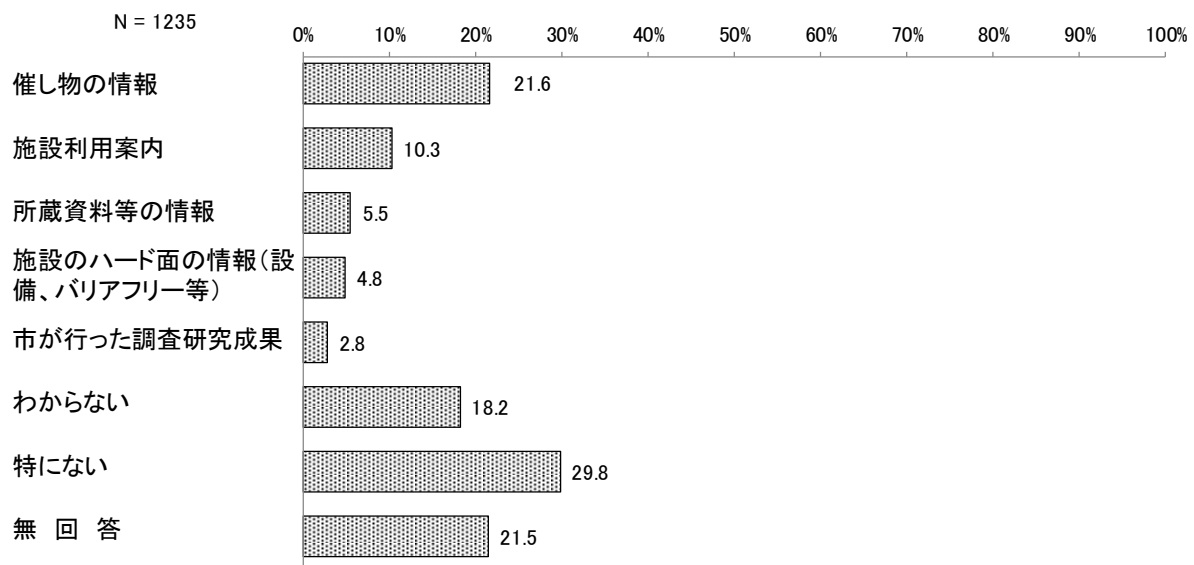


問23 施設に期待すること[%・複数回答]



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]



ク. 松戸市立博物館

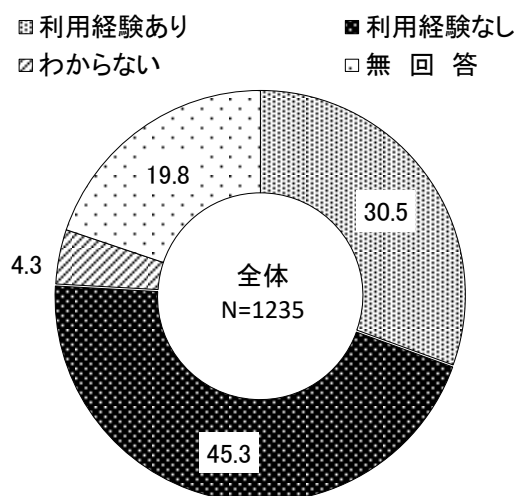
利用状況は、「利用経験あり」が30.5%、「利用経験なし」が45.3%である。

満足度は、ハード面において「満足である」が33.7%、「不満である」が5.0%である。ソフト面において「満足である」が22.3%、「不満である」が9.5%である。

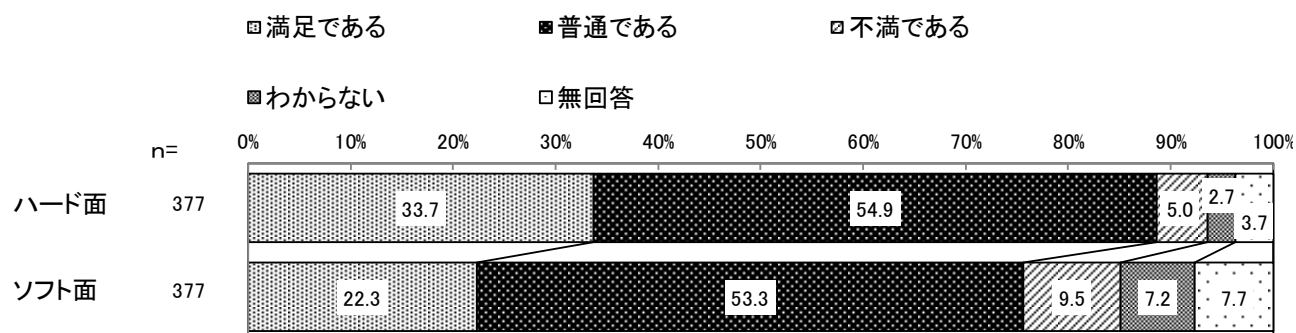
施設に期待することとしては、「施設や事業に関する情報提供の充実」が5.1%と最も多く、次いで「駐車場の整備」(4.1%)である。

施設についてほしい情報として、「催し物の情報」が25.9%と最も多く、次いで「施設利用案内」(9.9%)である。

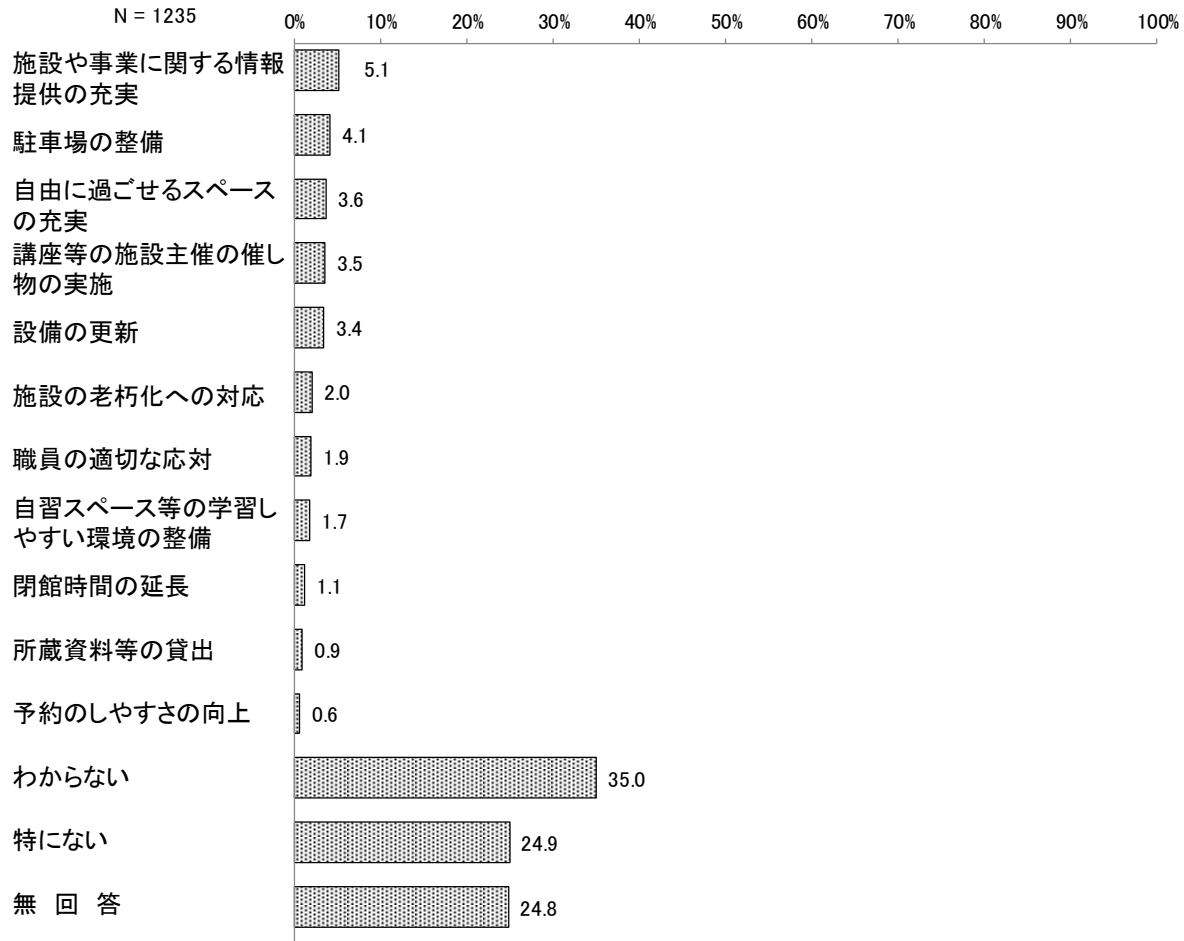
問22 ①利用の有無 [%]



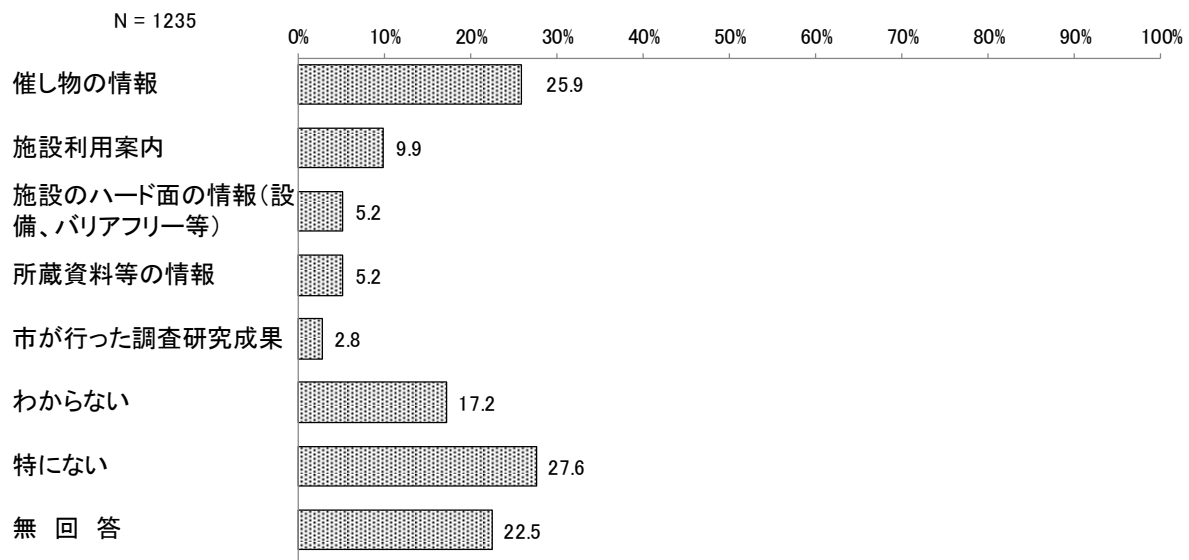
問22 ②各施設の満足度 [%]



問23 施設に期待すること[%・複数回答]



問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]



ケ. 森のホール 21

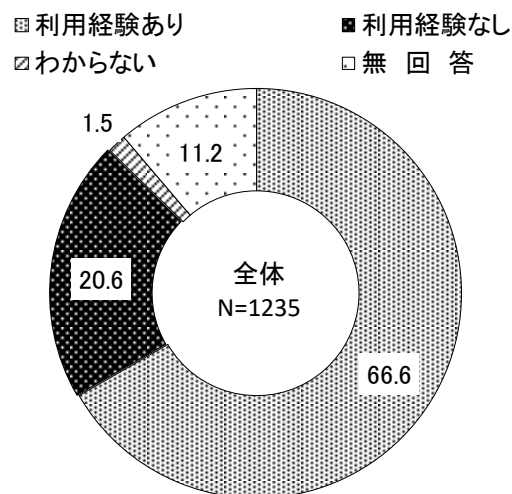
利用状況は、「利用経験あり」が 66.6%、「利用経験なし」が 20.6%である。

満足度は、ハード面において「満足である」が 53.1%、「不満である」が 4.3%である。ソフト面において「満足である」が 37.8%、「不満である」が 5.0%である。

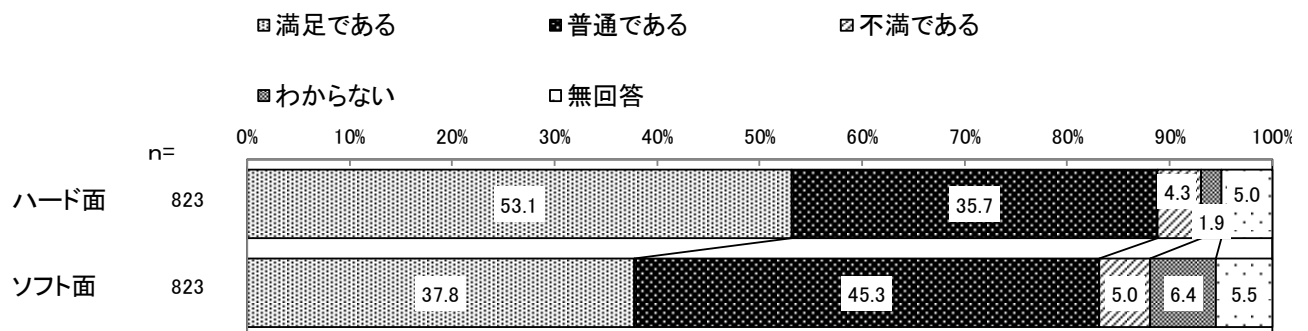
施設に期待することとしては、「施設や事業に関する情報提供の充実」が 8.3%と最も多く、次いで「自由に過ごせるスペースの充実」(8.1%)である。

施設についてほしい情報として、「催し物の情報」が 40.0%と最も多く、次いで「施設利用案内」(14.2%)である。

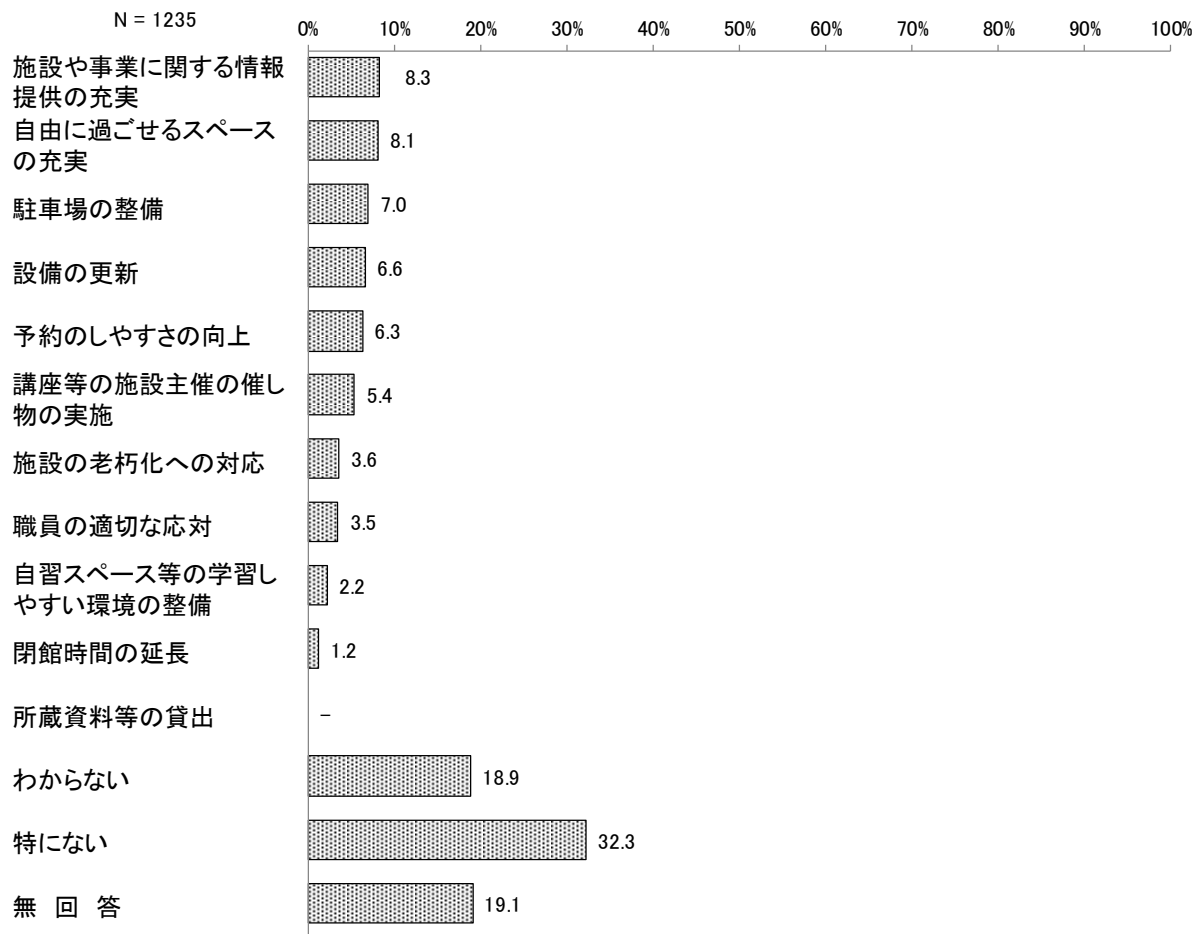
問22 ①利用の有無 [%]



問22 ②各施設の満足度 [%]

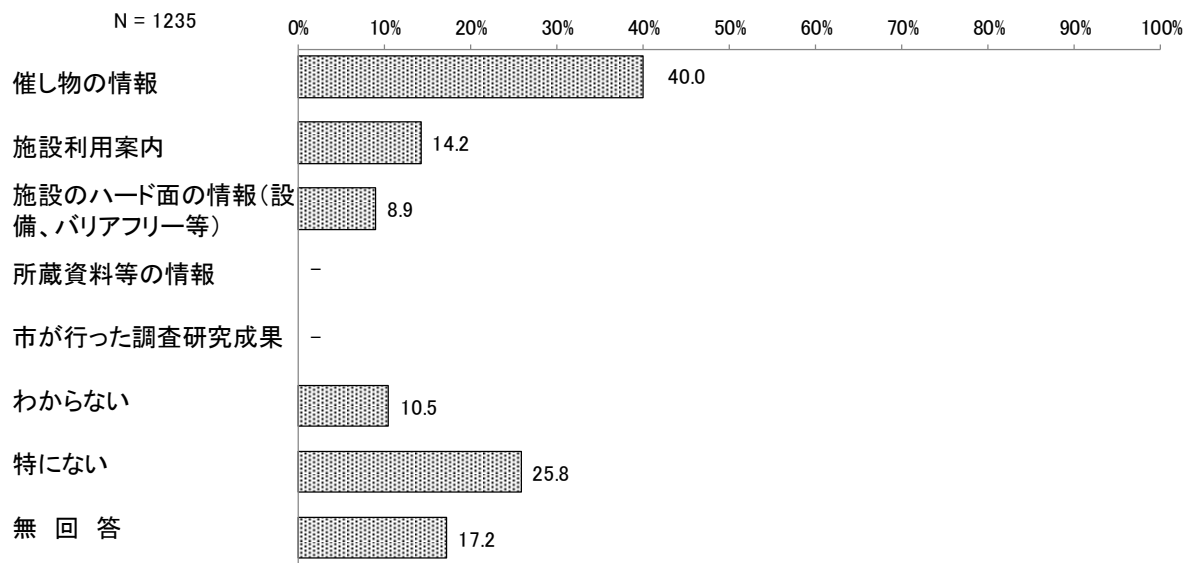


問23 施設に期待すること[%・複数回答]



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]



※「所蔵資料等の情報」「市が行った調査研究成果」は本施設の選択肢からは除外している。

2-2. 市民意識調査結果の着目した点

市民意識調査を実施した結果から、今後の施策立案に向けて着目した点は次に掲げる通りである。

1 「生涯学習活動」に対する考え方

(1) この1年に実施した「生涯学習活動」

着目点	内容
市民ニーズ	若年層（18～49歳）において、「仕事に必要な知識に関すること（専門分野、経営など）」の学習経験が40.9%～54.7%と多くなっている。また、全体でも、前回調査時の14.4%から約1.9倍増の27.0%となるなど、仕事に必要な知識に関することのニーズが伺える。
市民ニーズ	高齢者層（70歳以上）において、「健康に関すること（健康法、医療など）」への学習経験が36.2%と、若年層の2倍以上となっている。

【属性別集計表】

	調査数	問1 この1年にどんな学習(生涯)をしたか							
		趣味・教養に関すること	仕事に必要な知識に関すること(専門分野、経営など)	子育て・家庭教育・学校教育に関すること	生活での実用的な知識に関すること(料理、洋裁など)	健康に関すること(健康法、医療など)	社会的な問題に関すること(高齢化、環境問題など)	ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること	
全体	1235	39.8	27.0	11.9	14.1	23.5	8.7	8.7	
年齢別	18～29歳	106	52.8	54.7	11.3	22.6	12.3	7.5	7.5
	30～49歳	342	33.9	40.9	26.9	16.7	15.2	5.3	6.4
	50～69歳	455	38.0	24.0	6.2	11.4	24.0	6.8	8.8
	70歳以上	304	44.4	6.9	3.6	12.2	36.2	14.8	11.8
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	33.3	48.8	14.3	11.3	14.3	7.1	5.4
	自営業(農業を含む)	74	44.6	40.5	5.4	5.4	33.8	16.2	9.5
	アルバイトやパートなど	232	41.4	23.7	13.4	17.7	23.3	3.9	8.2
	学生	35	60.0	54.3	14.3	20.0	11.4	14.3	17.1
	専業主婦・主夫	228	41.7	4.4	16.7	20.6	32.5	7.9	12.3
	収入のある仕事はしていない	160	46.9	5.0	3.1	12.5	31.9	12.5	8.8
	その他	64	32.8	14.1	3.1	4.7	21.9	10.9	15.6

	調査数	問1 この1年にどんな学習(生涯)をしたか				
		国際理解、国際交流に関すること	していない	その他	無回答	
全体	1235	3.7	32.6	1.6	2.3	
年齢別	18～29歳	106	9.4	18.9	0.9	0.9
	30～49歳	342	3.8	29.2	1.2	0.9
	50～69歳	455	3.7	40.0	0.9	1.3
	70歳以上	304	1.3	29.3	3.0	5.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	5.4	33.5	0.5	1.2
	自営業(農業を含む)	74	6.8	31.1	4.1	2.7
	アルバイトやパートなど	232	2.6	35.3	0.4	2.6
	学生	35	14.3	11.4	2.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	0.9	31.1	1.3	2.2
	収入のある仕事はしていない	160	1.9	29.4	3.8	3.1
	その他	64	3.1	42.2	3.1	6.3

【平成 26 年調査との比較表】

	調査数	問1 この1年にどんな学習(生涯)をしたか							
		趣味・教養に関すること	仕事に必要な知識に関すること(専門分野、経営など)	健康に関すること(健康法、医療など)	生活での実用的な知識に関すること(料理、洋裁など)	子育て・家庭教育・学校教育に関すること	社会的な問題に関すること(高齢化、環境問題など)	ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること	国際理解、国際交流に関すること
令和元年	1235	39.8	27.0	23.5	14.1	11.9	8.7	8.7	3.7
平成26年	1583	46.7	14.4	33.2	11.6	14.9	9.5	16.3	3.5

	調査数	問1 この1年にどんな学習(生涯)をしたか		
		その他	していない	無回答
令和元年	1235	1.6	32.6	2.3
平成26年	1583	1.2	34.3	0.7

※「趣味・教養に関すること」の選択肢は平成26年における「趣味に関すること」「教養に関すること」を合計した割合、「子育て・家庭教育・学校教育に関すること」の選択肢は平成26年における「子育て・家庭教育に関すること」「学校教育に関すること」を合計した割合、「ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること」の選択肢は平成26年における「ボランティア活動や、その為に必要な知識、技能に関すること」「まちづくり、地域のコミュニティづくりに関すること」を合計した割合となる。また、「健康に関すること(健康法、医療など)」の選択肢は平成26年における「健康・スポーツに関すること」の割合となる。

(2)「生涯学習活動」の学習方法

着目点	内容
課題	18～29歳の「市が主催する講座や教室への参加」が、0.0%となっており、若年層の講座等への参加が大きな課題となっている。

【属性別集計表】

	調査数	問2 学習方法								
		市が主催する講座や教室への参加	学校(大学や各種学校など)の公開講座や教室への参加	職場の研修・教室への参加	カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室への参加	自宅での学習(通信教育、書籍、インターネットなど)	学校(大学や各種学校など)に入学	自主的なサークルやクラブに入会	図書館・博物館・美術館などで学習・鑑賞	
全体	804	12.6	10.9	24.5	14.1	54.1	4.7	21.4	26.1	
年齢別	18～29歳	85	0.0	29.4	40.0	1.2	65.9	25.9	12.9	16.5
	30～49歳	239	9.6	12.1	37.2	9.2	64.0	1.7	11.3	28.5
	50～69歳	267	10.9	5.6	24.3	17.2	55.4	3.0	18.4	27.3
	70歳以上	197	22.3	8.6	3.6	19.8	36.5	2.0	41.6	25.4
職業別	正社員・公務員・団体職員など	265	5.7	9.4	54.0	7.2	66.8	2.6	9.8	21.9
	自営業(農業を含む)	49	16.3	6.1	20.4	18.4	61.2	6.1	20.4	28.6
	アルバイトやパートなど	144	13.2	10.4	20.1	17.4	53.5	1.4	20.1	31.9
	学生	31	0.0	61.3	12.9	0.0	54.8	64.5	22.6	12.9
	専業主婦・主夫	152	17.1	8.6	2.0	19.7	42.8	2.6	34.2	27.0
	収入のある仕事はしていない	108	14.8	3.7	4.6	15.7	46.3	0.9	30.6	26.9
その他	33	33.3	18.2	3.0	24.2	33.3	3.0	33.3	33.3	

	調査数	問2 学習方法		
		その他	無回答	
全体	804	9.6	2.5	
年齢別	18～29歳	85	5.9	0.0
	30～49歳	239	9.2	0.8
	50～69歳	267	10.1	1.9
	70歳以上	197	10.2	6.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	265	7.5	1.1
	自営業(農業を含む)	49	14.3	2.0
	アルバイトやパートなど	144	7.6	1.4
	学生	31	9.7	0.0
	専業主婦・主夫	152	7.2	3.3
	収入のある仕事はしていない	108	13.9	7.4
その他	33	18.2	3.0	

(3)「生涯学習活動」の目的

着目点	内容
市民ニーズ	30～49歳の方は、「現在の仕事や将来の就職、転職に役立てるため」の生涯学習活動、70歳以上の方は「健康維持・増進のため」の生涯学習活動に関するニーズがある。
市民ニーズ	勤労年齢（18～49歳）において、生涯学習の目的を「現在の仕事や将来の就職、転職に役立てるため」としている割合が53.1%～69.4%と非常に多くなっている。
市民ニーズ	生涯学習活動の実施目的である「健康維持・増進のため」の回答割合は、年齢が上がるのに比例して増加している。

【属性別集計表】

	調査数	問3 目的								
		健康維持・増進のため	人生を豊かにするため	自由時間を有効に活用するため	現在の仕事や将来の就職、転職に役立てるため	日常生活に活用するため	地域社会をよりよくするため	人脈を広げるためや友人をつくるため	その他	
全体	804	45.3	58.8	32.3	35.9	35.0	12.2	17.5	3.5	
年齢別	18～29歳	85	25.9	58.8	27.1	69.4	35.3	4.7	17.6	2.4
	30～49歳	239	27.2	53.1	28.5	53.1	37.2	8.8	10.0	3.3
	50～69歳	267	49.4	64.4	32.2	33.0	33.0	10.1	16.5	3.7
	70歳以上	197	69.0	58.9	38.6	5.1	33.5	21.3	28.4	3.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	265	30.2	53.6	23.8	66.0	29.4	7.5	11.7	1.5
	自営業(農業を含む)	49	57.1	73.5	24.5	42.9	34.7	18.4	24.5	6.1
	アルバイトやパートなど	144	44.4	62.5	37.5	31.9	38.2	6.9	17.4	4.9
	学生	31	16.1	64.5	9.7	74.2	29.0	6.5	19.4	6.5
	専業主婦・主夫	152	57.2	57.9	40.1	5.9	45.4	13.2	21.1	2.0
	収入のある仕事はしていない	108	64.8	58.3	42.6	6.5	30.6	18.5	19.4	3.7
その他	33	57.6	69.7	42.4	9.1	24.2	36.4	33.3	9.1	

	調査数	問3 目的	
		無回答	
全体	804	1.5	
年齢別	18～29歳	85	1.2
	30～49歳	239	0.8
	50～69歳	267	1.5
	70歳以上	197	2.5
職業別	正社員・公務員・団体職員など	265	1.5
	自営業(農業を含む)	49	2.0
	アルバイトやパートなど	144	1.4
	学生	31	0.0
	専業主婦・主夫	152	2.6
	収入のある仕事はしていない	108	0.9
その他	33	0.0	

(4) 地域の学習環境を充実させるために必要だと思うこと

着目点	内容
市民ニーズ	「公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実」の回答割合が前回調査より12ポイント以上増えている。
市民ニーズ	「子どもが地域活動に参画する機会の充実」の回答割合が前回調査より約15ポイント増えている。
市民ニーズ	「公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実」の回答割合が59.8%と他の項目より多くなっている。また、全世代で50%を超えている。

【属性別集計表】

	調査数	問5 地域の学習環境を充実させるために必要なこと								
		公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実	家庭教育学級や生涯学習講座などの社会教育事業の充実	PTAやサークル活動等の社会教育関係団体の活動支援	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進	子育て講座の充実	子どもが地域活動に参画する機会の充実	
全体	1235	59.8	25.1	7.1	29.2	26.4	23.4	13.5	31.0	
年齢別	18～29歳	106	57.5	19.8	6.6	22.6	25.5	26.4	21.7	38.7
	30～49歳	342	62.3	25.1	7.6	22.5	28.1	21.3	24.3	42.1
	50～69歳	455	62.2	27.9	7.0	36.0	25.3	26.2	7.7	26.2
	70歳以上	304	53.6	23.4	6.6	28.0	26.0	19.7	6.9	23.0
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	58.1	26.4	4.4	29.1	29.8	26.1	16.5	35.0
	自営業(農業を含む)	74	54.1	27.0	9.5	36.5	36.5	25.7	10.8	28.4
	アルバイトやパートなど	232	63.8	31.5	9.1	31.5	27.6	27.6	16.4	33.6
	学生	35	60.0	17.1	8.6	11.4	22.9	28.6	20.0	40.0
	専業主婦・主夫	228	64.5	25.0	7.5	26.8	20.2	14.9	11.0	30.7
	収入のある仕事はしていない	160	51.9	18.8	8.8	31.3	23.1	21.3	5.6	20.6
	その他	64	60.9	18.8	7.8	28.1	20.3	15.6	9.4	23.4

	調査数	問5 地域の学習環境を充実させるために必要なこと			
		特に必要ない	その他	無回答	
全体	1235	7.7	5.2	2.8	
年齢別	18～29歳	106	8.5	4.7	0.9
	30～49歳	342	4.7	6.1	0.6
	50～69歳	455	7.3	4.4	1.5
	70歳以上	304	11.5	4.6	6.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	7.1	5.9	0.5
	自営業(農業を含む)	74	6.8	5.4	6.8
	アルバイトやパートなど	232	6.5	3.9	1.7
	学生	35	5.7	5.7	0.0
	専業主婦・主夫	228	7.0	3.9	3.5
	収入のある仕事はしていない	160	11.3	4.4	5.6
	その他	64	9.4	10.9	3.1

【平成 26 年調査との比較表】

	調査数	問5 地域の学習環境を充実させるために必要なこと							
		公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実	家庭教育学級や生涯学習講座などの社会教育事業の充実	PTAやサークル活動等の社会教育関係団体の活動支援	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進	子育て講座の充実	子どもが地域活動に参画する機会の充実
令和元年	1235	59.8	25.1	7.1	29.2	26.4	23.4	13.5	31.0
平成26年	1583	47.6	12.8	6.1	10.4	14.0	8.1	9.4	16.6

	調査数	問5 地域の学習環境を充実させるために必要なこと		
		その他	特に必要ない	無回答
令和元年	1235	5.2	7.7	2.8
平成26年	1583	3.7	6.2	3.0

※「公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実」の選択肢は、平成 26 年における「公民館・図書館などの社会教育施設の充実」「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」を合計した割合となる。また、「子育て講座の充実」の選択肢は平成 26 年における「子育てサロンなど子育て支援活動の促進」の割合となる。

(5) 市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるために力を入れるべきこと

着目点	内容
市民ニーズ	「歴史・文化・伝統に関する展覧会や企画展の充実」と「歴史・文化・伝統への理解を深める講座や体験の機会の充実」の合計が全体で70%を超えている。
課題	「小中学生が学校の内外で歴史・文化・伝統に触れる学習機会の充実」に力を入れるべきだと考える割合が全体で約60%と多くなっている。博物館はこうした要望に応えられる施設であるため、学びやすく体験できるような環境づくりを検討していく必要がある。同様に、既に行っている歴史・文化・伝統への理解を深める講座等の周知及び更なる充実についても検討していく必要がある。

【属性別集計表】

		調査数	問6 歴史・文化・伝統への理解をより深めるために、力を入れるべき取り組み							
			小中学生が学校の内外で歴史・文化・伝統に触れる学習機会の充実	歴史・文化・伝統を継承するボランティア(市民ガイド等)の養成	歴史・文化・伝統に関する展覧会や企画展の充実	歴史・文化・伝統への理解を深める講座や体験の機会の充実	歴史・文化・伝統に関する情報の収集・発信・調べ方案内	図書館・博物館等の施設でわかりやすい展示や多言語化	図書館・博物館等の施設への専門的職員の配置	各館の所蔵資料情報に相互にアクセスできるようにするなど、相互機能の強化
全体		1235	60.4	20.9	30.8	40.5	21.1	28.6	12.5	15.9
年齢別	18～29歳	106	69.8	15.1	20.8	45.3	22.6	25.5	10.4	15.1
	30～49歳	342	69.9	14.6	30.4	39.2	20.2	31.9	11.7	15.8
	50～69歳	455	56.3	23.5	36.0	43.3	23.5	28.8	14.3	17.6
	70歳以上	304	52.3	26.0	27.0	35.9	18.1	24.7	11.2	13.2
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	63.5	17.2	31.5	40.1	25.1	27.6	10.6	16.7
	自営業(農業を含む)	74	59.5	25.7	45.9	45.9	25.7	29.7	20.3	20.3
	アルバイトやパートなど	232	61.2	22.8	35.3	51.7	16.8	34.9	12.9	17.7
	学生	35	82.9	17.1	8.6	37.1	20.0	28.6	8.6	14.3
	専業主婦・主夫	228	65.8	20.6	27.2	35.1	15.4	27.6	12.7	12.3
	収入のある仕事はしていない	160	45.6	26.3	26.3	33.8	24.4	21.9	10.6	13.8
その他	64	43.8	21.9	28.1	31.3	20.3	26.6	15.6	15.6	

		調査数	問6 歴史・文化・伝統への理解をより深めるために、力を入れるべき取り組み	
			その他	無回答
全体		1235	4.0	5.4
年齢別	18～29歳	106	3.8	0.9
	30～49歳	342	3.2	2.3
	50～69歳	455	4.2	3.7
	70歳以上	304	4.6	12.2
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	3.9	1.5
	自営業(農業を含む)	74	5.4	8.1
	アルバイトやパートなど	232	3.4	4.7
	学生	35	5.7	2.9
	専業主婦・主夫	228	1.8	7.5
	収入のある仕事はしていない	160	5.0	10.6
その他	64	9.4	6.3	

(6) 関心を持っている地域課題

着目点	内容
市民ニーズ	18～29歳の若い年代は、「障がい者の生活支援、共生に関すること」や「外国人住民との交流や相互理解に関すること」へ関心を持っている割合が多くなっている。
市民ニーズ	「防災・防犯に関すること」という回答が全体で59.8%と多くっており、次いで「要介護・要支援高齢者の生活支援に関すること」が41.9%となっている。
市民ニーズ	「防災・防犯に関すること」は、いずれの年代においても最も回答割合の多い項目となっている。また、18～49歳では「子育て支援、子どもの健全育成に関すること」が次いで多くなっている。70歳以上では「要介護・要支援高齢者の生活支援に関すること」が「防災・防犯に関すること」と並んで最も多くなっており、「要介護・要支援高齢者の生活支援に関すること」の回答割合は年齢が低くなるほど少なくなっている。

【属性別集計表】

	調査数	問7 関心のある地域課題								
		子育て支援、子どもの健全育成に関すること	防災・防犯に関すること	孤独死や認知症に関すること	要介護・要支援高齢者の生活支援に関すること	環境保全やゴミ問題に関すること	住民同士の助け合いや地域交流に関すること	地域の伝統行事や祭りの継承に関すること	協働のまちづくりに関すること	
全体	1235	39.0	59.8	37.4	41.9	33.4	31.7	17.7	8.7	
年齢別	18～29歳	106	50.0	54.7	20.8	21.7	22.6	18.9	18.9	6.6
	30～49歳	342	58.2	64.6	28.1	29.5	29.2	26.9	19.6	6.4
	50～69歳	455	29.7	61.3	40.2	46.4	38.2	30.8	16.7	10.1
	70歳以上	304	28.0	54.6	48.4	54.6	34.9	43.8	16.8	9.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	43.8	60.3	30.0	32.8	31.8	28.3	21.7	9.6
	自営業(農業を含む)	74	32.4	58.1	39.2	48.6	39.2	37.8	27.0	10.8
	アルバイトやパートなど	232	45.3	62.5	40.9	44.4	35.3	34.9	17.7	7.8
	学生	35	45.7	57.1	20.0	17.1	28.6	17.1	14.3	2.9
	専業主婦・主夫	228	40.4	64.5	39.9	46.9	35.1	35.5	11.8	7.5
	収入のある仕事はしていない	160	23.8	55.6	44.4	53.1	30.6	31.9	15.0	6.9
	その他	64	28.1	46.9	45.3	46.9	34.4	29.7	14.1	15.6

	調査数	問7 関心のある地域課題							
		障がい者の生活支援、共生に関すること	外国人住民との交流や相互理解に関すること	性的少数者への理解に関すること	地域活性化や経済振興に関すること	特になし	その他	無回答	
全体	1235	18.8	15.5	6.7	24.9	4.3	2.6	2.0	
年齢別	18～29歳	106	27.4	25.5	14.2	25.5	6.6	2.8	0.0
	30～49歳	342	17.8	17.5	9.6	29.2	3.5	2.0	0.9
	50～69歳	455	19.3	15.4	5.1	22.9	4.4	2.6	1.1
	70歳以上	304	14.8	9.9	3.3	22.0	4.6	3.0	3.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	16.7	20.0	9.1	31.3	5.2	2.0	0.7
	自営業(農業を含む)	74	24.3	20.3	6.8	37.8	1.4	6.8	1.4
	アルバイトやパートなど	232	21.1	18.5	7.8	21.1	3.9	3.0	1.3
	学生	35	22.9	25.7	11.4	25.7	5.7	2.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	16.7	7.5	4.8	15.4	3.1	1.8	3.1
	収入のある仕事はしていない	160	17.5	8.8	1.9	23.1	6.3	1.9	2.5
	その他	64	20.3	12.5	4.7	21.9	3.1	3.1	3.1

2 「生涯学習活動」に関する情報、相談について

(1) 市が提供する生涯学習情報の情報源

着目点	内容
課題	「インターネット（SNS を含む）」で情報を入手している割合は若年層（18～49歳）において30%を超えている。このことから、今後はインターネットによる情報発信をより強化していく必要があると考えられる。
課題	70歳以上で「広報まつど」が多くなっているが、「インターネット（SNS を含む）」という回答が全世代で一定数いることがわかる。

【属性別集計表】

	調査数	問8 情報源								
		新聞、雑誌、テレビ、ラジオ	広報まつど	インターネット(SNSを含む)	家族や知人から	市役所や公民館などの公共施設での情報(ポスター、ちらし)	学校や職場での情報(ポスター、ちらし)	駅や路上、商業施設などでの情報(ポスター、ちらし)	特に得ていない	
全体	1235	20.3	63.2	23.7	16.5	22.4	8.7	20.3	12.8	
年齢別	18～29歳	106	12.3	30.2	31.1	24.5	10.4	15.1	26.4	24.5
	30～49歳	342	9.4	51.2	33.6	13.2	17.0	15.2	23.7	16.1
	50～69歳	455	22.9	69.5	25.3	15.6	24.6	5.7	19.1	11.4
	70歳以上	304	31.6	78.6	7.9	19.7	28.9	3.6	16.1	7.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	13.1	50.0	32.0	13.1	14.0	9.9	22.7	19.2
	自営業(農業を含む)	74	27.0	60.8	27.0	17.6	23.0	4.1	21.6	14.9
	アルバイトやパートなど	232	19.0	69.0	28.4	18.5	30.6	13.4	27.2	10.3
	学生	35	14.3	28.6	22.9	25.7	0.0	22.9	20.0	20.0
	専業主婦・主夫	228	25.9	79.4	13.2	20.6	28.1	7.9	13.6	5.7
	収入のある仕事はしていない	160	29.4	72.5	13.1	18.1	26.9	0.6	14.4	8.1
その他	64	23.4	65.6	15.6	9.4	23.4	4.7	17.2	12.5	

	調査数	問8 情報源			
		得る手段がわからない	その他	無回答	
全体	1235	6.0	1.4	1.3	
年齢別	18～29歳	106	12.3	0.9	0.0
	30～49歳	342	8.8	0.9	0.6
	50～69歳	455	4.8	1.5	0.4
	70歳以上	304	2.3	1.6	3.0
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	9.9	0.5	0.2
	自営業(農業を含む)	74	6.8	1.4	2.7
	アルバイトやパートなど	232	2.2	2.2	0.9
	学生	35	14.3	2.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	3.1	0.9	1.3
	収入のある仕事はしていない	160	5.0	1.3	2.5
その他	64	4.7	4.7	1.6	

(2) 生涯学習に関して知りたい情報

着目点	内容
市民ニーズ	「公民館、図書館、市民センターなどの公共施設で開催される講座や教室情報」や「講演会や展覧会などのイベント情報」など、講座や教室、講演会やイベントの情報に関するニーズが多くなっている。
課題	「(2)『生涯学習活動』の学習方法」における18～29歳において、「市が主催する講座や教室への参加」の回答割合は0.0%、30～49歳においては9.6%であったが、本設問の「公民館、図書館、市民センターなどの公共施設で開催される講座や教室情報」を知りたいという回答割合は18～29歳において24.5%、30～49歳において57.9%となっている。このことから、知りたい情報を的確に届けることができていることが想定される。

【属性別集計表】

	調査数	問9 知りたい情報							
		公民館、図書館、市民センターなどの公共施設で開催される講座や教室情報	講演会や展覧会などのイベント情報	資格取得に関する情報	カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室情報	同好者が自主的に行っているグループ・サークルの情報	大学などの教育機関で開催される講座の情報	公民館や市民センターなどの施設の空き状況などの情報	講師や指導者に関する情報
全体	1235	52.6	42.5	22.2	23.6	20.8	20.7	8.3	8.7
年齢別	18～29歳	24.5	28.3	33.0	11.3	16.0	28.3	9.4	6.6
	30～49歳	57.9	40.9	38.9	27.2	18.7	20.8	9.4	7.6
	50～69歳	56.5	48.4	19.6	27.9	20.0	22.6	6.8	10.3
	70歳以上	50.3	39.8	3.3	17.1	26.0	14.8	8.6	8.2
職業別	正社員・公務員・団体職員など	48.8	43.3	30.0	24.4	17.2	23.9	7.4	8.1
	自営業(農業を含む)	48.6	44.6	10.8	16.2	27.0	18.9	12.2	17.6
	アルバイトやパートなど	63.8	51.7	31.9	29.7	21.6	23.3	10.3	8.2
	学生	17.1	20.0	34.3	2.9	14.3	22.9	14.3	8.6
	専業主婦・主夫	58.8	36.8	14.0	27.6	25.0	15.4	8.3	6.1
	収入のある仕事はしていない	50.0	43.1	9.4	16.3	23.1	13.1	4.4	7.5
その他	43.8	32.8	6.3	21.9	17.2	25.0	4.7	17.2	

	調査数	問9 知りたい情報			
		地域活動やボランティア活動に関する情報	特になし	その他	無回答
全体	1235	15.8	16.5	0.7	2.1
年齢別	18～29歳	19.8	22.6	0.9	0.0
	30～49歳	12.6	13.7	0.3	0.9
	50～69歳	19.6	15.2	0.9	0.4
	70歳以上	11.5	20.4	1.0	5.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	19.0	16.0	0.2	0.5
	自営業(農業を含む)	16.2	21.6	2.7	2.7
	アルバイトやパートなど	16.8	12.1	0.9	0.9
	学生	20.0	20.0	2.9	0.0
	専業主婦・主夫	11.4	14.9	0.4	2.2
	収入のある仕事はしていない	11.3	22.5	0.6	5.0
その他	14.1	23.4	1.6	1.6	

(3) 生涯学習に関して市に相談したいと思うこと

着目点	内容
課題	回答結果を見ると、市に相談したい内容は多岐にわたっていると想定されるが、相談体制が整っていないことが課題となっている。
課題	「相談したいことはない」が全年代において40%を超えており、市への相談そのものが有用なものとして認識されていないことが想定される。

【属性別集計表】

	調査数	問10 市に相談したいと思うこと								
		どのような学習方法が良いか教えてほしい	何かをやりたいが何が自身に合っているかわからない	一緒に学習する仲間がほしい	生涯学習に関する情報収集の方法がわからない	自身のスキルを使って誰かの役に立ちたい	相談したいことはない	その他	無回答	
全体	1235	11.8	17.2	12.5	16.8	17.7	44.3	2.8	5.7	
年齢別	18～29歳	106	15.1	17.9	11.3	17.9	18.9	47.2	0.9	0.9
	30～49歳	342	13.7	18.4	11.4	17.8	21.9	47.1	2.6	1.2
	50～69歳	455	11.6	18.0	11.4	18.5	18.2	43.5	3.5	2.6
	70歳以上	304	9.2	14.1	15.1	11.8	11.2	43.1	2.6	16.1
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	13.8	16.7	11.8	19.0	22.9	44.6	2.5	0.7
	自営業(農業を含む)	74	6.8	6.8	12.2	17.6	31.1	40.5	4.1	5.4
	アルバイトやパートなど	232	15.1	24.1	13.4	21.1	14.7	39.7	2.2	3.4
	学生	35	11.4	25.7	5.7	11.4	22.9	51.4	0.0	2.9
	専業主婦・主夫	228	10.1	14.0	10.5	12.7	11.8	52.2	3.1	8.8
	収入のある仕事はしていない	160	11.3	18.8	15.6	13.1	12.5	40.0	2.5	12.5
その他	64	3.1	9.4	12.5	9.4	12.5	50.0	6.3	12.5	

3 「生涯学習活動」の成果の活用について

(1) 「生涯学習活動」と一緒に取り組む仲間がいるか

着目点	内容
課題	生涯学習は自己のために実施することが目的の一つと考えられるものの、学習成果を周囲に波及し、連携していくためには、地域活動などにつながる仕組みを市として検討していくことが必要である。
課題	「仲間がほしいと思っているがいない」が全体で22.0%となっている。こうしたニーズに対して、何か取り組んでいくことを検討することが必要である。
市民ニーズ	「仲間がいる」は18～29歳で38.7%、70歳以上が34.5%となっている。30～69歳においては約20%と回答割合が少なくなっている。
市民ニーズ	「仲間がほしいと思っているがいない」と回答した方で、「より成果を生かせるようになるにはどんな取り組みが必要か」の回答割合を見ると、「生涯学習の成果の活用事例を収集、紹介する」が41.2%、「生涯学習の成果を生かせる参加型イベントの開催」が42.3%、「活動の場の整備・提供」が39.7%、「活動に必要な情報の提供」が50.7%と多くなっている。

【属性別集計表】

	調査数	問13 一緒に生涯学習活動をする仲間がいるか					
		仲間がいる	仲間がほしいと思っているがいない	仲間はいないが特にほしいと思っていない	その他	無回答	
全体	1235	26.1	22.0	44.0	2.1	5.8	
年齢別	18～29歳	106	38.7	24.5	34.9	1.9	0.0
	30～49歳	342	21.9	24.3	49.7	1.8	2.3
	50～69歳	455	20.9	23.1	48.1	2.4	5.5
	70歳以上	304	34.5	16.4	36.2	2.0	10.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	20.9	25.4	50.0	1.5	2.2
	自営業(農業を含む)	74	31.1	16.2	41.9	2.7	8.1
	アルバイトやパートなど	232	24.6	22.0	45.3	3.0	5.2
	学生	35	54.3	14.3	28.6	2.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	36.4	18.9	36.8	2.2	5.7
	収入のある仕事はしていない	160	19.4	23.1	45.0	1.3	11.3
	その他	64	26.6	14.1	45.3	4.7	9.4

【設問間集計表 (問13×問15)】

	調査数	問15 より成果を生かせるようになるにはどんな取り組みが必要か									
		生涯学習の成果の活用事例を収集、紹介する	生涯学習の成果を生かせる参加型イベントの開催	活動の場の整備・提供	活動に必要な情報の提供	ステップアップ講座など、より広く、深く学べる機会の提供	団体の設立・運営支援	講師登録	ボランティア登録	企業へのはたらきかけ(従業員の学習費用補助、ボランティア休暇制度など)	
全体	1235	32.9	32.8	37.2	45.1	22.5	6.8	6.6	9.6	14.8	
問13 一緒に生涯学習活動をする仲間がいるか	仲間がいる	322	32.6	41.0	46.3	49.1	24.2	9.3	10.9	12.4	14.0
	仲間がほしいと思っているがいない	272	41.2	42.3	39.7	50.7	31.3	7.7	8.1	10.7	16.5
	仲間はいないが特にほしいと思っていない	543	32.0	26.5	34.1	43.6	19.0	5.2	3.9	8.1	16.0
	その他	26	15.4	30.8	23.1	38.5	11.5	7.7	3.8	7.7	7.7

	調査数	問15 より成果を生かせるようになるにはどんな取り組みが必要か		
		その他	無回答	
全体	1235	4.3	9.8	
問13 一緒に生涯学習活動をする仲間がいるか	仲間がいる	322	3.4	7.1
	仲間がほしいと思っているがいない	272	2.6	2.2
	仲間はいないが特にほしいと思っていない	543	5.0	8.7
	その他	26	19.2	7.7

(2) 生涯学習の成果を生かして活動が行えるような場が充実していると感じるか

着目点	内容
課題	生涯学習の成果を生かして活動が行えるような場が充実していると感じるかについて「そう思う」と回答した割合が全体で約6%しかいないことは課題と考えられる。

【属性別集計表】

	調査数	問14 活動できる場が充実していると感じるか					
		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	わからない	無回答	
全体	1235	5.6	27.0	20.2	43.6	3.6	
年齢別	18～29歳	106	4.7	34.0	16.0	44.3	0.9
	30～49歳	342	5.3	24.0	24.3	45.6	0.9
	50～69歳	455	4.6	27.5	20.4	44.0	3.5
	70歳以上	304	8.2	26.3	16.1	42.4	6.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	3.9	24.4	24.4	46.6	0.7
	自営業(農業を含む)	74	4.1	29.7	21.6	39.2	5.4
	アルバイトやパートなど	232	4.3	31.5	19.8	40.5	3.9
	学生	35	11.4	31.4	17.1	40.0	0.0
	専業主婦・主夫	228	7.0	28.5	15.8	43.9	4.8
	収入のある仕事はしていない	160	6.9	25.6	15.6	46.3	5.6
その他	64	10.9	17.2	21.9	45.3	4.7	

4 地域の子どもたちに対する考えについて

(1) 地域の子どもたちに、休日（長期休みを含む）をどのように過ごしてほしいか

着目点	内容
市民ニーズ	「友達と屋外で遊ぶ」が全体で71.5%と最も多く、どの年代別に見ても最も多くなっている。
市民ニーズ	「友達と屋外で遊ぶ」が全体で71.5%と最も多く、次いで「家族でレクリエーションや旅行」が52.2%、「図書館・博物館・青少年会館・児童館等の公共施設で過ごす（イベントや講座への参加を含む）」が47.4%、「文化サークル、子ども会等の地域活動」が41.4%となっている。

【属性別集計表】

		問16 地域の子どもたちにしてほしい休日の過ごし方								
		調査数	学習塾などでの勉強	有料の習い事などでの学習	文化サークル、子ども会等の地域活動	図書館・博物館・青少年会館・児童館等の公共施設で過ごす（イベントや講座への参加を含む）	学校の部活動	友達と屋外で遊ぶ	友達と屋内で遊ぶ	家族でレクリエーションや旅行
全体		1235	10.1	10.5	41.4	47.4	38.3	71.5	19.1	52.2
年齢別	18～29歳	106	17.0	17.0	34.0	40.6	52.8	85.8	45.3	71.7
	30～49歳	342	14.6	18.7	38.3	50.3	42.7	77.8	30.1	66.7
	50～69歳	455	6.4	6.6	42.6	50.5	38.9	70.5	13.2	51.0
	70歳以上	304	7.9	4.6	46.7	42.1	27.6	61.5	6.3	32.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	12.6	13.8	41.1	44.1	46.3	78.1	22.9	59.1
	自営業（農業を含む）	74	9.5	10.8	44.6	43.2	41.9	62.2	13.5	44.6
	アルバイトやパートなど	232	8.2	9.1	38.4	53.4	39.2	73.7	19.8	59.1
	学生	35	22.9	22.9	28.6	37.1	65.7	88.6	51.4	74.3
	専業主婦・主夫	228	7.0	9.6	44.3	58.3	31.1	66.7	18.4	48.2
	収入のある仕事はしていない	160	8.1	4.4	43.8	38.8	25.0	65.6	10.0	40.6
その他	64	7.8	3.1	46.9	42.2	25.0	64.1	6.3	35.9	

		問16 地域の子どもたちにしてほしい休日の過ごし方			
		調査数	家で勉強や読書	その他	無回答
全体		1235	22.8	4.7	4.1
年齢別	18～29歳	106	27.4	2.8	0.0
	30～49歳	342	32.7	5.0	0.9
	50～69歳	455	19.8	5.3	2.6
	70歳以上	304	13.8	4.6	10.5
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	23.2	4.9	1.0
	自営業（農業を含む）	74	20.3	8.1	10.8
	アルバイトやパートなど	232	25.4	6.0	2.6
	学生	35	42.9	5.7	0.0
	専業主婦・主夫	228	19.3	3.5	3.5
	収入のある仕事はしていない	160	20.0	1.9	7.5
その他	64	20.3	7.8	9.4	

(2) 休日に地域の子どもたちが大人と生涯学習活動をするのにふさわしいと思う場所

着目点	内容
市民ニーズ	「地域の広場・公園」「小中学校の教室・体育館・校庭」「公民館・図書館・博物館等」「青少年会館・児童館・市民交流会館等」の公園や公共施設が、全体でおおむね50%を超えており、回答割合が多くなっている。
市民ニーズ	回答の結果から、21世紀の森と広場内にある博物館は、休日に地域の子どもたちが大人と生涯学習活動をする場所として絶好のロケーションだと想定される。公園の中にある博物館として認知してもらい、活用してもらうための検討をしていくことが必要である。併せて、活用したいと思ってもらえるよう、活動内容や施設のことも検討していく必要がある。

【属性別集計表】

	調査数	問17 休日に地域の子どもたちが大人と生涯学習活動をするのにふさわしい場所							
		地域の広場・公園	小中学校の教室・体育館・校庭	公民館・図書館・博物館等	青少年会館・児童館・市民交流会館等	自宅	その他	無回答	
全体	1235	59.2	51.7	54.2	49.6	8.6	3.2	4.0	
年齢別	18～29歳	106	56.6	50.0	55.7	50.9	24.5	0.9	0.9
	30～49歳	342	62.9	59.9	66.1	52.6	10.5	3.5	0.9
	50～69歳	455	58.0	51.0	55.2	51.0	6.6	2.6	3.3
	70歳以上	304	57.9	43.4	38.8	42.4	4.6	3.9	8.6
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	61.3	55.4	61.3	49.5	10.8	3.7	1.0
	自営業(農業を含む)	74	63.5	54.1	51.4	54.1	8.1	5.4	9.5
	アルバイトやパートなど	232	60.3	56.5	59.5	57.8	7.8	1.7	3.0
	学生	35	48.6	65.7	48.6	48.6	31.4	2.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	61.8	45.2	50.0	46.5	7.0	3.5	3.5
	収入のある仕事はしていない	160	51.9	43.1	41.9	43.1	4.4	3.1	6.9
その他	64	53.1	43.8	43.8	40.6	3.1	1.6	7.8	

(3) 児童生徒の学びを支援するボランティア活動の参加状況と参加意向（学校内・外）

着目点	内容
課題	生涯学習＝ボランティアではないため、学習したことをボランティア活動に結びつけるための仕組みづくりを検討していく必要がある。

【属性別集計表】

		調査数	問18 小中学校でボランティア活動に参加したいか					無回答
			参加したことがあり、今後も参加したい	参加したことはないが、今後参加してみたい	参加したことはあるが、今後は参加したいと思わない	参加したことがなく、今後も参加したいと思わない	わからない	
全体		1235	8.6	22.5	7.6	41.9	15.7	3.6
年齢別	18～29歳	106	7.5	27.4	7.5	39.6	17.0	0.9
	30～49歳	342	14.3	26.0	5.3	39.8	14.6	0.0
	50～69歳	455	7.5	23.7	8.6	41.5	16.7	2.0
	70歳以上	304	4.9	15.1	7.9	46.7	14.8	10.5
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	9.1	28.1	5.4	40.4	15.8	1.2
	自営業(農業を含む)	74	12.2	23.0	8.1	37.8	13.5	5.4
	アルバイトやパートなど	232	12.1	22.0	9.9	37.9	16.4	1.7
	学生	35	11.4	25.7	8.6	31.4	22.9	0.0
	専業主婦・主夫	228	7.9	18.0	11.8	43.0	15.8	3.5
	収入のある仕事はしていない	160	4.4	18.1	3.8	54.4	12.5	6.9
その他	64	4.7	17.2	3.1	45.3	17.2	12.5	

【属性別集計表】

		調査数	問20 学校以外の子どもの学び支援ボランティアしたいか					無回答
			参加したことがあり、今後も参加したい	参加したことはないが、今後参加してみたい	参加したことはあるが、今後は参加したいと思わない	参加したことがなく、今後も参加したいと思わない	わからない	
全体		1235	6.6	21.5	6.2	42.5	16.7	6.5
年齢別	18～29歳	106	9.4	26.4	2.8	40.6	17.9	2.8
	30～49歳	342	8.5	26.3	2.9	43.9	16.7	1.8
	50～69歳	455	5.9	21.8	6.2	42.0	19.1	5.1
	70歳以上	304	4.6	13.8	10.9	43.8	12.8	14.1
職業別	正社員・公務員・団体職員など	406	8.6	25.9	4.7	40.6	15.5	4.7
	自営業(農業を含む)	74	12.2	18.9	8.1	39.2	12.2	9.5
	アルバイトやパートなど	232	5.6	23.3	4.3	42.2	20.3	4.3
	学生	35	8.6	28.6	2.9	34.3	22.9	2.9
	専業主婦・主夫	228	3.9	18.0	10.1	46.9	16.7	4.4
	収入のある仕事はしていない	160	5.6	16.3	6.9	46.9	15.0	9.4
その他	64	3.1	14.1	4.7	43.8	17.2	17.2	

(4) 学校以外の場で地域の子どもたちの学びを支援するボランティア活動をするとしたら、どのような活動に興味があるか

着目点	内容
市民ニーズ	「子どもの居場所づくり」が41.7%と最も多くなっており、いずれの年代においても35%を超える割合となっている。

【属性別集計表】

	調査数	問21 興味がある学校以外でのボランティア活動								
		自然体験活動の機会提供	芸術鑑賞の機会提供	異年齢の子どもの交流の場づくり	子どもの居場所づくり	障がい者との交流の促進	国語、算数、英語等の学習支援	絵本、紙芝居等の読み聞かせ	昔遊びや伝統文化を教える活動	
全体	348	32.2	21.8	23.6	41.7	17.5	19.5	25.0	17.8	
年齢別	18～29歳	38	39.5	21.1	36.8	50.0	23.7	13.2	21.1	23.7
	30～49歳	119	33.6	26.9	20.2	44.5	17.6	22.7	29.4	15.1
	50～69歳	126	28.6	19.0	26.2	40.5	17.5	19.8	22.2	16.7
	70歳以上	56	32.1	17.9	16.1	35.7	12.5	17.9	25.0	17.9
職業別	正社員・公務員・団体職員など	140	45.7	24.3	24.3	42.9	15.0	20.0	18.6	17.1
	自営業(農業を含む)	23	39.1	26.1	17.4	34.8	8.7	21.7	26.1	13.0
	アルバイトやパートなど	67	20.9	23.9	31.3	49.3	28.4	19.4	34.3	22.4
	学生	13	7.7	23.1	38.5	53.8	7.7	30.8	15.4	7.7
	専業主婦・主夫	50	20.0	14.0	22.0	36.0	18.0	10.0	44.0	14.0
	収入のある仕事はしていない	35	22.9	20.0	14.3	40.0	20.0	25.7	14.3	20.0
	その他	11	27.3	9.1	0.0	27.3	0.0	27.3	9.1	9.1

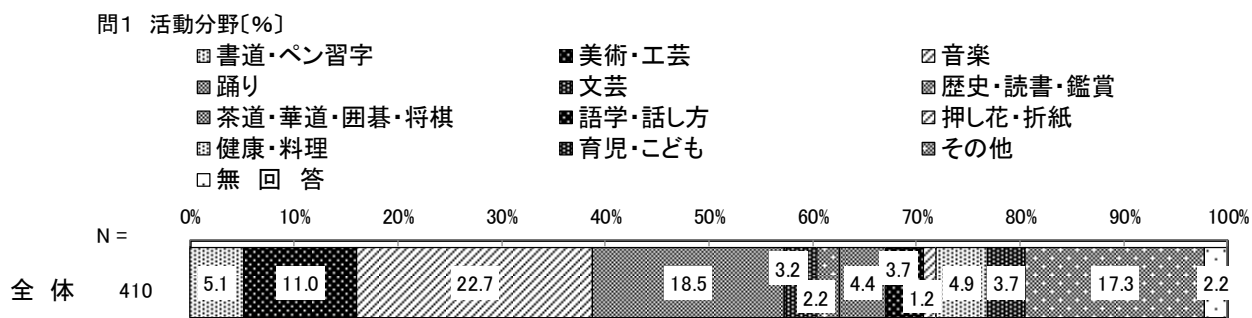
	調査数	問21 興味がある学校以外でのボランティア活動				
		職業体験の機会提供	子どもたちと一緒に 行う環境美化、環境保護活動	その他	無回答	
全体	348	23.0	38.5	4.6	0.9	
年齢別	18～29歳	38	39.5	31.6	2.6	2.6
	30～49歳	119	37.0	32.8	4.2	0.8
	50～69歳	126	15.1	43.7	2.4	0.0
	70歳以上	56	0.0	42.9	10.7	1.8
職業別	正社員・公務員・団体職員など	140	34.3	37.1	4.3	0.7
	自営業(農業を含む)	23	13.0	43.5	4.3	0.0
	アルバイトやパートなど	67	20.9	46.3	1.5	1.5
	学生	13	38.5	23.1	7.7	0.0
	専業主婦・主夫	50	10.0	26.0	4.0	0.0
	収入のある仕事はしていない	35	8.6	48.6	5.7	2.9
	その他	11	0.0	36.4	18.2	0.0

3-1. 団体アンケート調査の結果

1 団体の属性

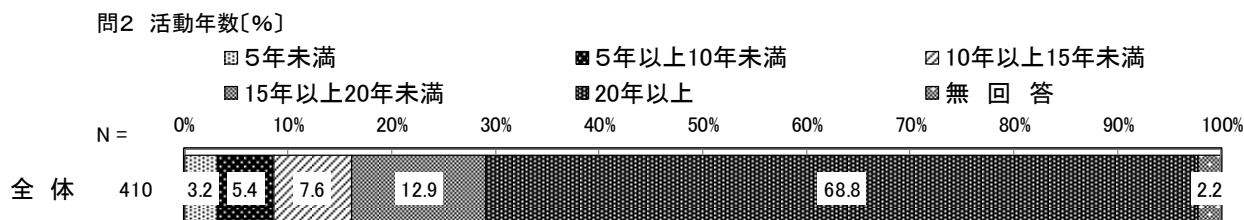
(1) 貴団体の主な活動分野を教えてください。

「音楽」が22.7%と最も多く、次いで「踊り」(18.5%)、「美術・工芸」(11.0%)である。



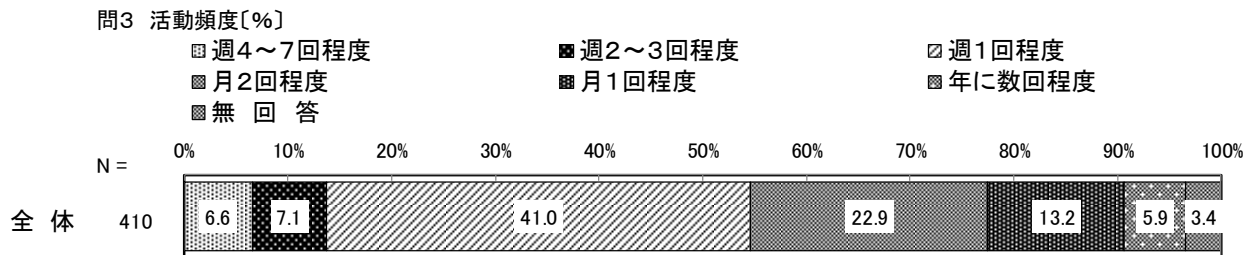
(2) 貴団体の活動年数を教えてください。

「20年以上」が68.8%と最も多く、次いで「15年以上20年未満」(12.9%)、「10年以上15年未満」(7.6%)である。



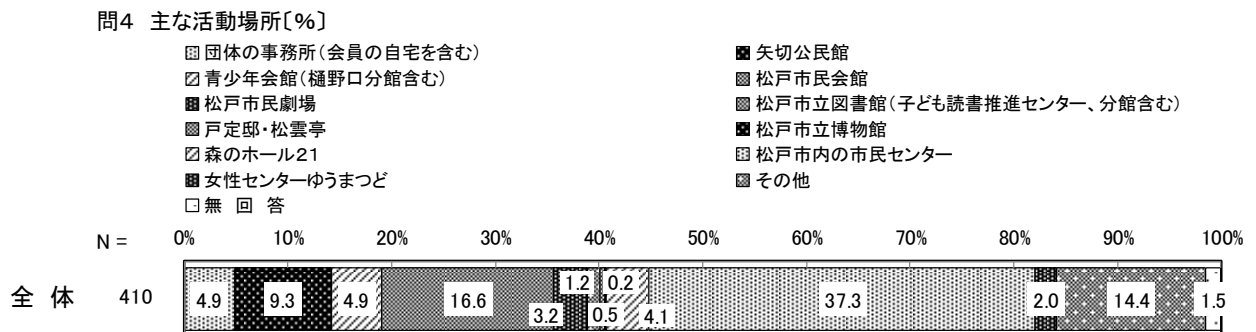
(3) 貴団体の活動頻度を教えてください。

「週1回程度」が41.0%と最も多く、次いで「月2回程度」(22.9%)、「月1回程度」(13.2%)である。



(4) 貴団体の主な活動場所を教えてください。

「松戸市内の市民センター」が37.3%と最も多く、次いで「松戸市民会館」(16.6%)、「矢切公民館」(9.3%)である。

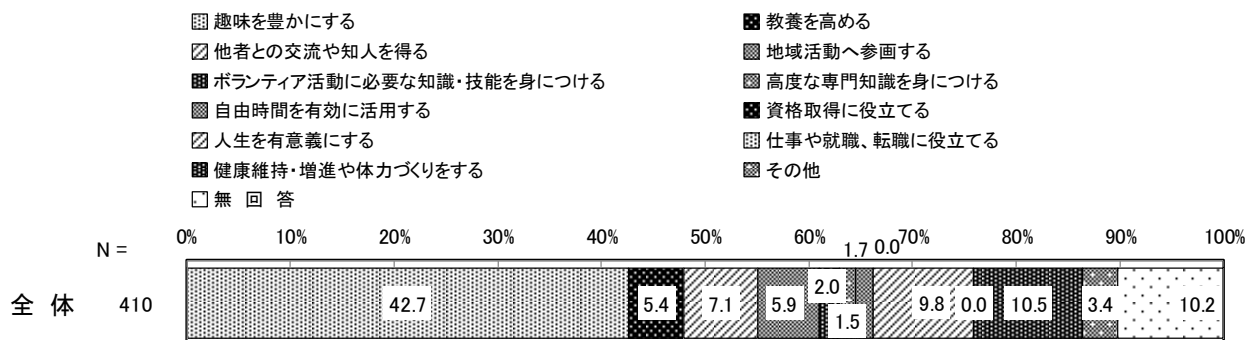


(5) 貴団体の活動で、特に力を入れているものは何ですか。

① 1番目に力を入れていること

「趣味を豊かにする」が42.7%と最も多く、次いで「健康維持・増進や体力づくりをする」(10.5%)、「人生を有意義にする」(9.8%)である。

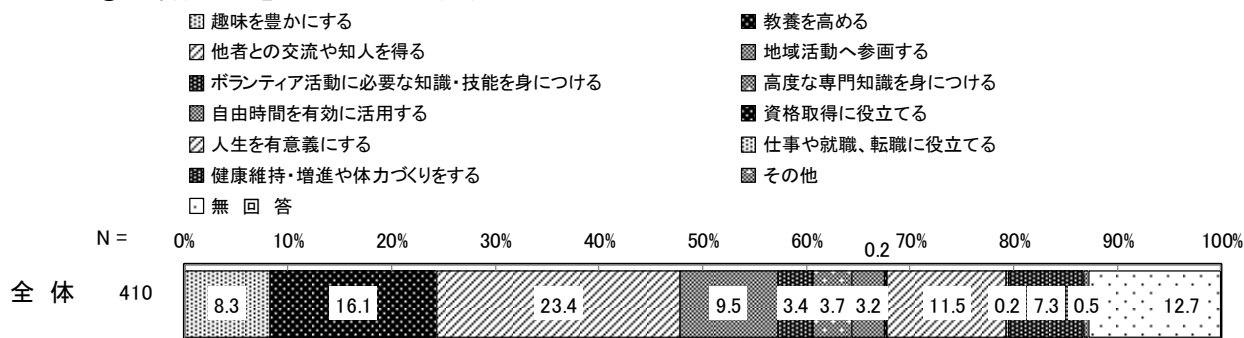
① 1番目に力を入れていること[%]



② 2番目に力を入れていること

「他者との交流や知人を得る」が23.4%と最も多く、次いで「教養を高める」(16.1%)、「人生を有意義にする」(11.5%)である。

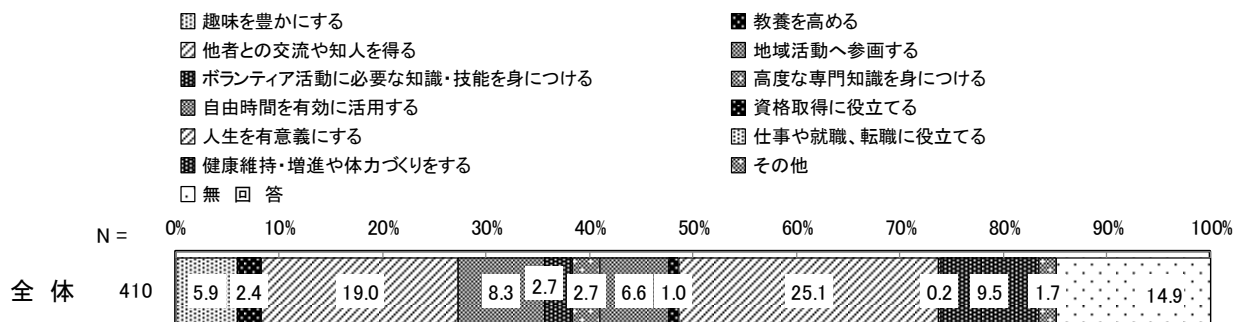
② 2番目に力を入れていること[%]



③ 3番目に力を入れていること

「人生を有意義にする」が25.1%と最も多く、次いで「他者との交流や知人を得る」(19.0%)、「健康維持・増進や体力づくりをする」(9.5%)である。

③ 3番目に力を入れていること[%]



2 「生涯学習活動」の状況について

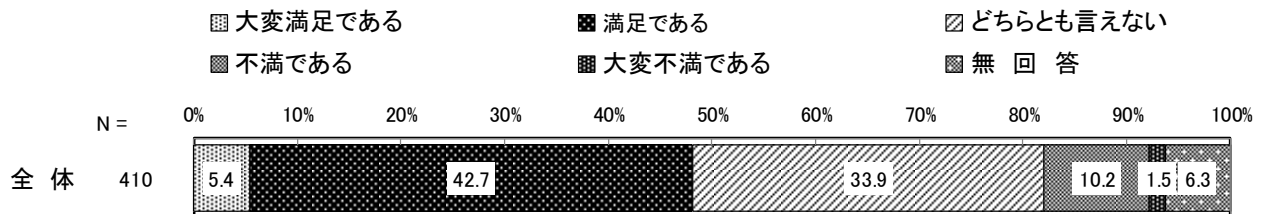
(1) 貴団体が活動情報やイベント告知等の周知をする際、市による広報活動の支援に満足していますか。

全体では、「満足である」が42.7%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」(33.9%)、「不満である」(10.2%)である。

活動年数別では、「満足である」で全体の42.7%に対して、5年未満では61.5%と18.8ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「満足である」で全体の42.7%に対して、週2～3回程度では55.2%と12.5ポイント多くなっている。

問6 市による広報活動の支援への満足度[%]



【属性別集計表】

	調査数	問6 市による広報活動の支援への満足度					
		大変満足である	満足である	どちらとも言えない	不満である	大変不満である	無回答
全体	410	5.4	42.7	33.9	10.2	1.5	6.3
活動年数別	5年未満	13	0.0	61.5	38.5	0.0	0.0
	5年以上10年未満	22	4.5	36.4	18.2	27.3	4.5
	10年以上15年未満	31	3.2	35.5	38.7	12.9	3.2
	15年以上20年未満	53	1.9	45.3	35.8	9.4	1.9
	20年以上	282	5.3	43.3	34.0	9.6	1.1
活動頻度別	週4～7回程度	27	3.7	37.0	40.7	14.8	0.0
	週2～3回程度	29	6.9	55.2	31.0	3.4	0.0
	週1回程度	168	3.0	41.1	36.3	10.7	2.4
	月2回程度	94	3.2	41.5	34.0	11.7	1.1
	月1回程度	54	5.6	51.9	24.1	11.1	0.0
年に数回程度	24	20.8	37.5	29.2	4.2	4.2	

(2) 活動する上で困っていることは、何ですか。

① 1番目に困っていること

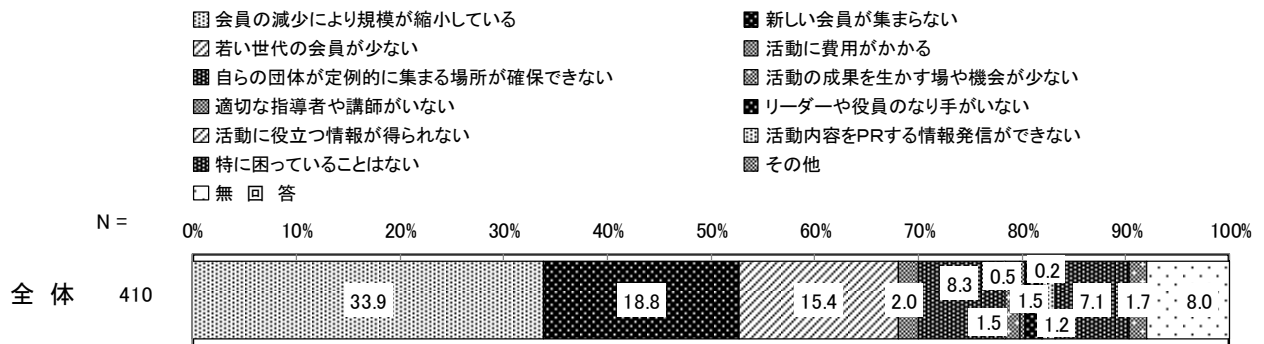
全体では、「会員の減少により規模が縮小している」が33.9%と最も多く、次いで「新しい会員が集まらない」(18.8%)、「若い世代の会員が少ない」(15.4%)である。

活動年数別では、「新しい会員が集まらない」で全体の18.8%に対して、5年以上10年未満では36.4%と17.6ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「会員の減少により規模が縮小している」で全体の33.9%に対して、年に数回程度では50.0%と16.1ポイント多くなっている。

平成26年調査との比較では、「活動内容をPRする情報発信ができない」で平成26年の7.7%に対し、令和元年が13.2%と5.5ポイント多くなっている。

① 1番目に困っていること[%]



【属性別集計表】

	調査数	① 1番目に困っていること								
		会員の減少により規模が縮小している	新しい会員が集まらない	若い世代の会員が少ない	活動に費用がかかる	自らの団体が定例的に集まる場所が確保できない	活動の成果を生かす場や機会が少ない	適切な指導者や講師がいない	リーダーや役員のなり手がいない	
全体	410	33.9	18.8	15.4	2.0	8.3	1.5	0.5	1.5	
活動年数別	5年未満	13	7.7	23.1	23.1	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0
	5年以上10年未満	22	13.6	36.4	9.1	4.5	18.2	4.5	0.0	0.0
	10年以上15年未満	31	29.0	32.3	16.1	0.0	9.7	0.0	0.0	0.0
	15年以上20年未満	53	32.1	20.8	9.4	1.9	7.5	1.9	0.0	1.9
	20年以上	282	37.2	16.0	16.3	2.1	7.8	0.7	0.4	1.8
活動頻度別	週4～7回程度	27	22.2	18.5	25.9	3.7	0.0	0.0	0.0	3.7
	週2～3回程度	29	44.8	3.4	20.7	6.9	6.9	3.4	0.0	3.4
	週1回程度	168	31.5	25.6	14.9	1.2	8.3	1.2	0.0	1.2
	月2回程度	94	37.2	18.1	13.8	1.1	9.6	1.1	1.1	0.0
	月1回程度	54	27.8	11.1	7.4	1.9	9.3	3.7	0.0	3.7
年に数回程度	24	50.0	12.5	16.7	4.2	12.5	0.0	0.0	0.0	

	調査数	① 1番目に困っていること					
		活動に役立つ情報が得られない	活動内容をPRする情報発信ができない	特に困っていることはない	その他	無回答	
全体	410	0.2	1.2	7.1	1.7	8.0	
活動年数別	5年未満	13	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0
	5年以上10年未満	22	0.0	4.5	4.5	0.0	4.5
	10年以上15年未満	31	0.0	0.0	6.5	0.0	6.5
	15年以上20年未満	53	0.0	3.8	13.2	1.9	5.7
	20年以上	282	0.4	0.7	5.3	1.8	9.6
活動頻度別	週4～7回程度	27	0.0	3.7	3.7	0.0	18.5
	週2～3回程度	29	0.0	0.0	0.0	3.4	6.9
	週1回程度	168	0.6	0.6	6.0	2.4	6.5
	月2回程度	94	0.0	1.1	8.5	0.0	8.5
	月1回程度	54	0.0	3.7	16.7	3.7	11.1
年に数回程度	24	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	

【平成 26 年調査との比較表】

	調査数	問7 活動する上で困っていること							
		会員の減少により規模が縮小している	新しい会員が集まらない	若い世代の会員が少ない	活動に費用がかかる	自らの団体が定例的に集まる場所が確保できない	活動の成果を生かす場や機会が少ない	適切な指導者や講師がいない	リーダーや役員のなり手がいない
令和元年	410	48.0	57.1	55.6	9.0	17.3	7.3	2.4	13.9
平成26年	456	47.6	60.7	65.1	9.0	17.3	7.0	1.8	14.0

	調査数	問7 活動する上で困っていること					
		活動に役立つ情報が得られない	活動内容をPRする情報発信ができない	特に困っていることはない	その他	無回答	
令和元年	410	1.7	13.2	7.1	3.4	63.9	
平成26年	456	1.3	7.7	10.5	4.6	1.1	

※平成 26 年調査では、「1 番目に困っていること」「2 番目に困っていること」「3 番目に困っていること」と分けて集計されていないため、本比較表においては令和元年調査についても、比較可能なように、「1 番目に困っていること」「2 番目に困っていること」「3 番目に困っていること」を統合した数値で算出している。

② 2番目に困っていること

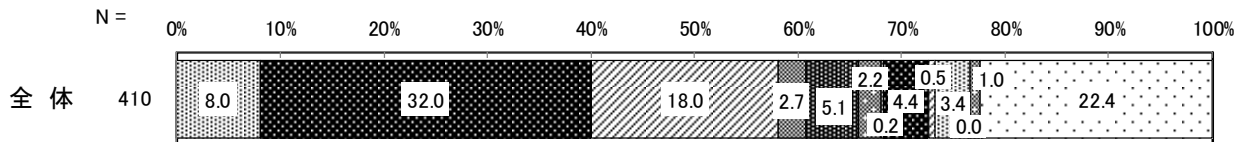
全体では、「新しい会員が集まらない」が32.0%と最も多く、次いで「若い世代の会員が少ない」(18.0%)、「会員の減少により規模が縮小している」(8.0%)である。

活動年数別では、「活動内容をPRする情報発信ができない」で全体の3.4%に対して、5年以上10年未満では13.6%と10.2ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「新しい会員が集まらない」で全体の32.0%に対して、週2～3回程度では62.1%と30.1ポイント多くなっている。

② 2番目に困っていること[%]

- 会員の減少により規模が縮小している
- 新しい会員が集まらない
- 若い世代の会員が少ない
- 活動に費用がかかる
- 自らの団体が定期的集まる場所が確保できない
- 活動の成果を生かす場や機会が少ない
- 適切な指導者や講師がいない
- リーダーや役員のなり手がいない
- 活動に役立つ情報が得られない
- 活動内容をPRする情報発信ができない
- 特に困っていることはない
- その他
- 無回答



【属性別集計表】

	調査数	② 2番目に困っていること								
		会員の減少により規模が縮小している	新しい会員が集まらない	若い世代の会員が少ない	活動に費用がかかる	自らの団体が定期的集まる場所が確保できない	活動の成果を生かす場や機会が少ない	適切な指導者や講師がいない	リーダーや役員のなり手がいない	
全体	410	8.0	32.0	18.0	2.7	5.1	2.2	0.5	1.0	4.4
活動年数別	5年未満	13	0.0	7.7	38.5	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	22	13.6	27.3	13.6	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
	10年以上15年未満	31	6.5	25.8	12.9	6.5	12.9	9.7	0.0	6.5
	15年以上20年未満	53	11.3	26.4	18.9	3.8	3.8	1.9	0.0	5.7
	20年以上	282	7.8	34.4	18.1	2.5	4.6	1.1	0.4	4.3
活動頻度別	週4～7回程度	27	7.4	14.8	18.5	7.4	0.0	0.0	0.0	11.1
	週2～3回程度	29	6.9	62.1	6.9	0.0	3.4	3.4	0.0	0.0
	週1回程度	168	10.1	32.7	19.6	3.6	6.0	1.8	0.6	3.6
	月2回程度	94	4.3	29.8	16.0	1.1	5.3	5.3	0.0	6.4
	月1回程度	54	3.7	25.9	18.5	1.9	3.7	0.0	0.0	3.7
年に数回程度	24	12.5	29.2	33.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	

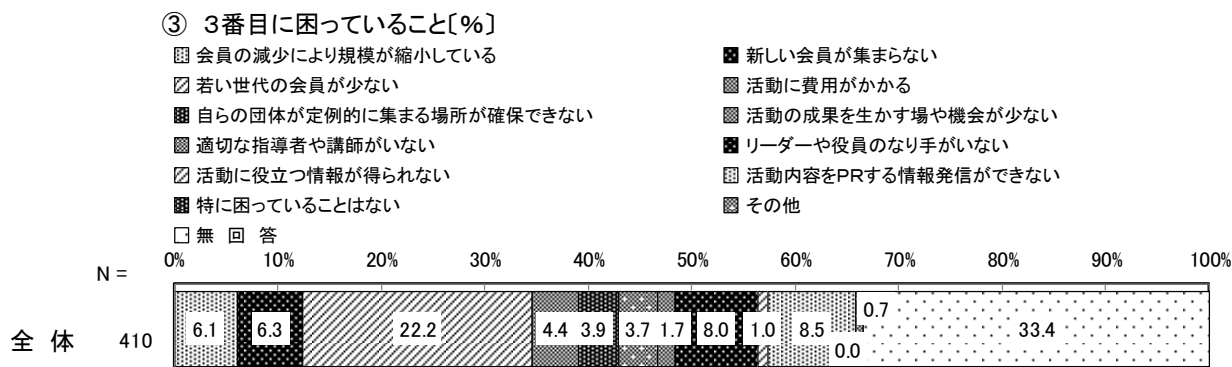
	調査数	② 2番目に困っていること					
		活動に役立つ情報が得られない	活動内容をPRする情報発信ができない	特に困っていることはない	その他	無回答	
全体	410	0.5	3.4	0.0	1.0	22.4	
活動年数別	5年未満	13	7.7	7.7	0.0	30.8	
	5年以上10年未満	22	0.0	13.6	0.0	22.7	
	10年以上15年未満	31	0.0	0.0	0.0	19.4	
	15年以上20年未満	53	0.0	1.9	0.0	26.4	
	20年以上	282	0.4	3.2	0.0	1.4	22.0
活動頻度別	週4～7回程度	27	0.0	7.4	0.0	3.7	29.6
	週2～3回程度	29	0.0	6.9	0.0	0.0	10.3
	週1回程度	168	0.6	0.6	0.0	1.8	19.0
	月2回程度	94	0.0	7.4	0.0	0.0	24.5
	月1回程度	54	1.9	3.7	0.0	0.0	37.0
年に数回程度	24	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8	

③ 3番目に困っていること

全体では、「若い世代の会員が少ない」が22.2%と最も多く、次いで「活動内容をPRする情報発信ができない」(8.5%)、「リーダーや役員のなり手がいない」(8.0%)である。

活動年数別では、「若い世代の会員が少ない」で全体の22.2%に対して、5年未満では7.7%と14.5ポイント少なくなっている。

活動頻度別では、「活動に費用がかかる」で全体の4.4%に対して、年に数回程度では16.7%と12.3ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	③ 3番目に困っていること								
		会員の減少により規模が縮小している	新しい会員が集まらない	若い世代の会員が少ない	活動に費用がかかる	自らの団体が定例的に集まる場所が確保できない	活動の成果を生かす場や機会が少ない	適切な指導者や講師がいない	リーダーや役員のなり手がいない	
全体	410	6.1	6.3	22.2	4.4	3.9	3.7	1.7	8.0	
活動年数別	5年未満	13	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	15.4
	5年以上10年未満	22	13.6	0.0	22.7	4.5	9.1	4.5	0.0	9.1
	10年以上15年未満	31	0.0	3.2	22.6	6.5	3.2	3.2	3.2	9.7
	15年以上20年未満	53	7.5	11.3	20.8	1.9	7.5	1.9	1.9	7.5
	20年以上	282	5.7	6.4	23.0	4.6	3.2	3.5	1.8	7.4
活動頻度別	週4~7回程度	27	0.0	14.8	14.8	3.7	0.0	0.0	3.7	7.4
	週2~3回程度	29	10.3	3.4	31.0	3.4	3.4	0.0	0.0	13.8
	週1回程度	168	7.7	4.8	25.6	1.2	6.5	3.0	1.2	7.1
	月2回程度	94	5.3	6.4	21.3	9.6	2.1	4.3	1.1	8.5
	月に数回程度	54	5.6	7.4	13.0	0.0	3.7	5.6	5.6	3.7
年に数回程度	24	0.0	4.2	16.7	16.7	0.0	4.2	0.0	12.5	

	調査数	③ 3番目に困っていること					
		活動に役立つ情報が得られない	活動内容をPRする情報発信ができない	特に困っていることはない	その他	無回答	
全体	410	1.0	8.5	0.0	0.7	33.4	
活動年数別	5年未満	13	7.7	0.0	0.0	53.8	
	5年以上10年未満	22	0.0	13.6	0.0	22.7	
	10年以上15年未満	31	6.5	9.7	0.0	32.3	
	15年以上20年未満	53	1.9	5.7	0.0	32.1	
	20年以上	282	0.0	9.2	0.0	1.1	34.0
活動頻度別	週4~7回程度	27	0.0	14.8	0.0	40.7	
	週2~3回程度	29	0.0	10.3	0.0	20.7	
	週1回程度	168	0.6	8.3	0.0	1.2	32.7
	月2回程度	94	2.1	4.3	0.0	0.0	35.1
	月に数回程度	54	1.9	11.1	0.0	0.0	42.6
年に数回程度	24	0.0	16.7	0.0	0.0	29.2	

(3) 貴団体が、今後学習成果を展開していく上で必要な市の支援はどのようなことですか。

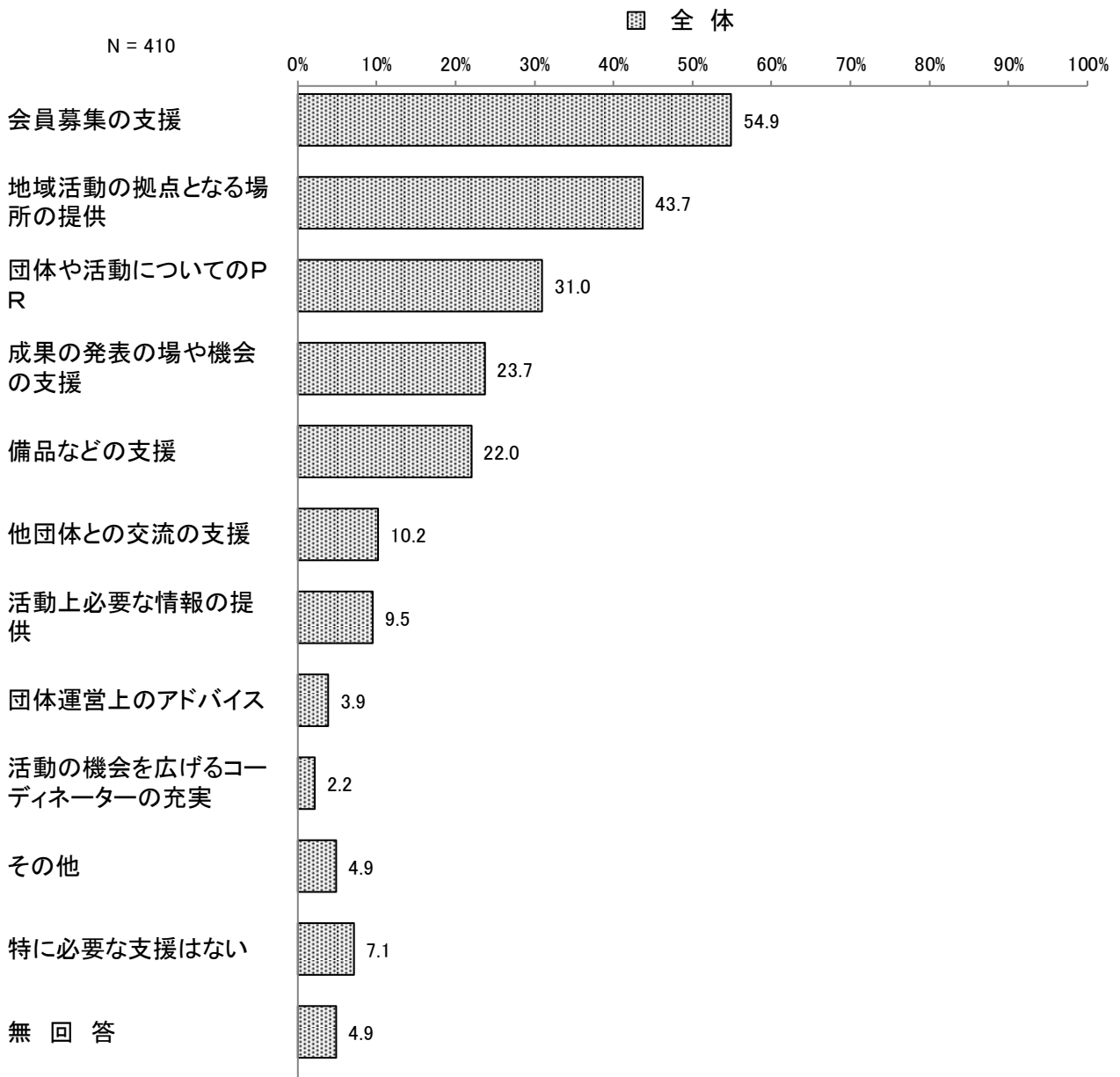
全体では、「会員募集の支援」が 54.9%と最も多く、次いで「地域活動の拠点となる場所の提供」(43.7%)、「団体や活動についてのPR」(31.0%)である。

活動年数別では、「活動上必要な情報の提供」で全体の 9.5%に対して、5年未満では 30.8%と 21.3ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「団体や活動についてのPR」で全体の 31.0%に対して、週 4～7回程度では 51.9%と 20.9ポイント多くなっている。

平成 26 年調査との比較では、「地域活動の拠点となる場所の提供」で平成 26 年の 50.2%に対し、令和元年が 43.7%と 6.5ポイント少なくなっている。

問8 団体の活動に対して行政からどんな支援を望むか[%・複数回答]



【属性別集計表】

	調査数	問8 団体の活動に対して行政からどんな支援を望むか								
		地域活動の拠点となる場所の提供	会員募集の支援	他団体との交流の支援	団体や活動についてのPR	活動上必要な情報の提供	団体運営上のアドバイス	備品などの支援	成果の発表の場や機会の支援	
全体	410	43.7	54.9	10.2	31.0	9.5	3.9	22.0	23.7	
活動年数別	5年未満	13	46.2	46.2	0.0	30.8	30.8	15.4	7.7	23.1
	5年以上10年未満	22	36.4	50.0	13.6	45.5	13.6	4.5	31.8	22.7
	10年以上15年未満	31	48.4	48.4	3.2	29.0	12.9	3.2	22.6	25.8
	15年以上20年未満	53	30.2	56.6	11.3	35.8	7.5	3.8	17.0	20.8
	20年以上	282	46.5	56.7	10.6	29.1	8.5	3.5	22.3	23.8
活動頻度別	週4～7回程度	27	40.7	63.0	11.1	51.9	14.8	0.0	29.6	18.5
	週2～3回程度	29	34.5	62.1	13.8	27.6	6.9	6.9	17.2	31.0
	週1回程度	168	53.0	54.2	8.9	31.5	9.5	3.0	23.8	23.8
	月2回程度	94	38.3	55.3	8.5	25.5	8.5	3.2	17.0	25.5
	月に数回程度	24	29.2	45.8	12.5	37.5	0.0	4.2	20.8	16.7

	調査数	問8 団体の活動に対して行政からどんな支援を望むか				
		活動の機会を広げるコーディネーターの充実	特に必要な支援はない	その他	無回答	
全体	410	2.2	7.1	4.9	4.9	
活動年数別	5年未満	13	7.7	7.7	0.0	0.0
	5年以上10年未満	22	4.5	9.1	4.5	9.1
	10年以上15年未満	31	0.0	3.2	6.5	3.2
	15年以上20年未満	53	0.0	15.1	5.7	3.8
	20年以上	282	2.1	5.7	4.3	5.3
活動頻度別	週4～7回程度	27	3.7	3.7	0.0	3.7
	週2～3回程度	29	10.3	6.9	6.9	6.9
	週1回程度	168	1.8	8.3	3.0	3.0
	月2回程度	94	1.1	5.3	6.4	6.4
	月に数回程度	24	4.2	8.3	12.5	8.3

【平成26年調査との比較表】

	調査数	問8 団体の活動に対して行政からどんな支援を望むか								
		地域活動の拠点となる場所の提供	会員募集の支援	他団体との交流の支援	団体や活動についてのPR	活動上必要な情報の提供	団体運営上のアドバイス	備品などの支援	成果の発表の場や機会の支援	
令和元年	410	43.7	54.9	10.2	31.0	9.5	3.9	22.0	23.7	
平成26年	456	50.2	52.4	4.6	28.1	9.0	2.0	20.6	24.1	

	調査数	問8 団体の活動に対して行政からどんな支援を望むか			
		活動の機会を広げるコーディネーターの充実	特に必要な支援はない	その他	無回答
令和元年	410	2.2	7.1	4.9	4.9
平成26年	456	2.4	5.9	5.5	6.1

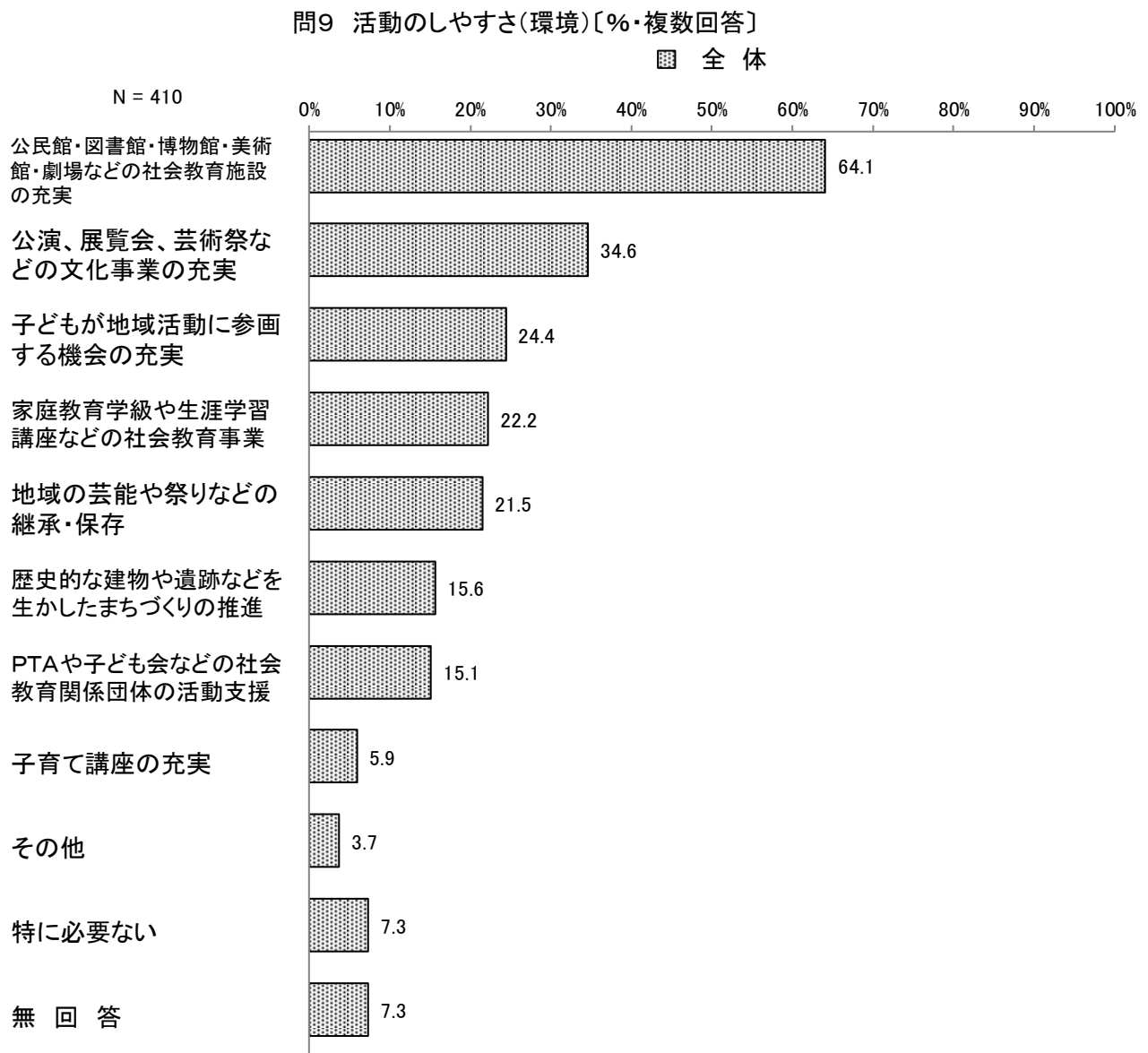
※「他団体との交流の支援」の選択肢は平成26年における「他団体との交流についての仲立ち」の割合となる。

(4) 地域の学習環境を充実させるために何が必要だと思いますか。

全体では、「公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実」が64.1%と最も多く、次いで「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」(34.6%)、「子どもが地域活動に参画する機会の充実」(24.4%)である。

活動年数別では、「家庭教育学級や生涯学習講座などの社会教育事業」で全体の22.2%に対して、5年以上10年未満では36.4%と14.2ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実」で全体の64.1%に対して、週4～7回程度では74.1%と10.0ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問9 活動のしやすさ(環境)								
		公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実	家庭教育学級や生涯学習講座などの社会教育事業	PTAや子ども会などの社会教育関係団体の活動支援	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進	子育て講座の充実	子どもが地域活動に参画する機会の充実	
全体	410	64.1	22.2	15.1	34.6	21.5	15.6	5.9	24.4	
活動年数別	5年未満	13	46.2	0.0	7.7	23.1	15.4	15.4	0.0	30.8
	5年以上10年未満	22	72.7	36.4	13.6	22.7	18.2	13.6	13.6	31.8
	10年以上15年未満	31	67.7	16.1	12.9	35.5	16.1	16.1	3.2	22.6
	15年以上20年未満	53	60.4	13.2	15.1	30.2	7.5	13.2	7.5	15.1
	20年以上	282	65.6	24.5	16.0	35.8	24.1	14.9	5.7	25.9
活動頻度別	週4～7回程度	27	74.1	29.6	11.1	29.6	29.6	18.5	22.2	44.4
	週2～3回程度	29	51.7	27.6	13.8	20.7	27.6	24.1	10.3	24.1
	週1回程度	168	69.6	20.2	11.9	36.3	20.2	13.1	3.6	19.0
	月2回程度	94	62.8	23.4	21.3	33.0	22.3	16.0	4.3	26.6
	月1回程度	54	61.1	24.1	18.5	38.9	14.8	14.8	7.4	24.1
	年に数回程度	24	50.0	4.2	20.8	33.3	25.0	8.3	4.2	33.3

	調査数	問9 活動のしやすさ(環境)			
		特に必要ない	その他	無回答	
全体	410	7.3	3.7	7.3	
活動年数別	5年未満	13	15.4	15.4	7.7
	5年以上10年未満	22	4.5	0.0	9.1
	10年以上15年未満	31	6.5	3.2	3.2
	15年以上20年未満	53	15.1	5.7	5.7
	20年以上	282	5.7	2.8	7.8
活動頻度別	週4～7回程度	27	0.0	0.0	0.0
	週2～3回程度	29	6.9	6.9	13.8
	週1回程度	168	10.1	3.0	7.1
	月2回程度	94	5.3	3.2	8.5
	月1回程度	54	1.9	9.3	7.4
	年に数回程度	24	12.5	0.0	8.3

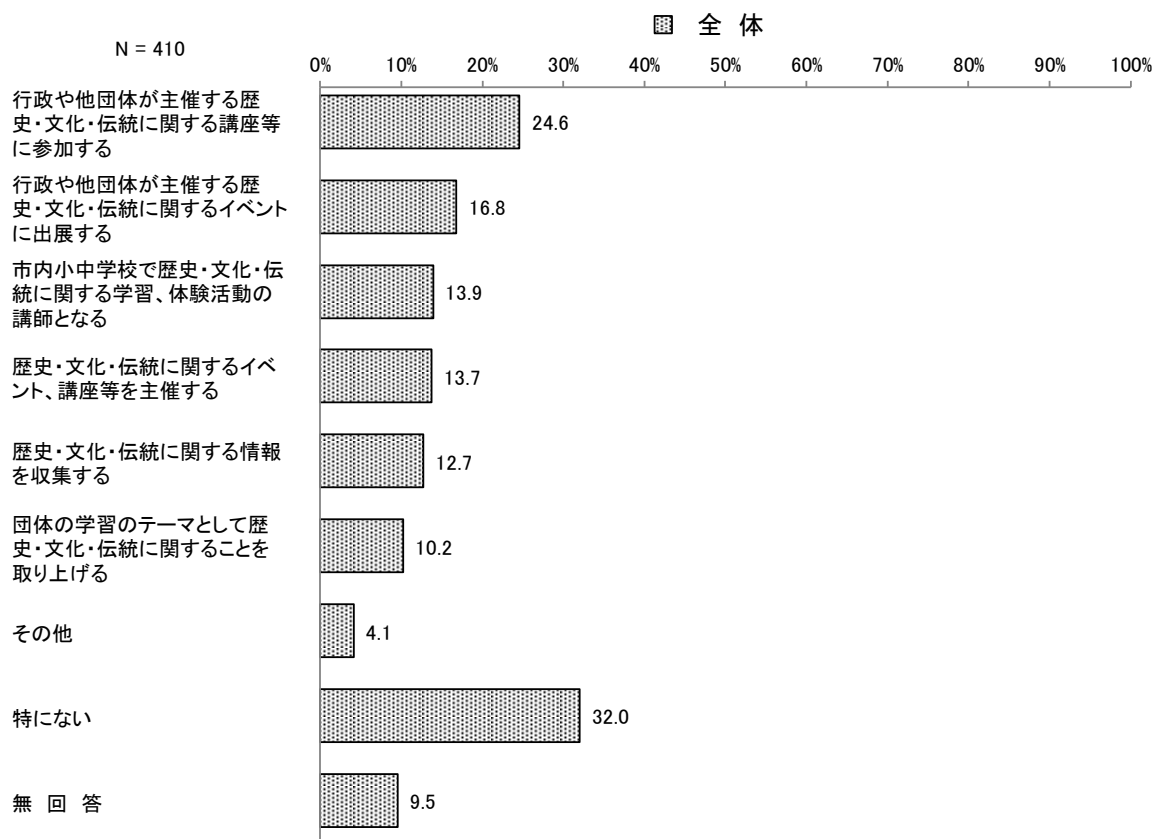
(5) 市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるためのサポートとして、貴団体はどのようなことをしたいと思いますか。

全体では、「行政や他団体が主催する歴史・文化・伝統に関する講座等に参加する」が24.6%と最も多く、次いで「行政や他団体が主催する歴史・文化・伝統に関するイベントに出展する」(16.8%)、「市内小中学校で歴史・文化・伝統に関する学習、体験活動の講師となる」(13.9%)である。

活動年数別では、「歴史・文化・伝統に関するイベント、講座等を主催する」で全体の13.7%に対して、10年以上15年未満では29.0%と15.3ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「歴史・文化・伝統に関するイベント、講座等を主催する」で全体の13.7%に対して、年に数回程度では33.3%と19.6ポイント多くなっている。

問10 市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるためのサポートとしてしたいこと [%・複数回答]



【属性別集計表】

	調査数	問10 市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるためのサポートとしてほしいこと								
		市内小中学校で歴史・文化・伝統に関する学習、体験活動の講師となる	歴史・文化・伝統に関するイベント、講座等を主催する	行政や他団体が主催する歴史・文化・伝統に関するイベントに出展する	行政や他団体が主催する歴史・文化・伝統に関する講座等に参加する	団体の学習のテーマとして歴史・文化・伝統に関する情報を取り上げる	歴史・文化・伝統に関する情報を収集する	特になし	その他	
全体	410	13.9	13.7	16.8	24.6	10.2	12.7	32.0	4.1	
活動年数別	5年未満	13	15.4	0.0	30.8	30.8	15.4	7.7	7.7	7.7
	5年以上10年未満	22	22.7	18.2	22.7	31.8	18.2	22.7	22.7	9.1
	10年以上15年未満	31	16.1	29.0	35.5	32.3	19.4	3.2	19.4	0.0
	15年以上20年未満	53	18.9	5.7	18.9	22.6	1.9	7.5	45.3	0.0
	20年以上	282	12.4	14.2	13.1	22.7	10.3	14.2	32.6	5.0
活動頻度別	週4～7回程度	27	18.5	18.5	25.9	25.9	33.3	25.9	25.9	7.4
	週2～3回程度	29	17.2	6.9	6.9	13.8	13.8	10.3	37.9	6.9
	週1回程度	168	10.1	10.1	16.1	24.4	6.5	8.3	36.3	3.6
	月2回程度	94	12.8	12.8	20.2	27.7	9.6	17.0	27.7	4.3
	月1回程度	54	16.7	22.2	18.5	25.9	11.1	11.1	29.6	3.7
年に数回程度	24	33.3	33.3	8.3	16.7	8.3	12.5	25.0	4.2	

	調査数	問10 市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるためのサポートとしてほしいこと	
		無回答	
全体	410	9.5	
活動年数別	5年未満	13	7.7
	5年以上10年未満	22	9.1
	10年以上15年未満	31	3.2
	15年以上20年未満	53	5.7
	20年以上	282	11.0
活動頻度別	週4～7回程度	27	0.0
	週2～3回程度	29	17.2
	週1回程度	168	11.3
	月2回程度	94	8.5
	月1回程度	54	5.6
年に数回程度	24	8.3	

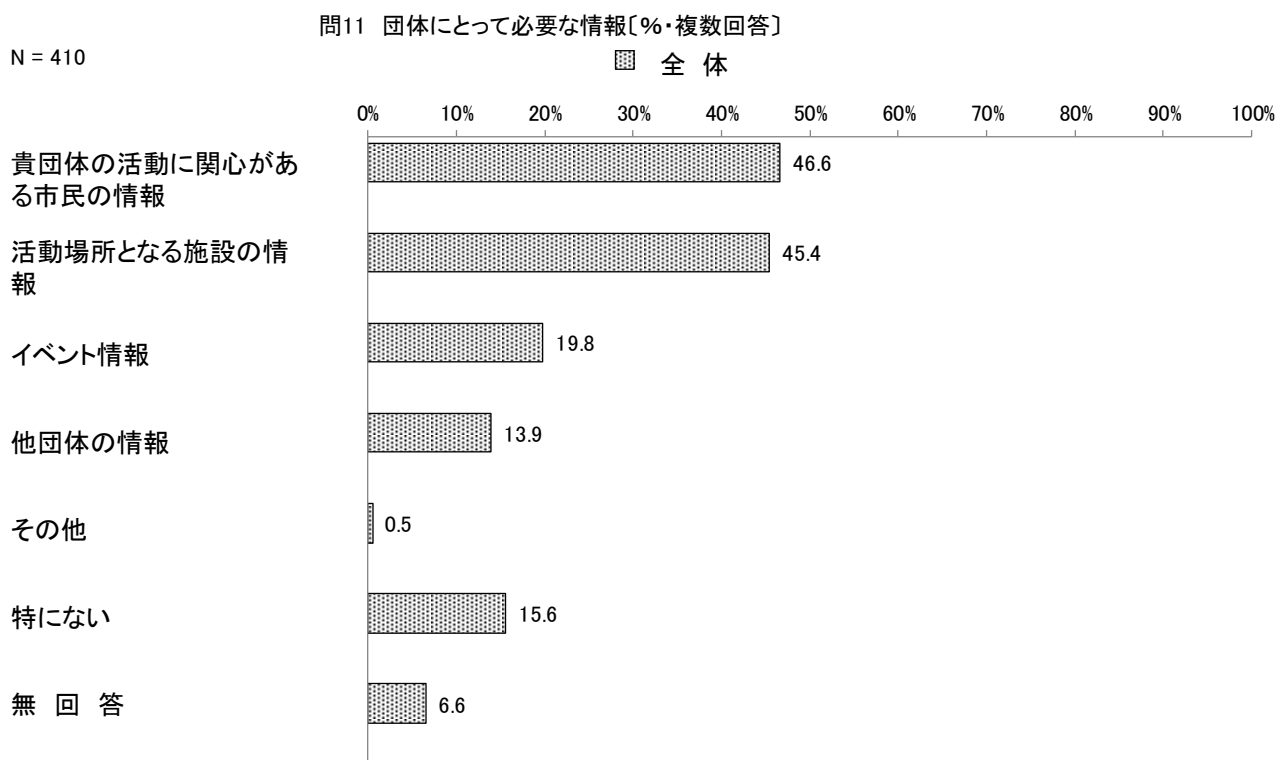
3 「生涯学習活動」をする上で収集、発信する情報ニーズ等について

(1) 貴団体が活動する上で必要としている情報は何か。

全体では、「貴団体の活動に関心がある市民の情報」が46.6%と最も多く、次いで「活動場所となる施設の情報」(45.4%)、「イベント情報」(19.8%)である。

活動年数別では、「貴団体の活動に関心がある市民の情報」で全体の46.6%に対して、5年未満では76.9%と30.3ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「貴団体の活動に関心がある市民の情報」で全体の46.6%に対して、週4～7回程度では59.3%と12.7ポイント多くなっている。



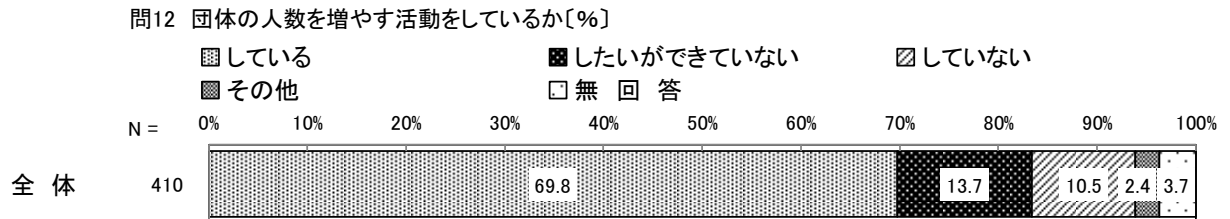
【属性別集計表】

	調査数	問11 団体にとって必要な情報							
		活動場所となる施設の情報	他団体の情報	イベント情報	貴団体の活動に関心がある市民の情報	特にない	その他	無回答	
全体	410	45.4	13.9	19.8	46.6	15.6	0.5	6.6	
活動年数別	5年未満	13	53.8	0.0	23.1	76.9	0.0	0.0	7.7
	5年以上10年未満	22	54.5	9.1	22.7	63.6	9.1	0.0	4.5
	10年以上15年未満	31	51.6	22.6	29.0	45.2	3.2	0.0	3.2
	15年以上20年未満	53	28.3	11.3	18.9	43.4	28.3	0.0	3.8
	20年以上	282	47.2	13.8	18.4	45.4	15.2	0.4	7.8
活動頻度別	週4～7回程度	27	48.1	7.4	25.9	59.3	14.8	0.0	0.0
	週2～3回程度	29	44.8	10.3	20.7	44.8	20.7	3.4	6.9
	週1回程度	168	52.4	11.9	19.6	41.7	13.7	0.6	8.3
	月2回程度	94	46.8	21.3	25.5	47.9	10.6	0.0	7.4
	月1回程度	54	33.3	20.4	14.8	50.0	18.5	0.0	5.6
	年に数回程度	24	25.0	4.2	8.3	54.2	25.0	0.0	4.2

(2) 貴団体の会員数を増やす活動をしていますか。

全体では、「している」が 69.8%と最も多く、次いで「したいができていない」(13.7%)、「していない」(10.5%)である。

活動頻度別では、「したいができていない」で全体の 13.7%に対して、年に数回程度では 25.0%と 11.3ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

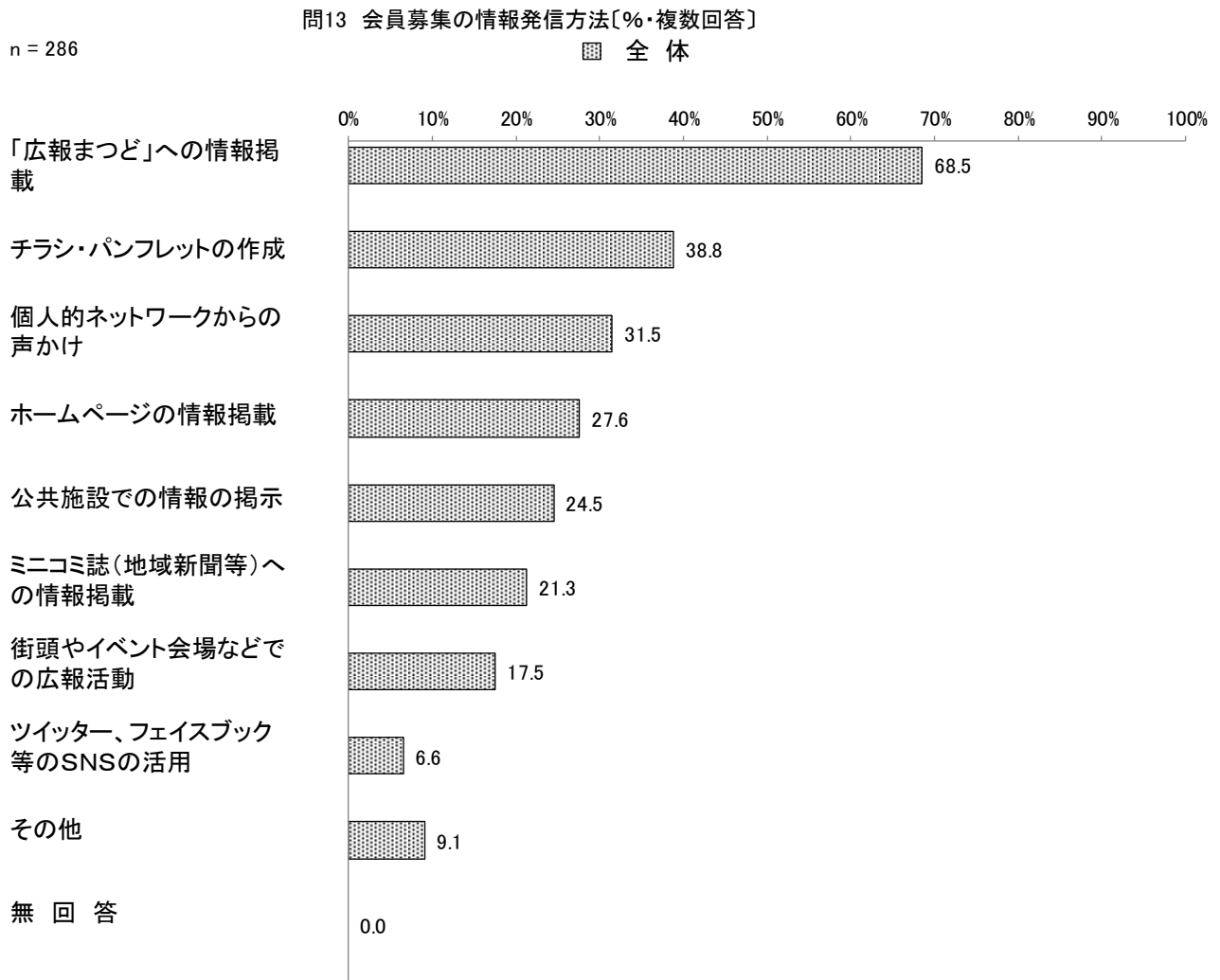
	調査数	問12 団体の人数を増やす活動をしているか					
		している	したいができていない	していない	その他	無回答	
全体	410	69.8	13.7	10.5	2.4	3.7	
活動年数別	5年未満	13	76.9	23.1	0.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	22	72.7	13.6	9.1	0.0	4.5
	10年以上15年未満	31	74.2	9.7	6.5	6.5	3.2
	15年以上20年未満	53	64.2	18.9	15.1	1.9	0.0
	20年以上	282	69.1	13.1	10.6	2.5	4.6
活動頻度別	週4~7回程度	27	77.8	11.1	11.1	0.0	0.0
	週2~3回程度	29	75.9	6.9	6.9	3.4	6.9
	週1回程度	168	70.2	11.9	10.1	2.4	5.4
	月2回程度	94	71.3	13.8	10.6	3.2	1.1
	月1回程度	54	57.4	22.2	14.8	0.0	5.6
	年に数回程度	24	58.3	25.0	8.3	8.3	0.0

(3) 会員募集にあたりどのような情報発信をしていますか。

全体では、「『広報まつど』への情報掲載」が 68.5%と最も多く、次いで「チラシ・パンフレットの作成」(38.8%)、「個人的ネットワークからの声かけ」(31.5%)である。

活動年数別では、「『広報まつど』への情報掲載」で全体の 68.5%に対して、5年未満では 80.0%と 11.5ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「『広報まつど』への情報掲載」で全体の 68.5%に対して、週2～3回程度では 86.4%と 17.9ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問13 会員募集の情報発信方法							
		チラシ・パンフレットの作成	街頭やイベント会場などでの広報活動	ホームページの情報掲載	ツイッター、フェイスブック等のSNSの活用	公共施設での情報の掲示	「広報まつど」への情報掲載	ミニコミ誌(地域新聞等)への情報掲載	個人的ネットワークからの声かけ
全体	286	38.8	17.5	27.6	6.6	24.5	68.5	21.3	31.5
活動年数別	5年未満	10	30.0	10.0	10.0	30.0	80.0	0.0	20.0
	5年以上10年未満	16	43.8	25.0	25.0	18.8	68.8	6.3	18.8
	10年以上15年未満	23	30.4	17.4	30.4	4.3	17.4	52.2	30.4
	15年以上20年未満	34	29.4	17.6	17.6	2.9	26.5	67.6	20.6
	20年以上	195	41.5	17.4	30.3	6.7	24.1	70.8	23.6
活動頻度別	週4～7回程度	21	38.1	14.3	33.3	4.8	33.3	76.2	38.1
	週2～3回程度	22	40.9	22.7	27.3	18.2	27.3	86.4	13.6
	週1回程度	118	42.4	16.1	33.1	5.9	26.3	73.7	22.0
	月2回程度	67	44.8	19.4	31.3	6.0	26.9	56.7	16.4
	月1回程度	31	12.9	16.1	9.7	0.0	6.5	61.3	29.0
	年に数回程度	14	42.9	28.6	14.3	14.3	21.4	64.3	21.4

	調査数	問13 会員募集の情報発信方法	
		その他	
全体	286	9.1	
活動年数別	5年未満	10	30.0
	5年以上10年未満	16	6.3
	10年以上15年未満	23	4.3
	15年以上20年未満	34	14.7
	20年以上	195	7.2
活動頻度別	週4～7回程度	21	14.3
	週2～3回程度	22	9.1
	週1回程度	118	5.1
	月2回程度	67	13.4
	月1回程度	31	6.5
	年に数回程度	14	7.1

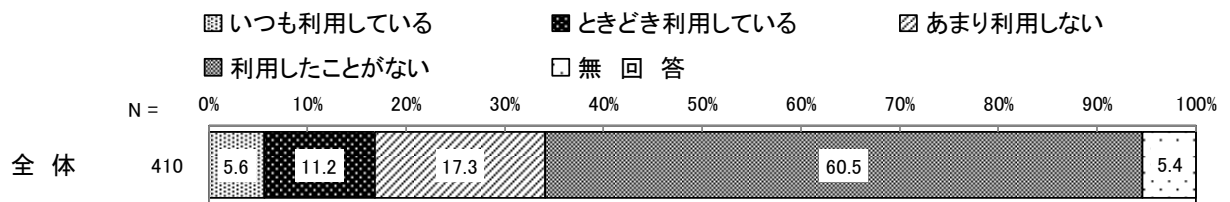
(4) 松戸市生涯学習情報提供システム「まつどまなびいネット」をどの程度利用したことがありますか。

全体では、「利用したことがない」が60.5%と最も多く、次いで「あまり利用しない」(17.3%)、「ときどき利用している」(11.2%)である。

活動頻度別では、「利用したことがない」で全体の60.5%に対して、年に数回程度では79.2%と18.7ポイント多くなっている。

平成26年調査との比較では、「利用したことがない」で平成26年の70.0%に対し、令和元年が60.5%と9.5ポイント少なくなっている。

問14 「まつどまなびいネット」利用状況 [%]



【属性別集計表】

	調査数	問14 「まつどまなびいネット」利用状況					
		いつも利用している	ときどき利用している	あまり利用しない	利用したことがない	無回答	
全体	410	5.6	11.2	17.3	60.5	5.4	
活動年数別	5年未満	13	7.7	7.7	15.4	69.2	0.0
	5年以上10年未満	22	9.1	9.1	18.2	54.5	9.1
	10年以上15年未満	31	3.2	9.7	25.8	54.8	6.5
	15年以上20年未満	53	7.5	11.3	20.8	60.4	0.0
	20年以上	282	4.6	11.3	16.0	61.7	6.4
活動頻度別	週4～7回程度	27	3.7	14.8	25.9	48.1	7.4
	週2～3回程度	29	0.0	20.7	20.7	55.2	3.4
	週1回程度	168	6.5	11.9	17.9	56.5	7.1
	月2回程度	94	3.2	11.7	16.0	68.1	1.1
	月1回程度	54	11.1	5.6	14.8	59.3	9.3
年に数回程度	24	0.0	4.2	12.5	79.2	4.2	

【平成26年調査との比較表】

	調査数	問14 「まつどまなびいネット」利用状況				
		いつも利用している	ときどき利用している	あまり利用しない	利用したことがない	無回答
令和元年	410	5.6	11.2	17.3	60.5	5.4
平成26年	456	3.9	11.2	10.5	70.0	4.4

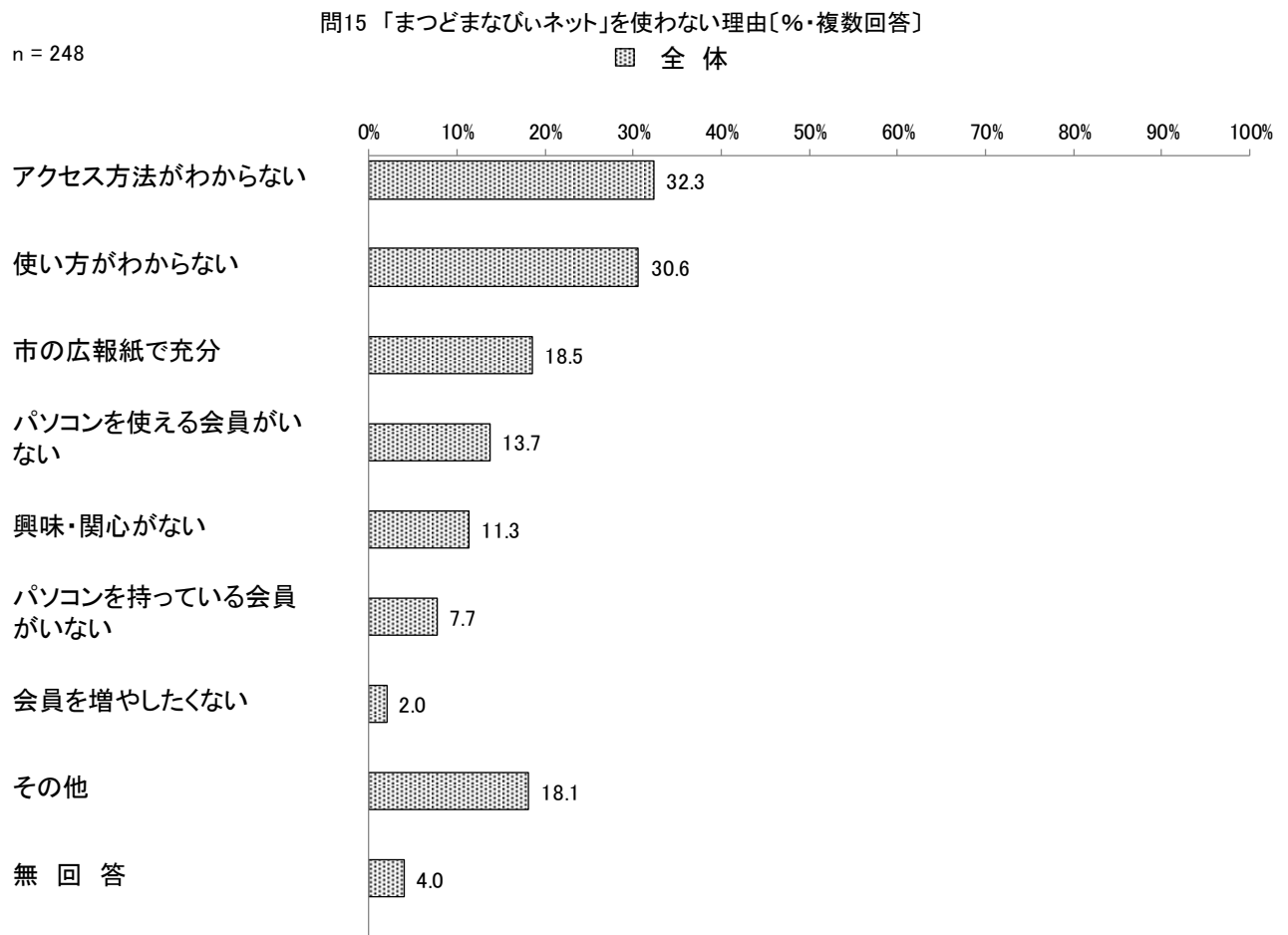
(5) 「まつどまなびいネット」を利用しない理由は何ですか。

全体では、「アクセス方法がわからない」が32.3%と最も多く、次いで「使い方がわからない」(30.6%)、「市の広報紙で充分」(18.5%)である。

活動年数別では、「アクセス方法がわからない」で全体の32.3%に対して、10年以上15年未満では47.1%と14.8ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「市の広報紙で充分」で全体の18.5%に対して、週4～7回程度では38.5%と20.0ポイント多くなっている。

平成26年調査との比較では、「市の広報紙で充分」で平成26年の26.0%に対し、令和元年が18.5%と7.5ポイント少なくなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問15 「まつどまなびいネット」非利用理由								
		アクセス方法がわからない	使い方がわからない	会員を増やしたくない	市の広報紙で充分	パソコンを持っている会員がいない	パソコンを使える会員がいない	興味・関心が無い	その他	
全体	248	32.3	30.6	2.0	18.5	7.7	13.7	11.3	18.1	
活動年数別	5年未満	9	0.0	44.4	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	22.2
	5年以上10年未満	12	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	25.0
	10年以上15年未満	17	47.1	35.3	0.0	5.9	11.8	5.9	5.9	17.6
	15年以上20年未満	32	31.3	28.1	3.1	25.0	0.0	3.1	18.8	3.1
	20年以上	174	33.9	29.9	1.7	19.0	9.8	17.2	10.3	19.5
活動頻度別	週4～7回程度	13	30.8	30.8	15.4	38.5	7.7	15.4	7.7	15.4
	週2～3回程度	16	37.5	31.3	0.0	31.3	6.3	6.3	6.3	25.0
	週1回程度	95	41.1	34.7	1.1	14.7	6.3	15.8	11.6	15.8
	月2回程度	64	26.6	32.8	1.6	15.6	4.7	6.3	15.6	17.2
	月1回程度	32	25.0	18.8	0.0	21.9	12.5	18.8	6.3	25.0
年に数回程度	19	21.1	21.1	0.0	10.5	15.8	21.1	10.5	21.1	

	調査数	問15 「まつどまなびいネット」非利用理由	
		無回答	
全体	248	4.0	
活動年数別	5年未満	9	0.0
	5年以上10年未満	12	0.0
	10年以上15年未満	17	5.9
	15年以上20年未満	32	6.3
	20年以上	174	4.0
活動頻度別	週4～7回程度	13	7.7
	週2～3回程度	16	0.0
	週1回程度	95	6.3
	月2回程度	64	4.7
	月1回程度	32	0.0
年に数回程度	19	0.0	

【経年比較表】

	調査数	問15 「まつどまなびいネット」非利用理由				
		アクセス方法がわからない	使い方がわからない	会員を増やしたくない	市の広報紙で充分	パソコンを持っている会員がいない
令和元年	248	32.3	30.6	2.0	18.5	7.7
平成26年	319	32.0	37.6	2.2	26.0	12.5

	調査数	問15 「まつどまなびいネット」非利用理由			
		パソコンを使える会員がいない	興味・関心が無い	その他	無回答
令和元年	248	13.7	11.3	18.1	4.0
平成26年	319	21.0	13.2	-	19.4

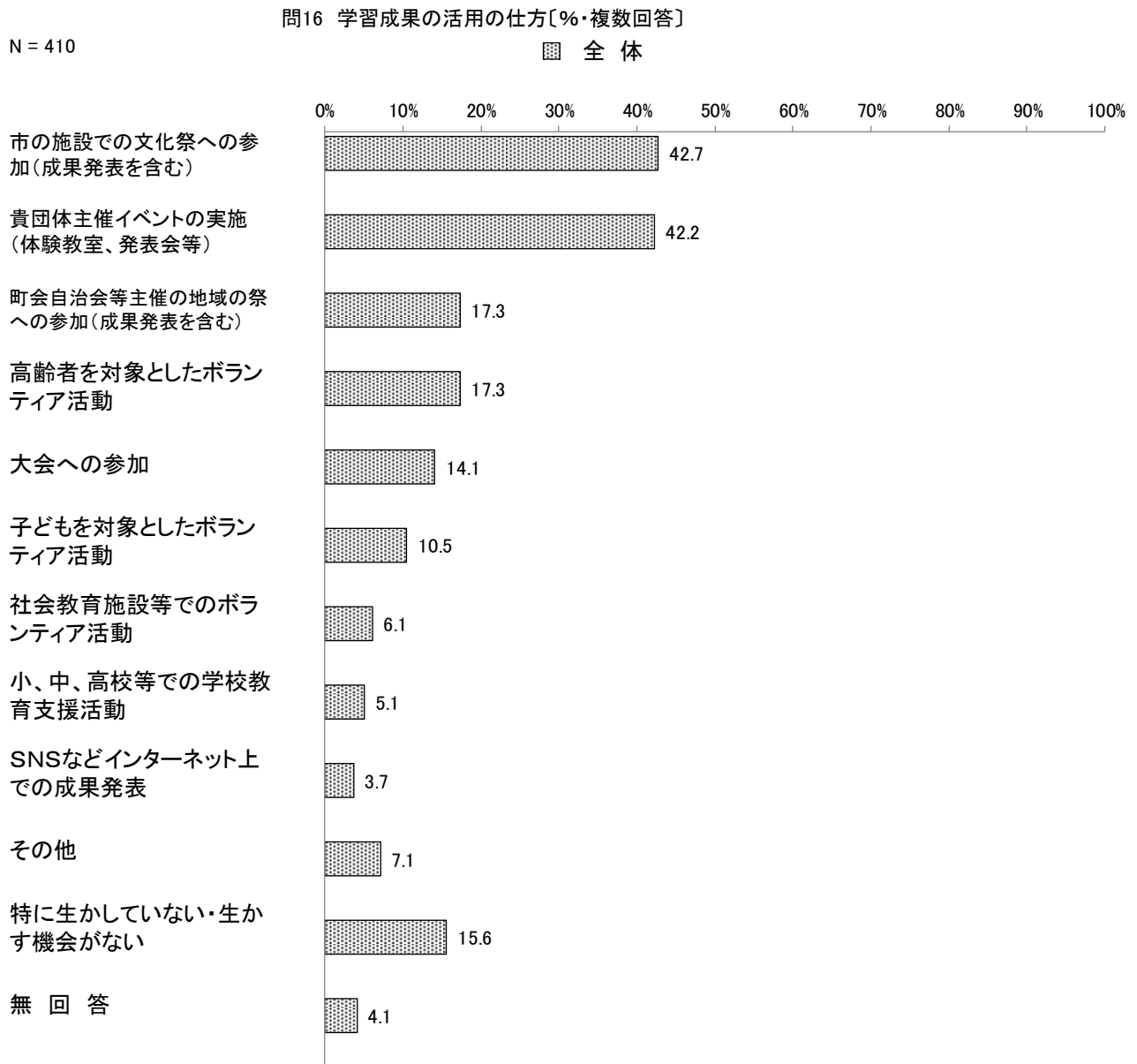
4 「生涯学習活動」の成果の活用について

(1) 貴団体の学習活動の成果を、貴団体の活動としてどのように生かしていますか。

全体では、「市の施設での文化祭への参加（成果発表を含む）」が 42.7%と最も多く、次いで「貴団体主催イベントの実施（体験教室、発表会等）」（42.2%）である。

活動年数別では、「貴団体主催イベントの実施（体験教室、発表会等）」で全体の 42.2%に対して、5年以上10年未満では 59.1%と 16.9ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「子どもを対象としたボランティア活動」で全体の 10.5%に対して、週4～7回程度では 29.6%と 19.1ポイント多くなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問16 学習成果の活用の仕方								
		町会自治会等主催の地域の祭への参加(成果発表を含む)	市の施設での文化祭への参加(成果発表を含む)	大会への参加	SNSなどインターネット上での成果発表	貴団体主催イベントの実施(体験教室、発表会等)	高齢者を対象としたボランティア活動	子どもを対象としたボランティア活動	小、中、高校等での学校教育支援活動	
全体	410	17.3	42.7	14.1	3.7	42.2	17.3	10.5	5.1	
活動年数別	5年未満	13	30.8	38.5	7.7	7.7	46.2	15.4	7.7	
	5年以上10年未満	22	13.6	68.2	18.2	4.5	59.1	36.4	4.5	
	10年以上15年未満	31	16.1	29.0	16.1	6.5	48.4	19.4	0.0	
	15年以上20年未満	53	7.5	34.0	7.5	1.9	34.0	11.3	5.7	
	20年以上	282	18.8	44.7	14.9	3.5	41.1	16.7	5.7	
活動頻度別	週4～7回程度	27	22.2	44.4	18.5	7.4	40.7	25.9	11.1	
	週2～3回程度	29	31.0	41.4	24.1	6.9	37.9	27.6	3.4	
	週1回程度	168	14.3	47.6	13.7	1.8	42.9	22.6	3.0	
	月2回程度	94	20.2	38.3	13.8	5.3	47.9	10.6	3.2	
	月に1回程度	54	5.6	33.3	13.0	3.7	29.6	5.6	7.4	
年に数回程度	24	37.5	45.8	8.3	4.2	50.0	12.5	20.8		

	調査数	問16 学習成果の活用の仕方			
		社会教育施設等でのボランティア活動	特に生かしていない・生かす機会がない	その他	無回答
全体	410	6.1	15.6	7.1	4.1
活動年数別	5年未満	13	0.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	22	18.2	4.5	4.5
	10年以上15年未満	31	6.5	22.6	3.2
	15年以上20年未満	53	0.0	24.5	1.9
	20年以上	282	6.7	14.5	6.7
活動頻度別	週4～7回程度	27	18.5	14.8	3.7
	週2～3回程度	29	10.3	17.2	0.0
	週1回程度	168	6.5	16.1	5.4
	月2回程度	94	2.1	8.5	4.3
	月に1回程度	54	5.6	29.6	3.7
年に数回程度	24	4.2	8.3	0.0	

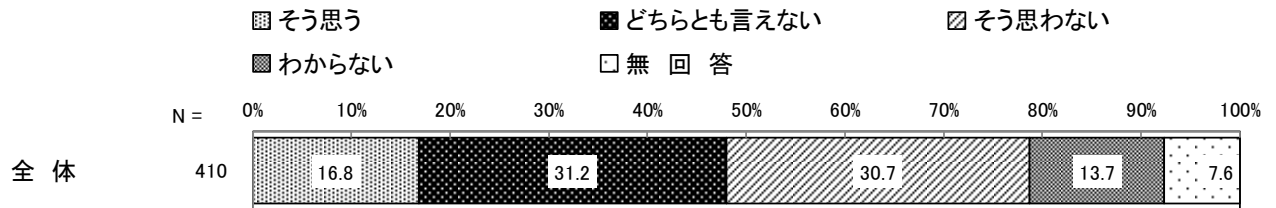
(2) 松戸市は、学習活動を行いたいと考えたとき、すぐに活動が行えるような場が充実していると感じますか。

全体では、「どちらとも言えない」が31.2%と最も多く、次いで「そう思わない」(30.7%)である。

活動年数別では、「そう思わない」で全体の30.7%に対して、10年以上15年未満では45.2%と14.5ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「そう思う」で全体の16.8%に対して、年に数回程度では29.2%と12.4ポイント多くなっている。

問17 活動したいと考えたとき、すぐに行えるような場が充実していると感じるか [%]



【属性別集計表】

	調査数	問17 活動したいと考えたとき、すぐに行えるような場が充実していると感じるか					
		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	わからない	無回答	
全 体	410	16.8	31.2	30.7	13.7	7.6	
活動年数別	5年未満	13	30.8	30.8	23.1	7.7	7.7
	5年以上10年未満	22	27.3	18.2	40.9	4.5	9.1
	10年以上15年未満	31	16.1	16.1	45.2	9.7	12.9
	15年以上20年未満	53	11.3	39.6	22.6	18.9	7.5
	20年以上	282	17.0	31.6	30.9	13.8	6.7
活動頻度別	週4~7回程度	27	18.5	33.3	25.9	14.8	7.4
	週2~3回程度	29	20.7	31.0	31.0	13.8	3.4
	週1回程度	168	14.3	33.3	32.1	13.1	7.1
	月2回程度	94	12.8	35.1	34.0	12.8	5.3
	月1回程度	54	20.4	27.8	22.2	14.8	14.8
	年に数回程度	24	29.2	8.3	37.5	20.8	4.2

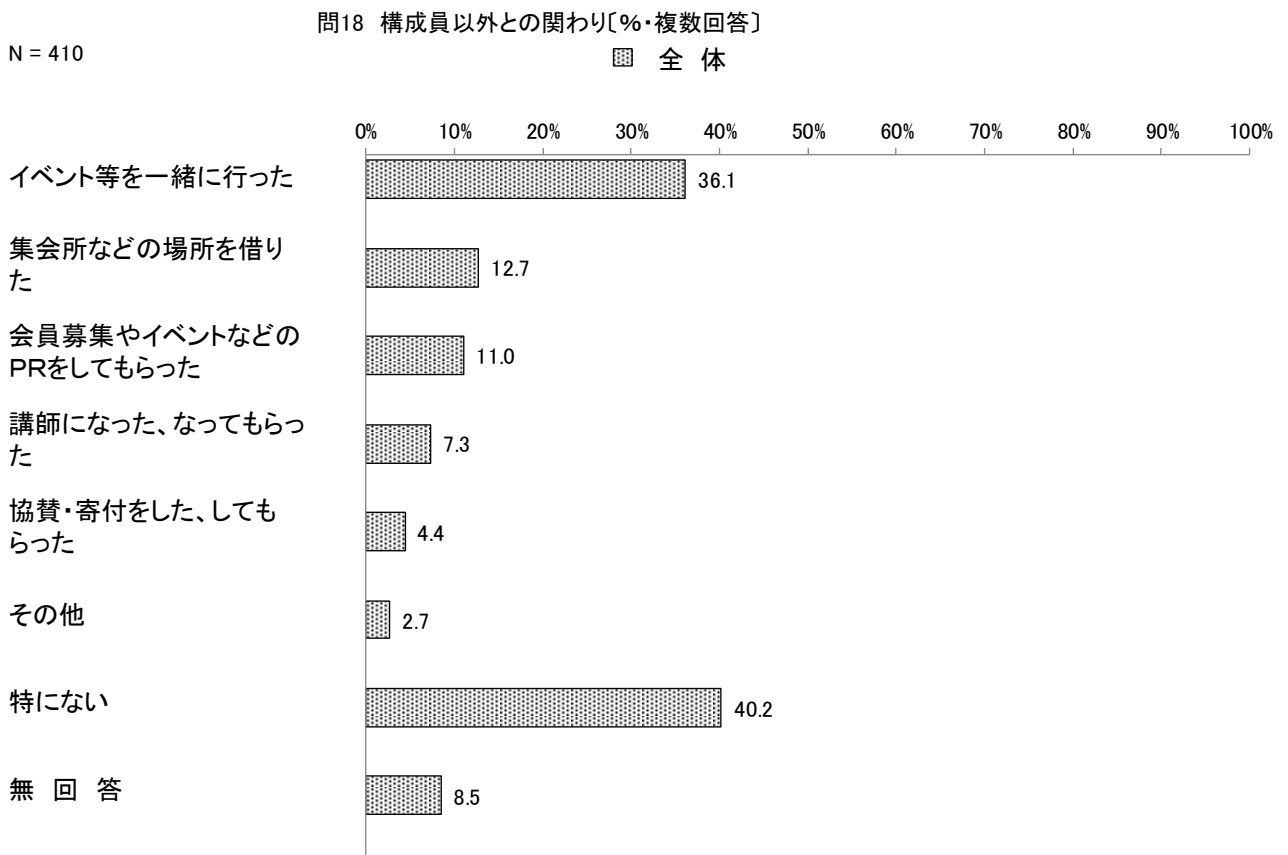
(3) 地域のお団体とこの一年間でどのような交流がありましたか。

全体では、「イベント等を一緒に行った」が 36.1%と最も多く、次いで「集会所などの場所を借りた」(12.7%)、「会員募集やイベントなどのPRをしてもらった」(11.0%)である。

活動年数別では、「会員募集やイベントなどのPRをしてもらった」で全体の 11.0%に対して、5年以上 10年未満では 22.7%と 11.7ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「イベント等を一緒に行った」で全体の 36.1%に対して、月 2～3回程度では 62.1%と 26.0ポイント多くなっている。

平成 26年調査との比較では、「協賛・寄付をした、してもらった」で平成 26年の 27.0%に対し、令和元年が 4.4%と 22.6ポイント少なくなっている。



【属性別集計表】

	調査数	問18 構成員以外との関わり								
		イベント等と一緒に 行った	会員募集やイ ベントなどのPRをし てもらった	集会所などの場 所を借りた	講師になった、 なってもらった	協賛・寄付をし た、してもらった	特にな い	その他	無回 答	
全 体	410	36.1	11.0	12.7	7.3	4.4	40.2	2.7	8.5	
活動年 数別	5年未満	13	38.5	15.4	15.4	7.7	7.7	38.5	0.0	7.7
	5年以上10年未満	22	45.5	22.7	9.1	9.1	13.6	31.8	4.5	9.1
	10年以上15年未満	31	29.0	9.7	12.9	9.7	0.0	35.5	3.2	12.9
	15年以上20年未満	53	32.1	5.7	11.3	7.5	3.8	47.2	3.8	5.7
	20年以上	282	36.5	11.0	12.8	7.1	3.9	40.4	2.5	8.5
活動頻 度別	週4～7回程度	27	37.0	11.1	22.2	14.8	7.4	44.4	0.0	0.0
	週2～3回程度	29	62.1	24.1	20.7	10.3	10.3	20.7	0.0	6.9
	週1回程度	168	38.7	10.7	12.5	6.5	3.0	40.5	1.8	7.7
	月2回程度	94	37.2	12.8	13.8	4.3	3.2	35.1	6.4	8.5
	月1回程度	54	22.2	9.3	5.6	13.0	1.9	46.3	3.7	13.0
	年に数回程度	24	20.8	0.0	8.3	4.2	16.7	54.2	0.0	8.3

【経年比較表】

	調査数	問18 構成員以外との関わり							
		イベント等を一 起に行った	会員募集やイ ベントなどのP Rをしてもら った	集会所などの 場所を借りた	講師になっ た、な てもら った	協賛・寄 付をし た、し て もら った	特にな い	その他	無回 答
令和元年	410	36.1	11.0	12.7	7.3	4.4	40.2	2.7	8.5
平成26年	456	44.3	16.0	25.0	9.6	27.0	15.6	6.6	4.8

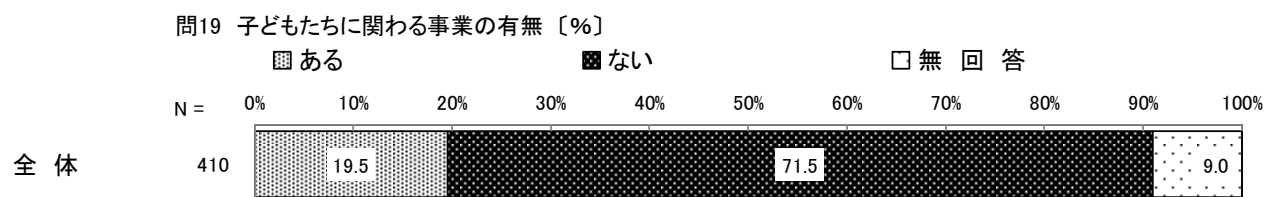
5 地域の子どもたちとの関わりについて

(1) 貴団体が中心となって、地域の子どもたちを対象に教えたり、参加体験型の活動を行う機会がありますか。

全体では、「ない」が71.5%と最も多く、次いで「ある」(19.5%)である。

活動年数別では、「ない」で全体の71.5%に対して、5年未満では84.6%と13.1ポイント多くなっている。

活動頻度別では、「ある」で全体の19.5%に対して、週4～7回程度では40.7%と全体より21.2ポイント多くなっている。



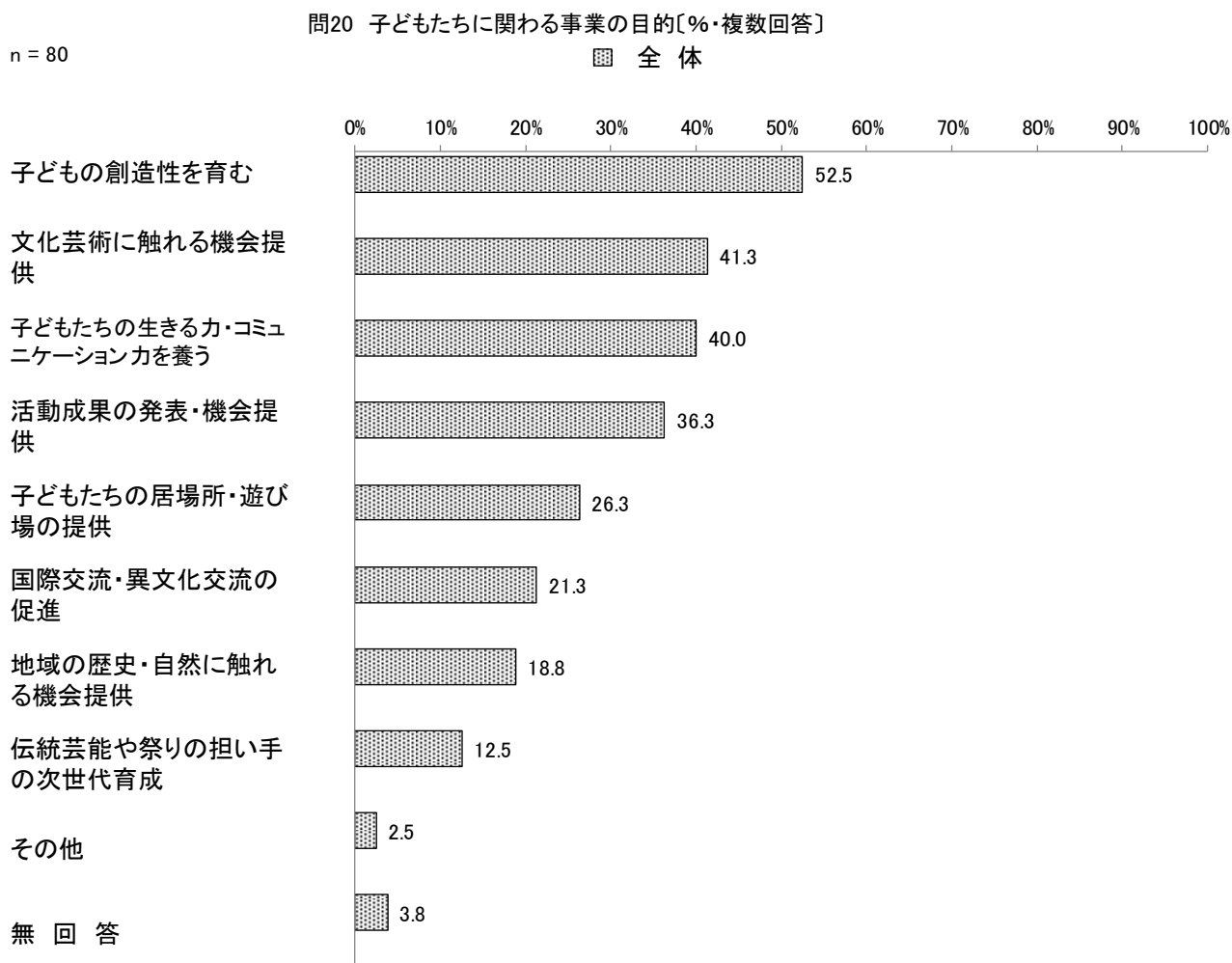
【属性別集計表】

	調査数	問19 子どもたちに関わる事業の有無			
		ある	ない	無回答	
全 体	410	19.5	71.5	9.0	
活動年数別	5年未満	13	7.7	84.6	7.7
	5年以上10年未満	22	27.3	63.6	9.1
	10年以上15年未満	31	9.7	77.4	12.9
	15年以上20年未満	53	18.9	75.5	5.7
	20年以上	282	21.3	69.9	8.9
活動頻度別	週4～7回程度	27	40.7	59.3	0.0
	週2～3回程度	29	24.1	69.0	6.9
	週1回程度	168	14.3	75.0	10.7
	月2回程度	94	23.4	71.3	5.3
	月1回程度	54	11.1	75.9	13.0
	年に数回程度	24	37.5	50.0	12.5

(2) 子どもたちに関わる事業においてどのような目的を持って活動していますか。

全体では、「子どもの創造性を育む」が 52.5%と最も多く、次いで「文化芸術に触れる機会提供」(41.3%)、「子どもたちの生きる力・コミュニケーション力を養う」(40.0%)である。

本設問の属性別集計については調査数が少なく、分析には適さないため、参考に示すにとどめる。



【属性別集計表】

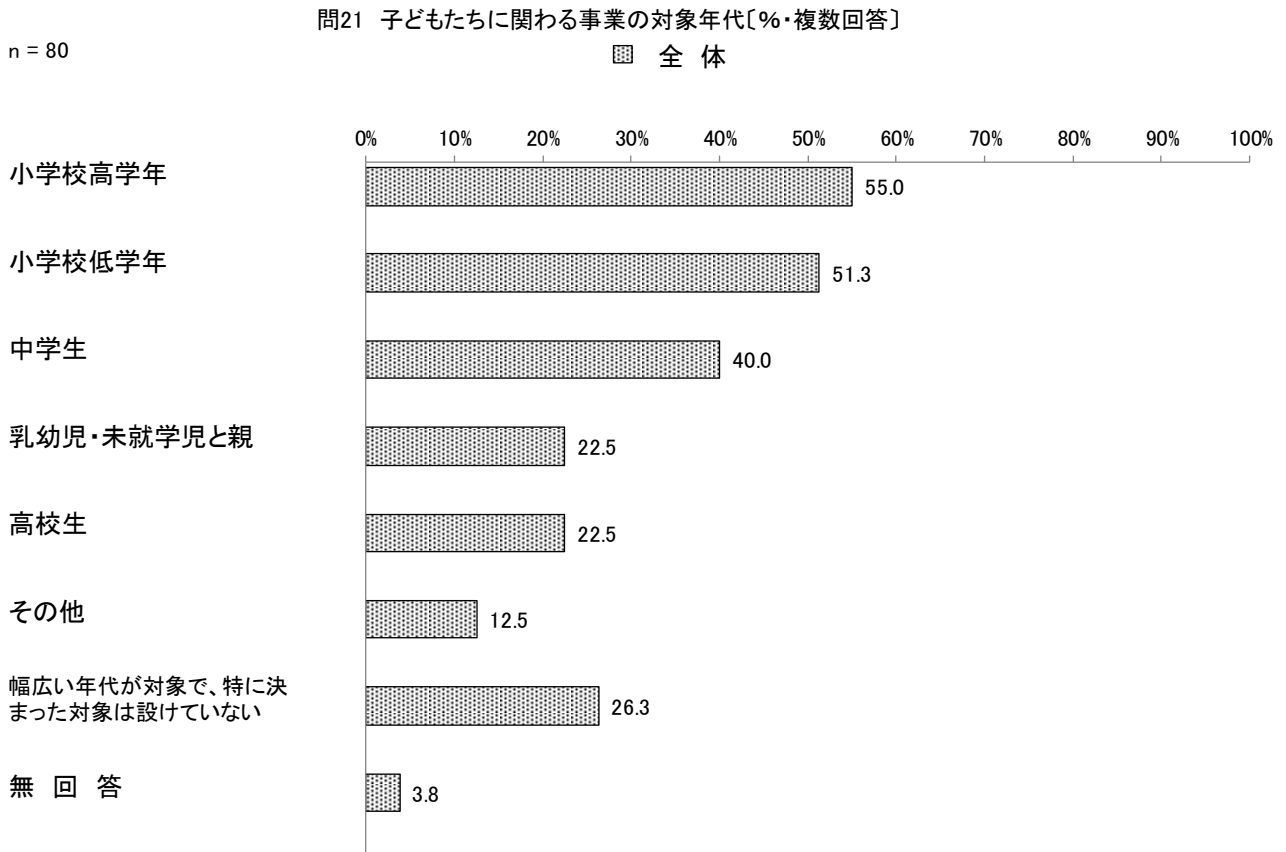
	調査数	問20 子どもたちに関わる事業の目的								
		子どもたちの生きる力・コミュニケーション力を養う	子どもたちの居場所・遊び場の提供	子どもの創造性を育む	地域の歴史・自然に触れる機会提供	文化芸術に触れる機会提供	伝統芸能や祭りの担い手の次世代育成	国際交流・異文化交流の促進	活動成果の発表・機会提供	
全体	80	40.0	26.3	52.5	18.8	41.3	12.5	21.3	36.3	
活動年数別	5年未満	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	5年以上10年未満	6	50.0	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	
	10年以上15年未満	3	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	
	15年以上20年未満	10	30.0	40.0	70.0	20.0	30.0	10.0	20.0	
	20年以上	60	41.7	26.7	51.7	21.7	41.7	15.0	26.7	
活動頻度別	週4～7回程度	11	36.4	45.5	63.6	36.4	54.5	36.4	36.4	
	週2～3回程度	7	42.9	28.6	57.1	0.0	57.1	0.0	14.3	
	週1回程度	24	37.5	25.0	50.0	12.5	37.5	12.5	45.8	
	月2回程度	22	50.0	27.3	45.5	22.7	40.9	9.1	31.8	
	月1回程度	6	66.7	33.3	100.0	16.7	33.3	0.0	16.7	
	年に数回程度	9	11.1	0.0	33.3	22.2	33.3	11.1	0.0	

	調査数	問20 子どもたちに関わる事業の目的	
		その他	無回答
全体	80	2.5	3.8
活動年数別	5年未満	1	0.0
	5年以上10年未満	6	0.0
	10年以上15年未満	3	0.0
	15年以上20年未満	10	20.0
	20年以上	60	0.0
活動頻度別	週4～7回程度	11	0.0
	週2～3回程度	7	0.0
	週1回程度	24	0.0
	月2回程度	22	4.5
	月1回程度	6	16.7
	年に数回程度	9	0.0

(3) どのような子どもの年代層を対象に活動していますか。

全体では、「小学校高学年」が55.0%と最も多く、次いで「小学校低学年」(51.3%)、「中学生」(40.0%)である。

本設問の属性別集計については調査数が少なく、分析には適さないため、参考に示すにとどめる。



【属性別集計表】

	調査数	問21 子どもたちに関わる事業の対象年代								
		幅広い年代が対象で、特に決まった対象は設けていない	乳幼児・未就学児と親	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	その他	無回答	
全体	80	26.3	22.5	51.3	55.0	40.0		22.5	12.5	3.8
活動年数別	5年未満	1	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	6	16.7	16.7	33.3	50.0	50.0	33.3	0.0	0.0
	10年以上15年未満	3	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	15年以上20年未満	10	20.0	20.0	50.0	60.0	40.0	10.0	0.0	10.0
	20年以上	60	28.3	21.7	51.7	55.0	40.0	25.0	16.7	3.3
活動頻度別	週4～7回程度	11	18.2	27.3	45.5	54.5	27.3	18.2	9.1	9.1
	週2～3回程度	7	28.6	28.6	57.1	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
	週1回程度	24	29.2	33.3	58.3	50.0	33.3	25.0	8.3	0.0
	月2回程度	22	13.6	18.2	54.5	68.2	63.6	36.4	31.8	4.5
	月1回程度	6	50.0	16.7	50.0	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0
	年に数回程度	9	33.3	0.0	33.3	44.4	33.3	11.1	0.0	11.1

6 松戸市内の社会教育施設等について

(1) 各施設について、利用したことがあるかどうかを教えてください。また、ハード面（施設、設備等）、ソフト面（イベント等の催し物、情報提供等）それぞれの満足度、施設に期待すること、施設についてほしい情報を教えてください。

ア. 矢切公民館

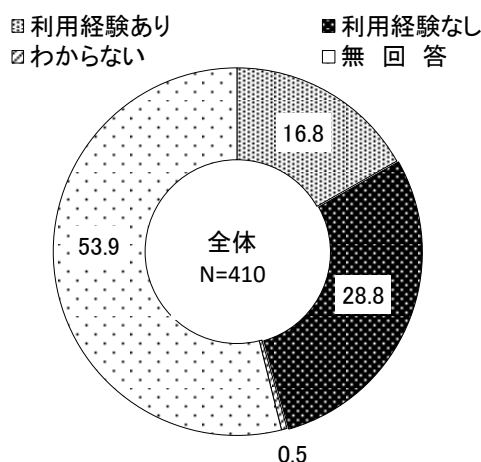
利用状況は、「利用経験あり」が16.8%と、「利用経験なし」が28.8%である。

満足度は、ハード面において「満足である」が23.2%、「不満である」が13.0%である。ソフト面において「満足である」が20.3%、「不満である」が5.8%である。

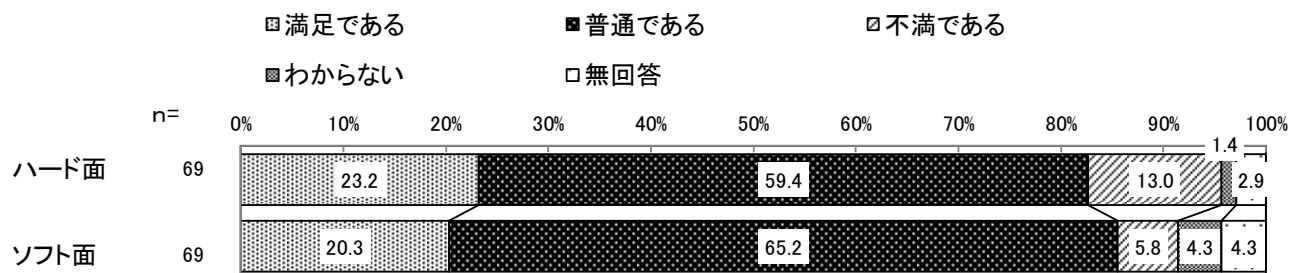
施設に期待することとしては、「施設の老朽化への対応」が11.7%と最も多く、次いで「駐車場の整備」(7.3%)である。

施設についてほしい情報として、「施設のハード面の情報（設備、バリアフリー等）」が7.8%と最も多く、次いで「催し物の情報」(5.9%)である。

問22 ①各施設の利用有無[%]

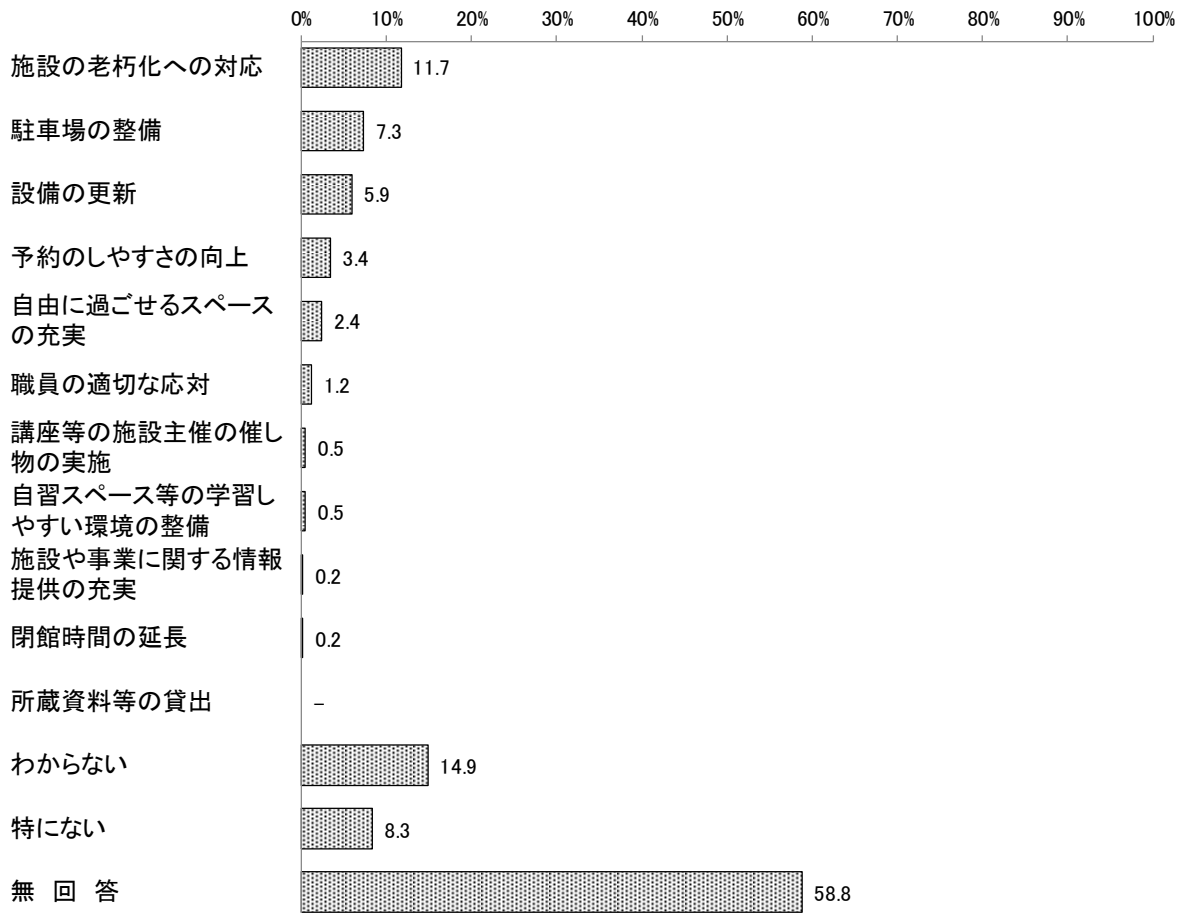


問22 ②各施設の満足度 [%]



問23 施設について期待すること[%・複数回答]

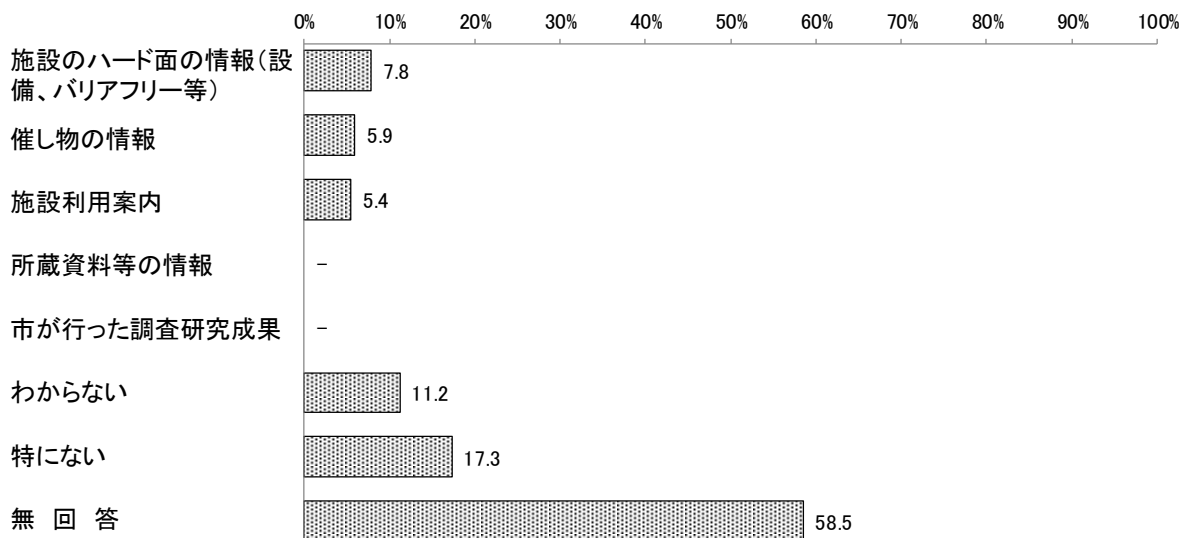
N = 410



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]

N = 410



※「所蔵資料等の情報」「市が行った調査研究成果」は本施設の選択肢からは除外している。

イ. 文化ホール

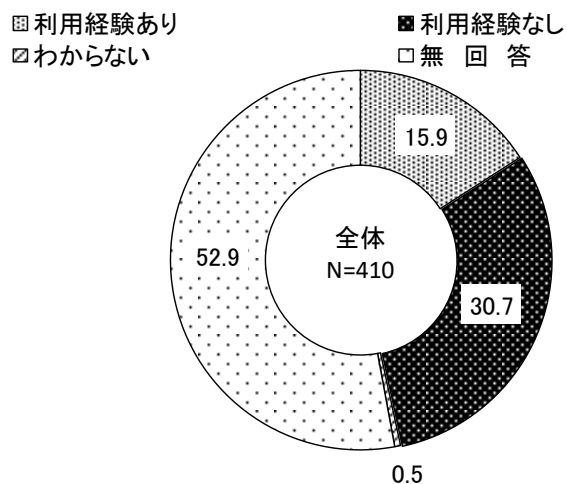
利用状況は、「利用経験あり」が15.9%、「利用経験なし」が30.7%である。

満足度は、ハード面において「満足である」が26.2%、「不満である」が12.3%である。ソフト面において「満足である」が15.4%、「不満である」が10.8%である。

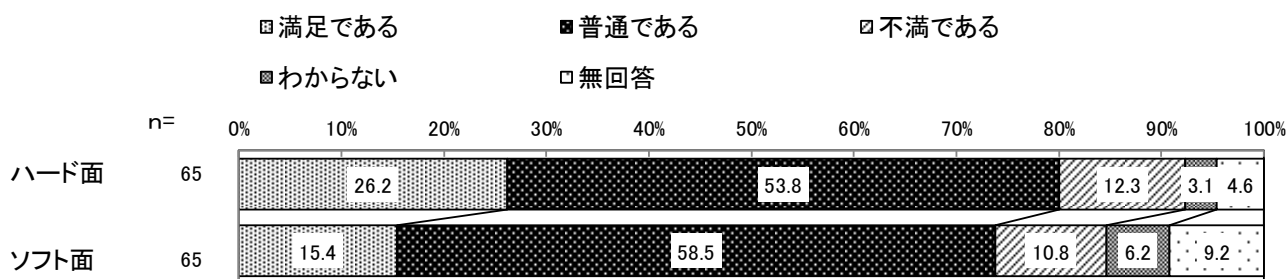
施設に期待することとしては、「駐車場の整備」が7.6%と最も多く、次いで「予約のしやすさの向上」(4.9%)である。

施設についてほしい情報として、「施設利用案内」が8.5%と最も多く、次いで「催し物の情報」(6.3%)である。

問22 ①各施設の利用有無[%]

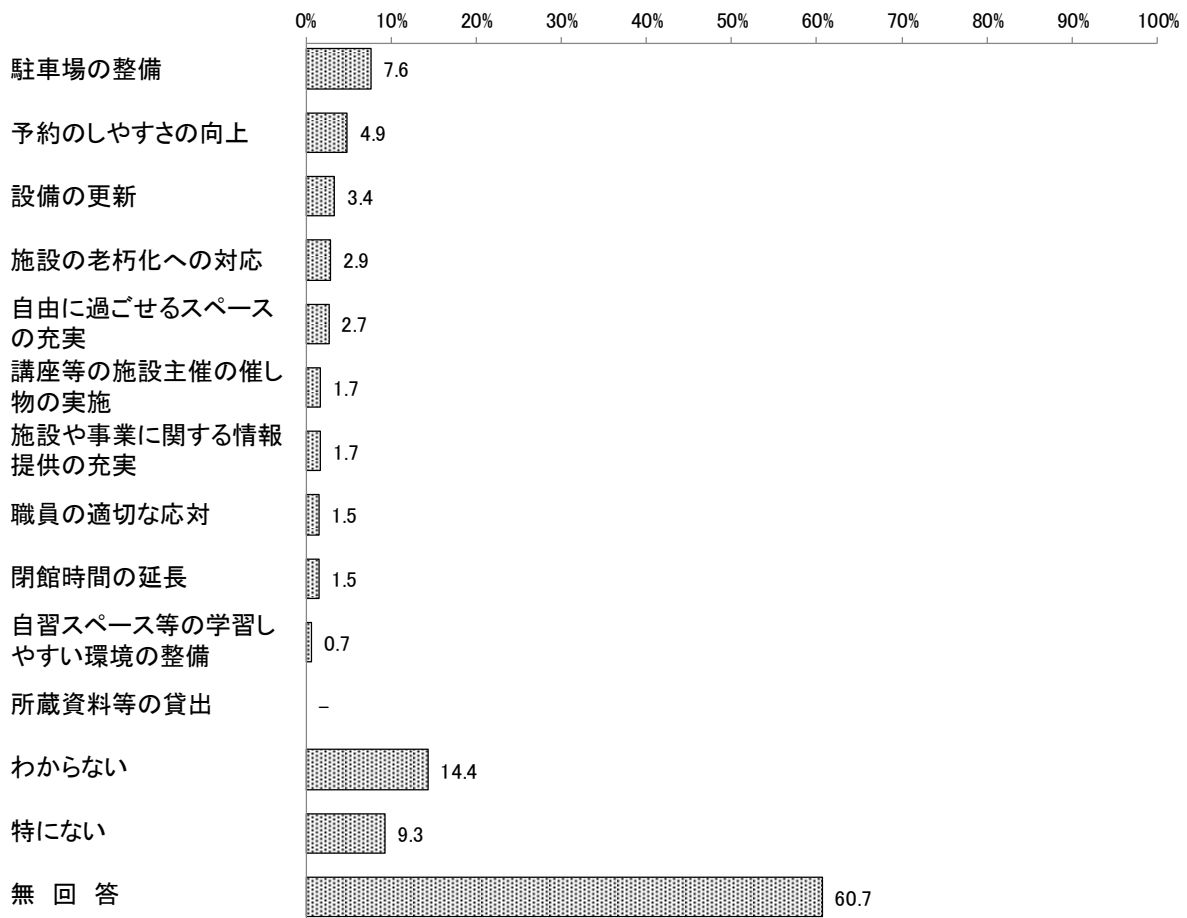


問22 ②各施設の満足度 [%]



問23 施設について期待すること[%・複数回答]

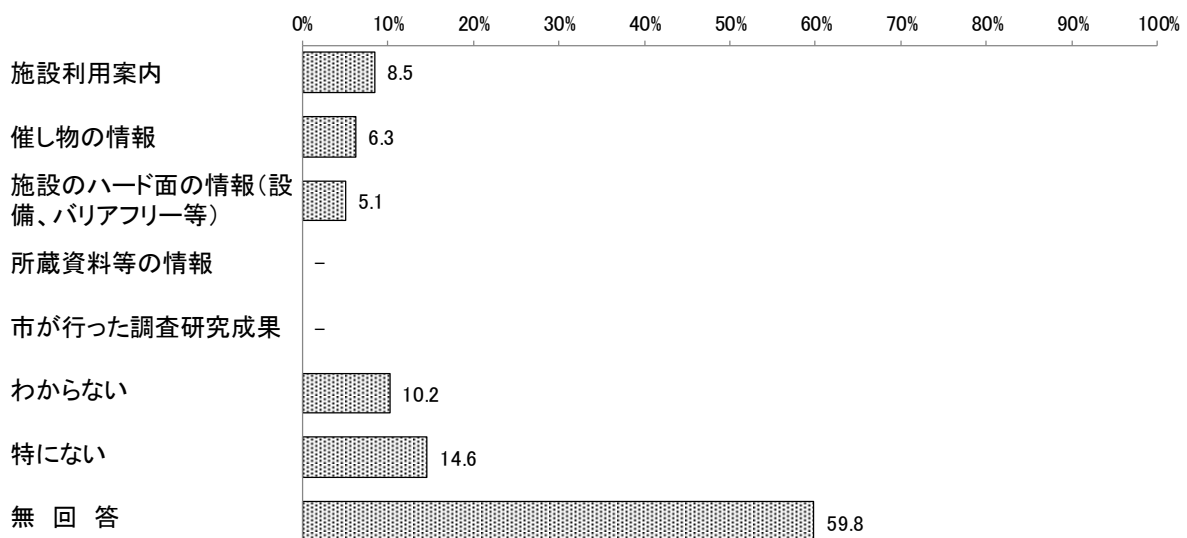
N = 410



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]

N = 410



※「所蔵資料等の情報」「市が行った調査研究成果」は本施設の選択肢からは除外している。

ウ. 青少年会館

利用状況は、「利用経験あり」が15.4%、「利用経験なし」が28.0%である。

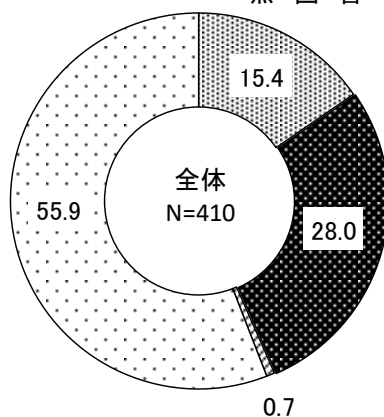
満足度は、ハード面において「満足である」が11.1%、「不満である」が25.4%である。ソフト面において「満足である」が11.1%、「不満である」も11.1%である。

施設に期待することとしては、「施設の老朽化への対応」が8.0%と最も多く、次いで「駐車場の整備」(6.8%)である。

施設についてほしい情報として、「施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)」が6.3%と最も多く、次いで「催し物の情報」(6.1%)である。

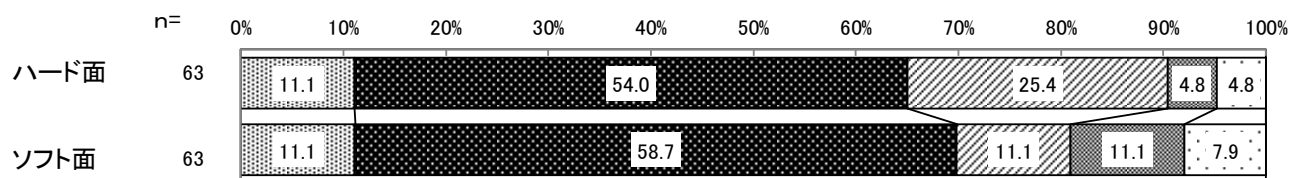
問22 ①各施設の利用有無〔%〕

■ 利用経験あり
■ 利用経験なし
□ わからない
□ 無回答



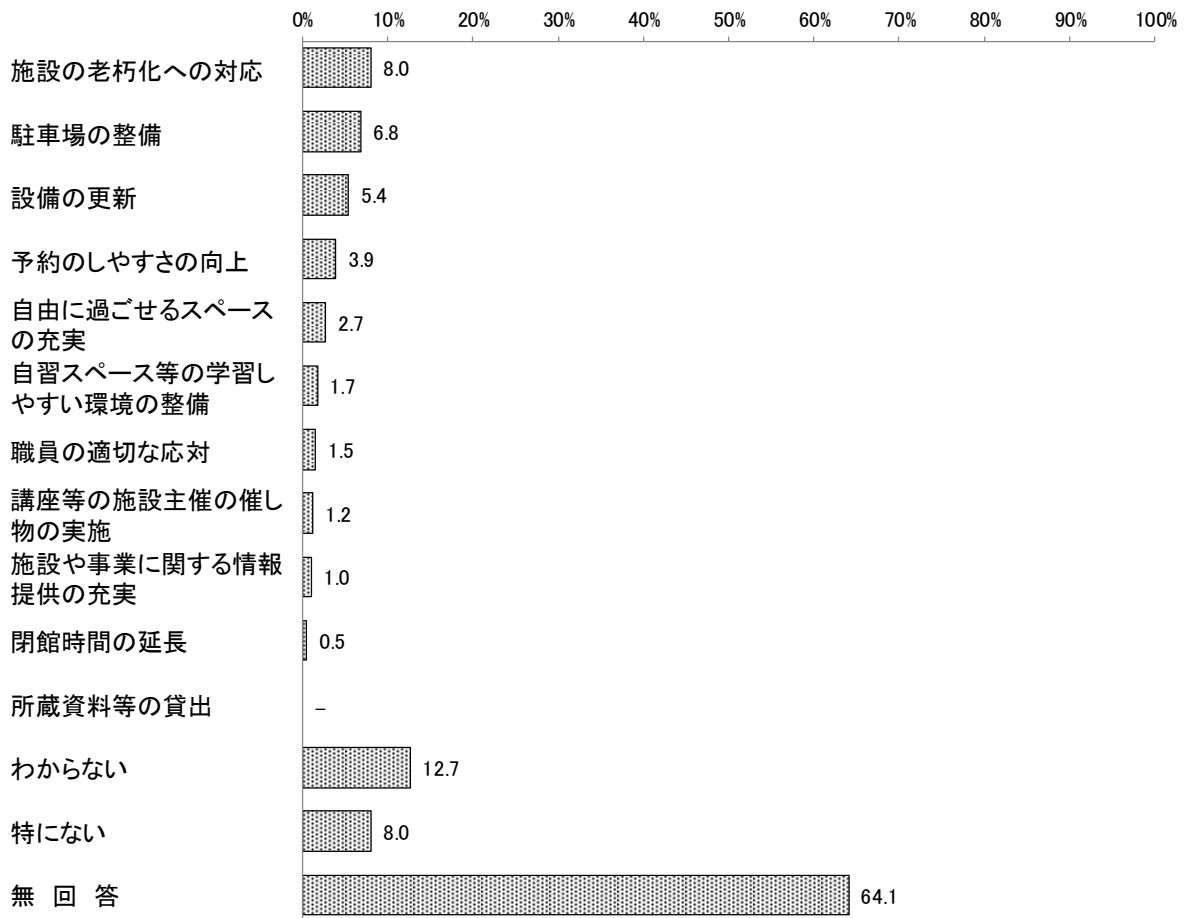
問22 ②各施設の満足度〔%〕

■ 満足である
■ 普通である
■ 不満である
■ わからない
□ 無回答



問23 施設について期待すること[%・複数回答]

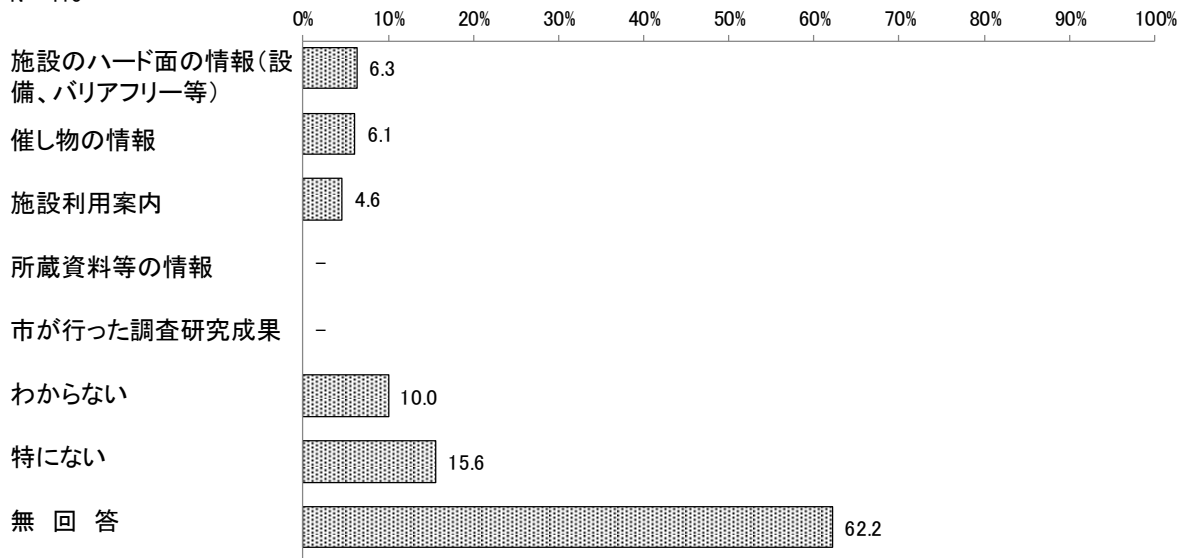
N = 410



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]

N = 410



※「所蔵資料等の情報」「市が行った調査研究成果」は本施設の選択肢からは除外している。

エ. 松戸市民会館

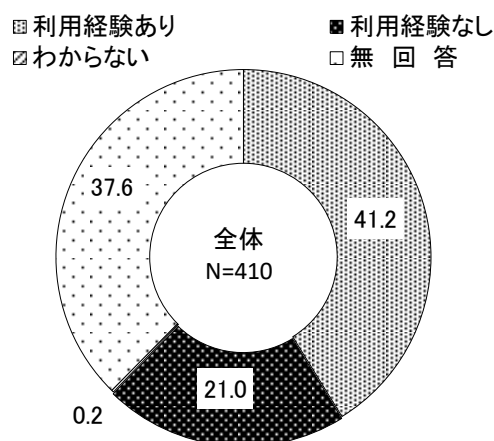
利用状況は、「利用経験あり」が41.2%、「利用経験なし」が21.0%である。

満足度は、ハード面において「満足である」が19.5%、「不満である」が26.6%である。ソフト面において「満足である」が18.9%、「不満である」が12.4%である。

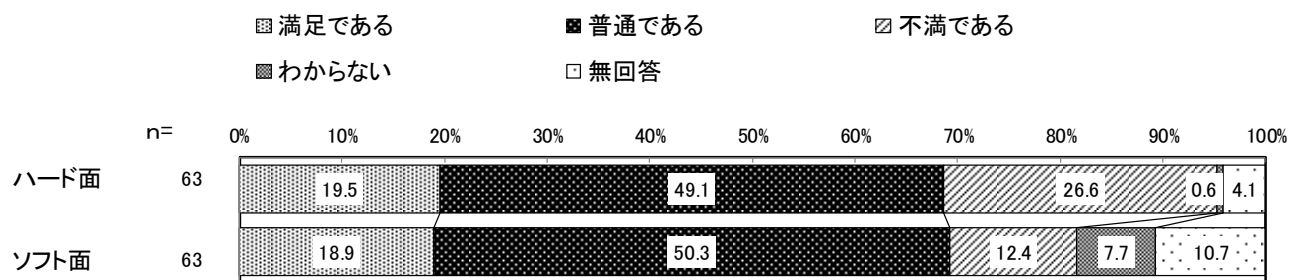
施設に期待することとしては、「駐車場の整備」が25.6%と最も多く、次いで「施設の老朽化への対応」(21.0%)である。

施設についてほしい情報として、「施設のハード面の情報（設備、バリアフリー等）」が16.1%と最も多く、次いで「施設利用案内」(9.5%)である。

問22 ①各施設の利用有無[%]

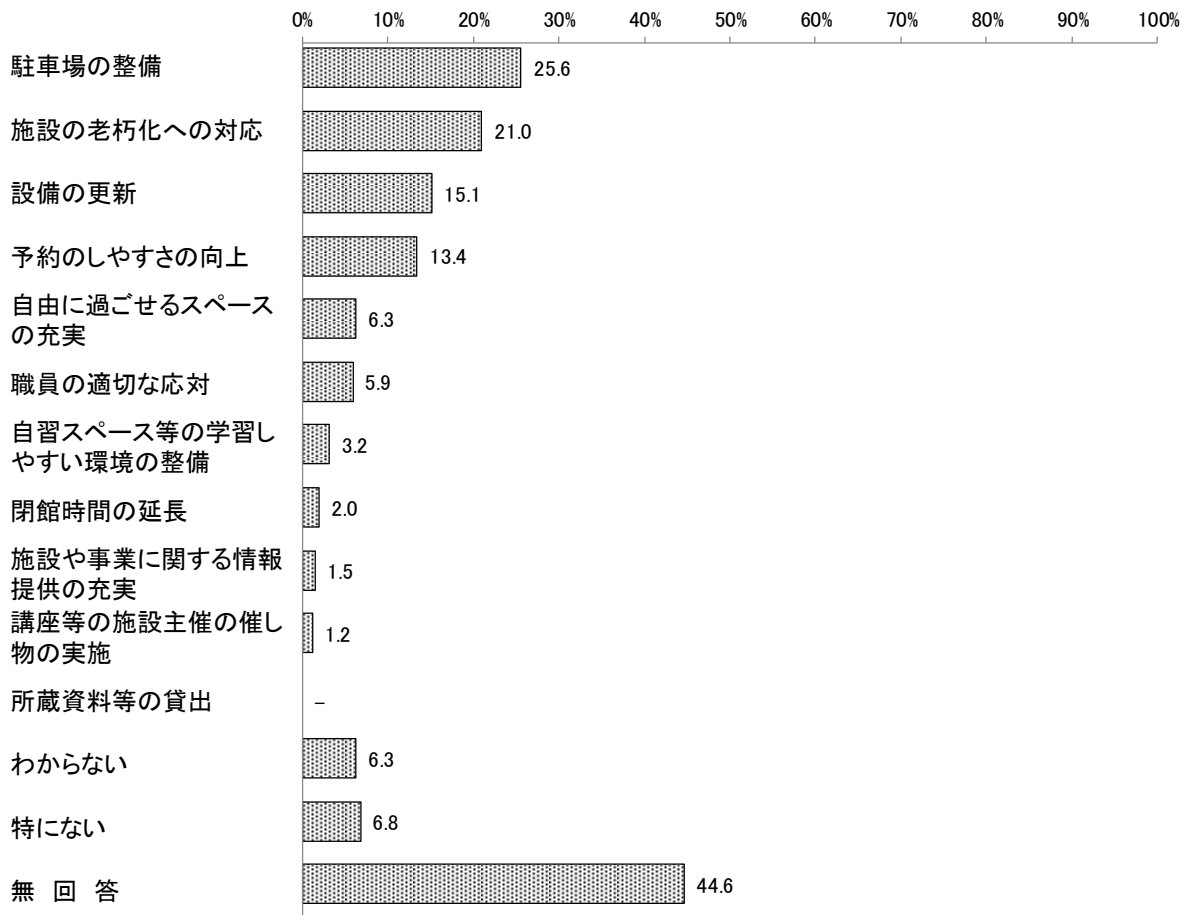


問22 ②各施設の満足度 [%]



問23 施設について期待すること[%・複数回答]

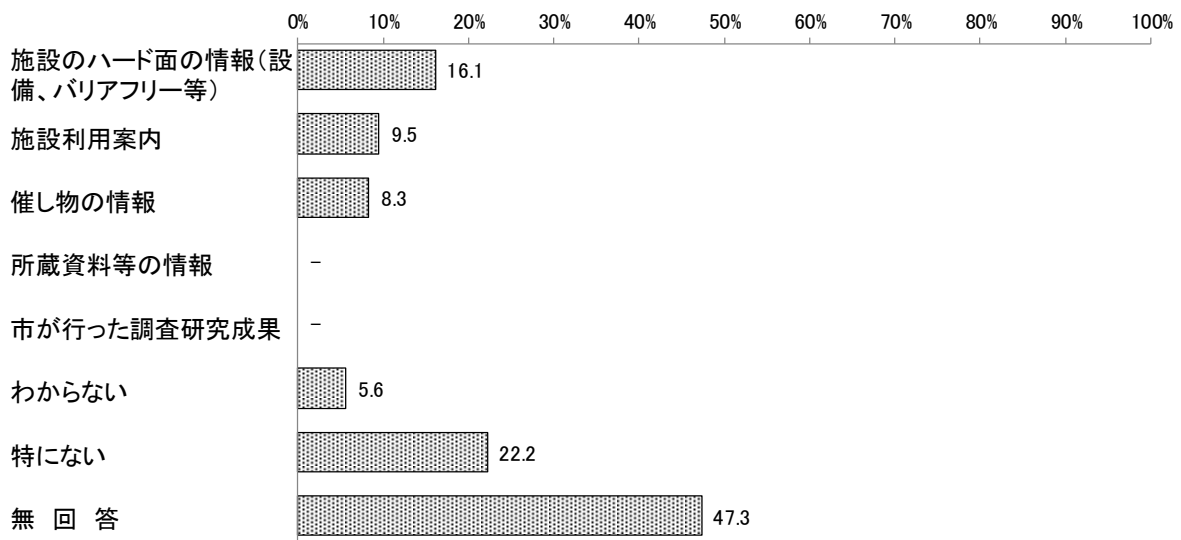
N = 410



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]

N = 410



※「所蔵資料等の情報」「市が行った調査研究成果」は本施設の選択肢からは除外している。

オ. 松戸市民劇場

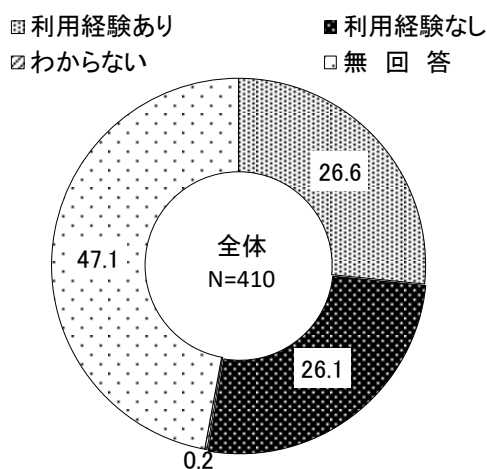
利用状況は、「利用経験あり」が26.6%、「利用経験なし」が26.1%である。

満足度は、ハード面において「満足である」が34.9%、「不満である」が18.3%である。ソフト面において「満足である」が28.4%、「不満である」が12.8%である。

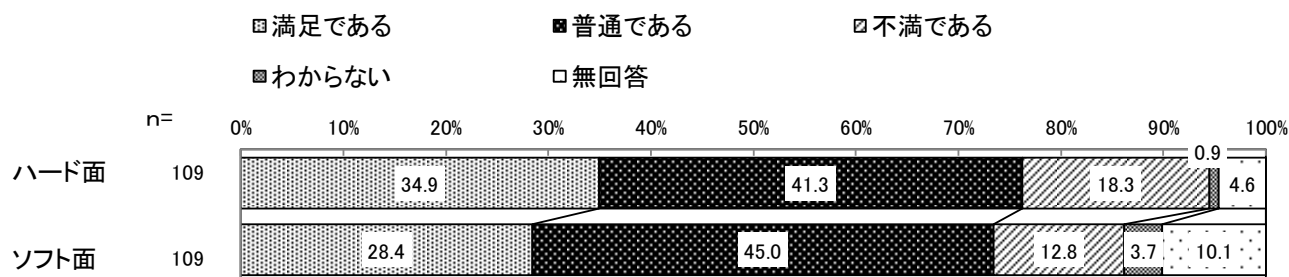
施設に期待することとしては、「駐車場の整備」が18.5%と最も多く、次いで「設備の更新」(9.5%)である。

施設についてほしい情報として、「施設のハード面の情報（設備、バリアフリー等）」が9.5%と最も多く、次いで「施設利用案内」(8.8%)である。

問22 ①各施設の利用有無 [%]

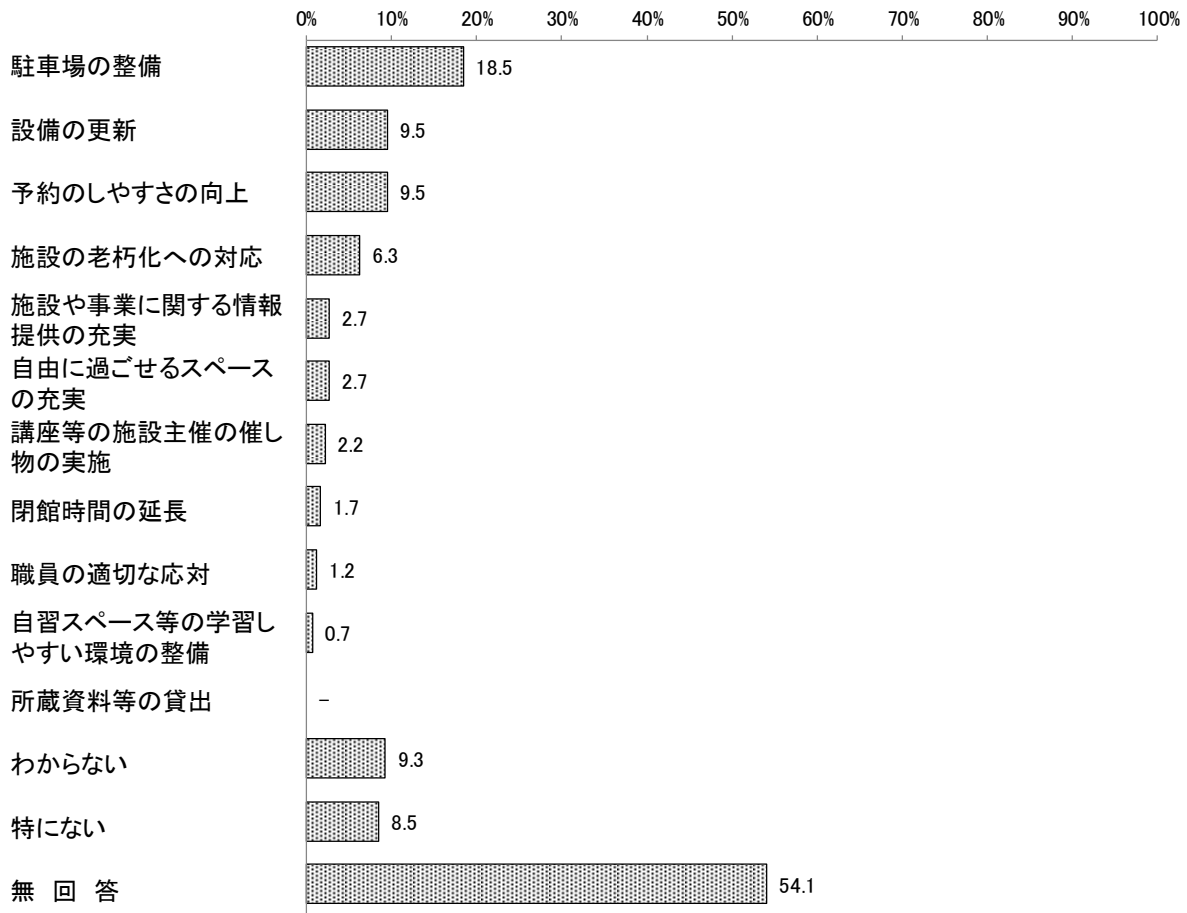


問22 ②各施設の満足度 [%]



問23 施設について期待すること[%・複数回答]

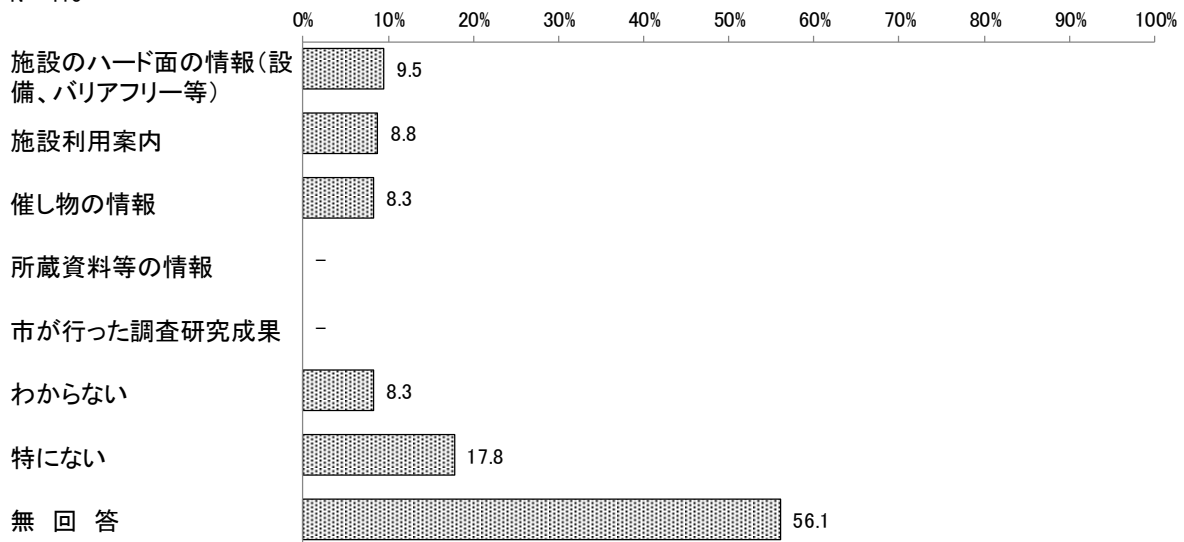
N = 410



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]

N = 410



※「所蔵資料等の情報」「市が行った調査研究成果」は本施設の選択肢からは除外している。

カ. 松戸市立図書館

利用状況は、「利用経験あり」が6.3%、「利用経験なし」が32.0%である。

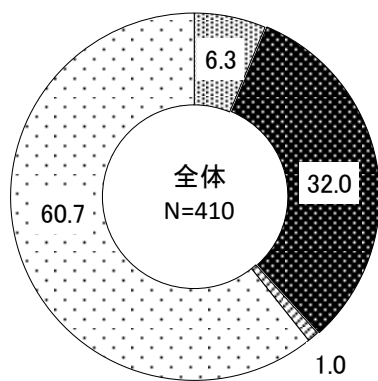
満足度は、ハード面において「満足である」が19.2%、「不満である」が19.2%である。ソフト面において「満足である」が15.4%、「不満である」が19.2%である。

施設に期待することとしては、「施設の老朽化への対応」と「駐車場の整備」がそれぞれ5.4%と最も多くなっている。

施設についてほしい情報として、「施設のハード面の情報（設備、バリアフリー等）」と「所蔵資料等の情報」がそれぞれ4.6%と最も多くなっている。

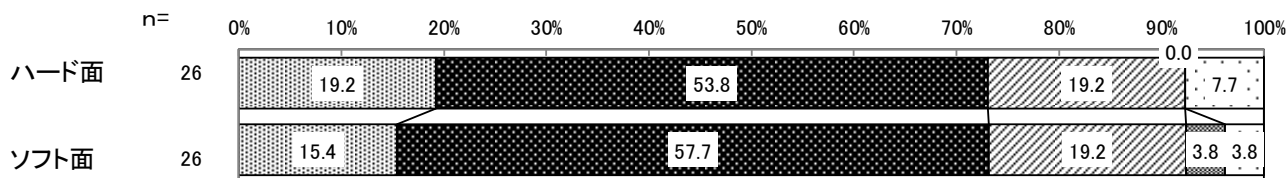
問22 ①各施設の利用有無〔%〕

■ 利用経験あり ■ 利用経験なし
 ■ わからない □ 無回答



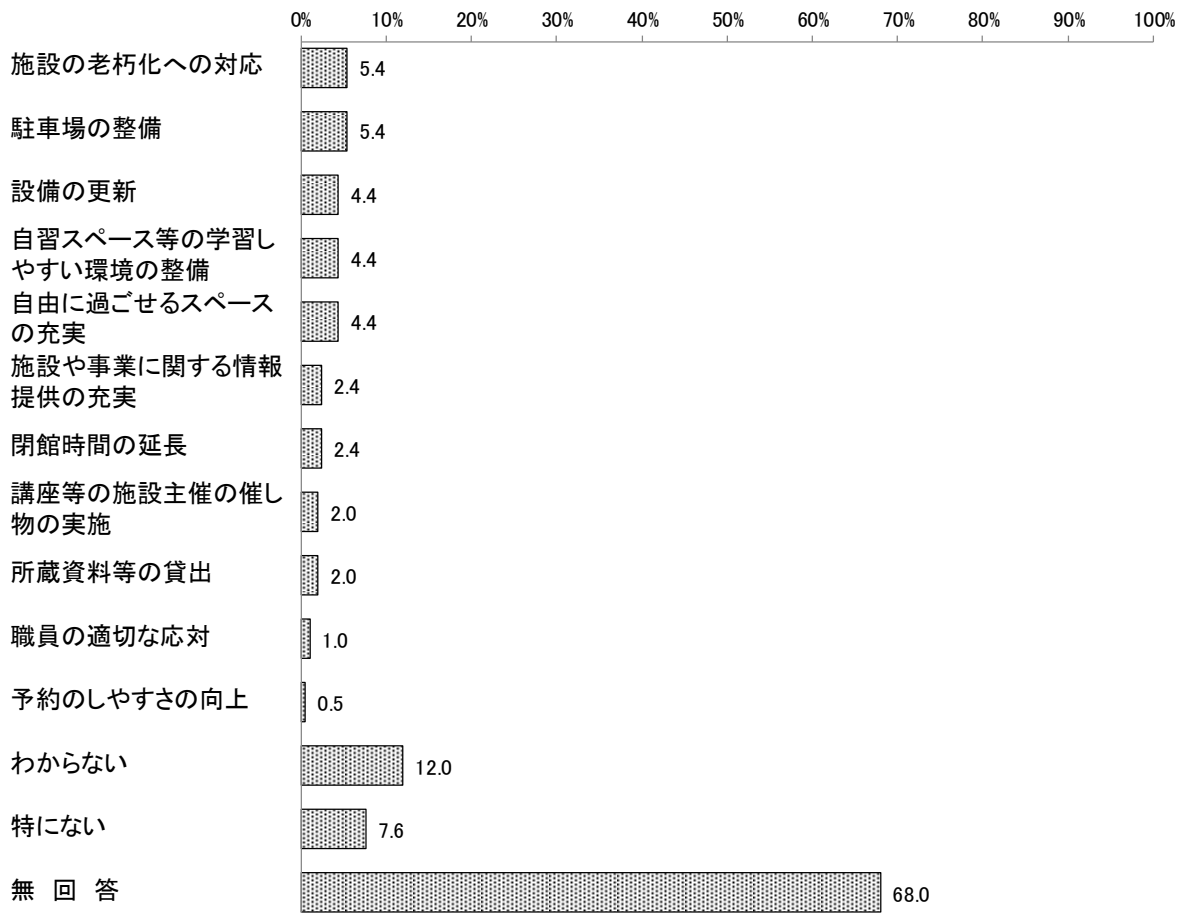
問22 ②各施設の満足度〔%〕

■ 満足である ■ 普通である ■ 不満である
 ■ わからない □ 無回答



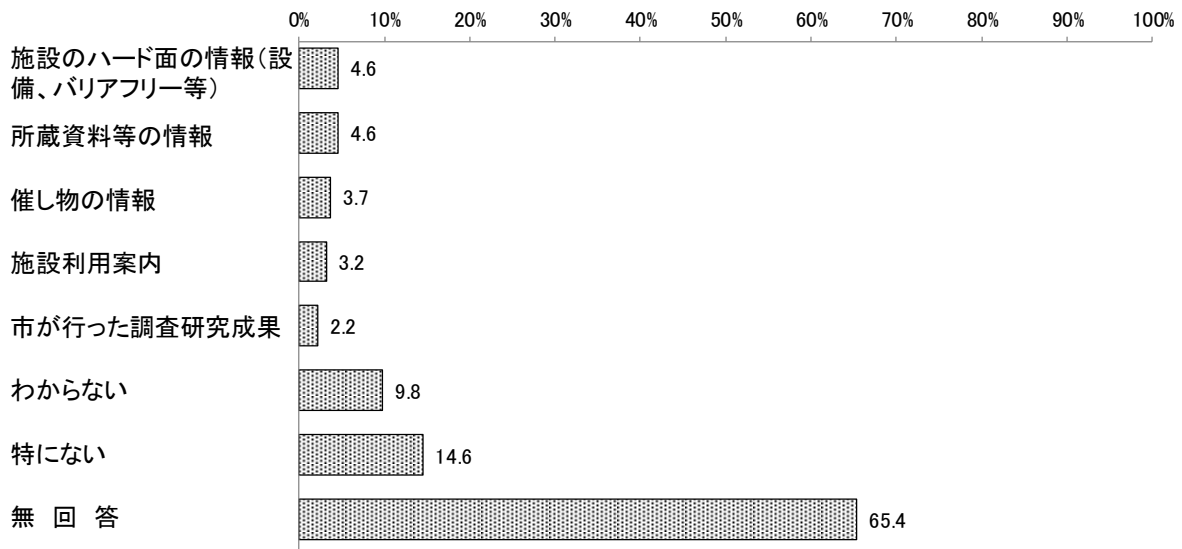
問23 施設について期待すること[%・複数回答]

N = 410



問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]

N = 410



キ. 戸定邸・戸定歴史館

利用状況は、「利用経験あり」が8.5%、「利用経験なし」が30.2%である。

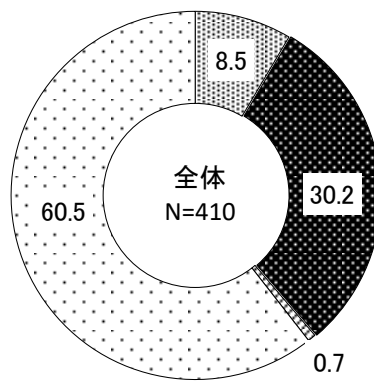
満足度は、ハード面において「満足である」が48.6%、「不満である」が8.6%である。ソフト面において「満足である」が37.1%、「不満である」が5.7%である。

施設に期待することとしては、「駐車場の整備」が3.4%と最も多く、次いで「施設や事業に関する情報提供の充実」(2.0%)である。

施設についてほしい情報として、「催し物の情報」が4.4%と最も多く、次いで「施設利用案内」(2.9%)である。

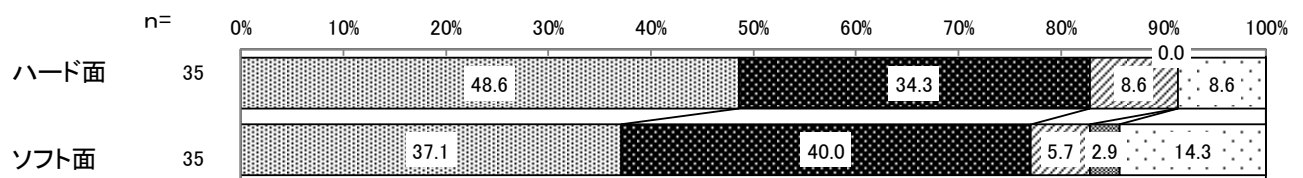
問22 ①各施設の利用有無[%]

■ 利用経験あり ■ 利用経験なし
 ■ わからない □ 無回答



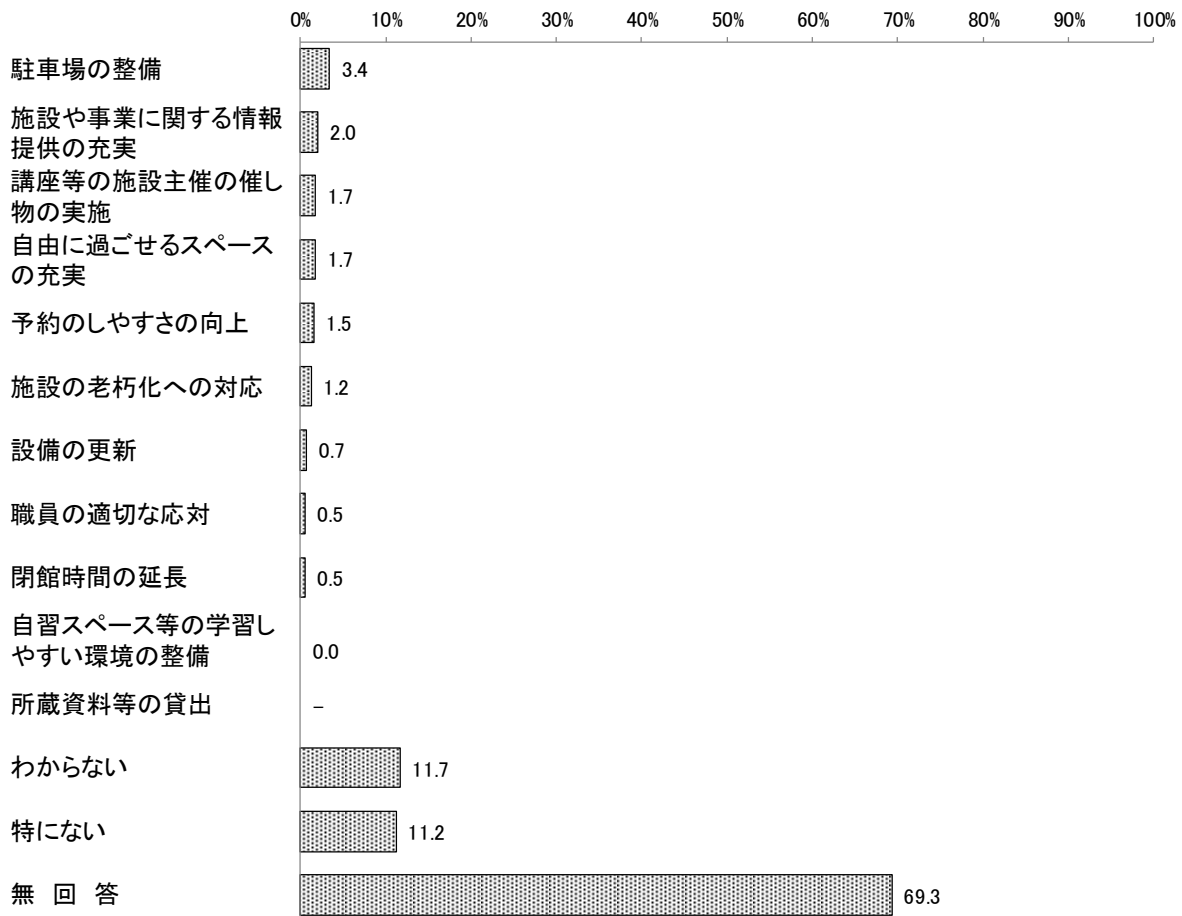
問22 ②各施設の満足度 [%]

■ 満足である ■ 普通である □ 不満である
 ■ わからない □ 無回答



問23 施設について期待すること[%・複数回答]

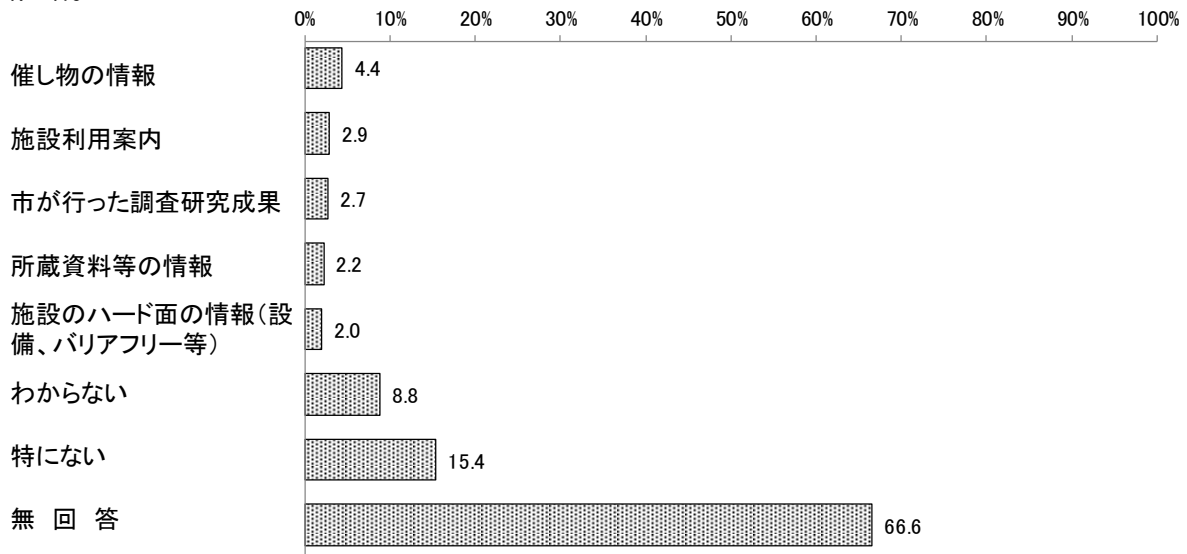
N = 410



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]

N = 410



ク. 松戸市立博物館

利用状況は、「利用経験あり」が3.9%、「利用経験なし」が31.5%である。

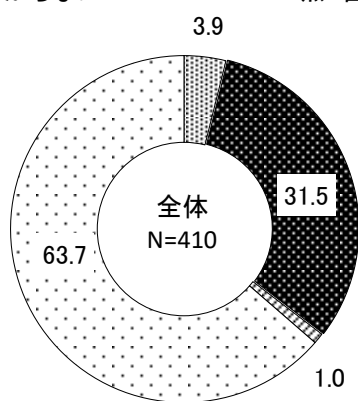
満足度は、ハード面において「満足である」が56.3%、「不満である」が6.3%である。ソフト面において「満足である」が50.0%、「不満である」が0.0%である。

施設に期待することとしては、「講座等の施設主催の催し物の実施」が2.0%と最も多く、次いで「自由に過ごせるスペースの充実」(1.5%)である。

施設についてほしい情報として、「催し物の情報」が3.7%と最も多く、次いで「市が行った調査研究成果」(2.4%)である。

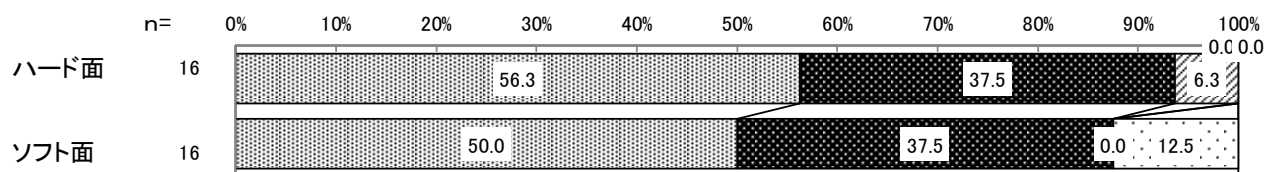
問22 ①各施設の利用有無[%]

■ 利用経験あり
■ 利用経験なし
■ わからない
□ 無回答



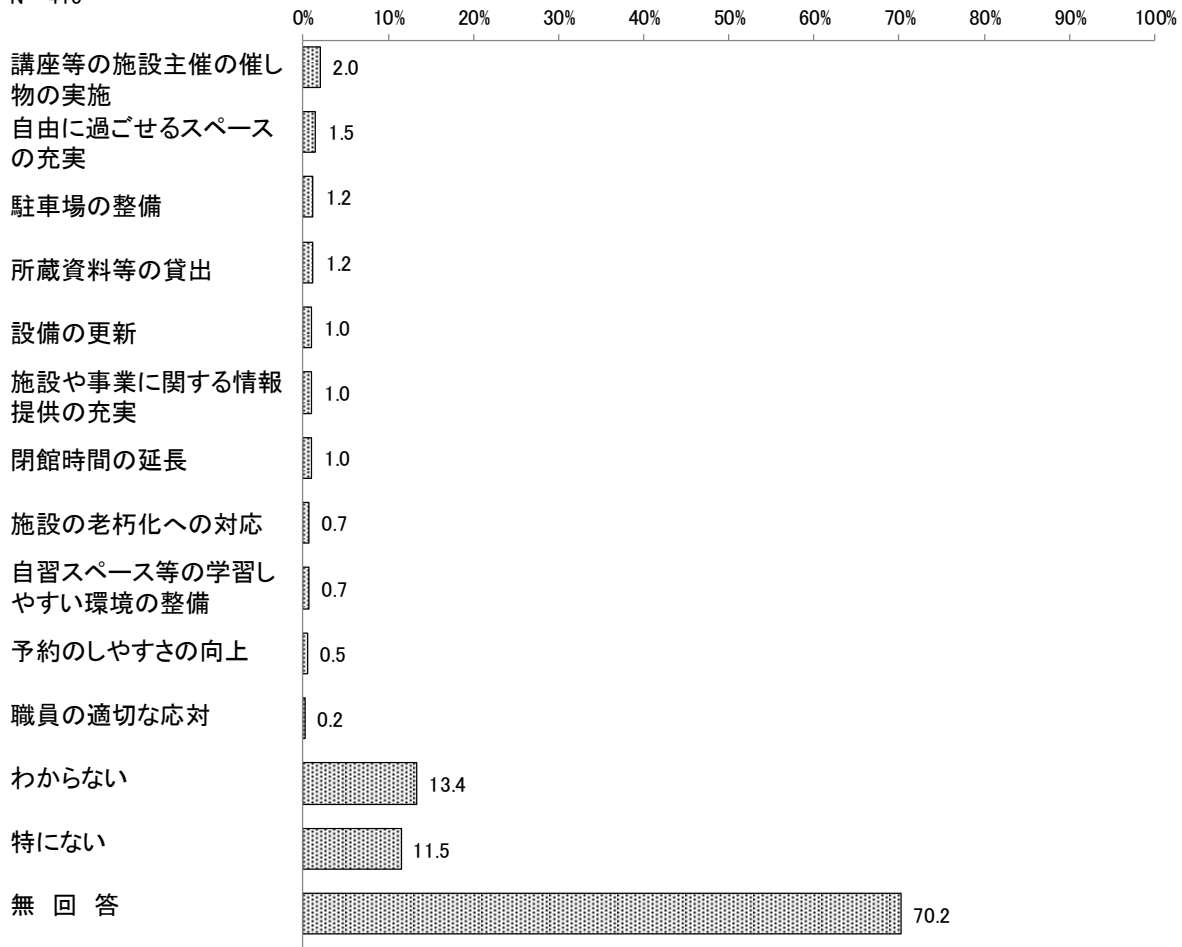
問22 ②各施設の満足度 [%]

■ 満足である
■ 普通である
■ 不満である
■ わからない
□ 無回答



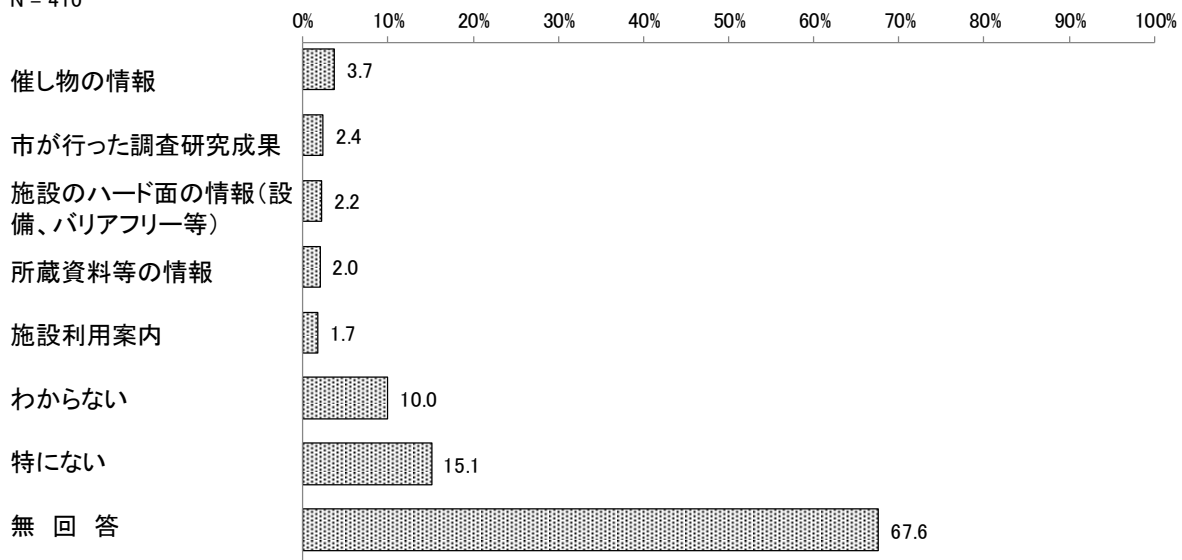
問23 施設について期待すること[%・複数回答]

N = 410



問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]

N = 410



ケ. 森のホール 21

利用状況は、「利用経験あり」が 27.8%、「利用経験なし」が 23.2%である。

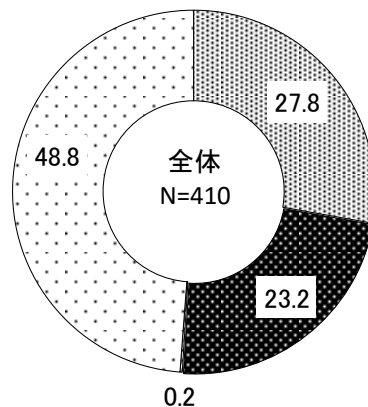
満足度は、ハード面において「満足である」が 53.5%、「不満である」が 9.6%である。ソフト面において「満足である」が 39.5%、「不満である」が 7.9%である。

施設に期待することとしては、「予約のしやすさの向上」が 8.8%と最も多く、次いで「自由に過ごせるスペースの充実」(4.9%)である。

施設についてほしい情報として、「施設利用案内」が 9.0%と最も多く、次いで「施設のハード面の情報（設備、バリアフリー等）」(8.8%)である。

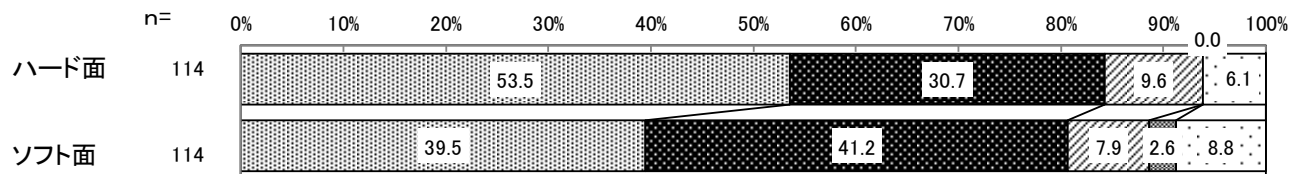
問22 ①各施設の利用有無〔%〕

■ 利用経験あり ■ 利用経験なし
 □ わからない □ 無回答



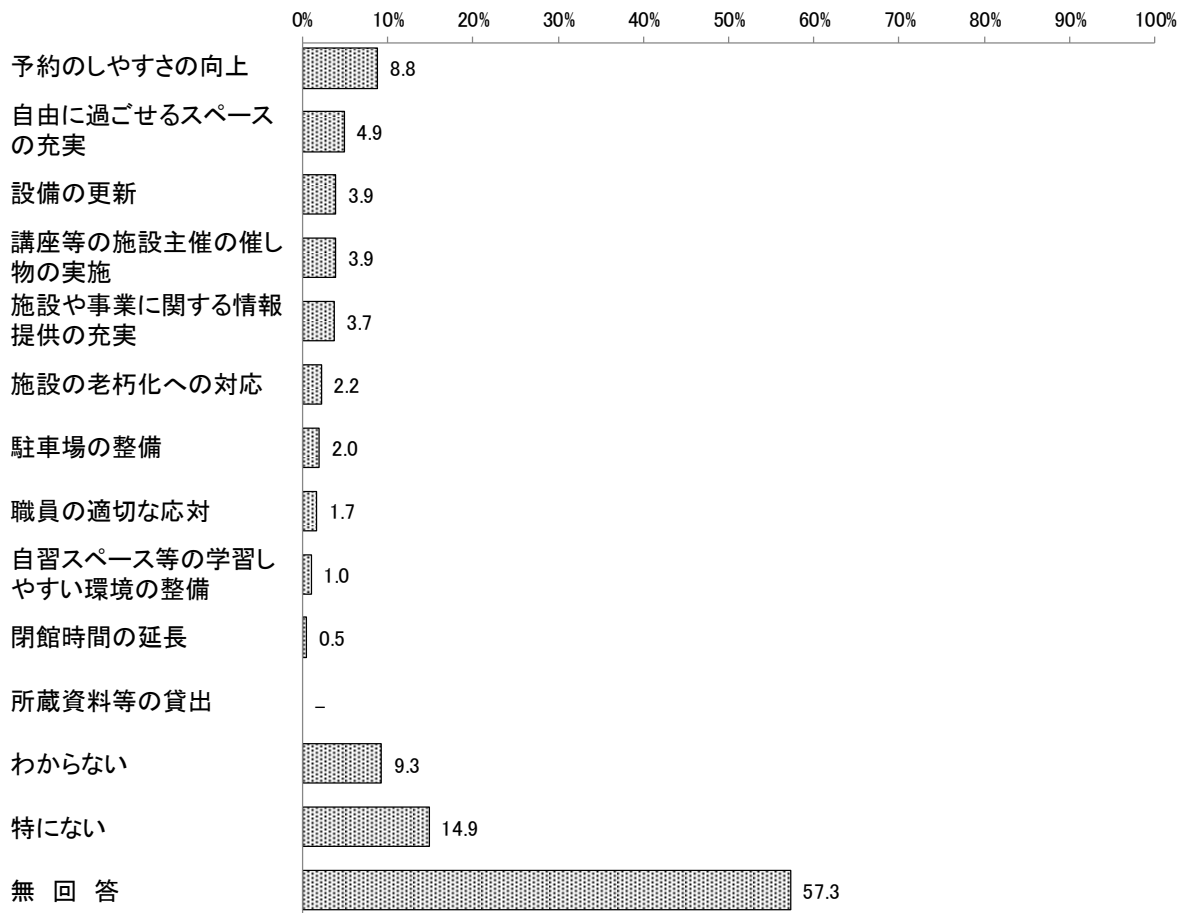
問22 ②各施設の満足度〔%〕

■ 満足である ■ 普通である □ 不満である
 ■ わからない □ 無回答



問23 施設について期待すること[%・複数回答]

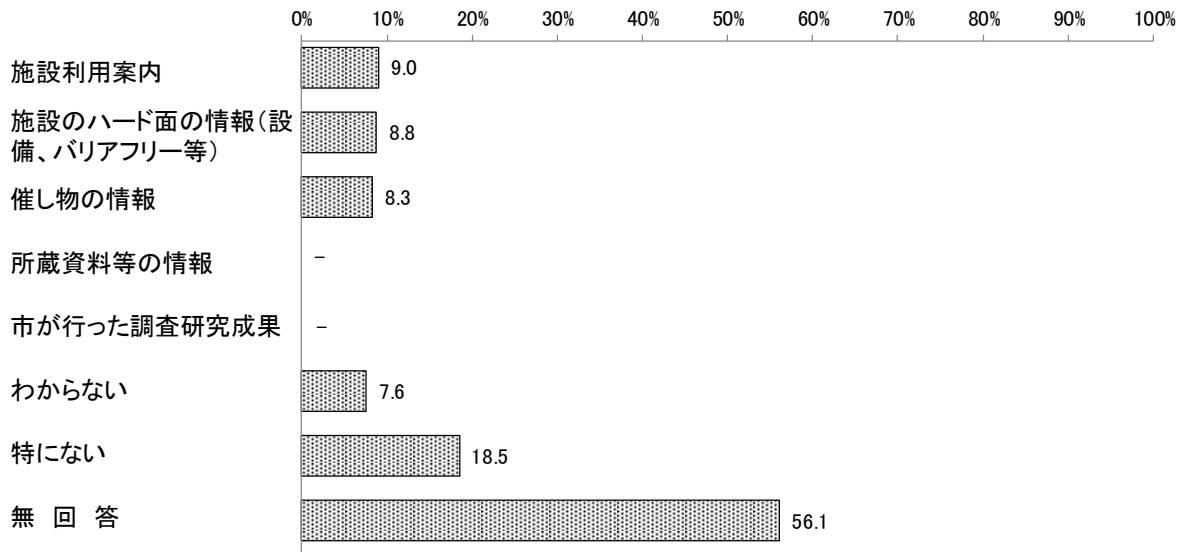
N = 410



※「所蔵資料等の貸出」は本施設の選択肢からは除外している。

問24 施設についてほしい情報[%・複数回答]

N = 410



※「所蔵資料等の情報」「市が行った調査研究成果」は本施設の選択肢からは除外している。

3-2. 団体アンケート調査結果の着目した点

団体アンケート調査を実施した結果から、今後の施策立案に向けて着目した点は次に掲げる通りである。

1 「生涯学習活動」の状況について

(1) 地域の学習活動を充実させるために必要だと思うこと

着目点	内容
団体ニーズ	「公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実」が全体で64.1%と最も多く、公民館や社会教育施設の充実が求められている。

【属性別集計表】

	調査数	問9 活動のしやすさ(環境)								
		公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実	家庭教育学級や生涯学習講座などの社会教育事業	PTAや子ども会などの社会教育関係団体の活動支援	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進	子育て講座の充実	子どもが地域活動に参画する機会の充実	
全体	410	64.1	22.2	15.1	34.6	21.5	15.6	5.9	24.4	
活動年数別	5年未満	13	46.2	0.0	7.7	23.1	15.4	15.4	0.0	30.8
	5年以上10年未満	22	72.7	36.4	13.6	22.7	18.2	13.6	13.6	31.8
	10年以上15年未満	31	67.7	16.1	12.9	35.5	16.1	16.1	3.2	22.6
	15年以上20年未満	53	60.4	13.2	15.1	30.2	7.5	13.2	7.5	15.1
	20年以上	282	65.6	24.5	16.0	35.8	24.1	14.9	5.7	25.9
活動頻度別	週4～7回程度	27	74.1	29.6	11.1	29.6	29.6	18.5	22.2	44.4
	週2～3回程度	29	51.7	27.6	13.8	20.7	27.6	24.1	10.3	24.1
	週1回程度	168	69.6	20.2	11.9	36.3	20.2	13.1	3.6	19.0
	月2回程度	94	62.8	23.4	21.3	33.0	22.3	16.0	4.3	26.6
	月1回程度	54	61.1	24.1	18.5	38.9	14.8	14.8	7.4	24.1
	年に数回程度	24	50.0	4.2	20.8	33.3	25.0	8.3	4.2	33.3

	調査数	問9 活動のしやすさ(環境)			
		特に必要ない	その他	無回答	
全体	410	7.3	3.7	7.3	
活動年数別	5年未満	13	15.4	15.4	7.7
	5年以上10年未満	22	4.5	0.0	9.1
	10年以上15年未満	31	6.5	3.2	3.2
	15年以上20年未満	53	15.1	5.7	5.7
	20年以上	282	5.7	2.8	7.8
活動頻度別	週4～7回程度	27	0.0	0.0	0.0
	週2～3回程度	29	6.9	6.9	13.8
	週1回程度	168	10.1	3.0	7.1
	月2回程度	94	5.3	3.2	8.5
	月1回程度	54	1.9	9.3	7.4
	年に数回程度	24	12.5	0.0	8.3

(2) 市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるためのサポートとして、貴団体がしたいこと

着目点	内容
団体ニーズ	「行政や他団体が主催する歴史・文化・伝統に関する講座等に参加する」が全体で24.6%と回答割合が多くなっている。

【属性別集計表】

	調査数	問10 市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるためのサポートとしてしたいこと							
		市内小中学校で歴史・文化・伝統に関する学習、体験活動の講師となる	歴史・文化・伝統に関するイベント、講座等を主催する	行政や他団体が主催する歴史・文化・伝統に関するイベントに出展する	行政や他団体が主催する歴史・文化・伝統に関する講座等に参加する	団体の学習のテーマとして歴史・文化・伝統に関する情報を収集する	歴史・文化・伝統に関する情報を収集する	特になし	その他
全体	410	13.9	13.7	16.8	24.6	10.2	12.7	32.0	4.1
活動年数別	5年未満	13	15.4	0.0	30.8	30.8	15.4	7.7	7.7
	5年以上10年未満	22	22.7	18.2	22.7	31.8	18.2	22.7	9.1
	10年以上15年未満	31	16.1	29.0	35.5	32.3	19.4	3.2	19.4
	15年以上20年未満	53	18.9	5.7	18.9	22.6	1.9	7.5	45.3
	20年以上	282	12.4	14.2	13.1	22.7	10.3	14.2	32.6
活動頻度別	週4～7回程度	27	18.5	18.5	25.9	25.9	33.3	25.9	25.9
	週2～3回程度	29	17.2	6.9	6.9	13.8	13.8	10.3	37.9
	週1回程度	168	10.1	10.1	16.1	24.4	6.5	8.3	36.3
	月2回程度	94	12.8	12.8	20.2	27.7	9.6	17.0	27.7
	月1回程度	54	16.7	22.2	18.5	25.9	11.1	11.1	29.6
	年に数回程度	24	33.3	33.3	8.3	16.7	8.3	12.5	25.0

	調査数	問10 市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるためのサポートとしてしたいこと
		無回答
全体	410	9.5
活動年数別	5年未満	13
	5年以上10年未満	22
	10年以上15年未満	31
	15年以上20年未満	53
	20年以上	282
活動頻度別	週4～7回程度	27
	週2～3回程度	29
	週1回程度	168
	月2回程度	94
	月1回程度	54
	年に数回程度	24

2 「生涯学習活動」をする上で収集、発信する情報ニーズ等について

(1) 活動する上で必要としている情報

着目点	内容
団体ニーズ	「貴団体の活動に関心がある市民の情報」が全体で46.6%と最も多く、次いで「活動場所となる施設の情報」が45.4%となっている。
課題	各種団体は、自団体の活動への新規参加者を求めており、これに対して市からの情報が不足していると感じていることが結果から想定される。
団体ニーズ	「まつどまなびいネット」が活用されていないことが調査結果から想定される。

【属性別集計表】

	調査数	問11 団体にとって必要な情報							
		活動場所となる施設の情報	他団体の情報	イベント情報	貴団体の活動に関心がある市民の情報	特にない	その他	無回答	
全体	410	45.4	13.9	19.8	46.6	15.6	0.5	6.6	
活動年数別	5年未満	13	53.8	0.0	23.1	76.9	0.0	0.0	7.7
	5年以上10年未満	22	54.5	9.1	22.7	63.6	9.1	0.0	4.5
	10年以上15年未満	31	51.6	22.6	29.0	45.2	3.2	0.0	3.2
	15年以上20年未満	53	28.3	11.3	18.9	43.4	28.3	0.0	3.8
	20年以上	282	47.2	13.8	18.4	45.4	15.2	0.4	7.8
活動頻度別	週4～7回程度	27	48.1	7.4	25.9	59.3	14.8	0.0	0.0
	週2～3回程度	29	44.8	10.3	20.7	44.8	20.7	3.4	6.9
	週1回程度	168	52.4	11.9	19.6	41.7	13.7	0.6	8.3
	月2回程度	94	46.8	21.3	25.5	47.9	10.6	0.0	7.4
	月1回程度	54	33.3	20.4	14.8	50.0	18.5	0.0	5.6
	年に数回程度	24	25.0	4.2	8.3	54.2	25.0	0.0	4.2

(2) 松戸市生涯学習情報提供システム「まつどまなびいネット」の利用状況

着目点	内容
課題	「まつどまなびいネット」の利用状況については、「利用したことがない」が全体で60%を超えている。
課題	「まつどまなびいネット」の利用状況については「あまり利用しない」が17.3%、「利用したことがない」が60.5%であり、合計すると77.8%となっている。全体的に利用率が低い現状となっている。

【属性別集計表】

	調査数	問14 「まつどまなびいネット」利用状況					
		いつも利用している	ときどき利用している	あまり利用しない	利用したことがない	無回答	
全体	410	5.6	11.2	17.3	60.5	5.4	
活動年数別	5年未満	13	7.7	7.7	15.4	69.2	0.0
	5年以上10年未満	22	9.1	9.1	18.2	54.5	9.1
	10年以上15年未満	31	3.2	9.7	25.8	54.8	6.5
	15年以上20年未満	53	7.5	11.3	20.8	60.4	0.0
	20年以上	282	4.6	11.3	16.0	61.7	6.4
活動頻度別	週4～7回程度	27	3.7	14.8	25.9	48.1	7.4
	週2～3回程度	29	0.0	20.7	20.7	55.2	3.4
	週1回程度	168	6.5	11.9	17.9	56.5	7.1
	月2回程度	94	3.2	11.7	16.0	68.1	1.1
	月1回程度	54	11.1	5.6	14.8	59.3	9.3
	年に数回程度	24	0.0	4.2	12.5	79.2	4.2

3 「生涯学習活動」の成果の活用について

(1) 学習活動の成果を貴団体の活動としてどのように生かしているか

着目点	内容
課題	「特に生かしていない・生かす機会がない」が全体で 15.6%となっており、一定数の団体が学習成果を活用できていないことが想定される。

【属性別集計表】

	調査数	問16 学習成果の活用の仕方							
		町会自治会等主催の地域の祭への参加(成果発表を含む)	市の施設での文化祭への参加(成果発表を含む)	大会への参加	SNSなどインターネット上での成果発表	貴団体主催イベントの実施(体験教室、発表会等)	高齢者を対象としたボランティア活動	子どもを対象としたボランティア活動	小、中、高校等での学校教育支援活動
全体	410	17.3	42.7	14.1	3.7	42.2	17.3	10.5	5.1
活動年数別	5年未満	13	30.8	38.5	7.7	7.7	46.2	15.4	7.7
	5年以上10年未満	22	13.6	68.2	18.2	4.5	59.1	36.4	9.1
	10年以上15年未満	31	16.1	29.0	16.1	6.5	48.4	19.4	9.7
	15年以上20年未満	53	7.5	34.0	7.5	1.9	34.0	11.3	9.4
	20年以上	282	18.8	44.7	14.9	3.5	41.1	16.7	11.0
活動頻度別	週4～7回程度	27	22.2	44.4	18.5	7.4	40.7	25.9	29.6
	週2～3回程度	29	31.0	41.4	24.1	6.9	37.9	27.6	20.7
	週1回程度	168	14.3	47.6	13.7	1.8	42.9	22.6	6.5
	月2回程度	94	20.2	38.3	13.8	5.3	47.9	10.6	10.6
	月1回程度	54	5.6	33.3	13.0	3.7	29.6	5.6	9.3
	年に数回程度	24	37.5	45.8	8.3	4.2	50.0	12.5	12.5

	調査数	問16 学習成果の活用の仕方			
		社会教育施設等でのボランティア活動	特に生かしていない・生かす機会がない	その他	無回答
全体	410	6.1	15.6	7.1	4.1
活動年数別	5年未満	13	0.0	0.0	15.4
	5年以上10年未満	22	18.2	4.5	4.5
	10年以上15年未満	31	6.5	22.6	3.2
	15年以上20年未満	53	0.0	24.5	9.4
	20年以上	282	6.7	14.5	6.7
活動頻度別	週4～7回程度	27	18.5	14.8	7.4
	週2～3回程度	29	10.3	17.2	6.9
	週1回程度	168	6.5	16.1	6.5
	月2回程度	94	2.1	8.5	10.6
	月1回程度	54	5.6	29.6	5.6
	年に数回程度	24	4.2	8.3	0.0

4 地域の子どもたちとの関わりについて

(1) 地域の子どもたちを対象に教えたり、参加体験型の活動を行う機会はあるか

着目点	内容
課題	「ない」と回答した割合が全体で70%を超えており、多くの団体が地域の子どもたちを対象とした活動を実施していないことが示唆される調査結果となった。

【属性別集計表】

	調査数	問19 子どもたちに関わる事業の有無			
		ある	ない	無回答	
全体	410	19.5	71.5	9.0	
活動年数別	5年未満	13	7.7	84.6	7.7
	5年以上10年未満	22	27.3	63.6	9.1
	10年以上15年未満	31	9.7	77.4	12.9
	15年以上20年未満	53	18.9	75.5	5.7
	20年以上	282	21.3	69.9	8.9
活動頻度別	週4～7回程度	27	40.7	59.3	0.0
	週2～3回程度	29	24.1	69.0	6.9
	週1回程度	168	14.3	75.0	10.7
	月2回程度	94	23.4	71.3	5.3
	月1回程度	54	11.1	75.9	13.0
	年に数回程度	24	37.5	50.0	12.5

(2) 子どもたちに関わる事業においてどのような目的を持って活動しているか

着目点	内容
団体ニーズ	「子どもの創造性を育む」が全体で52.5%と最も多く、次いで「文化芸術に触れる機会提供」が41.3%、「子どもたちの生きる力・コミュニケーション力を養う」が40.0%と多くなっている。

【属性別集計表】

		調査数	問20 子どもたちに関わる事業の目的							
			子どもたちの生きる力・コミュニケーション力を養う	子どもたちの居場所・遊び場の提供	子どもの創造性を育む	地域の歴史・自然に触れる機会提供	文化芸術に触れる機会提供	伝統芸能や祭りの担い手の次世代育成	国際交流・異文化交流の促進	活動成果の発表・機会提供
全体		80	40.0	26.3	52.5	18.8	41.3	12.5	21.3	36.3
活動年数別	5年未満	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	6	50.0	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
	10年以上15年未満	3	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	15年以上20年未満	10	30.0	40.0	70.0	20.0	30.0	10.0	10.0	20.0
	20年以上	60	41.7	26.7	51.7	21.7	41.7	15.0	26.7	40.0
活動頻度別	週4～7回程度	11	36.4	45.5	63.6	36.4	54.5	36.4	36.4	36.4
	週2～3回程度	7	42.9	28.6	57.1	0.0	57.1	0.0	28.6	14.3
	週1回程度	24	37.5	25.0	50.0	12.5	37.5	12.5	12.5	45.8
	月2回程度	22	50.0	27.3	45.5	22.7	40.9	9.1	31.8	40.9
	月1回程度	6	66.7	33.3	100.0	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0
	年に数回程度	9	11.1	0.0	33.3	22.2	33.3	11.1	0.0	33.3

		調査数	問20 子どもたちに関わる事業の目的	
			その他	無回答
全体		80	2.5	3.8
活動年数別	5年未満	1	0.0	0.0
	5年以上10年未満	6	0.0	0.0
	10年以上15年未満	3	0.0	0.0
	15年以上20年未満	10	20.0	0.0
	20年以上	60	0.0	5.0
活動頻度別	週4～7回程度	11	0.0	0.0
	週2～3回程度	7	0.0	0.0
	週1回程度	24	0.0	8.3
	月2回程度	22	4.5	0.0
	月1回程度	6	16.7	0.0
	年に数回程度	9	0.0	11.1

4. 自由意見

1 市民意識調査

調査票最終ページの自由記載欄に記入された内容は次のとおりである。これらについては、記入された内容から「(1) 図書館について」「(2) 講座・教室について」「(3) 施設について」「(4) 情報について」「(5) その他」の5つに分類し、複数項目に内容がまたがる意見については分割して該当項目に掲載している場合や該当項目それぞれに掲載している。また、記入内容については可能な限り原文をそのまま載せており、明らかに誤字脱字と思われる内容については修正を行っている。本報告書のページ数の関係から、頂いたご意見の中から一部を抜粋して掲載している。

(1) 図書館について

年齢	性別	記入内容
18～29 歳	男性	市立図書館の蔵書数を増やしてほしいです。また、老朽化した建物なので、リニューアルしてほしいです。図書館が立派であれば、松戸市の文化度も増すと思います。
18～29 歳	男性	図書館の蔵書が少ない。専門書など。
18～29 歳	女性	図書館や自習スペースが充実していると嬉しいです。(新松戸)私は高校時代いつも勉強をするのに、我孫子のアビスタまで行っていました。理由は、①様々な専門書がそろっている②きれい③自習スペースがつかいやすい、きれいというものです。新松戸は図書館も古く、本屋の品ぞろえも非常によくないので、結局東京または柏・松戸駅を利用しています。もう少し若い人が能力を伸ばせる場所がほしいです。
18～29 歳	女性	市立図書館の雰囲気をもっと明るく、広々としたものになったらうれしいです。
18～29 歳	女性	もう少し学生が勉強をしやすい図書館や施設を充実させてほしい。図書館の閉館時間を延長してほしい。コミュニティバスを続けてほしい。新しい土地を買うのではなく、市が持っている土地を有効活用して欲しい。
18～29 歳	女性	図書館の本をもっと増設してほしい。
30～49 歳	男性	大きな図書館を整備して欲しい。
30～49 歳	男性	六実の図書館によく行きますが、小説の数が増えたら良いなと思います。新書でも良いのですが、文庫本だと通勤時間に手軽に読めるので文庫本を増やしてほしいです。
30～49 歳	女性	・図書館の本の返却を駅で行えるようにして下さい。 ・本の予約の手順が不便だと感じます。
30～49 歳	女性	大人、子供問わず勉強できるフリースペースが本当はない。市民センターの一室を常にフリースペースとして学習する人のために開けておくなどの配慮があってほしい。図書館も分室だと全く勉強できないし、していると叱責される状態。一考してほしい。

年齢	性別	記入内容
30～49 歳	女性	図書館を充実して欲しい。住むのに魅力的な街には、大体学習スペース等が充実した図書館や学習スペースがある。そのため、ゆっくりと図書館へ行きたい時には、他の市区まで行っている。
30～49 歳	女性	子ども達が勉強できる図書館の設備を充実させて欲しい。分館など小さな子どもが絵本を読んだりするスペースはあるが、中学生以上の方が調べたり勉強したりする場所が松戸市にはないと感じています。
30～49 歳	女性	各図書館、分館の本がインターネットで予約できて借りられるのがとてもよいと思っています。最近まで知らなかったのが図書館の方に教えてもらい、利用しています。それまでは市内の図書館・分館をぐるぐるまわっていました。建物が全体的に古いのが気になります。工事もしているようですが、エレベーター欲しいな、と思う施設がいくつかあります。全部一気に、とはなかなか難しいと思いますが、今後施設が新しくなるといいなと期待しています。
30～49 歳	女性	図書館がもっと駅の近くにあるとよい。
30～49 歳	女性	市立図書館の児童書をもっと増やしてほしいです。地方の図書館と比べると少ないと思いました。数をもっとあるとうれしいです。駅の近くにあると、利用しやすいです。理由は、数冊借りると、重いので、駅近だと助かりますし、利用ひん度も上がると思います。又は、駐車場があるなど（数）のどちらかだと通いやすいです。休けいスペースや、公園のとなりなどだと、本が苦手な子どもでも、行きやすくなるし、連れて行きやすいです。
50～69 歳	男性	あらゆる世代が気軽に立ち寄れる図書館、文化ホール、美術館などが融合したアートセンター（学習施設を含んだもの）を創設して欲しい。
50～69 歳	女性	市立図書館のCDの貸し出しを分館でも出来るようにして欲しいです。
50～69 歳	女性	松戸市立図書館、魅力ある図書館の新築はできないでしょうか？我孫市、市川の図書館がとてもかがやいてみえます。以前、2年間函館中央図書館近くに住んでいました。とても利用者も多く活気あるみりよくの図書館でした。今の松戸にとって新しい図書館はとても大事な必要施設だと思います。
50～69 歳	女性	市立図書館について。本館、分館と数は多く、どこで返却しても可というメリットはありますが、どこも建物、設備等が古く「何かおもしろい企画はあるかしら」、「行ってみよう」という気持ちをおこさせるものが足りないと感じられます。予約した本を借りて返す貸本屋のようなイメージがあります。
50～69 歳	女性	松戸は多くの面で行政含め施設などよく整い、市民は恵まれた環境にあると思います。今回は「社会教育」と特別な枠内での質問だった事とあえて回答者の名を特定せずに自由な意見を聞き出す手法（これも良い配慮だと思いました。言いにくい事だったので。催促のハガキが来たのであわてて書きました）だった事に甘え日ごろの思いを、ずいぶん踏みこんで書きましたが、その社会教育面においても、博物館や図書館など充実している方だと思います。西部図書館などは県に3つしかない内の1つが松戸にあるなど市民には有利です。歴史に関する本が西部に少ないとは思いますが、とりよせもできますし助かる仕組みになっています。

年齢	性別	記入内容
50～69 歳	女性	松戸市の「社会教育設備」は図書館（本館・分館）しか利用したことがありませんが図書館はほとんどが建物が古く、狭く使いにくいです。予約して借りられるのは便利ですが、人気本は1年以上待つことはいつもです。（図書館で借りられるだけでもありがたいのですが…）本の返却ポストを松戸駅のどこかへ設置することはできませんか？駅から本館までそんなに近くはないので雨の日などは歩いて行くのはイヤになります。駐車場もないですし。借りには行くけど返しに行かない人が多いのは返却の不便さもあると思います。駅の松戸市の出張所（？）が開いている時間にポストがあるだけでもいいと思いますが。
70 歳以上	男性	図書館の充実、松戸市で図書館と言えるのは本館のみ。他は図書室です。人口40 万を超える自治体でありながらあまりにもひど過ぎます。アンケートを行う前になすべきことをして欲しい。
70 歳以上	男性	図書館が高齢者のいねむり場になっている。小学生が勉強できないという声を聞く。
70 歳以上	女性	図書館→すべての世代が利用出来る施設として図書館は重要と考える。現在の図書館ではゆっくり本に親しむという気分になれない。単なる貸出館にならないためにも図書館の再建設を望みたい。
無回答	無回答	図書館の本館のみ、学習できるスペースがありますが、各施設にもその様な共用スペースがあると利用者が増えるのではないかと存じます。スーパーのイーオンにて勉強とかしている人も結構見られるので、気軽に寄れる場を提供して頂きたいと思います。各施設だと、予約しないと使えないなど決まりがあり、使わない時は開放教室として、誰でも使える様にすると、良いのではないのでしょうか？不定期にすると、逆効果になる恐れもあるので、どうしても付かない予定以外は使える様にすれば利用頻度も増えるのではないかと？市在住の海外より来た外国人との交流の場を自由に設けて、日頃から市民との交流が出来る（自然な形で外国語をマスターすること等）等、アイデア満載の公共施設に発展させたらより充実な公共施設になるのではないのでしょうか？ステップアップ講座などの提供などなど…。

(2) 講座・教室について

年齢	性別	記入内容
18～29 歳	男性	子ども（小中高生）の教育を充実させてほしい。私はまだ学生（大学生）ですが、色んなことを小さいころからもっと知っていたかったです。なので今の子どもたちが勉強に関心をもつことができるように市として教育に関係のあるイベントなどを行ってほしい。そしてそのことをもっと多くの子どもに伝えるようにしてほしい。例えば学校で先生が“市でこのようなイベントやってますよ”など知る機会をふやしてあげてほしい。よろしくおねがいします。
18～29 歳	男性	私は、生まれも育ちも松戸市の地ですが、本アンケートに際して改めて、学習環境を調べたり、考えると、充実した様々な施設や学習機会が有るのだなと感じました。今まで利用する機会が少なかったので今後はさらに利用したいと思います。また、社会教育施設や学習機会のさらなる充実を願っています。
18～29 歳	女性	松戸市には多様性に満ちたマチになってほしいと思う。住民が学習する内容の一つには「他の地域（海外を含む）と比較し、その特色を尊重した上で松戸の魅力を学ぶ」というものが有れば良いのではないかと思う。
18～29 歳	女性	小中学生の時は、地元のお祭りやイベント等に参加したと思います。高校や大学では活動範囲が広くなり、地元と関わりがなくなってしまいました。今思うと、地元のお祭りやイベントはうきうきした気持ちで楽しんで行ったと思います。
30～49 歳	男性	松戸市が社会教育に力を入れているという実感はありません。もっと各種講座講義等の充実と、待ちの姿勢ではない、積極的な市民に向けた情報発信が必要です。
30～49 歳	男性	孤独死のはなしをききます。地域活動でお互いの安否を気づかえたら良いと思います。図書館に小学生の居場所があるとよい。外あそびを教えてくれるような講座があるとそして継続して外あそびが安心できる環境でつづけられたらよいと思います。
30～49 歳	女性	地域新聞の内容を充実をさせてほしいと共に高齢者向けのプログラムや（スマホ・パソコン教室や年齢に応じた相談窓口、文化、芸術全般など）リタイアされた方の力を活かせる場の充実を広く考案いただきたい。松戸の公共の場でのバリアフリーを早くしていただくと共に防災に強い街にさせていただき、これまでに以上に安心して子育てをできる街としてアピールしていただきたいです。
30～49 歳	女性	五香、六実地区の催し物が少ない。ふれあい 21 が近いが利用した事がない事が現状です。松戸駅付近での催しが多い。市内イベントに片寄りを感じる。

年齢	性別	記入内容
30～49 歳	女性	「広報まつど」と小・中学校の子ども経由のお手紙から情報を得て、講演会に何度か出席しています。無料で中身の充実したものが多く、有難いです。ありがとうございます。要望は・・・夏休みなどの長期休暇や土・日に、子どもだけで気軽に参加ができるイベントを増やしてほしいです。私が子どもの頃は、夏休みは、プールや陸上部の活動など、学校へちょくちょく行っていました。習い事は一つ、塾へ行っていない小5の娘は、毎日、時間をもてあましていました。本当に困り果てました。中部小は、夏休みのプールも部活もゼロです、広い会議室を開放して、本を50冊くらいおいておいて、自由にどうぞ!のような、手間ヒマかからないものでいいです。大学生のボランティアさん、シルバー人材さんなどが相手をしてくれたり・・・のようなものなど、ご検討ください。ボランティアは、中高年男性向けのものをもっと充実させてほしいです。どの家も、母親は平日は仕事、休日は家事で忙しいですが、父親はヒマそうに家でゴロゴロしています。
30～49 歳	女性	①陣痛タクシーサービスの実施を切望します。(「松戸市に対するご要望」とあったので、社会教育外の事ですが記入させて頂きました。) ②年齢に関係なく自習可能な公的スペースを増やしてほしい。できれば駅近くに。 ③市が主催の安価なカルチャースクールを実施してほしい。(ヨガ等)
30～49 歳	女性	都内で区の美術教育に関するボランティア活動をしています。引っ越してきたばかりなので松戸市の事はわからないのですが、同じような環境があったら良いなと思います。子供の頃、松戸市で育ちました。当時、マンションの子ども会の活動が盛んで、様々な経験をしてきました。その事が、その後の進路や、現在の仕事に大きな影響を与えてくれたと思います。今の子供達にもそのような機会があったら素晴らしいと思います。
30～49 歳	女性	夜間中学を作ったのはとてもよいと思う。海外からのルーツを持つ方も増えているのでそういった場所で勉強してもらう機会があるのはとても良いことと感じる。特に近隣では減っていると聞くので、税金を払ってよかったですと思いました。先日クローズアップ現代で岐阜県可児市の取り組みをやっていた。松戸でもぜひ夜間中学だけでなく、海外ルーツの子どもたちの学びの機会を保障してほしい。市の歴史、これまでだけでなく、これからの共生(人種や国籍、障害の有無や性的指向)などについて市民が勉強できる機会があるといいなと思います。
30～49 歳	女性	新松戸などは施設が充実しているが、北松戸など、中心地ではないと施設やイベントも不十分。
30～49 歳	女性	登下校の安全対策(集団登校、地域ぐるみでの見守り、通学路の安全対策の徹底など)をしっかりと行っていただきたいです。東部地区在住ですが、小学校が遠いため非常に心配です。よろしくお願ひします。イベントの申込みなどが平日&電話であるため仕事をしていると申し込めない(すぐに満員になってしまう場合など特に)です。インターネット申し込み、抽選制などを取り入れてほしいです。

年齢	性別	記入内容
30～49 歳	女性	松戸市はボランティア活動が盛んで、現在市内の小学校に子供が通っておりますが、学校と地域の方々との協力のもと子供たちが安全にそして色々な経験をさせていただいています。今後も学校と地域の方々と共に子供たちを見守っていただける松戸市であってほしいと思うと同時に、これから私達世代も引き継いでいかなければと心に強く思います。
30～49 歳	女性	講演会等のイベントなど多くの人に参加できる学習の場と同時に参加できない人のために映像でそれを個別に見ることのできるサービスもあるような市が全体でフォローしあえるようなしくみができるといいと思います。
30～49 歳	女性	ものづくり体験教室、松戸市内の小・中・高校でも開催されるといいなと思います。
50～69 歳	男性	松戸市に在住する外国人が大幅に増えています。日本での生活習慣に馴れない人、溶け込めない人が多くいます。私は今、英語を学んでいますがいずれそれを活かして、外国人が松戸市で安心して暮らせるよう、ボランティアとして協力していきたいと思っています。
50～69 歳	男性	施設等に関しては利用していないのでよくわかりません。子供達の安全と色々なスキルアップになる様な、イベント等を希望します。
50～69 歳	女性	地域の祭りや催し物をピーアールして、多くの人を楽しめるような、また、年中行事として、盛んになることを望みます。地域のボランティアを年代幅広く、参加できるように（特に子供達含む）企画をしてほしいです。
50～69 歳	女性	今は仕事をしている為、生涯学習は行っていませんが退職後は生涯学習、ボランティア等少しでもお役に立てる事があれば参加していきたいと思っています。
50～69 歳	女性	子供も老人も学び楽しめる。そして人の役にたつそんな仕組みがあると生きがいのような生活ができるのではないのでしょうか。お金がなくて学べない子もいるし、まだ元気なのに働けない老人もいる。いろんな窓口があると参加しやすいかも・・・。
50～69 歳	女性	定年後の人生が長くなってきた時代、第2の人生の生き方、社会とのかかわり方、等学ぶ機会が必要です。又、今まで色々な職場で培ってきた人材を生かせる社会、地域で育てる子育て参加、その中で社会参加しながら楽しい時間を持てる生活が理想だと思います。役所はそのための生涯学習プランの充実をお願いしたいと思います。松戸での地域のとり組みの差があると思います。共に学び参加し、楽しく参加できたらと思います。今まで第一線で働いてきた男性、もっと社会に還元できるしくみはできないのでしょうか！
50～69 歳	女性	現在娘と2人暮らし、母の様子を見に週1泊2日で実家（片道車で2時間弱）に行く生活。運動は好きでできる時にしていますが、松戸市の社会教育施設、退職してからはほとんど利用していないことに気づきました。楽しいイベント、暇を見て参加したいと思います。
50～69 歳	女性	土日開催の講座を増やしてほしい。
70 歳以上	男性	・市内公共施設で英語講座やって欲しい。 ・講師ボランティアで60才以上対象、どなたでもどうぞ。

年齢	性別	記入内容
70 歳以上	女性	松戸市は古くから、ある町なのにこの頃、すこしさびれてきた様な気がします。もう少しイベントなどの回数もふやしにぎやかになったらいいと思います。
70 歳以上	女性	小学校英語準指導者、保育英語士の資格を持っていますので、ボランティア、担任の先生の助手、何でも近所であれば行きたいと思っています。子供が好きです。学ぶことが好きです。76 才ですが気力はあります。図書館の読み聞かせ講座も受けました。
70 歳以上	女性	松戸市生涯学習の卒業生で出来た団体ですが活動内容がマンネリ化しています。新しい活動アイデアが得られるような情報が欲しいです。
無回答	無回答	図書館の本館のみ、学習できるスペースがありますが、各施設にもその様な共用スペースがあると利用者が増えるのではないかと存じます。スーパーのイートインにて勉強とかしている人も結構見られるので、気軽に寄れる場を提供して頂きたいと思います。各施設だと、予約しないと使えないなど決まりがあり、使わない時は開放教室として、誰でも使える様にすると、良いのではないのでしょうか？不定期にすると、逆効果になる恐れもあるので、どうしても付かない予定以外は使える様にすれば利用頻度も増えるのではないかと？市在住の海外より来た外国人との交流の場を自由に設けて、日頃から市民との交流が出来る（自然な形で外国語をマスターすること等）等、アイデア満載の公共施設に発展させたらより充実な公共施設になるのではないのでしょうか？ステップアップ講座などの提供などなど…。

(3) 施設について

年齢	性別	記入内容
18～29 歳	男性	駅の近くに無料または年齢によって価格を変えるなどリーズナブルの学習スペースの確保によって学生の市への動線を増やす。W i - F i があるとパソコンを使う社会人も取り入れることができ市の活性化につながるのでは。
18～29 歳	男性	私は、生まれも育ちも松戸市の地ですが、本アンケートに際して改めて、学習環境を調べたり、考えると、充実した様々な施設や学習機会が有るのだなと感じました。今まで利用する機会が少なかったので今後はさらに利用したいと思います。また、社会教育施設や学習機会のさらなる充実を願っています。
18～29 歳	女性	スーパーが少ない。車を走らせないと無いっていうのが困るからもう少し増やしてほしい。アンケートに公民館、図書館っていうのがたくさん見うけられた。でも、入りにくいし、本当に入ってもいいの？って思うような雰囲気だから入るにも入れないのが正直な感想。もう少し入りやすい環境を整備すれば、利用する人も増えると思うし、私も利用したいと思います。
30～49 歳	男性	小学生が遊べる、安価な屋内が欲しい。
30～49 歳	女性	・道路の整備（特に自転車で走るのにでこぼこした段差があって危ない所がたくさんある） ・室内で子供を遊ばせる施設が足りない（夏休みに外で遊ばせるには暑すぎる時等に小学生くらいの子供を遊べる場所を作ってほしい）
30～49 歳	女性	松戸市は、子ども関係の施設も少なく、生涯学習も行なっているイメージが全くありませんでした。子ども達が多くいる地域で、もっと児童福祉施設等があれば、健全育成の一環にもなるのではないのでしょうか？
30～49 歳	女性	大人、子供問わず勉強できるフリースペースが本当でない。市民センターの一室を常にフリースペースとして学習する人のために開けておくなどの配慮があってほしい。図書館も分室だと全く勉強できないし、していると叱責される状態。一考してほしい。
30～49 歳	女性	学校、市民会館、図書館など、市の公共施設の老朽化がひどすぎます。改修、拡大を願っています。保育園の拡充もお願いします。子育て N o . 1 とうたっていますが、実感がなく苦しいです。
30～49 歳	女性	子ども達が勉強できる場所がほしいようです。「すまいる」のような場所が近くにないので、高い塾の自習室を使うしかありません。学校で放課後残って勉強させてほしいものです…。
30～49 歳	女性	子育て世代としては比較的制度が整っていると感じますが、設備などの老朽化や公園が荒れていたりするのが気になっています。お金をかけずにいきることもあるのではと思います。もっと魅力的な市になるよう祈念します。

年齢	性別	記入内容
30～49 歳	女性	各図書館、分館の本がインターネットで予約できて借りられるのがとてもよいと思っています。最近まで知らなかったのが図書館の方に教えてもらい、利用しています。それまでは市内の図書館・分館をぐるぐるまわっていました。建物が全体的に古いのが気になります。工事もしているようですが、エレベーター欲しいな、と思う施設がいくつかあります。全部一気に、とはなかなか難しいと思いますが、今後施設が新しくなるといいなと期待しています。
50～69 歳	男性	認知度が低いと施設の拡充をしても、余り効果が見込めないと思う。
50～69 歳	男性	施設が市街化区域内に集中し、調整区域内には、全くない状況であるので、一考願いたい。同じ松戸市民として、不公平感を感じます。住む地域により、公園さえもありません。公共施設の適正配置を望みます。
50～69 歳	男性	あらゆる世代が気軽に立ち寄れる図書館、文化ホール、美術館などが融合したアートセンター（学習施設を含んだもの）を創設して欲しい。
50～69 歳	女性	施設のトイレにオムツ替え用のユニバーサルベットがあるところは少なく、外出の機会が減ります。図書館（分館）にあれば良いのですが…
50～69 歳	女性	・これから高齢化の時代なので、自宅の近くに運動できる場を多く提供してもらいたい。指導できる人が、ついてほしい。多少の対価を払っても。 ・共働き世帯が多いと思うので、長期の休みのときなど子供達が、安全にいられる場を提供して欲しい。本を読んであげたり、勉強を教えてあげられる人がいたら良いと思う。
50～69 歳	女性	金ヶ作自然公園をもっと活用できる様にきれいにしたいです。
50～69 歳	女性	これからさらに高齢者が増えていきますので健康面を考えると体を動かすことも大事だと考えています。公園に体をのぼしたり運動の出来る遊具のようなものを設置してほしい。（よく韓国の公園であります）公園で幼児が遊んだり高齢者の方々との交流も生まれたらよいかと考えます。（高齢者でも公園等に行く機会が増えるかな）また、何か意見を言える場所・提案の出来るめやす箱のようなもの（あるのかな？）があって、皆さんがそういうものがあると知っているのと少しずつでも交流や松戸市が生活しやすい所になると思います。
50～69 歳	女性	森のホールで音楽会の公演などに参加させて頂いていますが、大ホールでは特に洋式トイレが少なく、年を取って来ると不便に感じていますので、改良して頂けると、助かります。
50～69 歳	女性	東部地区に施設を作ってほしいです。交通の利便性も考えて……。
50～69 歳	女性	孤立しないためにも、気のあう仲間が気軽に集まれる無料で利用できる場所がたくさんほしいです。

年齢	性別	記入内容
50～69 歳	女性	<p>○外国人がものすごく増えています。将来治安が悪くならないか心配です。うまく共存できるといいです。</p> <p>○市立病院の跡地を市民みんなで使える建物にして欲しいです。勉強読書スペースがたくさんある図書館、幼児たち、お年寄りが使える多目的室などがあるといいです。</p> <p>○松戸駅付近をセンス良く変えて欲しい。週末昼間の商店会？のお店は見ていてとても残念。日変わりでパン、スイーツ、若いママ達学生など新しい雰囲気を出して欲しい。</p> <p>○市役所は古すぎる。災害時に最初にこわれそうです。</p>
50～69 歳	女性	<p>図書館に新刊本がないので、おいてほしい。新浦安図書館のような、カフェ併設の図書館、立川マンガパークのような施設があったらよいと思う。21 世紀の森の駐車場料金を 1 時間単位の料金体系にしてほしい。公園内にジャブジャブ池があったらよいと思う。せせらぎは衛生面で不安があります。児童館の数をもっと増やしてほしい。</p>
50～69 歳	女性	<p>低料金で利用できる貸しスタジオ（中学生・高校生でも手軽に利用できるスタジオ）。</p>
50～69 歳	女性	<p>松戸市の社会教育施設は、交通の便とか、駅から遠いとか…高齢化社会には高齢者が使いづらい。とくに段差や階段等で利用できない。</p>
50～69 歳	女性	<p>森のホール 21 でのコンサートによく行きますが、トイレが和式が多くいつも長蛇の列です。</p>
50～69 歳	女性	<p>ぜひ、大型の文化ホール等を含めた図書館の新設を望んでいます。</p>
70 歳以上	男性	<p>市の社会教育施設、文化活動のための施設をもっと増設し、内容も充実するよう市の予算を大幅にふやしてほしい。高齢者にとっては、歩いて行ける身近な所に利用できる施設がほしい。博物館や森のホール 21 は遠くて交通が不便である。交通費もかかる。</p>
70 歳以上	男性	<p>松戸人口から言えば美術館があっても不思議ではない。外国アーティストなどの居住を受け入れたり、がんばりがありますが、文化のあふれる街としては、上記のことさらに努力をお願いします。</p>
70 歳以上	男性	<p>文化活動。知的レベルを向上する施設、ソフトが見劣りする。美術館が特に不十分。スポーツ活動。公式野球場（硬式用大会供用）がないのが不思議。早急につくるようにしてほしい。“首都圏で都心が近いというだけが魅力”ではさびしい。</p>
70 歳以上	男性	<p>新松戸を經由するコミュニティバスの運行。新松戸駅に常磐線（快速）の停車。新松戸の公共施設（青少年会館・プール等）の充実・施設の老朽化及び図書館・公演できる施設を造る。焼却炉の設置。</p>

年齢	性別	記入内容
70 歳以上	女性	<p>○森のホール</p> <p>○表面玄関階段・(大ホール小ホール) イベントで行列が出来た時、階段で並んで待つ事の危険・手すりの(中央部分) 設置</p> <p>○交通便利な配慮</p> <p>○トイレの増設(洋式)</p> <p>○矢切公民館等、生涯学習を継続する上で、楽器等保護預りのスペースの確保(キーボード等重い楽器は好意で一時的に保管してくれる・・・もちろん自己責任で)</p> <p>○今後、人生 100 年時代、生涯学習活動が、活発に行われる為の会場の大幅増(交通便利な場所)。健康増進に必ずプラスになると思われる。</p> <p>○トイレの洋式化、全ての施設にバリアフリー化を望みます。</p>
70 歳以上	女性	活動したいが場所の確保がたいへんです。地域のセンターなどの利用が非常にむずかしい。文化施設の充実を。
70 歳以上	女性	文化会館→利用者や関係者のみに限られ一般の人たちの周知度が少ないのが残念、又作品展等での一部会場が暗くりようしづらい。美術館→芸術の街とうたっている松戸市のためにも美術館建設を望みたい。
70 歳以上	女性	松戸市の目ざすものが明確ではない気がします。特に文化的な面に市が関心がうすいのではないのでしょうか。乱開発された害が残ったままなので、ハード面を大きく変えるのはむずかしいのですが、市民生活の充実は図れると思います。子育てしやすい環境、教育、スポーツ設備の充実など。ただ、交通の便が悪く車を必要とするのが問題なので、コミュニティバスが望まれます。
無回答	無回答	人口 50 万人の松戸市として社会教育の充実にともなう施設があつとう的に不足していると思います。子どもから高齢者までが自由に生き生きと地域で生活できる施策をすすめるためにも交通の便と共に大きな町づくりが必要だと思います。

(4) 情報について

年齢	性別	記入内容
18～29 歳	男性	松戸市にも高齢者が増えている中、特に男の人が家から外に出られる場所をふやしてほしいと思います。六実市民センターでおこなわれている昔の遊び遊ぼう会はとてもいいなあと思います。けん玉教室（級がとれるのもほりあいがあるといいですね）や、竹とんぼ作りや盆栽教室など（物を作ったり）けん玉教室など、1ヶ所ではなく松戸市内あちらこちらでできる場所（学校の体育館や市民センターなど）があるといいですね。習い事はやっぱり近いとかよいやすいし、外にでやすいと思います。高齢者はパソコンなどが出来ない方が多いと思いますので回覧板などを利用するのもいいですね。
18～29 歳	女性	サークル活動やボランティア活動の一覧がほしい。その際、どの頻度で行っているのか、また参加の仕方（仕事がシフト制でも平気か）等を知りたい。年齢層も分かるとういことです。
18～29 歳	女性	市の情報はほとんど入ってきていないので、もっとSNSなど現代に合わせた情報共有が出来る場でいろいろ知ることができればと思います。施設で行っている行事、イベントも分からない事が多いので、それを共有、広める事を沢山してほしいとこのアンケートで思いました。ボランティアの事も調べる機会が無かったということもありますが、耳にすることもほぼ無かったので、これから調べてみようと思います。
30～49 歳	男性	“広報まつど”を拝読する限り、学習内容に偏りがあると感じます。…平日中心、お年寄りしか興味を示さないであろう内容。全世代の人が平等に興味を持ち、参加が出来る様、週末の内容の充実を期待します。
30～49 歳	女性	どの施設においても、その場所へ行ったことがあれば、その時に近々の催し物の情報を得られるが、行ったことないと情報得られず、気づくと終わっているなどが多い。現在、サービスとしてあるかわからないが、松戸市として行われる催し物のカテゴリーなどを登録すると、メールでお知らせしてくれるなどのサービスがあったら、もう少し利用できる気がする。
30～49 歳	女性	生涯学習をこれから行いたい人たちのために情報提供を行いしきいを低くしてあげて参加しやすい環境を作っていけるといいと思います。広報等で情報をうけとれますが限られたスペースでの情報発信なのでしきいが高く感じるのではないのでしょうか。私自身はまだ小学生がいて生涯学習に取り組めるのは10年後のような気がします。その頃には気楽に取り組める環境になっているとうれしいです。
30～49 歳	女性	自転車に乗る際のルールについて、市民を研修させるべきだと思う。生涯学習については市民が自ら調べて勉強すべきであり、市が積極的に行うべきものは、法制度変更の時の説明会だと思う。消費税10%になるその理由、どの様なシステムになるのか、私達はどのように対応すべきなのか等。

年齢	性別	記入内容
30～49 歳	女性	今回のアンケートを通して「松戸市社会教育計画」というものを初めて知りました。高齢化社会の今、とても重要だと思いますがこの計画の認知度が低ければ中身を充実したところで意味がないように思います。もっと計画じたいを広めることの方が必要に思います。
30～49 歳	女性	単身者は行政に関する情報や行政との関わりが皆無です。
30～49 歳	女性	新しいショッピングモールなどでもできるので、今まである施設をもっと沢山の方に使いやすく、行きやすいように、リニューアルや、改善などをしてほしいです。新聞をとっていない我が家では、市の情報があまり得られないので、SNSなどで発信なども、もっとしてほしいです。
50～69 歳	男性	このアンケート結果の分析内容をHPか広報まつどに載せて、次のステップも公表してほしい。
50～69 歳	男性	生涯学習の定義が、いま1つ理解できなかつた。松戸市の生涯学習の取組がどれくらい認知されているのか知りたい。
50～69 歳	男性	松戸市にある社会教育施設等についてどのような利用方法があるのか知りたい。
50～69 歳	女性	月2回の広報まつどを楽しみにしています。子どもたちの活躍を見るのが楽しみです。観戦可能な大会とかありましたらのせていただけるといいかなと思います。(運動公園の大会とか)
50～69 歳	女性	松戸広報がとても楽しみです。情報が得られるので！！地域の(町会)回覧もいろいろと情報が得られよく見えています。
50～69 歳	女性	スーパー等での情報発信してはどうでしょうか。情報を得たもの勝ちのようなことでなく、多くの方が平等に暮らしてほしいです。
50～69 歳	女性	広報の配布場所の案内。駅などにあると助かる。
70 歳以上	女性	高齢になるにつれ、見たい、知りたい、学びたいと思う場所が遠くであると、思うように行くことが出来なくなってきます。近くで学び、楽しめるところが、機会が、1つでも多く与えていただけるとは大変うれしく、感謝いたします。本日聴かせていただきましたまつど生涯学習フォーラムもこれからの生き方の指針となりました。松戸市以外の近隣の市との共同の学びの機会も計画していただけたらと思います。公報が配布(新聞折込み)される朝は赤のボールペンを手に興味ある案内をさがすのが楽しみです。
70 歳以上	女性	・情報は何回もしてほしいです。見のがしてしまうこともあるようです。人に言われて気付くことがありますので・・・ ・図書館を駅近くにも開設してほしいです。今の所では駅から遠く出かけるのがおっくうになります。
70 歳以上	女性	最近広報まつどもカラフルになり、次にページを開く楽しみ(読む)が出来ました。
70 歳以上	女性	松戸市生涯学習の卒業生で出来た団体ですが活動内容がマンネリ化しています。新しい活動アイデアが得られるような情報が欲しいです。

年齢	性別	記入内容
70 歳以上	女性	<p>現在、社会で活躍している各界の著名人はたくさんいますが、その方々にスポットを当てて、市民が多数参加できるような、良質な講演等を計画、実施してほしいと思います。費用もかかるとは思いますが、松戸市はこのような企画が少ない気がします。</p>

(5) その他

年齢	性別	記入内容
30～49 歳	男性	33 年間暮らしております。松戸は私の大切な地元です。起伏に富んだ地形や都会でも田舎でもなく歴史を持ち 50 万人近い様々な人が暮らす所に愛着を持つ人は少なくないと思います。抱える課題も多々あるかと思いますが松戸市がこれからも「生涯暮らせる町」である様ご尽力頂ける事を願っております。アンケート、お役に立てれば幸いです。
30～49 歳	女性	21 世紀の森の広場で、大きなマルシェや、フリーマーケット、色々な手作りの作家さんなどをよんで、マーケットを開いてほしいです。
30～49 歳	女性	松戸は都心にも近く交通の便が良く緑も多い。利便性や土地を利用し、日本文化を学びに来る外国人や旅行者に目を向けたらどうか。(アニメやスポーツ交流、技術の習得など)
30～49 歳	女性	ボランティアという言葉がたびたびでていたが、知識等を無料で享受することを前提としているように感じられた。予算などもあるでしょうが善意にたよりにすぎないものになることを願います。
50～69 歳	男性	松戸市は、文化、教育、スポーツ等の推進のレベルは高いと思います。他の自治体も同じですが「生涯学習」が現役を引退された方の活動に関するものが多く、市の施設や制度、活動を利用したことがない、現役世代、学生が多いと思います。利用したくても時間的制約や望んでいるものとのミスマッチがあると感じます。ハコとメニューの充実を図っても結局、一部の方々が利用することになると思います。現役世代や学生のニーズを取り入れて欲しいです。全てを市独自で行うのではなく、民間のスクールや学習塾とのタイアップ等で結果として生涯学習につながれば良いと思います。
50～69 歳	男性	話したいこと、また、意見の交換などその様な場面をぜひ作っていただきたい。一市民として話したい。小学生、中学生との会話の場がほしいと願っています。以上。
50～69 歳	男性	私は現役サラリーマン、妻は外国籍、子供は留学中ということもあり、またマンション住まいのため、なかなかというかほとんど隣近所との付き合いがありません。今後定年を迎えるとこのままという訳にはいきません。これからは生涯学習にもう少し真剣に取り組んでいこうと思いますが、多様な環境文化を持った人達が、一緒に活動できる場を設けてもらえればと思います。
50～69 歳	男性	経済的な事情により空いている時間はほとんどアルバイト等にあてているため、生涯学習については行っていないのが現状です。(興味はありますが、難しい状況です。)松戸市の施設も利用した事がなく「わからない」という回答ばかりで申し訳ございません。
50～69 歳	女性	住んでいる町を歩いている人が、高齢者ばかりと感じます。若い世代をよびこむ工夫がさらに必要と感じます。

年齢	性別	記入内容
50～69 歳	女性	私の年齢からしたら、もう孫たちの子供たちです。“こども食堂”なんて昔は考えられないけど“おばあちゃん料理”を世代を越えて、みんなでワイワイしていたいですね。人間関係は小さな家庭から始まると思います。
50～69 歳	女性	高齢者が今まで自分でやってきた仕事が活かせるような支援をもっとしてほしい。ボランティアではなく少しでも給金が出る様な事。音楽や演劇などの芸術に参加できる活動を高齢者に増やしてほしい。キテミテマツドをもっと利用した方が良くと思います。
50～69 歳	女性	市民農園を市が負担し、地域の人が参加でき交流出来たら良いと思います。
50～69 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の本のジャンルの幅を広げ、冊数を多く取り揃えて欲しい。 ・選挙の公示日に松戸市役所HPにて各候補者の公約が記載されておらず、期日前投票に行く日程をずらすことになった、今後は公示日には、記載できるよう宜しくお願いします。 ・これからの子供達が住みやすく働きやすい環境の整備。 ・企業誘致等をして、松戸市内での勤務先が増えることを望みます。 ・松戸市内でも交通の便が悪いように思います。 ・街灯が少なく夜の道は危険。歩道の幅も狭くアップ、ダウンがあり、高齢者には歩きづらいと感じます。
50～69 歳	女性	先祖代々、松戸に住んでおり、松戸は大好きです。都心に近くとても便が良く住み良い町ではありますが…近隣の市にくらべ、なぜかこれといった楽しい興味をもてる話題がないと思います。松戸をもっと広く世間にアピールできる“もの”を是非考えていって頂きたいと思います！※通り過ぎるだけの町にはなってほしくないです。
50～69 歳	女性	松戸駅から快速で一駅の北千住駅周辺や柏駅周辺に比べて松戸駅周辺は魅力にかけるように思います。キテミテマツドも空いている階もあり、中途半端な感じですが。八ヶ崎に映画館や大型商業施設ができるそうですが駅から歩いて行くには遠いようです。亀有のアリオの方が歩いて行ける分だけ近い感じがします。駅から遠い施設ばかりで、森のホールもタクシーで行っても帰りタクシー乗場もなかったですしバスもなかなか来なかったりもう少し便利だと良いと思います。総合医療センターも駅から遠いです。小さな無料バスが走っていますが本数が少なく、行きたい時間帯に一本もなかったり、不便です。東松戸に作ってもらった方が良かったように思いました。車を運転される方は良いかもしれませんが年を取って運転できなくなったら住みづらい町になるのではないかと心配です。
70 歳以上	男性	文化・芸術の充実を期待します。
70 歳以上	男性	松戸市に在住して 40 数年になります。松戸市の発展の為、社会教育の充実に力を入れて下さい。

年齢	性別	記入内容
70 歳以上	女性	世の中、活発、いきいき活動。もっと、自由でいいのではないのでしょうか。松戸は、歴史もあり、台地のおかげで、買物など歩くと、季節の草花、風、空を、はだで感じられ、幸せな時を過ごしています。家庭のそれぞれの庭も個性がありいいものです。松戸に引っ越し、なんともいえない、幸せな気持ちで過ごしています。目に見えるものでなくても、心があたたかく、豊かになれます。松戸は大好きなのです。豊かな松戸になることを願っています。
70 歳以上	女性	私は松戸市常盤平地区に越してから約 40 年になりますが、当初は緑が豊かで街路樹が整然と並び、何と素晴らしい環境だと大いに自慢していたのに最近の木が古くなったせいもあり、歯抜け状態で非常に残念でなりません。もう少し以前の状態に近づけて頂けたら本当にうれしいと思います。
70 歳以上	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が多くなり色々あり免許の返納等で交通手段が少なく社会参加や病院への通院にこまっている。是非コミュニティバス等の工夫をしてほしい。 ・ 高齢者の孤独死の問題だけでなく日常的に気軽に集まれる場所があると思う。(食事、お茶、おしゃべり) 等ができる所があると情報交換等できていろいろな面で参考になると思う。
70 歳以上	女性	松戸市の目ざすものが明確ではない気がします。特に文化的な面に市が関心がうすいのではないのでしょうか。乱開発された害が残ったままなので、ハード面を大きく変えるのはむずかしいのですが、市民生活の充実は図れると思います。子育てしやすい環境、教育、スポーツ設備の充実など。ただ、交通の便が悪く車を必要とするのが問題なので、コミュニティバスが望まれます。
70 歳以上	女性	私は現在 74 才。自由な時間が多くあり色々なイベント・教室に出かけたいとは思いますが年金暮らしではそうそうも出かけられず(まずどこに行くにも交通費がかかります) 町の中では年齢の高い方も多いとは思いますがそれは 1 部の人であり多くの老人は家の中ですごしていると思います。70 才以上に市から交通費の援助があればと、いつも思っています。

2 団体アンケート調査

調査票最終ページの自由記載欄に記入された内容は次のとおりである。これらについては、記入された内容から「(1) 会員について」「(2) 施設について」「(3) 予約について」「(4) 情報について」「(5) その他」の5つに分類している。また、記入内容については可能な限り原文をそのまま載せており、明らかに誤字脱字と思われる内容については修正を行っている。本報告書のページ数の関係から、頂いたご意見の中から一部を抜粋して掲載している。

(1) 会員について

活動年数	活動頻度	記入内容
10年以上 15年未満	週1回程度	サークル会員さん（私も）が年令70才以上となり、人数も少なく募集はしてもフォークダンスのイメージが若い方にわかってもらえず会員は増えません。どこのサークルも同様だと思います。ただ手元に残る日本連盟のDVD、曲（CD）解説などがゴミとなるのが残念です。学教、などで使用して下さればうれしいのですがね、本当～!!!
20年以上	週1回程度	・松戸市の美術館を作してほしい。 ・会員募集に苦勞している。市の広報紙を利用しているが年に1回のみ掲載できない。掲載できる回数を増やすとともに文化ホールや市民会館、各公民館への募集ポスターを掲示できるようにしてほしい。
20年以上	月2回程度	ボーイスカウトの団体として市内小学校とのコミュニケーションがもっと活発に行われるように努力したいです。スカウト人数が少なくなってきました。
20年以上	月2回程度	青少年教育。特に障害のある子どもたちを対象に活動していますがPR不足で会員が増えないので指導者も不足している。そこで子どもたちの参加について支援が欲しいです。学校や家庭にアピールをしたいので、ご協力を仰ぎたい。
20年以上	年に数回程度	舞踊を通し長い年数活動してまいりましたがどの会も高齢化という事で会員数も少なくなってきました。若い人達にいかに関心を持ってもらうか知ってもらうかという事が大切かと思えます。子供達にも舞踊の楽しさを伝えるチャンスがあればと思います。
20年以上	無回答	私共の会は高令とともに油絵一式等を運びながらの、通うことが大変なため退会していきます。又残念ながら若い世代が入会して来ません。 時代の流れもあるのでしょうけど趣味もかわって来ているかと思えます。又広報に会員募集を出していましたが、指導者の紹介を拒否されたことがありますが、残念でした。

(2) 施設について

活動年数	活動頻度	記入内容
5年未満	週1回程度	個人的には戸定邸等昔のものを残すことは、とても大事な事だと思います。あそこでイベント開催は無理でしょうから、近くで何らかの催しをやって戸定邸に誘導する等、何か行こうと思うきっかけ（宣伝）はないかな？とか思います。
5年以上 10年未満	週1回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年会館（新松戸）の休日の男性スタッフがいつも高圧的な接遇で気持ち良く利用できません。 ・現在オリンピックに向けて東京都の施設の改修工事が行われている為、東京の方からホール利用の団体が増え、松戸市民や松戸の学生がホールを利用でき難い状況です。松戸の施設なのですから、市民優先に予約できる様改善してほしいです。 ・松戸市民会館は規模の割に、音響も悪く、老朽化しているので建て直して、21世紀の森のようなホールにしてほしいです。
5年以上 10年未満	週1回程度	アンケートにある施設よりもセンターを利用していますが、設備・備品が乏しく毎回運ぶのに苦労しています。（駐車場も狭く車も使えないことが多い）常時活動をしている団体の備品置場（ロッカー e t c）が欲しいです。また、センターにはテーブル椅子が和室 e t cに置かれていますが、重く、運びづらいものばかり、高齢者でも利用しやすい軽いものを備えてほしいです。（最近2、3年前に備えられた重い椅子は利用しづらい）
5年以上 10年未満	無回答	市民センターのピアノの調律をもう少しちゃんとやって欲しい。
10年以上 15年未満	週4～7回程度	子どもたちへの読みきかせやおはなし会をしているボランティア団体は、松戸市内に数多くあると思うが、それらの団体が自由に利用できるボランティア活動支援室を設置してほしい。特に図書館や子ども読書推進センターに。（流山市の生涯学習センターでは、無料で部屋が借りられると聞いています。）
10年以上 15年未満	月2回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年会館を利用していますが、美術室等機不足です。 ・真夏の暑い時、真冬の寒い時、朝8時50分にならないと中に入れない、良いのか悪いのか？時期により臨機応変にできないものでしょうか？ ・各施設職員の勉強不足で何度も手間をかける。利用者が教える時が有る。全く笑える。
15年以上 20年未満	週4～7回程度	音楽発表の場（コンサートホール）で市民劇場や森のホール（小ホール）よりももっと小規模（50～100人程度）のものが、安価であれば、利用しやすいと思う。
15年以上 20年未満	週1回程度	松戸市民劇場を折々に使用しています。楽屋から舞台への階段なんとかありませんでしょうか。改善を期待しています。

活動年数	活動頻度	記入内容
20年以上	週4～7回程度	<p>松戸市民劇場客席に思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客席は少なくなりますが・ぜひこの列は外して頂きたい揉めごとが多々発生している。(緊急時惨事を防ぐため) ・松戸駅松戸神社、戸定歴史館を中心に小江戸化と松戸葵大祭をし全国に発信すべきことに思う。
20年以上	週2～3回程度	図書館本館の充実を切望します。特に駐車場の完備を！
20年以上	週1回程度	新松戸市民センターを利用していますが、ホールの床がコンクリートなので脚に負担が大。木製にはりかえて欲しい。
20年以上	週1回程度	当クラブには車椅子を利用している人もおります。市民センターにはエレベーターが設置されていない所もありますので、一日も早く全センターにエレベーターの設置をして戴きたくお願いします。
20年以上	週1回程度	センター舞台全般の設備が古くなっており具合が悪い(冷房設備、音響、照明等)。
20年以上	週1回程度	市民会館の椅子がとてもすわりごちが悪い。いろいろなホールに行っていますが他に例を見ない程です。長時間座っていると腰が痛くなります。ご検討下さい。
20年以上	週1回程度	今回とりあげられている施設よりも身近で利用しやすい各市民センターの施設設備の充実をお願いします。図書館分館を利用していますが、常に同じ書籍が並び、図書意欲がなくなってきました。ネットワークで予約ができるシステムもよいかもしれませんが、目で見て選びたいものです。定期的に交換入替があってもよいのでしょうか。
20年以上	週1回程度	ガールスカウトの活動は、子供達の心も身体も健康に！自分で「体験」して気づいて学ぶ力を持ってほしい！自分で問題を見つけ、自分で考え解決する力を育てたい！と願っている団体です。学びの場所として野外を利用する事が多いのですがテント訓練等を行う場が少なくなっています。都会化が進んでいる昨今ですので仕方がないですが自由に使える場が欲しいです。
20年以上	週1回程度	私達の団体も活動年数が20年以上がたち高齢になりました。毎月青少年会館2階の音楽室を利用させていただいております。階段のみで2階に昇ることがだんだんきびしくエレベーターを設置していただければ幸いです。
20年以上	週1回程度	市内文化施設(特に市民センター)で音楽練習が可能な場所が限られており、練習日程確保に支障がある状況です。市内にあと数ヶ所吹奏楽レベルの音量で80人程度の合奏が可能な市民センターホールがあればこの状況はかなり改善可能と考えます。
20年以上	週1回程度	市民センターで、エレベーターのない所があります。高齢の方が多くなりました。全部のセンターで必要と思われれます。

活動年数	活動頻度	記入内容
20年以上	週1回程度	文化ホールのギャラリー利用について。一団体主催の作品展示会を行う場合、ギャラリー（3）のような、仕切られた会場が望ましいと思います。ギャラリー（1）（2）は、市美術展等では鑑賞しやすいというメリットがある一方、既設のパーティション壁があるため、一団体だけの展示会には向いていないと思います（パーティションを自由に動かさない）。そこで、ホール（300㎡）に可動式パーティションを設置し、半分（150㎡）利用できるようにできないでしょうか。パーティション面にも作品を展示できるようにすれば、更に利用範囲が広がると思います。
20年以上	月2回程度	定期的に利用している施設に、備品の保管場所が欲しい。合唱の練習にキーボードを使用するが、車で持ち運びするしかない。こん親会の時など、非常に困る。
20年以上	月2回程度	松戸市の中心部に、研究会や発表会などで利用できる施設をもっとふやしてほしい（抽選で落選し会場がなくて困った）。
20年以上	月2回程度	今まで知らなかった、まなびいネットを見ってみました。とても良いと思いました。いくつか興味があるイベントを見つける事が出来ました。市役所のホームページからリンク出来る様になると良いのではないかな？と感じましたが、個人の氏名や電話番号の記載がある場合は難しいのでしょうか？これから定期的に、まなびいネットを見てイベントなどチェックしてみたいと思いました。
20年以上	月2回程度	市民センター（文化ホール）での市展が場所がせまく見にくいのもっと広い美術館を新設して下さい。利用者が無い時は区切り会議、サークル等に使用出来る様にする。
20年以上	月2回程度	図書館を充実させてほしい。本館は狭く利用しにくい。美術品を展示するスペースがほしい。講座を開く教室の確保が難しい。これからは元気な高齢者が多くなり増々場所が多く必要となるでしょうから。
20年以上	月2回程度	市民会館の椅子の老朽化。早急に良い物に変えて欲しい。本館の方にエレベーターが欲しい。公民館が欲しい。ボランティアセンターが市役所と同じ場所にして欲しい。責任の所在があいまいになるので民営化に反対。
20年以上	月2回程度	社会福祉関係の施設（北小金駅前）を教育関係団体にも開放して欲しい。（例）健康維持関係（タイキョクケン、ダンスetc）ご検討宜しくお願い致します。（町会関係のコミュニケーション、健康マージャン、カラオケ）駅前の利便性を市民が要望します。
20年以上	月1回程度	松戸市には美術館がないのは何故か？立派な博物館がありますが、松戸駅に近い場所にあるとよいなと思っています。現在、私は写真展を開催するにあたって教育委員会松戸市文化ホールを利用させていただいています。

活動年数	活動頻度	記入内容
20年以上	月1回程度	松戸駅に近く利便性が高い松戸市民会館の老朽化対策をお願い致します。新築にしたら松戸市のイメージアップにつながると思います。 よろしくお願い致します。
20年以上	月1回程度	松戸市美術館がないのは誠に残念。
20年以上	月1回程度	市民会館を利用させて頂いておりますが全体的に不便な所が多い、老朽化を感じます。料理教室の設備、特に各テーブルのお湯が出る様をお願い致します。食器が揃っていない。時代の流れに従って考えて欲しいです。せっかく講師の先生を呼んで実習しても食器が揃っていない為残念です。
20年以上	年に数回程度	森のホール（小ホール）エレベーターの設置を希望したいと存じます。入り口から、客席へ、できれば、体の不自由な方に良いと存じます。また、楽屋が地下・二階と分かれており、日本舞踊の衣装をつけての登り下りは大変なので、エレベーターがあれば良いのにと 思っております。
20年以上	無回答	森のホール 21（小） 1、舞台裏から楽屋に降りるEVを設置して欲しい。 2、楽屋入口の階段に手摺りを取付けて欲しい。 3、1階席出入口（左・右）に階段を照らすライトが欲しい。
無回答	無回答	市民会館 304 室、305 室（ながいき室）を無料で利用させていただいていますが、たたみの部屋なので、正座、足を伸ばしての着座は疲れるので、無料で利用できるイス席の部屋が欲しいと思います。

(3) 予約について

活動年数	活動頻度	記入内容
5年未満	月1回程度	市民センターの場合、思うように場所が確保できない。
5年以上 10年未満	週2～3回程度	矢切公民館4階ホールの予約について グランドピアノがあり音楽活動、特に活動に合唱には有効な場所であるがほとんど音楽（ピアノ）に関係ない団体が利用しておりピアノを使いたい団体が使えない。また調律が行われてないのか音がくるっている時がある。1年に最低2回は必要。
5年以上 10年未満	週1回程度	松戸市の施設を借りる時（市民劇場）一般の利用者より市の関係者の方と優先してなかなか場所がとれないのですが皆んな公平にしてほしいです。
10年以上 15年未満	週1回程度	稔台市民センターについて、毎月1日～の抽選に参加するが50%位しか当選しない。しかし16日のオープンでは空きが有るのはどう云う訳か抽選の方法に納得出来ない。中味をもう一度検討して欲しい。
10年以上 15年未満	月2回程度	森のホールの施設抽選について、松戸市に活動事務局を置いてある、本当の松戸市の団体を優先的に行ってもらいたい。練習活動の一部として活動している他都県市に活動事務局のある松戸市以外の団体が多すぎる。（借りる時の名前と発表会時の団体名が違う）この事により松戸市の活動事務局の団体の練習場のチャンスが減少している。この辺の受付、分析を行って欲しい。
15年以上 20年未満	週2～3回程度	年々活動する場所（矢切公民館、市民会館、勤労会館等）が予約が取りにくくなっている。他の団体との競争になっていて、その都度あちこちの市民センターを取っているの、そういう活動場所がもっと増えると助かる。広報まつど何回か掲載を申し込んだが、掲載してもらえなかったの、そういう紙面をもっと増やしてほしい。
15年以上 20年未満	週1回程度	市民センターの予約方法の改善 1. 定期的に利用している社教登録団体を優先する。 2. 同一団体の会員からの複数予約をAIで判断して1票にする。
15年以上 20年未満	月1回程度	私はパソコンがないために例会の会場とりがむずかしい。

活動年数	活動頻度	記入内容
20年以上	週2～3回程度	<p>市民会館</p> <p>①市民センター等に活動に常に使用するもの等を保管できるロッカーが欲しいと思っています。</p> <p>②活動の拠点としている市民会館ですが予約が（抽選はずれも）一杯でとれないこともしばしばです。その際にはゆうまつど、青少年会館、ときには勤労会館などへ活動場所を移動しなければなりません。安定して活動できる場所を確保できることが大事だと思います。</p> <p>③施設の予約を3ヶ月からではなく6ヶ月前からすることはできないでしょうか。イベントを開催する広報をするにしても計画をする上でも場所がギリギリにならないととれない、抽選ではずれるかも…？だと周知も準備もむずかしいことが多いです。</p>
20年以上	週1回程度	文化ホールに代わる、新しい市立美術館の建設を早急に希望します。又、美術教室スペースの確保。抽選でなく、確実に日程が決められる教室の充実を望みます。
20年以上	週1回程度	活動場所をきめた市民センターで行っています。パソコンで市民センターの予約をするようになってから、無作為できめられてしまい、活動場所が確保できない時がありこまっています。活動場所がきまっている団体にはご配慮していただけたらと思います。
20年以上	週1回程度	森のホール等の予約について、松戸市民の予約は一般予約より先に優先的に予約ができれば良いのですが、松戸市以外の方も同じに予約をするので、競争率が高く、なかなか予約が取れずに、利用しづらくなっている。
20年以上	週1回程度	松戸市民劇場の利用は抽選のため、なかなか利用できない。特に土日は空きが少ないために集中して1年間申し込んででもむずかしい。落選回数をカウントして優先順を決めてほしい。どの団体も活動成果の発表の場がなくこまっています。特に大きな音が出る団体はこまっています。学校の体育館などの利用も考えてほしい。
20年以上	週1回程度	インターネットの時代になり、会場取りが、公平に扱われている事は、間違いありません。しかし20年以上活動している団体が今年発足した団体と公平な結果月に1度も、とれない状況を把握してほしいと思います。公表はできませんが、他の市では、年数により少しの考慮があるようです。全く会場が取れない月が続くと解散に追い込まれます。少し考えて下さることお願い致します。
20年以上	月2回程度	図書館を充実させてほしい。本館は狭く利用しにくい。美術品を展示するスペースがほしい。講座を開く教室の確保が難しい。これからは元気な高齢者が多くなり増々場所が多く必要となるでしょうから。

活動年数	活動頻度	記入内容
20 年以上	月 1 回程度	<p>松戸ではじめて、市民センターで 30 年になります。毎年、展示会をしておりますが、なかなか展示するスペースがありません。今迄、パークセンターで毎年していました。場所も緑に囲まれてすてきですが、今年は市のイベントが、土、日、と入り 5 月、6 月はとれませんでした。毎年、5 月 3 週目くらいですが、その前後もうまくいきませんでした。30 周年という事もあり、伊勢丹閉店時にアートスポットを昨年お借りしました。とても広いスペースで好評でした。又、あのくらいのスペースの展示場で出来ると嬉しいです。</p>
20 年以上	月 1 回程度	<p>遅くなり申し訳ありません。市民センターで楽しくさせて戴いております。最近、1 団体が長い時間使う為、会場がとれにくくなっております。いつもの会場がとれず、和室になる事もあります。足の不自由な方もいらっしゃるのですの会場のよいのですが、思うようにいかない事もあります。抽選ですので何ともですが…。</p>
無回答	無回答	<p>インターネット施設予約の一本化をお願いします。市民劇場、市民会館、市民センター、ゆうまつどの利用番号、パスワードの一本化をお願いします。申請時期も 2 か月前、3 か月前、6 か月前と異なります。それとどの公共施設も公用で押さえられていて市民の利用枠が狭められていると思います。市民ファーストをお願いします。</p>

(4) 情報について

活動年数	活動頻度	記入内容
5年未満	週1回程度	活動場所が社会教育施設でない場合、広報まつどに記載しにくい点が団体をPRするときにネックとなってしまう。広報に掲載する際に、校正の確認が電話又はFAXしか無いのでEmailも使える様にしてほしい。
5年未満	月1回程度	まなびネットが見つらい。一般の方がどれだけ検索されているのかと…。
10年以上 15年未満	月2回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだマイナーな楽器ですが、大きなテーマを持っています。年間を通して練習日は決められています。固定に会場の確保へのご協力を頂きたい。 ・市からのイベントへの参加の呼びかけ案内を。 ・環境問題、平和等にも参加の場を。
20年以上	週1回程度	市民会館が、存続できるのか？情報がよく解らない。市外会員はリーダーとして会場取り責任者になれないのは、おかしい。適任者であるのに。会長は松戸市民でしかだめなのではないでしょうか？どうしたら良いのでしょうか。☆青少年センターで中学レベルの学習が無料で学べる講座をもっと市民に知らせて告知すべきです。同じ方が何年も利用していますが・・・平等に。1回のみにするとか。
20年以上	週1回程度	情報や知識を高める事柄を掲載してほしい。
20年以上	週1回程度	「広報の会員募集の欄について」以前のレイアウトの方がはるかに良かったと思います。今は単に事務的に記載しているという雰囲気です。全くおもしろ味がありません。見る気をおこさせない載せ方にしか見えません。自分だったらどのように載っていたら読もうと思うか感じてみる必要があると思います。写真や会員の（思い）声などを載せることも検討してみたいはかがでしょうか。
20年以上	月2回程度	前にあった、駅ギャラリーを復活してほしい。又今後どのような考えがあるのか情報提供をお願いしたい。
20年以上	月2回程度	現状、年金額が次第に減少して、生活面がきびしくなり、余裕がなくなってきました。少しの時間でも楽しく過ごそうと、思っている人達の為にも公民館にどのようなサークル、団体があるのかを知ってほしいと思います。公民館の存在をもっと市民に知らせてほしいです。アンケート有難うございます。
20年以上	月2回程度	年に数回程度の情報交換の機会があったらいいなと思っています。

(5) その他

活動年数	活動頻度	記入内容
5年未満	週1回程度	暖房の申請、実施報告等、もう少し簡素化して欲しい。現在3ヶ月毎に同じ書類を提出している。
15年以上 20年未満	週4～7回程度	郷土の歴史・文化・伝統に関する講演・講座・イベント等は既存の施設等で実施できていると感じています。しかしながら、一般市民の方々は、郷土ばかりではなく、時に諸外国・他地域の歴史・文化・伝統も知りたい・見たい・聴きたい要望があると思います。そんな機会を市主催で設定することも必要かと思えます。近隣諸国との友好的な関係をつくり出すにも、もっと近隣諸国の様々なことを市民に提供することも市行政のひとつかと思えます。
15年以上 20年未満	週2～3回程度	いつも「明市民センター」を利用させていただいています。このたび移転となり、いろいろと便利になるようで感謝しております。何回か「松戸美術館」が出来るかもという話がありましたが、実現しておりません。是非、もう一度お考えいただければと思っております。ありがとうございました。
15年以上 20年未満	週1回程度	良い講師を呼ぶためにお金がかかり過ぎ。会員が増えないので、会費を上げる。負のスパイラル。市が講師料を少し負担していただくと会員増加になると思うのですが、虫が良すぎますか？
15年以上 20年未満	月2回程度	森のホール（全館）の借りる費用もう少し安くなれば良いと思います。市内中学校の音楽活動吹奏楽のサポートもしていますが、森のホールリハーサル室など学校には補助がない為私達のような団体がサポートをする事態です。
15年以上 20年未満	月1回程度	子育てしやすいまちを標榜するなら、児童館をはじめ子どもが放課後に1人でも行けるような遊び場を学区に1つは設けてほしい。また、近年の社会背景に合った施策をしてほしい。（共働き、少子高齢化、ストレス社会、デジタル化への対応など）
20年以上	週4～7回程度	伝統文化、芸能保存。（子供たちに広めてほしい。体験などをしてです。それには派遣講師を改めてようせいしてほしいです。老（老連）人会などは講師が何十年と変わらず。どういうきめ方をしているのか？昔は変わっていたと思います。一人ではダメだと思います。
20年以上	週2～3回程度	民謡の大会に市民会館を使用するが場所代が高いので大変です。
20年以上	週2～3回程度	会費がやすいことも長続きしたと思います。会場の利用料金が無料なので感謝しています。市民センター利用はガスや水道を使うため3ヶ月に一度利用させていただいております。

活動年数	活動頻度	記入内容
20年以上	週1回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の公共施設の老朽化がひどく対応が遅すぎると常を感じています。主に小金原体育館・小金原市民センターを利用する事が多い中、体育館会議室などは空調の不具合、床のべたつきが目立ちます。時計は長い間止まったままでした（現在は動いているが）。 ・これからの社会を担う子供達が利用できる施設が不十分。低年齢・高年齢に合った安心して学習や交流のできる自習スペース等の整備された施設が無いに等しい。地域で子供達を育てよう！！ならばまず子供が集まれる環境・整備が急務だと強く感じています。
20年以上	週1回程度	<p>会員が少ないので、収支の提出はしない様にして下さい。費用負担は会場費と有料の講師のみです。提出義務はあるのですか！</p>
20年以上	週1回程度	<p>ガールスカウトは少女と若い女性のための社会教育団体です。日本では、教育の見直しが始まっています。「家庭」「地域」「学校」が力を合わせて、子供達の学習の機会を考え出す事が大切です。他団体の皆様と協力して、時代に合う活動ができる様にします。</p>
20年以上	週1回程度	<p>松戸市に暮らして10年になります。体育館は不便な場所に、図書館の本は古くて何年たっても同じ本ばかりが並んでいます。福祉協議会にボランティアにと思いい出向いても一部の人が牛耳っていて参加できません。イベントも中途半端、町内会にはなわばりがあり他の町内会の方はグラウンドホールにも入れない。と、まあ、つまらない市に住んでしまったと後悔しています。何か、生きがいのある事を発信して下さい。協力はしたいのですが…。</p>
20年以上	週1回程度	<p>サークル活動を25年間頑張ってレッスンして参りました。社会教育施設等使用させて頂き感謝あるのみです！私達が使いやすい方法で考えて下さり現場を大切に下さる心使いで本当に松戸市在住で良かったです。会員一同ありがとうございます。</p>
20年以上	週1回程度	<p>私共毎年社会教育課の後援を受け発表会をやらせて頂いております。これからも御支援よろしくお願い致します。</p>
20年以上	月2回程度	<p>いつもお世話になっております。生涯学習部の職員の方々は、いつも一生懸命に仕事をして下さりありがたく思っています。これからもよろしくお願い致します。</p>
20年以上	月2回程度	<p>青少年教育。特に障害のある子どもたちを対象に活動していますがPR不足で会員が増えないので指導者も不足している。そこで子どもたちの参加について支援が欲しいです。学校や家庭にアピールをしたいので、ご協力を仰ぎたい。</p>

活動年数	活動頻度	記入内容
20年以上	月2回程度	<p>松戸市が、図書館行政に、大きな一歩を踏み出したことを大変嬉しく思っております。図書館は、その町の生涯学習の拠点であると考えます。「図書館を見れば、その町がわかる」と言われる程です。</p> <p>最近では、各地に素晴らしい図書館がつくられていますので、参考の為にも何卒、視察されますよう、お願い申し上げます。開館以来、数十年を経ても今尚前進し続けている浦安市立図書館や数年前に開館した長野県塩尻市立図書館などは、市民が誇りを持って大いに利用しています。それらの図書館は広く市民の声を反映させていることが特徴と言えます。勿論、人材育成に力を注ぎ、実力ある職員の存在が不可欠です。それが、結果として、市民の誇りともなり近隣市からの利用者をも呼び込んでいます。東京に至近距離でありながら（～であるからこそ）出遅れてしまった松戸市が図書館を「売り」にして、多くの自立した市民を呼び込める町として、発展する未来を夢見ております。</p>
20年以上	月1回程度	<p>松戸市美術展が毎年行われていますが日本画、洋画、彫刻の3分野だけの展覧会になっています。もう少し広分野の作品を対象にしてもらいたい。たとえば、書、陶芸、版画、写真など。</p>
20年以上	月1回程度	<p>今回のアンケートで子供達との関わりを持つ機会がある事を知り新たな目標が見えて参りました。</p>
20年以上	年に数回程度	<p>市内には、いろいろな分野の著名人が在住していると思われる。人物事典があれば良いのですが…。</p>

5. 調査票

1 市民意識調査票

1 「生涯学習活動」に対する考え方について

※「生涯学習」とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます。なお、スポーツに関する事項については、「松戸市スポーツ推進計画」にて別途取り扱うため、本アンケートでは、スポーツに関する質問はございません。

問1 あなたは、この1年くらいの間に、どのような「生涯学習活動」をしましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味・教養に関すること
2. 仕事に必要な知識に関すること(専門分野、経営など)
3. 子育て・家庭教育・学校教育に関すること
4. 生活での実用的な知識に関すること(料理、洋裁など)
5. 健康に関すること(健康法、医療など)
6. 社会的な問題に関すること(高齢化、環境問題など)
7. ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること
8. 国際理解、国際交流に関すること
9. していない → (3ページ 問4へ)
10. その他 [] (問2へ)

問2 どのような方法で「生涯学習活動」をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市が主催する講座や教室への参加
2. 学校(大学や各種学校など)の公開講座や教室への参加
3. 職場の研修・教室への参加
4. カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室への参加
5. 自での学習(通信教育、書籍、インターネットなど)
6. 学校(大学や各種学校など)に入学
7. 自主的なサークルやクラブに入会
8. 図書館・博物館・美術館などで学習・鑑賞
9. その他 []

社会教育に関するアンケート調査

■ アンケート調査ご協力のお願い ■

市民の皆様へ

日頃より、松戸市の社会教育行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。松戸市教育委員会では、市民の皆様が生涯にわたり主体的に学習ができるよう、平成27年度に「松戸市社会教育計画」を策定し、社会教育施設(公民館、図書館、博物館等)の充実や各種講座等の学習機会の提供など、学習環境の整備に努めてきました。この度、第二次松戸市社会教育計画を策定するために、現松戸市社会教育計画の達成状況や、生涯学習の現状、ニーズ等について、市民の皆様のお考えを幅広く伺うため、アンケートを実施することと致しました。

本調査では、令和元年8月23日現在市内にお住まいの方から3,000人を無作為に選り、調査票を送付させていただきました。アンケートの結果については、統計的に処理し、調査目的以外には使用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせください。お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

令和元年9月
松戸市教育委員会 教育長 伊藤 純一

■ ご記入にあたって ■

1. 質問には、必ずご本人(封筒のあて名の方)がお答えください。あて名ご本人が回答できない場合は、ご家族の方や助者の方などが、ご本人の立場で(ご本人の意見に沿って)お答えください。なお、この調査票で「あなた」とはあて名ご本人のことです。
2. この調査票にはお名前の記入は不要です。個人が特定されることはありませんので、普段あなたが考えていること、または行っていることをお聞かせください。
3. 回答は、質問により、1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがあります。あてはまる選択肢の番号を○印で囲んでください。
4. 質問の中には、選択した番号により、質問の進み方が変わるものがありますので、ご注意ください。
5. 「その他」と回答された場合には、()内に内容を具体的に書き添ってください。
6. ご記入いただいた調査票は、**令和元年10月4日(金)まで**に同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご返送ください。

< 問い合わせ >

松戸市教育委員会 生涯学習部 社会教育課
〒271-8588 松戸市根本3-5-6番地 京葉カスF松戸第1ビル6階
電話：047-366-7462 FAX：047-366-7055
E-MAIL：mcshekaikyoku@city.matsudo.chiba.jp

【問1で「1」～「8」または「10」を選択した方に伺います。】

問3 あなたは何のために「生涯学習活動」をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康維持・増進のため
2. 人生を豊かにするため
3. 自由時間を有効に活用するため
4. 現在の仕事や将来の就職、転職に役立てるため
5. 日常生活に活用するため
6. 地域社会をよりよくするため
7. 人脈を広げるためや友人をつくるため
8. その他〔 〕

【すべての方に伺います。】

問4 今後、どのようなことを学びたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味・教養に関すること
2. 仕事に必要な知識に関すること(専門分野、経営など)
3. 子育て・家庭教育・学校教育に関すること
4. 生活での実用的な知識に関すること(料理、洋裁など)
5. 健康に関すること(健康法、医療など)
6. 社会的な問題に関すること(高齢化、環境問題など)
7. ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること
8. 国際理解、国際交流に関すること
9. 特になし
10. その他〔 〕

問5 あなたは、地域の学習環境を充実させるために何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館・図書館・美術館・劇場などの社会教育施設*の充実
2. 家庭教育学級や生涯学習講座などの社会教育事業の充実
3. PTA やサークル活動等の社会教育関係団体の活動支援
4. 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
5. 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
6. 歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進
7. 子育て講座の充実
8. 子どもが地域活動に参画する機会の充実
9. 特になし
10. その他〔 〕

※選択肢1の「社会教育施設」については、本調査票9ページをご参照ください。

問6

あなたは、市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるために、市としてどのような取り組みを入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 小中学生が学校の内外で歴史・文化・伝統に触れる学習機会の充実
2. 歴史・文化・伝統を継承するボランティア(市民ガイド等)の養成
3. 歴史・文化・伝統に関する展覧会や企画展の充実
4. 歴史・文化・伝統への理解を深める講座や体験の機会の充実
5. 歴史・文化・伝統に関する情報の収集・発信・調べ方案内
6. 図書館・博物館等の施設でわかりやすい展示や多言語化
7. 図書館・博物館等の施設への専門的職員の配置
8. 各館の所蔵資料情報に相互にアクセスできるようにするなど、相互機能の強化
9. その他〔 〕

問7

あなたが関心を持っている地域課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育て支援、子ども健全育成に関すること
2. 防災・防犯に関すること
3. 孤独死や認知症に関すること
4. 要介護・要支援高齢者の生活支援に関すること
5. 環境保全やゴミ問題に関すること
6. 住民同士の助け合いや地域交流に関すること
7. 地域の伝統行事や祭りの継承に関すること
8. 協働のまちづくりに関すること
9. 障がい者の生活支援、共生に関すること
10. 外国人住民との交流や相互理解に関すること
11. 性的少数者への理解に関すること
12. 地域活性化や経済振興に関すること
13. 特になし
14. その他〔 〕

2 「生涯学習活動」に関する情報、相談について

問 8 あなたは、市が提供する生涯学習の情報をどのように得ていますか。(あてはまるものをすべてに○)

1. 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ
2. 広報まつど
3. インターネット (SNS を含む)
4. 家族や知人から
5. 市役所や公民館などの公共施設での情報 (ポスター、ちらし)
6. 学校や職場での情報 (ポスター、ちらし)
7. 駅や路上、商業施設などでの情報 (ポスター、ちらし)
8. 特に得ていない
9. 得る手段がわからない
10. その他 ()

問 9 あなたは、生涯学習に関してどのような情報を知りたいですか。(あてはまるものをすべてに○)

1. 公民館、図書館、市民センターなどの公共施設で開催される講座や教室情報
2. 講演会や展覧会などのイベント情報
3. 資格取得に関する情報
4. カルチャースタターなどの民間施設で開催される講座や教室情報
5. 同好者が自主的に行っているグループ・サークルの情報
6. 大学などの教育機関で開催される講座の情報
7. 公民館や市民センターなどの施設の空き状況などの情報
8. 講師や指導者に関する情報
9. 地域活動やボランティア活動に関する情報
10. 特にない
11. その他 ()

問 10 あなたは、生涯学習活動について市に相談したいと思うことはどのようなことですか。(あてはまるものをすべてに○)

1. どのような学習方法が良いか教えてほしい
2. 何かをやりたい自分が自身に合っているかわからない
3. 一緒に学習する仲間がほしい
4. 生涯学習に関する情報収集の方法がわからない
5. 自身のスキルを使って誰かの役に立ちたい
6. 相談したいことはない
7. その他 ()

問 11 あなたが、生涯学習を行うにあたって、活動の妨げになっていることはありますか。(あてはまるものをすべてに○)

1. 忙しく時間の確保ができない
2. 経済的負担
3. 家庭や職場など周囲の理解が得られない
4. 必要な情報が得られない
5. 一緒に学習する仲間がいない
6. 新しいことを始めるのが億劫である
7. 身近な場所に学習できる施設がない
8. 活動の妨げになっていることはない
9. わからない
10. その他 ()

3 「生涯学習活動」の成果の活用について

問 12 あなたは、次のア～カの場面で「生涯学習」を通じて身につけた知識や技能、経験を生かしていますか、または生かしたいと思えますか。(あてはまるものをすべてに○)

	1.	2.	3.	4.
ア. 仕事や家庭など、日常生活	現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特になし
イ. 資格の取得・就職	1	2	3	4
ウ. ボランティア活動	1	2	3	4
エ. 他の方の学習や文化活動の指導	1	2	3	4
オ. 町会などの地域活動	1	2	3	4
カ. 自身の健康維持、健康増進	1	2	3	4

問 13 あなたは、「生涯学習活動」に一緒に取り組む仲間がいますか。(あてはまるものを1つに○)

1. 仲間がいる
2. 仲間がほしいと思っているがいない
3. 仲間がほしいが特にほしいと思っていない
4. その他 ()

問 1 4 松戸市は、生涯学習の成果を生かして活動が行えるような場が充実していると感じますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. そう思う
- 2. どちらとも言えない
- 3. そう思わない
- 4. わからない

問 1 5 あなたが生涯学習の成果をより生かせるようになるには、市としてどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 生涯学習の成果の活用事例を収集、紹介する
- 2. 生涯学習の成果を生かせる参加型イベントの開催
- 3. 活動の場の整備・提供
- 4. 活動に必要な情報の提供
- 5. ステップアップ講座など、より広く、深く学べる機会の提供
- 6. 団体の設立・運営支援
- 7. 講師登録
- 8. ボランティア登録
- 9. 企業へのはたらきかけ（従業員の学習費用補助、ボランティア休暇制度など）
- 10. その他（ ）

4 地域の子どもたちに対する考えについて

問 1 6 あなたは、地域の子どもたちに、休日（長期休みを含む）をどのように過ごしてほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 学習塾などの勉強
- 2. 有料の習い事などでの学習
- 3. 文化サークル、子ども会等の地域活動
- 4. 図書館・博物館・青少年会館・児童館等の公共施設で過ごす（イベントや講座への参加を含む）
- 5. 学校の部活動
- 6. 友達と屋外で遊ぶ
- 7. 友達と屋内で遊ぶ
- 8. 家族でレクリエーションや旅行
- 9. 家で勉強や読書
- 10. その他（ ）

問 1 7 休日に地域の子どもたちが大人と生涯学習活動をするにはどのような場所がら、さわしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 地域の広場・公園
- 2. 小中学校の教室・体育館・校庭
- 3. 公民館・図書館・博物館等
- 4. 青少年会館・児童館・市民交流会館等
- 5. 自宅
- 6. その他（ ）

問 1 8 あなたは、小中学校で児童生徒の学びを支援するボランティア活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思えますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 参加したことがあり、今後も参加したい
- 2. 参加したことはないが、今後参加してみたい
- 3. 参加したことはあるが、今後は参加したいと思わない
- 4. 参加したことがなく、今後も参加したいと思わない
- 5. わからない

【問18で「1」または「2」を選択した方に伺います。】

問 1 9 あなたが小中学校でボランティア活動をしたのなら、どのような活動に興味がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 授業におけるゲストティーチャー（講師）への対応
- 2. 授業における教員の補助（丸付けなどの手伝いや、支援を必要とする子ども）
- 3. 部活動・クラブ活動の支援
- 4. 学校行事の支援
- 5. 読み聞かせや学校図書館の整備
- 6. 花壇の整備、校舎の補修や清掃など学校環境整備
- 7. 交通ボランティア
- 8. その他（ ）

【すべての方に伺います。】

問 2 0 あなたは、学校以外の場で地域の子どもたちの学びを支援するボランティア活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思えますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 参加したことがあり、今後も参加したい
- 2. 参加したことはないが、今後参加してみたい
- 3. 参加したことはあるが、今後は参加したいと思わない
- 4. 参加したことがなく、今後も参加したいと思わない
- 5. わからない

【問20で「1」または「2」を選択した方に伺います。】

問 2 1 あなたが学校以外の場で地域の子どもたちの学びを支援するボランティア活動をするとしたら、どのような活動に興味がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 自然体験活動の機会提供
- 2. 芸術鑑賞の機会提供
- 3. 異年齢の子ども同士の交流の場
- 4. 子どもの居場所づくり
- 5. 障がい者との交流の促進
- 6. 国語、算数、英語等の学習支援
- 7. 絵本、紙芝居等の読み聞かせ
- 8. 昔遊びや伝統文化を教える活動
- 9. 職業体験の機会提供
- 10. 子どもたちと一緒に行う環境美化、環境保護活動
- 11. その他（ ）

5 松戸市内の社会教育施設等について

※選択肢がないご意見等がございましたら、調査票末尾の自由記述欄にご記入ください。

※社会教育施設とは、公民館、図書館、博物館、青少年教育施設等、人々の学習活動の拠点となる施設です。

なお、スポーツ施設、女性センターゆうまつどについては、「松戸市スポーツ推進計画」、「松戸市男女共同参画プラン」にて別途取り扱うため、それらを除く社会教育施設についてお伺いします。

【すべての方に伺います。】

問22 次のア～ケの各施設について、利用したことがあるかどうかを教えてください。利用したことがある方は、ハード面（施設、設備等）、ソフト面（イベント等の催し物、情報提供等）それぞれの満足度を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

	A 利用の有無		B ハード面				C ソフト面				
	1. 利用経験あり	2. 利用経験なし	1. 満足である	2. 普通である	3. 不満足である	4. わからない	1. 満足である	2. 普通である	3. 不満足である	4. わからない	
ア. 矢切公民館	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
イ. 文化ホール	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
ウ. 青少年会館（雑野口分館含む）	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
エ. 松戸市民会館	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
オ. 松戸市民劇場	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
カ. 松戸市立図書館（子ども読書推進センター、分館含む）	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
キ. 戸定邸・戸定歴史館	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
ク. 松戸市立博物館	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
ケ. 森のホール21	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4

問23 次のア～ケの各施設について、あなたが期待することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	1. 施設の老朽化への対応	2. 駐車場の整備	3. 設備の更新	4. 予約のしやすさの向上	5. 寒暖差の施設主催の催し物の開催	6. 職員への適切な応対	7. 施設や事業に関する情報提供の充実	8. 所蔵資料等の貸出	9. 閉館時間の延長	10. 自習スペース等の学習しやすい環境の整備	11. 自由に選べるスペースの充実	12. わからない	13. 特にない
ア. 矢切公民館	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	
イ. 文化ホール	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	
ウ. 青少年会館	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	
エ. 松戸市民会館	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	
オ. 松戸市民劇場	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	
カ. 松戸市立図書館	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
キ. 戸定邸・戸定歴史館	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
ク. 松戸市立博物館	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
ケ. 森のホール21	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	

問24 次のア～ケの各施設について、あなたがほしい情報は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	1. 施設の情報（施設概要、バリアフリーの状況）	2. 施設利用案内	3. 催し物の情報	4. 所蔵資料等の情報	5. 研究や成果の調査	6. わからない	7. 特にない
ア. 矢切公民館	1	2	3			6	7
イ. 文化ホール	1	2	3			6	7
ウ. 青少年会館	1	2	3			6	7
エ. 松戸市民会館	1	2	3			6	7
オ. 松戸市民劇場	1	2	3			6	7
カ. 松戸市立図書館	1	2	3	4	5	6	7
キ. 戸定邸・戸定歴史館	1	2	3	4	5	6	7
ク. 松戸市立博物館	1	2	3	4	5	6	7
ケ. 森のホール21	1	2	3	4	5	6	7

6 あなたご自身のことについて
※さしつかえない範囲でお答えください。

問25 令和元年8月23日現在、あなたの年齢は次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 19歳以下
- 2. 20～29歳
- 3. 30～39歳
- 4. 40～49歳
- 5. 50～59歳
- 6. 60～69歳
- 7. 70歳以上

問26 あなたの性別は次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. 回答しない

問27 あなたの職業は次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 正社員・公務員・団体職員など
- 2. 自営業(農業を含む)
- 3. アルバイトやパートなど(短期雇用契約社員・派遣社員を含む)
- 4. 学生
- 5. 専業主婦・主夫
- 6. 収入のある仕事はしていない
- 7. その他()

問28 あなたの世帯は次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 単身世帯
- 2. 夫婦のみ世帯(事実婚を含む)
- 3. 親と子ども世帯の2世代世帯
- 4. 親と子どもと孫の3世代以上の世帯
- 5. その他()

問29 あなたと同居する方(あなた自身を除く)で、次に該当する方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 乳幼児・未就学児
- 2. 小学生
- 3. 中学生
- 4. 高校生
- 5. 65歳以上の方
- 6. 該当なし

自由記載欄

松戸市に対するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由に記載してください。

自由記載欄の記入欄

以上です。ご協力ありがとうございます。

ご記入いただいた調査票は、令和元年10月4日(金)までに
同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご返送ください。

※ 本アンケート調査で取り上げた社会教育施設等についての
詳細は、市ホームページの施設ガイドをご参照ください。

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisetsu-guide/index.html>
(松戸市ホームページ → 施設ガイド)



リサイクル選性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

◇社会教育に関するアンケート調査◇

＝ アンケート調査ご協力をお願い ＝

松戸市社会教育関係団体 代表者様

日頃より、松戸市の社会教育行政にご理解とご協力をお願いありがとうございます。
松戸市教育委員会では、市民や各種市民団体の皆様が生徒にわたり主体的に学習がでるよう、平成27年度に「松戸市社会教育計画」を策定し、社会教育施設（公民館、図書館、博物館等）の充実や各種講座等の学習機会の提供など、学習環境の整備に努めてきました。

この度、第二次松戸市社会教育計画を策定するために、現松戸市社会教育計画の達成状況や、生涯学習の現状、ニーズ等について、松戸市社会教育関係団体の皆様のお考えを幅広く伺うため、アンケートを実施することと致しました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

※本アンケートは松戸市社会教育関係団体のうち、文化系の団体（令和元年8月20日時点の登録団体）に送付しています。

令和元年9月
松戸市教育委員会 教育長 伊藤 純一

- ☆ このアンケートは、貴団体の代表者様が、組織の代表という立場にてご回答ください。
- ☆ この調査票には団体の記入は不要です。団体が特定されることはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。
- ☆ このアンケートの調査結果は、社会教育基本計画の基礎資料のデータとして統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。
- ☆ 回答は、質問により、1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがあります。あてはまる選択肢の番号を○印で囲んでください。
- ☆ 質問の中には、選択した番号により、質問の進み方が変わるものがありますのでご注意ください。
- ☆ 「その他」と回答された場合には、() 内に内容を具体的に書き添ってください。
- ☆ ご記入いただいた調査票は、**令和元年10月4日(金)まで**に同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご返送ください。

＜ 問い合わせ ＞

松戸市教育委員会 生涯学習部 社会教育課
〒271-8588 松戸市根本356番地 京葉ガスF松戸第1ビル6階
電話：047-366-7462 FAX：047-366-7055
E-MAIL：moshakaikyoku@city.matsudo.chiba.jp

1 貴団体の概況について

問 1 貴団体の主な活動分野を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 書道・ペン習字	7. 茶道・華道・囲碁・将棋
2. 美術・工芸	8. 語学・話し方
3. 音楽	9. 押し花・折紙
4. 踊り	10. 健康・料理
5. 文芸	11. 育児・ごども
6. 歴史・読書・鑑賞	12. その他〔 〕

問 2 貴団体の活動年数を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 5年未満	4. 15年以上 20年未満
2. 5年以上 10年未満	5. 20年以上
3. 10年以上 15年未満	

問 3 貴団体の活動頻度を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 週4～7回程度	4. 月2回程度
2. 週2～3回程度	5. 月1回程度
3. 週1回程度	6. 年に数回程度

問 4 貴団体の主な活動場所を教えてください。(特にあてはまるもの1つに○)

1. 団体の事務所 (会員の自宅を含む)	7. 戸定邸・松雲亭
2. 矢切公民館	8. 松江市立博物館
3. 青少年会館 (瀬野口分館含む)	9. 森のホール21
4. 松江市民会館	10. 松江市内の市民センター
5. 松江市民劇場	11. 女性センターゆづりまつど
6. 松江市立図書館 (子ども読書推進センター、分館含む)	12. その他〔 〕

問 5 貴団体の活動で、特に力を入れているものは何ですか。(力を入れているものから順番に3つまで選んで番号を記入)

	1 番目	2 番目	3 番目
1. 趣味を豊かにする			
2. 教養を高める			
3. 他者との交流や知人を得る			
4. 地域活動へ参画する			
5. ボランティア活動に必要な知識・技能を身につける			
6. 高度な専門知識を身につける			
7. 自由時間を有効に活用する			
8. 資格取得に役立てる			
9. 人生を有意義にする			
10. 仕事や就職、転職に役立てる			
11. 健康維持・増進や体力づくりをする			
12. その他〔 〕			

2 貴団体の「生涯学習活動」の状況について

※「生涯学習」とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます。なお、スポーツに関する事項については、「松江市スポーツ推進計画」にて別途取り扱うため、本アンケートでは、スポーツに関する質問はございません。

問 6 貴団体が活動情報やイベント告知等の周知をする際、市による広報活動の支援に満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 大変満足である	4. 不満である
2. 満足である	5. 大変不満である
3. どちらとも言えない	

問7

活動する上で困っていることは、何ですか。(困っているものから順番に3つまで選んで番号を記入してください、特にない場合は「1」を記入)

1. 会員の減少により規模が縮小している	1 番目	2 番目	3 番目
2. 新しい会員が集まらない			
3. 若い世代の会員が少ない			
4. 活動に費用がかかる			
5. 自らの団体が定期的に集まる場所が確保できない			
6. 活動の成果を生かす場や機会が少ない			
7. 適切な指導者や講師がいない			
8. リーダーや役員のなり手がいない			
9. 活動に役立つ情報が得られない			
10. 活動内容をPRする情報発信ができない			
11. 特に困っていることはない			
12. その他()			

問8

貴団体が、今後学習成果を展開していく上で必要な市の支援はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域活動の拠点となる場所の提供	7. 備品などの支援
2. 会員募集の支援	8. 成果の発表の場や機会の支援
3. 他団体との交流の支援	9. 活動の機会を広げるコーディネーターの充実
4. 団体や活動についてのPR	10. 特に必要な支援はない
5. 活動上必要な情報の提供	11. その他()
6. 団体運営上のアドバイス	

問9

地域の学習環境を充実させるために何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設*の充実
2. 家庭教育学級や生涯学習講座などの社会教育事業
3. PTAや子ども会などの社会教育関係団体の活動支援
4. 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
5. 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
6. 歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進
7. 子育て講座の充実
8. 子どもが地域活動に参加する機会の充実
9. 特に必要ない
10. その他()

*選択肢1の「社会教育施設」については、本調査票10ページをご参照ください。

問10 市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるためのサポートとして、貴団体はどのようなことをしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市内小中学校で歴史・文化・伝統に関する学習、体験活動の講師となる
2. 歴史・文化・伝統に関するイベント、講座等を主催する
3. 行政や他団体が主催する歴史・文化・伝統に関するイベントに出展する
4. 行政や他団体が主催する歴史・文化・伝統に関する講座等に参加する
5. 団体の学習のテーマとして歴史・文化・伝統に関する記事を取り上げる
6. 歴史・文化・伝統に関する情報を収集する
7. 特にない
8. その他()

3 貴団体が「生涯学習活動」をする上で収集、発信する情報ニーズ等について

問11 貴団体が活動する上で必要としている情報は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 活動場所となる施設の情報	4. 貴団体の活動に関心がある市民の情報
2. 他団体の情報	5. 特にない
3. イベント情報	6. その他()

問12 貴団体の会員数を増やす活動をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. している	→ (問13へ)
2. したいができていない	} → (7ページ 問14へ)
3. していない	
4. その他()	

【問12で「1. している」と回答した団体に伺います。】

問13 会員募集にあたりどのような情報発信をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. チラシ・パンフレットの作成
2. 街頭やイベント会場などでの広報活動
3. ホームページの情報掲載
4. ツイッター、フェイスブック等のSNSの活用
5. 公共施設での情報の掲示
6. 「広報まつど」への情報掲載
7. ミニコミ誌(地域新聞等)への情報掲載
8. 個人的ネットワークからの声かけ
9. その他()

【すべての団体に伺います。】

問14 松戸市生涯学習情報提供システム「まっどまなびいネット」をどの程度利用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---------------|---|----------|
| 1. いつも利用している | } | → (問16ハ) |
| 2. ときどき利用している | | |
| 3. あまり利用しない | | |
| 4. 利用したことがない | | → (問15ハ) |

【問14で「4. 利用したことがない」と回答した団体に伺います。】

問15 「まっどまなびいネット」を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. アクセス方法がわからない | 5. パソコンを持っていない |
| 2. 使い方がわからない | 6. パソコンを使える会員がいない |
| 3. 会員を捜やしたくない | 7. 興味・関心がない |
| 4. 市の広報紙で充分 | 8. その他 () |

4 貴団体の「生涯学習活動」の成果の活用について

【すべての団体に伺います。】

問16 貴団体の学習活動の成果を、貴団体の活動としてどのように生かしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 町会自治会等主催の地域の祭への参加 (成果発表を含む) |
| 2. 市の施設での文化祭への参加 (成果発表を含む) |
| 3. 大会への参加 |
| 4. SNSなどインターネット上での成果発表 |
| 5. 貴団体主催イベントの実施 (体験教室、発表会等) |
| 6. 高齢者を対象としたボランティア活動 |
| 7. 子どもを対象としたボランティア活動 |
| 8. 小、中、高校等での学校教育支援活動 |
| 9. 社会教育施設*等でのボランティア活動 |
| 10. 特に生かしていない・生かす機会がない |
| 11. その他 () |

*選択紙9の「社会教育施設」については、本調査票10ページをご参照ください。

問17 松戸市は、学習活動を行いたいと考えたとき、すぐに活動が行えるような場が充実していると感じますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 3. そう思わない |
| 2. どちらとも言えない | 4. わからない |

問18 地域の他団体とこの一年間でどのような交流がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. イベント等と一緒にいった | 4. 講師になった、なってもらった |
| 2. 会員募集やイベントなどのPRをした | 5. 協賛・寄付をした、してもらった |
| 3. 集会所などの場所を借りた | 6. 特になし |
| | 7. その他 () |

5 地域の子どもたちとの関わりについて

問19 貴団体が中心となって、地域の子どもたちを対象に教えたり、参加体験型の活動を行う機会がありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------|----------------|
| 1. ある | → (問20ハ) |
| 2. ない | → (10ページ 問22ハ) |

【問19で「1. ある」と回答した団体に伺います。】

問20 子どもたちに関わる事業においてどのような目的を持って活動していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 子どもたちの生きる力・コミュニケーション力を養う |
| 2. 子どもたちの居場所・遊び場の提供 |
| 3. 子どもたちの創造性を育てる |
| 4. 地域の歴史・自然に触れる機会提供 |
| 5. 文化芸術に触れる機会提供 |
| 6. 伝統芸能や祭りの担い手の次世代育成 |
| 7. 国際交流・異文化交流の促進 |
| 8. 活動成果の発表・機会提供 |
| 9. その他 () |

松戸市

社会教育に関するアンケート調査報告書

発行 令和2年3月

編集 松戸市教育委員会社会教育課

〒271-8588 千葉県松戸市根本 356 番地 京葉ガスF 松戸第1ビル6階

TEL : 047-366-7462 FAX : 047-366-7055

リサイクル適性[®](A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。